2021（令和３）年度

履　修　要　覧

茨城キリスト教大学

この履修要覧は卒業するまで大切に扱ってください。
（年度毎には配付しません。）

掲示情報を必ず見ること

学生の皆さんへの通知や連絡はすべて「IC-UNIPA」および掲示により行います。

毎日、必ず、掲示情報を確認してください。

掲示情報を確認しなかったために、思いもかけない不利益を被る場合もありますので、見落とさないよう十分注意してください。

■学籍番号

学籍番号は入学時に各学生に与えられ、原則として卒業時まで変わりません。それぞれの数字には下記のような意味があります。

この番号をもとに学内の全ての事務処理が行われますので、覚えておいてください。

2021（令和３）年度入学生の場合

2　1　1　5　0　0　1

入学年度の西暦下２桁　　学部学科番号　（専攻番号）　五十音順の個人番号

15 …文学部現代英語学科（Ｅ科）
131…文学部児童教育学科児童教育専攻（Pe科）
133…文学部児童教育学科幼児保育専攻（Pc科）
14 …文学部文化交流学科（Ｃ科）
23 …生活科学部心理福祉学科（Ｗ科）
22 …生活科学部食物健康科学科（Ｆ科）
31 …看護学部看護学科（Ｎ科）
41 …経営学部経営学科（Ｍ科）

学籍番号 *21*　　氏名

【この冊子は】

・この冊子には、あなたの大学生活における学修に必要な情報が満載されています。卒業するまで大切に使いましょう。
・この冊子は、入学年度毎に変更されています。先輩や後輩が持っている冊子では、あなたの卒業に必要な情報は得られません。
・この冊子の内容が訂正される場合があります。その時には様々な手段でみなさんに周知徹底しますが、みなさんも掲示などによく注意してください。

【この冊子の利用の仕方】

1．まず、「履修について」に目を通しましょう。
2．次に「履修要項Ⅰ～Ⅳ」を読み自分の学科の卒業要件をしっかりと理解しましょう。
3．表の注やただし書きには、十分留意しましょう。
4．取得したい資格について、理解しましょう。
5．年度毎に配付される「履修登録の手引き」やIC-UNIPAで配信される各種情報と照らし合わせて、履修計画を立てましょう。
6．自分の責任において、目標に合った履修計画を立てましょう。
7．あいまいな情報を鵜呑みにしないようにしましょう。
8．わからないことがあったら、所属する学科の教務委員の先生、学務部窓口に相談しましょう。

【履修に関する相談窓口】

学務部：11号館１階

履修ガイダンスについて

履修ガイダンスは、毎年、学年・学科ごとに実施されます。重要な説明会なので、必ず出席してください。なお、履修ガイダンス出席に際し、事前に配付された履修要覧を熟読しておくことが大切です。

※ガイダンス等の日時は、掲示、履修登録の手引き等で確認すること。

目　　次

大学学則…… 1

履修について
1．教育目標…… 17
2．学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）…… 18
3．教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）…… 22
4．授業、単位と卒業要件…… 30
5．履修登録…… 32
6．授業の履修…… 34
7．試験規程…… 35
8．科目コードと科目ナンバリング…… 41

履修要項Ⅰ　文学部　全学教養科目および学科科目の履修
1．卒業に必要な最低修得単位…… 43
2．授業科目、単位数および履修規程
現代英語学科
(1) 全学教養科目…… 46
(2) 学科科目…… 50
児童教育学科　児童教育専攻
(1) 全学教養科目…… 52
(2) 学科科目…… 56
児童教育学科　幼児保育専攻
(1) 全学教養科目…… 58
(2) 学科科目…… 62
文化交流学科
(1) 全学教養科目…… 64
(2) 学科科目…… 68

履修要項Ⅱ　生活科学部　全学教養科目および学科科目の履修
1．卒業に必要な最低修得単位…… 71
2．授業科目、単位数および履修規程
心理福祉学科
(1) 全学教養科目…… 73
(2) 学科科目…… 76
食物健康科学科
(1) 全学教養科目…… 80
(2) 学科科目…… 84
3．生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程…… 86
4．生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程…… 87

履修要項Ⅲ　看護学部　全学教養科目および学科科目の履修
1．卒業に必要な最低修得単位…… 89
2．授業科目、単位数および履修規程
看護学科
(1) 全学教養科目…… 90
(2) 学科科目…… 94
3．看護学部看護学科科目の履修に関する規程…… 96

履修要項Ⅳ　経営学部　全学教養科目および学科科目の履修
1．卒業に必要な最低修得単位…… 97
2．授業科目、単位数および履修規程
経営学科
(1) 全学教養科目…… 98
(2) 学科科目…… 102

履修要項Ⅴ　資格科目の履修（文学部・生活科学部・看護学部・経営学部）

資格取得にあたって…… 105
1．教育職員免許状取得に関する科目の履修…… 106
2．学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修…… 144
3．社会福祉主事任用資格に関する科目の履修…… 146
4．社会教育主事任用資格に関する科目の履修…… 148
（文学部）
5．学芸員資格に関する科目の履修…… 150
（文学部）
6．日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修…… 152
（文学部）
7．小学校英語指導者認定協会資格認定に関する科目の履修…… 156
（文学部現代英語学科）
8．保育士資格に関する科目の履修…… 158
（文学部児童教育学科幼児保育専攻）
9．社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修…… 164
（生活科学部心理福祉学科）
10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 168
（生活科学部心理福祉学科）
11. 認定心理士資格に関する科目の履修…… 172
（生活科学部心理福祉学科）
12. 福祉心理士資格に関する科目の履修…… 174
（生活科学部心理福祉学科）
13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修…… 178
（生活科学部食物健康科学科）
14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修…… 184
（生活科学部食物健康科学科）
15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 187
（看護学部看護学科）
16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 191
（看護学部看護学科）

履修要項Ⅵ　諸規程・諸制度・その他

1．卒業研究規程…… 195
2．茨城キリスト教大学研究倫理指針…… 198
3．海外研修制度…… 202
4．『異文化体験』の履修 …… 212
5．単位互換制度…… 214
6．派遣学生および特別聴講学生に関する規程…… 216
7．国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程…… 218
8．茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程… 220
9．科目等履修生に関する規程…… 221
10. 聴講生に関する規程…… 223
11. その他…… 225

大学院について

1．文学研究科英語英米文学専攻／修士課程…… 229
2．文学研究科先取り履修制度と、１年半・３年履修制度について…… 230
3．生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程…… 231
4．生活科学研究科心理学専攻／修士課程…… 232
5．看護学研究科看護学専攻／修士課程…… 234

施設案内図および教員研究室配置図

台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針

地震発生時の対処法　原子力災害発生時の対処方法

一般注意事項

茨城キリスト教大学学則

第１章　目的および使命

第１条　本学は茨城キリスト教学園に属する認定こども園、中学校、高等学校と連携し、一貫した教育体系の最高機関として、キリスト教の精神による人格教育に基づき豊かな教養を培うと共に、深く学術を研究教授し、知的応用能力をもって地域社会はもとより広く国際社会に奉仕する人物を養成することを目的とする。

第２章　大学院、学部および附属認定こども園

第２条　本学に次の大学院、学部、学科、専攻および附属認定こども園を置く。

大学院	文学研究科	英語英米文学専攻	
	生活科学研究科	食物健康科学専攻	心理学専攻
	看護学研究科	看護学専攻	
文学部	現代英語学科		
	児童教育学科	児童教育専攻	
		幼児保育専攻	
	文化交流学科		
生活科学部	心理福祉学科		
	食物健康科学科		
看護学部	看護学科		
経営学部	経営学科		
附属認定こども園	せいじ園		
	みらい園		

２　文学部は、幅広く豊かな教養を身につけ、教育、保育、国際交流など、多様な分野において地域社会ならびに国際社会に貢献する人材の養成を目指す。

１）現代英語学科は、国際交流語としての英語の基本的かつ高度な運用能力を有し、国際化する現代社会で活躍する人材を養成する。

２）児童教育学科児童教育専攻は、初等教育に関する専門知識を有し、未来を担う子どもの健やかな成長支援と学校教育等に携わる有為な人材を養成する。

３）児童教育学科幼児保育専攻は、初等教育および保育に関する専門知識を有し、就学前の子どもの教育、保育ならびに子育て支援に関わる人材を養成する。

４）文化交流学科は、国内外の歴史、社会および文化に関する専門知識を有し、実践的な交流を通して世界に奉仕する人材を養成する。

３　生活科学部は、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる、傷つきやすく精妙な人間を癒し、その良き生を守る人材の養成を目指す。

１）心理福祉学科は、心理と福祉、二つの専門領域が相互にその専門性を高めあいながら学生を育み、地域の社会福祉に貢献する人材を養成する。

２）食物健康科学科は、人間の基本的な営みである食を科学と文化の視点から教授研究して地域社会の発展に寄与するとともに、食べ物と健康の関わりを管理、教育する人材を養成する。

4　看護学部看護学科は、生命の尊厳への深い畏敬の念と、人間に対する深い洞察力と温かい感受性を有し、地域の保健医療福祉に貢献する人材の養成を目指す。

5　経営学部経営学科は、幅広い教養と倫理観を備え、経営の専門的知識を有し、地域社会ならびに国際社会で活躍する人材の養成を目指す。

6　大学院の学則については、別にこれを定める。

7　附属認定こども園の園則および必要な規程については、別にこれを定める。

第３章　学生定員

第３条　本学の学生入学定員および収容定員は次のとおりとする。

		入学定員	編入学定員		収容定員
			２年次	３年次	
文学部	現代英語学科	70名	５名	５名	305名
	児童教育学科				
	児童教育専攻	70名	５名	５名	305名
	幼児保育専攻	70名	―	10名	300名
	文化交流学科	60名	―	５名	250名
生活科学部	心理福祉学科	60名	―	５名	250名
	食物健康科学科	80名	―	―	320名
看護学部	看護学科	80名	―	―	320名
経営学部	経営学科	60名	―	５名	250名

第４章　修業年限・学年・学期および休業日

第４条　本学の修業年限を４年とし、在学年限は８年を超えることができない。

2　２年次編・転入学生の修業年限は３年とし、在学年限は６年を超えることができない。

3　３年次編・転入学生の修業年限は２年とし、在学年限は４年を超えることができない。

第５条　学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終る。

第６条　学年は前期、後期の２期にわけ、その期間については、毎年度の学事暦によって定める。

第７条　学年の定期休業日は次のとおりとする。

日曜および国民の祝日に関する法律に規定する休日

夏期休業

冬期休業

春期休業

2　前項の定期休業日のうち夏期休業、冬期休業、春期休業の期間については、毎年度の学事暦によって定める。

3　夏期休業、冬期休業、春期休業の期間中に、補講、集中講義、実習等の授業を行う場合がある。

第８条　臨時休業日については、そのつど学長がこれを定める。

第９条　必要がある場合には、学長は休業日を変更することがある。

第５章　教育課程

第10条　本学の教育課程は、全学教養課程、学科専門課程、および資格課程によって構成する。

2　全学教養課程は、第１条に掲げる本学の使命を全学的かつ中心的に担う課程として、全学教養科

目と称する授業科目群をもって運用し、キリスト教精神にもとづくリテラシー教育を通じて高い見識をそなえた自律的市民の育成を目指す。

3　学科専門課程は、第２条に掲げる各学科の設置目的を実現する課程として、学科科目と称する授業科目群をもって運用する。

4　資格課程は、前二項の課程の補完・深化を目的とする複数の資格・免許課程をもって構成し、その取得要件となる授業科目群をもって運用する。

第11条　授業科目およびその単位数と授業時数は、別表Ｉのとおりとする。

2　別表Ｉの改定を含む教育課程の編成・運用・改善に関わる事項は、『茨城キリスト教大学教育課程の編成・運用・改善に関する規程』において別に定める。

第12条　各学年の授業実施期間は定期試験等の日数も含めて35週を標準とする。

第６章　履修方法および単位算定基準

第13条　履修方法は『履修規程』において別に定める。

第14条　各授業科目の単位数は、次の基準によって算定する。

1）講義については、１時間の授業に対して２時間の準備のための学修を必要とするものとし、15時間の授業をもって１単位とする。

2）演習については、１時間の授業に対して２時間の準備のための学修を必要とし、15時間の授業をもって１単位とする科目、または、２時間の授業に対して１時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって１単位とする科目のいずれかとする。

3）実験および実技については、２時間の授業に対して１時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって１単位とする。

4）実習については、２時間の授業に対して１時間の準備のための学修を必要とし、30時間の授業をもって１単位とする科目、または、45時間の授業をもって１単位とする科目のいずれかとする。

5）卒業研究については、これらに必要な学修等を勘案して単位数を定める。

第７章　学修の評価および試験

第15条　単位を得るためには、その授業科目の授業に出席し、試験に合格しなければならない。ただし、出席時数が前条に定める全授業時数の３分の２に満たない場合には、受験資格を与えない。

2　法定学校感染症の罹患、罹患の疑い、罹患のおそれがある場合の授業欠席は公欠とし、原則として受験資格に関わる前項の算定に含めない。ただし、評価に際して支障のあるときは、当該科目の担当教員と学務部との協議においてその対応を決するものとする。

第16条　学生が履修した授業科目の成績は、当該科目の担当教員がこれを定める。

2　各授業科目の成績は、AA、A、B、C、Fをもって表わし、AA、A、B、Cを合格とする。

第17条　病気その他やむを得ない事情によって、第15条に定める試験に欠席した者は、所定の手続きを経て追試験を受け、単位の認定を受けることができる。

2　卒業見込み者で、一定の条件を満たしている者は再試験を受け、単位の認定を受けることができる。

3　追試験および再試験に関しては、『試験規程』に定める。

第８章　卒業の認定および学位の授与

第18条　本学学則第４条に定める期間本学に在学し、以下に定める授業科目を履修し、文学部各学科・専攻においては124単位以上、生活科学部心理福祉学科においては124単位以上、生活科学部食物健康科学科においては128単位以上、看護学部看護学科においては124単位以上、経営学部経営学科においては124単位以上を修得した者について、当該学生が所属する学部の教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、文学部各学科・専攻を卒業した者には学士（文学）、生活科学部各学科を卒業した者には学士（生活科学）、看護学部看護学科を卒業した者には学士（看護学）、経営学部経営学科を卒業した者には学士（経営学）を授与する。

１）文学部現代英語学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について６単位、「外国語」について英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語）のうち同一言語６単位、「健康スポーツ」について２単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「ICT」について２単位、合計32単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「英語技能科目」について10単位、「演習」について12単位を含み、合計76単位以上を修得しなければならない。

２）文学部児童教育学科児童教育専攻においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について６単位、「外国語」について「英語」４単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語）のうち同一言語６単位、「健康スポーツ」について２単位、「人文」「社会」「自然」について16単位、「ICT」について２単位、合計36単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門科目」について54単位、合計74単位以上を修得しなければならない。

３）文学部児童教育学科幼児保育専攻においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について４単位、「外国語」について「英語」２単位と英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語）２単位を含み合計６単位（ただし「英語以外の外国語」は同一言語２単位または同一言語４単位とする）、「健康スポーツ」について２単位、「人文」「社会」「自然」について16単位、「ICT」について２単位、合計30単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門科目」について60単位、合計80単位以上を修得しなければならない。

４）文学部文化交流学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について６単位、「外国語」について「英語」８単位、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、コリアン、外国語としての日本語、その他の外国語）のうち同一言語６単位、「健康スポーツ」について２単位、「人文」「社会」「自然」について16単位、「ICT」について２単位、合計40単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について30単位、「文化交流を実践する」について「多文化協働」「観光」「地域貢献」「日本語教育」のいずれか１区分から４単位、を含み合計70単位以上を修得しなければならない。

５）生活科学部心理福祉学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について４単位、「外国語」について「英語」４単位、「健康スポーツ」について１単位、「人文」「社会」「自然」について16単位、「ICT」について２単位、合計27単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門基礎科目」について10単位以上、「心理カウンセリング系科目」について４単位以上、「福祉系科目」について４単位以上、「心理福祉教育系科目」について４単位以上、合計92単位以上を修得しなければならない。

６）生活科学部食物健康科学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について４単

位、「外国語」について「英語」4単位、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について12単位、「ICT」について2単位、合計23単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について16単位、「専門基礎分野」について35単位、「専門分野」について47単位、「人間生活領域」について2単位、「応用専門分野」について5単位、合計105単位以上を修得しなければならない。ただし生活科学部食物健康科学科における3年次への進級要件については別に定める。

7）看護学部看護学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「外国語」について「英語」4単位、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について14単位、「ICT」について2単位、合計25単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「専門基礎科目」について27単位、「専門科目」について72単位、合計99単位以上を修得しなければならない。

8）経営学部経営学科においては、全学教養科目のうちの「建学の精神」について4単位、「外国語」について「英語」4単位以上を含み8単位（ただし「英語以外の外国語」を含める場合は同一言語2単位または同一言語4単位とする）、「健康スポーツ」について1単位、「人文」「社会」「自然」について18単位、「ICT」について4単位、合計35単位以上を修得しなければならない。また、学科科目については、「基幹科目」について20単位、「専門科目」について52単位以上、「専門基礎科目」について6単位以上を含み、合計80単位以上を修得しなければならない。

9）生活科学部食物健康科学科および看護学部看護学科を除く各学科・専攻においては、上記合計最低単位数の他に、全学教養科目、自学科科目、他学科科目、他学部科目の中から、文学部現代英語学科においては16単位以上、文学部児童教育学科児童教育専攻においては14単位以上、文学部児童教育学科幼児保育専攻においては14単位以上、文学部文化交流学科においては14単位以上、生活科学部心理福祉学科においては5単位以上、経営学部経営学科においては9単位以上を修得しなければならない。

10）教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学（外国の大学・短期大学を含む）を卒業または中途退学のうえ、本学1年次に入学した者の、他の大学または短期大学における既修得単位を、30単位を超えない範囲で、本学において修得したものとして単位を認定することがある。

11）本学則第22条および第23条により転入学または編入学を許可された者の、入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関しては、『編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程』に定める。なお、デュアル・ディグリー制度を利用して本学に留学する学生（以下デュアル・ディグリー生という）の学位の授与に関しては、『編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程』を準用する。

第9章　入学、退学、転学および休学

第19条　入学の時期は学年の初めを原則とする。

第20条　本学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

1）高等学校または中等教育学校を卒業した者。

2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者。

3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれに準ずる者で文部科

学大臣の指定した者。

4）文部科学大臣の指定した者。

5）高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者。

6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

7）その他、相当の年齢に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

第21条　出願手続き、および選抜の方法は、そのつどこれを公示する。

第22条　他の大学の学生で、当該大学の学長の承認を受けて本学に転入学を志願する者は、選考のうえ2年次または3年次への転入学を許可することがある。

第23条　次の各号の一に該当する者は、各学部教授会の認定により2年次または3年次への編入学を許可することがある。

1）学士の称号を有する者で、編入学を志願する者。

2）短期大学、高等専門学校、工業教員養成所、養護教諭養成所を卒業した者で、編入学を志願する者。

3）学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者で、編入学を志願する者。

4）本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学からのデュアル・ディグリー生。

第24条　入学を許可された者は、所定の手続きを、決められた期間内に終了させなければならない。

2　前項の手続きをしない者については、入学許可を取り消す。

第25条　退学を希望する者は、保証人連署のうえ、その理由書を提出し、許可を受けなければならない。

第26条　願いにより退学した者および本学則第44条により除籍となった者が再入学を希望するときは、その理由書を提出し、許可を受けなければならない。

2　再入学に関しては、『茨城キリスト教大学再入学に関する規程』に定める。

第27条　他の大学へ転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第28条　学内における転科・転部は、試験を行ったうえ、これを認めることがある。

第29条　病気その他、やむを得ない事情により休学を希望する者は、保証人連署のうえ、医師の診断書または詳細な理由書を提出し、許可を受けなければならない。

第30条　休学の期間は通算2年を超えることができない。

2　休学期間は、原則として第6条に定める学年の学期（半期）ごとに設定するものとする。

3　前項の休学期間は在学期間には算入しない。

4　休学期間は、第1項に定める通算2年を限度として、新たな届出により学期ごとに延長できる。

第31条　休学期間中にその事情が変化したときは、願いにより復学を許可することがある。ただし、学期の途中で復学した場合は、当該学期の学納金の全額を納入するものとし、当該学期の休学在籍料は返金する。

第10章　外国において中等教育を受けた学生

第32条　外国において相当の期間、中等教育（中学校および高等学校に相当する学校における教育）を受けた者で、本学に入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより、特別選考を行ったうえ、入学を許可することがある。

第33条　前条に基づいて入学した者については、外国語科目の履修について特例を認めることがある。

第11章　留学

第34条　次の各号の一に該当する者は、各学部教授会の認定により留学を許可することがある。

1）本学との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定または本学からの留学に関する協議が成立している外国の大学・短期大学またはこれに相当する高等教育機関等の授業科目を履修することを希望する者。

2）本学との間にあらかじめデュアル・ディグリーに関する協定を締結している外国の大学において、デュアル・ディグリー制度を利用することを希望する者。

2　前項による留学は、本学における学籍上の扱いを在学のままとする留学（以下在学留学という）とする。

第35条　在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本学における在学年数に算入する。

第36条　在学留学の許可を受けた者が留学した大学等において修得した単位のうち、当該学生の所属する学部教授会が適当と認めたものは、本学の卒業に必要な単位として認定することがある。ただし、認定しうる単位数は、30単位を限度とする。なお、デュアル・ディグリー制度を利用して在学留学する学生の単位認定については、別に定める。

第12章　資格

第37条　本学が開設する各種資格取得のための科目を履修し、単位を修得したものは、次の各項に掲げる資格を取得することができる。

2　教育職員免許法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

1）文学部現代英語学科

高等学校教諭一種免許状（英語）

中学校教諭一種免許状（英語）

2）文学部児童教育学科児童教育専攻

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）

特別支援学校教諭一種免許状（肢体不自由者）

特別支援学校教諭一種免許状（病弱者）

3）文学部児童教育学科幼児保育専攻

幼稚園教諭一種免許状

4）文学部文化交流学科

高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

中学校教諭一種免許状（社会）

5）生活科学部心理福祉学科

高等学校教諭一種免許状（福祉）

高等学校教諭一種免許状（公民）

中学校教諭一種免許状（社会）

6）生活科学部食物健康科学科
高等学校教諭一種免許状（家庭）
中学校教諭一種免許状（家庭）
栄養教諭一種免許状
7）看護学部看護学科
養護教諭一種免許状
8）経営学部経営学科
高等学校教諭一種免許状（公民）
中学校教諭一種免許状（社会）

3　学校図書館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、学校図書館司書教諭となる資格を与える。

4　社会教育法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、社会教育主事となる資格を与える。

5　博物館法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、学芸員となる資格を与える。

6　児童福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、保育士となる資格を与える。

7　社会福祉法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得した者に、社会福祉主事となる資格を与える。

8　社会福祉士及び介護福祉士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部心理福祉学科を卒業する者に、社会福祉士試験受験資格を与える。

9　栄養士法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、管理栄養士国家試験受験資格および栄養士資格を与える。

10　食品衛生法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して生活科学部食物健康科学科を卒業する者に、食品衛生管理者および食品衛生監視員となる資格を与える。

11　保健師助産師看護師法の定めるところにより、本学が開設する授業科目のうち、所定の科目を履修し、単位を修得して看護学部看護学科を卒業する者に、看護師国家試験受験資格を与える。さらに、所定の科目を履修し単位を修得した者には、保健師国家試験受験資格を与える。

12　その他の資格について、取得に必要な要件は別に定める。

第13章　授業料等学納金

第38条　入学金、授業料、設備費、その他学納金、および入学検定料等手数料の金額、および納入方法については、別表Ⅱのとおりとする。

第39条　授業料等学納金は、それぞれ所定の期日までに納入しなければならない。

2　特別の理由がある場合には、授業料等学納金の月割分納、延納、減免を認めることがある。

第40条　前条第２項の規定により分納、延納、減免の取扱いを希望する者は、願書に詳細な理由書をつけて、保証人連署のうえ、学長に提出し、許可を受けなければならない。

第41条　当該学期履修登録期間の最終日までに休学を届出た者は、所定の休学在籍料を納入するものとし、

当該学期分の学納金を納入済の場合は返金するものとする。

2　前項の届出を行った者が当該学期分の学納金延納願を提出済の場合は、当該延納願を無効とする。

3　当該学期履修登録期間の最終日を超えて休学を届出た者に対しては、納入済の当該学期分学納金は原則として返金せず、休学在籍料は徴収しない。

4　延納願を提出した者が前項の届出を行う場合、原則として当該学期分の学納金を延納期限までに納入しなければならない。またこの場合、休学在籍料は徴収しない。

第42条　在学留学生は、在学留学期間中、授業料を除いた学納金の納入を免除する。ただし、在学留学生のうち特に優れた者に対しては、在学留学期間中の授業料の納入も免除することがある。

2　授業料を含む学納金の納入を全額免除される在学留学生を「特別在学留学生」という。特別在学留学生は、手続き料５万円を納入するものとする。

第43条　既納の授業料等学納金は、原則としてこれを返さない。

2　入学前に納入した学納金の取扱いについては、別に定める。

第44条　授業料等学納金を理由なく所定の期日までに納入しない者には催告を行い、なお納入しないときには除籍することがある。

第14章　賞罰

第45条　他の学生の模範となる行為のあった者は、これを表彰することがある。

第46条　学則に違反し、または学生としての本分にもとる行為のあった者は、学長が当該学生の所属する学部教授会の意見を徴し、これを懲戒することがある。懲戒は、退学、停学および訓告とする。

2　退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

1）性行不良で改善の見込がないと認められる者。

2）学力劣等で成業の見込がないと認められる者。

3）正当の理由がなくて出席常でない者。

4）大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

第15章　職員組織

第47条　本学に次の職員を置く。ただし、必要に応じて非常勤の職員を置くことができる。

学長

学部長

教授、准教授、講師、助教、助手

事務部長、次長、事務職員、その他

2　学長は、指名により副学長を置くことができる。

3　学長、副学長、学部長の選出に関しては、『茨城キリスト教大学学長候補者選出規程』、『茨城キリスト教大学副学長選出規程』、『茨城キリスト教大学学部長選出規程』に定める。

第48条　本学の事務組織は、別にこれを定める。

第16章　教授会

第49条　学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、必要な事項を決定するために参酌すべき意見を表明する組織として、本学に各学部教授会および合同教授会を置く。

2　各学部に学部教授会を置き、当該学部の学部長、教授、准教授、講師および助教をもって組織す

る。ただし、学長、副学長、年度毎に雇用契約を結ぶ教育職員を除く。

3　各学部教授会は、当該学部長が主催・招集する。

4　各学部教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。

1）当該学部学生の入学および転科に関する事項。

2）当該学部学生の試験および卒業に関する事項。

3）当該学部学生の指導、厚生、賞罰に関する事項。

4）他学部からの転部に関する事項。

5）当該学部の教育課程に関する事項。

6）当該学部の諸規程に関する事項。

7）当該学部の教員の採用または昇任に関し、学園理事長に推薦する事項。

8）その他当該学部の運営に必要な事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

5　合同教授会は、各学部教授会の構成員をもってこれを組織する。

6　合同教授会は、学長が主催・招集する。

7　合同教授会は、学長に対し意見として表明する次の事項を審議決定する。

1）本学学則・諸規程の改正に関する事項。

2）その他全学の運営に関する事項のうち、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

第50条　学長は、前条に定める各学部教授会および合同教授会の決議を尊重し、原則としてその決議に即して校務をつかさどる。

2　学長は、その法的権能により教授会決議事項と異なる校務の執行を決定するとき、または教授会決議事項を執行しないことを決定するときは、当該教授会に対し速やかにその理由を説明する義務を負う。

第51条　教授会主催者は、必要に応じて事務部長その他事務職員を教授会に出席させることができる。ただし、事務職員は、議決には参加しない。

第52条　その他各学部教授会および合同教授会の運営については、『茨城キリスト教大学教授会運営規則』に定める。

第17章　大学運営会議

第53条　学長が学校教育法の規定に則り校務をつかさどり、かつ所属職員を統督するにあたり、学長の命に基づいて本学の教育研究方針策定と管理運営を担い、またそのために必要な事項を調整する組織として、学長のもとに茨城キリスト教大学運営会議を置く。その構成と具体的職務については、『茨城キリスト教大学運営会議規程』に定める。

第18章　図書館

第54条　本学に附属図書館を置き、茨城キリスト教大学図書館と称し、その利用と運営については、『茨城キリスト教大学図書館利用規程』に定める。

第19章　センター

第55条　本学に学術研究センター、情報センター、地域・国際交流センター、キャリア支援センター、全学教養課程センター、カウンセリング子育て支援センターを置き、それらの運営については、そ

れぞれ『茨城キリスト教大学学術研究センター規程』、『茨城キリスト教大学情報センター規程』、『茨城キリスト教大学地域･国際交流センター規程』、『茨城キリスト教大学キャリア支援センター規程』、『茨城キリスト教大学全学教養課程の編成と運用に関する規程』、『茨城キリスト教大学カウンセリング子育て支援センター規程』に定める。

第20章　派遣学生および特別聴講学生

第56条　本学学生で、本学卒業要件中の科目を他大学または短期大学において履修することを希望する者があるときは、派遣学生として、当該学生の所属する学部教授会の議を経てこれを許可することがある。

第57条　他大学または短期大学の学生で、当該大学の卒業要件中の科目を本学において履修することを希望する者があるときは、本学の教育研究に支障がない限り、特別聴講学生として、各学部教授会または合同教授会の議を経てこれを許可することがある。

第58条　特別聴講学生には本学学則を準用する。ただし、第８章および第14章の各条は適用しない。

第59条　派遣学生および特別聴講学生の授業料その他については、『派遣学生および特別聴講学生に関する規程』に定める。

第21章　聴講生および科目等履修生

第60条　本学学生以外の者で、本学の授業科目中、１または数科目の受講を希望する者があるときは、教育研究に支障がない限り、聴講生および科目等履修生として、これを許可することがある。ただし、科目等履修生の場合は、各学部教授会または合同教授会の議を経るものとする。

第61条　聴講生および科目等履修生の区分は、次の各号による。

１）聴講生：単位の修得を目的としない者。

２）科目等履修生：単位の修得を目的とする者。

３）特別科目等履修生：本学入学前に本学の授業科目を履修する者。

第62条　聴講生および科目等履修生には本学学則を準用する。ただし、第８章および第14章の各条は適用しない。

第63条　聴講生および科目等履修生の受講料その他については、『聴講生に関する規程』、『科目等履修生に関する規程』、『特別科目等履修生に関する規程』に定める。

第22章　公開講座

第64条　本学は適時に公開講座を開設することがある。

第23章　厚生保健施設

第65条　本学に保健室を設ける。

２　保健室の業務を円滑に実施し、学生の健康管理に資することを目的として、本学に学校医を置く。

第66条　本学に学生寮を設け、その利用と運営については、『茨城キリスト教大学学生寮規程』に定める。

第24章　自己点検・評価および授業改善

第67条　本学の教育研究水準の向上を図り、本学創設の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について本学は自ら点検および評価に努める。

２　前項の点検・評価を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学自己点検・評価の規程』

に定める。

第68条　本学は、授業内容およびその方法の改善を図るため、組織的な研修ならびに研究を実施する。

2　前項の研修および研究を行うための組織等については、『茨城キリスト教大学授業改善委員会規程』に定める。

附　則

1　本学則は所轄官庁の認可の日をもって実施する。

附則2から9まで記載省略

10　本学則は昭和51年4月1日から施行する。

11　本学則は昭和53年4月1日から施行する。

附則12から24まで記載省略

25　本学則は平成4年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの入学定員は次のとおりとする。

キリスト教学科　70名
英語英米文学科　100名
児童教育学科　80名

第8章第18条については平成4年3月3日から施行する。

26　本学則は平成5年4月1日から施行する。

27　本学則は平成6年4月1日から施行する。

28　本学則は平成7年4月1日から施行する。

29　本学則は平成8年4月1日から施行する。

30　本学則は平成9年4月1日から施行する。

31　本学則は平成10年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの入学定員は次のとおりとする。

文化交流学科　60名

32　本学則は平成11年4月1日から施行する。

ただし、学則第2章第2条の規定にかかわらず、平成12年度入学生から文学部キリスト教学科の募集を停止し、在学生の卒業を待って同学科を廃止する。

学則第3章第3条の規定にかかわらず、文学部キリスト教学科の編入学定員のうち2年次編入学については平成13年度から、3年次編入学については平成14年度からそれぞれ募集停止とする。

33　本学則は平成12年4月1日から施行する。

ただし、学則第3章第3条の規定にかかわらず、平成12年度の入学定員は次のとおりとする。

英語英米文学科　95名

34　本学則は平成13年4月1日から施行する。

35　本学則は平成14年4月1日から施行する。

36　本学則は平成15年4月1日から施行する。

37　本学則は平成16年4月1日から施行する。

ただし、文学部英語英米文学科に所属する平成15年度以前入学生については、従前の学則が適用される。また、編入学生の受け入れについては次のとおりとする。

平成16年度	平成17年度		平成18年度
2年次・3年次編入学	3年次編入学	2年次編入学	2年次・3年次編入学
英語英米文学科	英語英米文学科	現代英語学科	現代英語学科

生活科学部食物健康科学科の3年次編入学については、平成16年度および平成17年度は従前の学則を適用して募集し、平成18年度から募集停止とする。

38　本学則は平成17年4月1日から施行する。

39　本学則は平成18年4月1日から施行する。

40　本学則は平成19年4月1日から施行する。

41　本学則は平成20年4月1日から施行する。

42　本学則は平成21年4月1日から施行する。

43　本学則は平成22年4月1日から施行する。

44　本学則は平成23年4月1日から施行する。

45　本学則は平成24年4月1日から施行する。

46　本学則は平成25年4月1日から施行する。

ただし、生活科学部人間福祉学科に所属する平成24年度以前入学生については、従前の学則が適用される。また、編入学生の受け入れについては次のとおりとする。

平成25年度	平成26年度	平成27年度
3年次編入学	3年次編入学	3年次編入学
人間福祉学科	人間福祉学科	心理福祉学科

47　本学則は平成26年4月1日から施行する。

48　本学則は2015（平成27）年4月1日から施行する。

49　本学則は2016（平成28）年4月1日から施行する。

50　本学則は2017（平成29）年4月1日から施行する。ただし、第15条の規定は、2017（平成29）年度に在籍する全学生に適用する。

51　本学則は2018（平成30）年4月1日から施行する。

52　本学則は2019（平成31）年4月1日から施行する。

53　本学則は2020（令和2）年4月1日から施行する。

54　本学則は2021（令和3）年4月1日から施行する。

学則別表Ⅰ・Ⅱ

別表Ⅰは省略する。別表Ⅰの内容は履修要項Ⅰ～Ⅳで確認できる。

別表Ⅱ

学納金

	年額	納入方法		備考
		前期	後期	
入　学　金	250,000円			入学時のみ
授　業　料	740,000円	370,000円	370,000円	文学部、生活科学部、経営学部
〃	1,000,000円	500,000円	500,000円	看護学部
設備拡充費	300,000円	150,000円	150,000円	文学部、生活科学部、経営学部
〃	320,000円	160,000円	160,000円	看護学部
休学在籍料	120,000円	60,000円	60,000円	届出方法等については別に定める

実験実習費

	年額	納入方法		備考
		前期	後期	
情報教育費	20,000円	20,000円		入学時のみ、全学科。
管理栄養士養成・実験実習費	200,000円	100,000円	100,000円	毎年度、生活科学部食物健康科学科。
看護学科実験実習費	300,000円	150,000円	150,000円	毎年度、看護学部看護学科。
児童教育学科実験実習費	20,000円	20,000円		毎年度、文学部児童教育学科。

	金額	納入年度	
保育実習費	40,000円 20,000円	履修登録年度の5月下旬	文学部児童教育学科履修者のみ。実習期間により実習費が異なる。
社会教育実習費	20,000円		履修者のみ
博物館実習費	20,000円		履修者のみ
心理福祉実習費	20,000円		生活科学部心理福祉学科履修者のみ
相談援助実習費	40,000円 20,000円		生活科学部心理福祉学科履修者のみ
心理実験費	10,000円		生活科学部心理福祉学科「心理学実験Ⅰ」履修者のみ
心理実習費	30,000円		生活科学部心理福祉学科履修者のみ

資格課程費

種類	金額	納入年度	備考
教職課程費 幼稚園教諭一種免許状（幼児保育専攻）	5,000円	2年次の5月下旬	履修者のみ。中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状については、取得する免許教科の種類ごとに教職課程費を納入する。 所定の時期に教職課程費を納入しない場合、それ以降の教職課程科目を履修できないので注意する。
教職課程費 小学校教諭一種免許状	10,000円		
教職課程費 中学校教諭一種免許状	5,000円		
教職課程費 高等学校教諭一種免許状	5,000円		
教職課程費 栄養教諭一種免許状	5,000円		
教職課程費 養護教諭一種免許状	5,000円		
教職課程費 幼稚園教諭一種免許状（児童教育専攻）	5,000円	3年次の5月下旬	
教職課程費 特別支援学校教諭一種免許状	5,000円		
保健師国家試験受験資格課程費	50,000円	4年次の5月下旬	保健師国家試験受験資格取得希望者のみ。

手数料

種類	金額	納期	備考
入学検定料	32,000円	出願時	全学部共通
大学入学共通テスト利用入試検定料	16,000円		1学科（専攻）
	25,000円		2学科併願
	30,000円		3学科併願
追試験料	1,000円		1科目につき
再試験料	5,000円		1科目につき
転科・転部審査料	10,000円		

履 修 に つ い て

1．教育目標 …… 17

2．学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）…… 18

3．教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）…… 22

4．授業、単位と卒業要件 …… 30

5．履修登録 …… 32

6．授業の履修 …… 34

7．試験規程 …… 35

8．科目コードと科目ナンバリング …… 41

1．教育目標

茨城キリスト教大学は、建学の精神である「隣人愛」に基づいた共生の精神を土台として、学問の探求の基盤となる教養と知識、技術を修得し、地域社会はもとより広く国際社会に貢献できる人材を育成することを教育目標としています。

2．学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

茨城キリスト教大学は、キリスト教精神に基づき、さまざまな分野で人と社会に進んで奉仕し、人類の福祉と世界の平和に貢献できる「隣人愛」をもった人の育成を目的としています。そのため、謙虚に真理を追究して豊かな教養を身につけるとともに、各学部・研究科の専門課程における学修を通じ、以下の諸能力を備えたと認められる人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神に基づき、社会的倫理にもとる偏見、臆見、欺瞞、誤謬、差別意識等から「自由」であり続けようとする公正性

＜学力の 3 要素＞

（学部）基礎的・基本的な知識・技能

（大学院）専門的かつ深遠な知識・技能

それらの知識・技能を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力

学修に主体的に取り組む態度

文　学　部

文学部では、現代社会に対する独創的で堅実な視点から、「英語」「教育」「保育」「異文化交流」など多様な分野において地域と国際社会に奉仕できる人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（文学）の学位を授与します。

現代英語学科

現代英語学科では、豊かな教養を身につけるとともに、現代英語に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、英語を用いて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

国際交流語としての英語に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して他者と英語でコミュニケーションを図りながら、社会的・国際的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

英語を用いたコミュニケーションや諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

児童教育学科

児童教育学科では、豊かな教養を身につけるとともに、幼児・児童の教育・保育・福祉全般に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

児童教育専攻

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、児童教育・福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

児童の心身の発達・成長や教育、保護者に対する支援についての基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して児童教育・福祉全般の社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

児童教育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

幼児保育専攻

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、幼児保育・福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

幼児の心身の発達・成長や幼児に対する教育・保育、保護者支援に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して幼児教育・福祉全般の社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

幼児教育・福祉全般の社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

文化交流学科

文化交流学科では、豊かな教養を身につけるとともに、文化交流に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、異文化間交流を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

アジア・欧米など諸地域の文化とその歴史的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して国際的・地域的な諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

国際的・地域的な諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

生活科学部

生活科学部では、心と生命を持ち、共同体の中で自然と共生しながら生きる傷つきやすく精妙な人間を癒し、その良き生を守る「心理」「福祉」「食物」などの分野における人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、各学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（生活科学）の学位を授与します。

心理福祉学科

心理福祉学科では、豊かな教養を身につけるとともに、心理と福祉に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、心理的ケアと福祉を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

人間の心理および現代社会における福祉のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して日常生活で直面する心理や福祉の個人的・社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

心理や福祉の個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

食物健康科学科

食物健康科学科では、豊かな教養を身につけるとともに、食物と健康に関わる以下の専門的諸能力を備えた人に学位を授与します。

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、食と健康の専門職として諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

食と健康に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して食と健康に関わる課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

食と健康に関わる課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

看 護 学 部

看護学部では、人々の「よき生」を支え育むことに寄与する「知恵」を持った看護人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、看護学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（看護学）の学位を授与します。

看護学科

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、看護における人間愛を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

看護全般の科学性やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して看護に関わる個人的・社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

看護に関わる個人的・社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

経営学部

経営学部では、経営学の専門知識、経営に関する倫理観と行動力（社会人基礎力）を持ち、それによって現実社会に適切に対応し、将来を見据える能力を備えた人財の育成を目的として、全学教養課程の学修を通じ幅広く豊かな教養を身につけるとともに、経営学科の専門課程において以下の専門的諸能力を備えたと認められる人に学士（経営学）の学位を授与します。

経営学科

＜建学理念＞

キリスト教精神（隣人愛）に基づき、経営におけるリーダーシップ、コミュニケーション能力、状況判断能力等の行動力を通じて諸人生のいとなみに奉仕しようとする実践的ボランタリズム

キリスト教精神と専門的・職業的倫理に基づく公正性

＜学力の 3 要素＞

マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーション分野のあり方やその歴史的・理念的背景に関する基礎的・基本的な知識・技能

それらの知識・技能を活用して経営に関わる社会的諸課題を解決してゆく思考力・判断力・表現力

経営に関わる社会的諸課題解決のための学修に主体的に取り組む態度

3．教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

茨城キリスト教大学は、別に定める学位授与方針に基づき、全学教養課程、各学科・専攻における専門課程、ならびに大学院修士課程を次の方針により編成します。

全学教養課程

本学は、各学科・専攻において別に定める学位授与方針をふまえ、全学部学生が共通して学ぶ全学教養課程を次の方針に従って編成します。

＜方法と理念＞

すべての学生の人間的成長を促し、もって次代の創造に参画するよき市民の育成をめざします。

キリスト教の精神に基づいた全人格的教育の展開を通して、現代社会において自立した個人として、またよき隣人として、自他を尊び「共に生きる」精神を育みます。

自然ならびに人間社会に対する畏敬をもって調和と共生を図るために自ら行動することができる人物の育成をめざします。あわせて、心身の健康に関心を持ち、その促進のために科学的視点をもって行動することができる人物の育成をめざします。

充実したリテラシー教育の展開とともに、自然、歴史、地域社会、先人の知恵とあわせて現代科学におけるさまざまな知見に学ぶ機会を提供することにより、高度情報社会をしなやかに生きるバランス感覚と行動力に優れた人物を育みます。

世界の多様性の認識と異文化への理解を深めるとともに、自身の言語と文化を尊び継承し発展させることができる人物の育成をめざします。

言語や文化の異なる人々とのさまざまな交流や共同体験を通して、たがいの文化を尊重しつつ人類社会の成員として共生していくための開かれた精神と幅広い視野を備えた人物を育みます。

教養ある専門職従事者の育成に積極的に貢献します。教養ある人格こそがその専門性を高めるとの観点にたち、それぞれの学部・学科・専攻においてめざされている専門性を支え、それを広げ、活かすために不可欠なものとして教養教育を位置づけます。また優れた専門性は、教養ある人物から紡ぎだされるものであるとの観点にたち、すべての年次において教養教育と専門教育を有機的に配置し、相互の関連性と統合性を重視したカリキュラム展開を図ります。

全学に学ぶ学生同士の積極的な交流を通して、自らの専門性を相対化して捉える視点を養うとともに、将来、他分野との協働を通して人類福祉のために積極的に貢献することができる人物を育みます。

＜分野＞

建学の精神、基礎演習、人文、社会、自然、外国語、健康スポーツ、留学、情報の計９分野（科目区分）で構成します。

＜年次＞

多様な興味・関心や履修希望時期の個人差、進度・編成の異なる各学科専門科目との適切な連携等に対応するため、大半の科目については１年次から履修可能となるよう編成します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準

に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

現代英語学科

現代英語学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

＜方法と理念＞

習熟度別クラス編成により、実践的な英語の技能を身につけることのできるスキル科目群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、同世代の英語母語話者（インターン生）等の異なる文化背景を有する人々と英語を使って積極的に関わり、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、地域・国際交流センターのバディとして留学生を支援したり、日本語を教えたりするボランティア等を各授業を通じて推奨します。

＜分野＞

英語を専攻する者として必要な知識を学び、国際社会における英語の役割を理解し、英語圏以外の文化に対しても広い視野と公平さを身につけることを目的とした「現代英語基礎演習Ⅰ」「現代英語基礎演習Ⅱ」を設置します。

＜年次＞

１、２年次には、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能および非言語コミュニケーション技能の伸長をめざし、実用的なレベルの英語運用能力を身につけるための必修科目を配置します。３、４年次には、グローバル化社会を生き抜く職業人に必要なスキルと教養を身につけるための選択科目を「グローバル・コミュニケーション」「ホスピタリティ」「言語教育」「言語と文化」「演習」「アクティブ・ラーニング」の各分野に幅広く設置します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

英語圏の文学・歴史・文化について研究し、「生きる意味とは」「幸福とは」など、人のもつ根本的な問いについての答えを探求し、その過程で人間としての成長を図ります。

児童教育学科

児童教育学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

児童教育専攻

＜方法と理念＞

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、

履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション、模擬授業や場面指導等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、こども達に実際に関わる教育ボランティア等を各授業を通じて推奨します。

＜分野＞

教育学・教育心理学・児童学に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、その周囲に学術的関連科目群や特別支援教育、音楽・美術・体育・労作体験などの実技科目群をふんだんに配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に３年次の初等教育実習や、３・４年次の児童教育演習（ゼミ）では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

＜年次＞

学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、１年次は基幹及び関連科目課程、２年次は初等教育（小学校）課程、３年次は初等教育（幼稚園）及び特別支援教育課程、４年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

４年間を通して「IC教職履修カルテ」の各評価シートに基づき、具体的・効果的且つ実践的に学修成果を把握し、教職をめざして学修を重ねていくことで、何を学んだのかを振り返り、今後の課題を明らかにして行動化するための手がかりを得ることを支援します。

幼児保育専攻

＜方法と理念＞

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習科目や実技・実習科目では、グループディスカッションやロールプレイ、保育教材を用いたプレゼンテーション、指導案に基づく場面指導等のアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、こども理解を深め、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践の中で学ぶ力や公正性を身につけるため、こども達に関わる保育ボランティアや学園内附属こども園での研修等を推奨します。

＜分野＞

保育学・保育心理学・子育て支援に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、その周囲に学術的関連科目群や、音楽・美術・体育・労作体験などの実技科目群をふんだんに配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に２年次の初等教育実習（幼稚園）や３、４年で行う保育実習（保育所・施設）では、実習後の大学での振り返りを行いPDCAサイクルの中で上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務めると同時に、自らのこども観を問い直し「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

＜年次＞
学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、1年次は基幹及び関連科目、2年次は保育内容研究科目、3年次は障害児保育や子育て支援科目、4年次は専門領域研究・実践科目を置くことを基本として構成します。
＜評価＞
学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。
＜その他＞
4年間を通して「IC教職履修カルテ」の各評価シートに基づき、具体的・効果的且つ実践的に学修成果を把握し、教職や保育職をめざして学修を重ねていくことで、何を学んだのかを振り返り、自らの子ども観を構築し、人間理解を深め、今後の課題を明らかにして行動化するための手がかりを得ることを支援します。

文化交流学科

文化交流学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。
＜方法と理念＞
文化交流に関する基本知識やスキルを身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また、演習科目や実技･実習科目では、「文化交流体験」「多文化協働演習」「地域貢献演習」などのアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力･判断力･表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、地域貢献や異文化交流等を各授業を通じて推奨します。
＜分野＞
文化交流を学習するために必要な基礎科目群を設定したうえで、応用科目として多文化協働、観光、地域貢献、日本語教育に関する一連の講義や演習科目を配置し、知識･技能の拡大と深化、思考力･判断力･表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に3～4年次の文化論演習（ゼミ）では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。
＜年次＞
学科専門科目は教養科目との融合を図りつつ、1～2年次では文化交流に関する基礎的科目、3～4年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。また、4年間を通して、アジア・欧米などの諸地域の文化に関する一連の知識・技能を習得します。
＜評価＞
学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。
＜その他＞
学修成果の評価は、各科目のシラバスにおける授業の到達目標に照らし合わせ、成績評価の方法・基準

に合わせて適切に行います。また、国内外でのフィールドワークやアクティブ・ラーニングに関する評価は、当該活動で課している報告書等で評価し、学科独自のニューズ・レターでその成果を学内外に発表していきます。

心理福祉学科

＜方法と理念＞

わかり易い資料に基づく解説等により基本的な知識・技能を身につけることのできる講義群を編成し、履修者自身が予習や復習をもってその深化を図ることを同時に支援します。また特に演習や実習科目では、グループ・ディスカッションやロールプレイ、プレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングを取り入れて知識・技能の習熟を図るとともに、課題解決に主体的に向き合う態度や思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、心理・福祉に関わるフィールドワークやボランティアなどを各授業を通じて推奨します。

＜分野＞

心理学・社会福祉学に関わる科目群を知識修得の基礎分野として設定し、演習・実習・実験などの実技科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。特に３年次の心理実習・心理学実験や相談援助実習、３・４年次の心理福祉演習（ゼミ）では、上記諸能力の総体を確認しながら更なる深化に務め、もって「頭と心と身体」をバランスよく鍛える教育課程を展開します。

＜年次＞

１年次は教養科目・基幹科目を中心とした基礎課程、２年次は心理カウンセリング系科目・福祉系科目の専門科目の中でも基礎的な科目を中心とした専門基礎課程、３年次はより専門的科目や実習・実験を中心とした専門応用課程、４年次は専門領域研究・実践課程を置くことを基本として構成します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

心理学系については、学部において公認心理師国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を４年間にバランス良く配置し、心理学に関する専門的知識及び技術の習得を支援します。

社会福祉学系については、社会福祉士国家資格の取得に必要とされる講義・演習・実習科目を４年間にバランス良く配置し、少人数による指導によって社会福祉士として求められるソーシャルワークの知識・技術・価値観の修得を支援します。

食物健康科学科

食物健康科学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

＜方法と理念＞

食物健康科学に関連する幅広い知識と専門性ならびに管理栄養士、栄養士、食品衛生監視員、栄養教諭、家庭科教諭等の専門職業人に必要な適性や知識・技能を身につけるための課程を講義、実験・実習、演習

により編成します。特に、講義科目においては、学生参加型学習、グループ学習など双方向型の教育方法を通して、主体的・能動的な学修態度を育みます。実験・実習科目においては、多様な形態のグループ学習を通して、コミュニケーション能力ならびに思考力・判断力・表現力の育成を図ります。また、そうした学修を補完しながら実践的ボランタリズムや公正性を身につけるための活動として、人々の健康づくりや食育に関わるボランティア等を各授業を通じて推奨します。

＜分野＞

食物健康科学への興味・関心の醸成ならびに専門性の土台となる食と健康にかかわる基礎知識修得のための科目群を専門基礎分野として設定します。専門基礎科目の学修をふまえ、さらに人々の健康づくりを担う専門職に必要な知識・技能の拡大と深化、思考力・判断力・表現力の醸成、主体的に学修に取り組む態度の育成を図るための科目群を専門分野として設定します。

また、科学的・論理的な思考および総合力を養うために、卒業研究を設定します。

＜年次＞

学科専門科目は初年次教育科目、教養科目との融合を図りつつ、１、２年次は専門基礎分野の関連科目課程、２～４年次は専門分野の関連科目課程、４年次は専門領域研究、管理栄養士国家試験対策の課程を置くことを基本として構成します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

個人毎に履修系統図に基く学修計画を作成し、アセスメントテスト、学修ポートフォリオの結果等を踏まえて自己評価を行ない、課題の明確化や行動目標の設定・実施が円滑に進むよう支援します。

看護学科

看護学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

＜方法と理念＞

看護専門職として社会に貢献できる看護実践者の育成をめざし、幅広い職業選択を可能にするために、看護師国家試験受験資格に加えて、選択履修により保健師国家試験受験資格や養護教諭一種免許状を取得できるカリキュラムを編成しています。

地域の特性を活かし、放射線利用や災害と看護に関する専門的知識を学ぶ科目を設置しています。

看護展開において必要な科学的思考と判断力を養うための演習科目を、１～４年次を通し展開するとともに、シミュレーションモデルを用いた教育を実施し、看護技術の実践能力を強化します。

＜分野＞

豊かな人間性を育むために、建学の精神であるキリスト教の基礎知識や、人文・社会・自然のすべての側面から全学教養課程を学ぶ構成とし、また倫理的態度を身につけていくための科目を段階的に配置しています。

＜年次＞

学科専門科目は、教養科目との融合を図りつつ、科学的知識・技術、問題解決能力、コミュニケーション能力を含む専門職人としての確かな実践力を体系的に養うため、１年次では専門基礎科目、２年次では

看護学の基本と看護展開の基礎、３年次では実習を基本とする看護展開の応用、４年次では看護学の発展に関する科目を配置しプロフェッショナルへの学びを積み重ねていく構成としています。

さらに、看護展開において必要な科学的思考と判断力を養うための演習科目を、１～４年次を通し展開するとともに、シミュレーションモデルを用いた教育を実施し、看護技術の実践能力を強化します。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

自らの関心を深め自律的・能動的に学習する態度を育成するとともに、生涯学習の動機づけを図るため、４年次に選択科目を配置しています。教育目標に基づく各教科の目的達成を確認しつつ、科学的思考基礎演習科目において実践能力確認試験の合格及び、最終学年に計画されている科学的思考基礎演習科目Ⅶの客観的臨床能力試験、研究方法論演習、総合実習の学修過程と成果を持って、教育目標の達成を確認します。

経営学科

経営学科は、別に定める学位授与方針に基づき、学科専門科目について次の方針に従って教育課程を編成します。

＜方法と理念＞

経営学科では「豊かな教養と専門性を備えた人材の育成」を念頭に、学問的素養を高め、経営学の各々の専門分野での知識や技能を育む一方、広く社会のニーズに合致するため、対人能力や問題解決能力に優れた資質を持つ人材の育成を重視しています。そのため講義形式の授業に加えて、グループワークを多く取り入れた演習授業を初年度から行い、リーダーシップ力を養う参加型の実践教育を活用します。卒業後は民間企業や公的機関等で活躍し、将来、国際社会や地域社会に広く貢献できる質の高い人材の育成を目指しています。

社会で必要な知識・能力においては、

①一般教養と倫理性（基礎学力・社会常識、倫理観と豊かな人間性の醸成）

②専門的知識・スキル・分析能力

③意思決定、リーダーシップに関わる総合的能力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力）

が重要であると考え、それらをバランスよく修得できる履修科目の編成を施しています。

＜分野＞

経営学における基幹科目のうち、経営学入門およびリーダーシップ演習を基本的な知識および社会人基礎力養成のための基礎分野として設定し、専門基礎科目における科目群を配置することで、知識・技能の拡大と深化、公正な判断力・豊かな表現力の醸成、学修に主体的に取り組む態度の育成を図ります。同時に、マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーションの３分野の専門科目群が、専門知識と問題解決能力、行動力を備えた優れた専門性を備えた社会人としての能力を育成します。特に３・４年次からの必修科目である経営演習（ゼミ）では、上記諸能力を高めながら統合できる力を発揮できるように体験的学習にも努め、社会のビジネスリーダーとしてふさわしい能力を養う教育課程を展開します。

＜年次＞

１～２年次においては、基礎的な能力を高めるために、入門科目とともに演習科目を必修とし、上記②、③の能力を育成するとともに、専門科目では、マネジメント、会計・ファイナンス、地域イノベーションの３分野を中心に、学生の将来の進路に応じた必要科目を年度別、段階的に選択できるように配置しています。３、４年次には経営演習ゼミナールによって、指導教員の下で更に自らの専門性を磨く密度の高い教育を行います。評価においてはGPA制度による公正かつ客観的な運用に努め、「学生が何を身に付けたか」を重視して学生の進級判定、卒業認定、学修支援を行います。

また、今日求められている地域社会に貢献する人材とグローバル社会で活躍する人材の育成を主眼として、専門科目に両系統（グローバルと地域）に関する充実した選択科目群（プログラム）を設置し、履修条件を満たした学生には修了認定を与えるグローバルビジネス・プログラムと地域マネジメント・プログラムを取り入れています。

＜評価＞

学修成果の評価は、学位授与方針に掲げる各項目（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学修に主体的に取り組む態度、実践的ボランタリズム、公正性）をふまえた各科目の到達目標、評価方法、評価基準に基づき適正に行います。その詳細については各科目の授業概要（シラバス）に記載します。

＜その他＞

経営学科では、将来、地域社会や国際社会で活躍できる質の高い人材育成を目指しており、単なる知識や技能習得だけでなく、地域の連携の中で活動し、実践的ボランティアリズムをはじめとして学生が主体的かつ実践的に取り組めるような外部との交流、意見交換、実施体験のできる機会を授業に取り入れるように努める。

4．授業、単位と卒業要件

(1) 授業、学期と時間割

本学では、１年を前期と後期の２期に分け、学期毎にどの曜日も15回（週１回の場合）を基準として授業を実施できるよう学事暦が定められている。

１日の授業時間は６つの時間帯に分けられ、それぞれ１時限～６時限と呼ばれる。１つの時限は単位計算上１コマ２時間と換算されるが、実際の時間は90分である（但し、授業形式が実習のものは除く）。

学期中の平日に限らず、土曜や休業期間を含めて、集中的に授業を行うものを集中講義と呼ぶ。

(2) 単位

授業科目ごとに単位が定められている。履修登録をし、試験に合格することで単位を修得することができる。ただし、出席時数が当該授業の全授業時数の３分の２に満たない場合は単位を修得することはできない。

各学科、入学年度で卒業や免許・資格に必要な修得単位が定められており、その条件を満たさないと卒業や免許・資格の取得ができないので注意してほしい。

(3) 単位の基準

１単位の授業時間は、原則として次の基準による。

授業種類	授業時間と単位数	半期コマ数と単位
講義科目	15時間（毎週１時間の15週）の授業をもって１単位とする。	半期１コマ２単位
演習科目	15時間または30時間（毎週１時間または２時間の15週）の授業をもって１単位とする。	半期１コマ２単位または１単位
実験･実習･実技科目	30時間または45時間（毎週２時間または３時間の15週）の授業をもって１単位とする。	半期１コマ１単位または半期1.5コマ１単位

※「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を与える。

(4) 卒業認定と学位

本学に４年以上在学し、所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、次の学位が授与される。

学部	学位
文　学　部	学士(文学)
生活科学部	学士(生活科学)
看 護 学 部	学士(看護学)
経 営 学 部	学士(経営学)

(5) 本学入学前に修得した単位の認定

1）本学１年次入学生

本学入学以前に他大学または短期大学等で修得した単位および特別科目等履修生として修得した単位がある場合、本学において修得した単位として認定することがある。単位認定希望者は、できるだけ授業開始前（履修相談日）に学務部まで相談すること。

2）編転入学生

編転入学を許可された者が入学前に修得した単位のうち、本学における卒業要件科目に相当すると認められる科目について２年次編入生は30単位、３年次編入生は60単位を越えない範囲で、本学において修得したものとしてその単位を認定することがある。

基本的に、２年次編入生については１年次開講科目、３年次編入生については１～２年次開講科目の範囲で、科目の内容が共通と認められた場合、単位を認定する。学生本人が認定を希望しない科目については、認定しない。

資格関連科目に関しては３年次以上の配置科目についても認定する場合がある。

教職課程の科目に関して、本学に入学する前の大学が短期大学である場合は、二種免許状に係る科目の単位数が上限となる。また、道徳教育に関する科目は再履修しなければならない。(教育職員免許法施行規則第３条表備考４および10条の２)

5．履修登録

(1) 履修登録について

履修登録とは、授業を受け単位を修得するために、年度毎にその年度の受講計画を立て、履修科目をあらかじめ登録する手続きのことである。登録は各年次に配置された必修科目を第一にし、つぎに選択科目、資格科目を考慮し、その年度の登録科目を決定する。その際、この冊子内容をよく参照すること。正当な理由なしに期間内に登録を終えない者、登録手続きに不備のある者は、授業の受講や単位も認められないので注意すること。

(2) 履修登録の注意

① 文学部、生活科学部、看護学部各学科の１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。
経営学部経営学科の１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が47単位未満で、総単位数は56単位以内とする。ただし、前学年度のGPAが3.0以上の学生は、卒業要件科目については50単位未満、総単位数は60単位まで履修することができる。

② 該当年次より上位年次配置科目は履修できないが、下位年次配置科目は履修できる。

③ 他学科・他学部科目で履修可能科目があり、卒業要件となる場合がある。但し、履修できない科目や制限がある科目もあるので、この冊子をよく読み担当教員に確認すること。

④ 履修制限（指定クラス等）については、履修登録の手引きで確認し、登録すること。

⑤ 履修登録確定後、登録した科目の変更は認めないので、十分注意すること。

⑥ 後期開講科目も原則として４月に登録すること。なお、後期開始時に別の科目を追加して登録することもできる。詳細は学務部の窓口で確認すること。

(3) 履修科目の取消

履修登録した学生は、下記の指定期間内に履修科目の取消ができる。

履修科目の取消をする場合は、必ず自己の責任において、単位数の確認計算を行った後に、履修科目取消届を、決められた期間内に学務部に提出すること。

取消をした科目は、評価の対象から除外される。履修科目の取消をする場合は、科目の重要性（必修科目、卒業要件単位等）を考えて慎重に行うこと。

①「履修科目取消届」受付期間

前期・通年科目	５月下旬 前期試験前
後期・通年科目	10月下旬 後期試験前

※具体的な取消届受付期日については「履修登録の手引き」で確認すること。

※学外実習科目、集中講義科目、前期または後期の途中で終了する科目、卒業研究については、別に取

消締切日を設ける。

② 追加登録については、(2) 履修登録の注意の⑥（32ページ）を参照のこと。

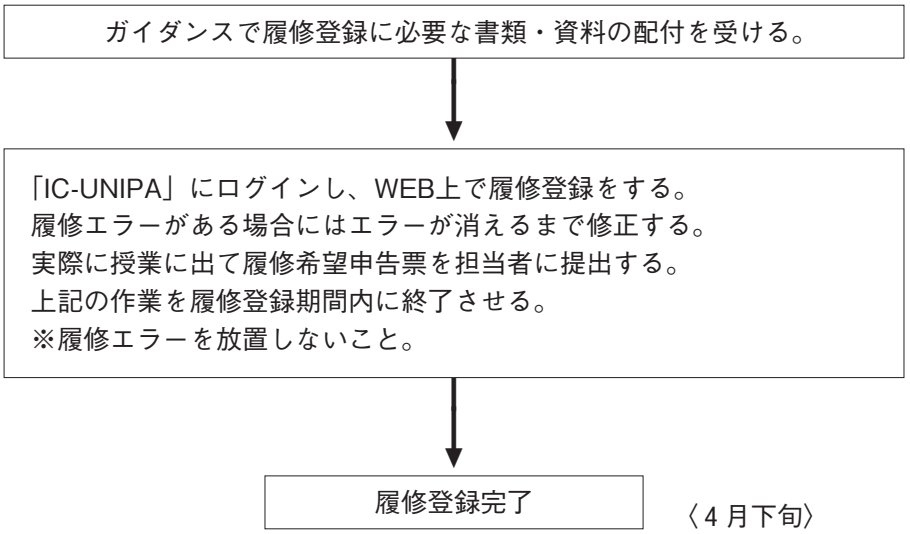
(4) 履修登録の方法および注意事項

履修登録は、WEBサービスシステムである「IC-UNIPA」のWEB履修の機能を使って行う。詳細については別途配付の「履修登録の手引き」等を参照すること。

履修登録は、定められた期間に必ず済ませ、登録漏れがないように注意すること。万一履修エラーがある場合はそのまま放置しないようにすること。

なお、履修登録した科目は、「IC-UNIPA」上で確認できる。

履修ガイダンスから履修登録の完了まで



6．授業の履修

(1) 授業を受ける際のマナー

授業を受ける際には受講マナーを守り、他の学生の迷惑にならないよう注意すること。ごく当たり前のことを一人一人が気を付けることが大切である。

① 私語
周りの学生の迷惑になるので、質問以外は発言しないようにすること。

② 授業中の入退室
遅刻をして入室することのないよう注意すること。万一、体調不良等止むを得ない事情で途中入退室する場合は、挙手をして授業担当者の許可を得ること。

③ 携帯電話（スマートフォンを含む）
授業中は電源を切るか、マナーモードにし、カバンの中にしまうこと。ただし、授業担当者の指示で授業中に使用する場合がある。その際は授業担当者の指示に従うこと。

④ その他、授業中に控えるべき事項
「居眠りをする」「ガムや飴、食べ物を食べる」「化粧をする」「筆記用具やノートを持ってこない」「サングラスをかけたまま」「帽子をかぶったまま」等。

(2) 公欠制度

学校保健安全法施行規則第19条に規定されている感染症に感染したり、感染の疑いがある場合は「公欠」となるので、事由が判明した段階で速やかに学務部に連絡し、「公欠届」を提出すること。なお公欠となった場合の取り扱いは次のとおりとする。

① 当該欠席時数は「失格」(出席時数が全授業時数の 3 分の 2 に満たない場合) を決する算定に含まれない。

② 評価に際して減点材料とされない。ただし、授業担当者が評価上支障があると判断する場合は、別途レポート課題を課す等、評価のための追加措置を指示されることがある。

③ 定期試験が公欠となる場合は追試験を実施する。

なお、公欠とならないその他の事由による授業欠席は、いかなる事由であってもすべて「失格」判定における欠席回数に数えられるので注意すること。学外実習、忌引き、病欠、ケガ等についてもすべてその対象となる。

また、授業時数 3 分の 1 以下の欠席を認める本学学則条項は、忌引きや病欠等の止むを得ない欠席を想定したものである。止むを得ず欠席しなければならない事態に備えるため、これに該当しない欠席は厳に慎むこと。

7．試験規程

本学においては、年間２回の定期試験を実施している。即ち、前期終了時の前期試験と年度末の後期試験である。その他、授業によっては、随時試験が行われることがある。

いずれの場合も、学生の本分に従い厳正に受験しなければならない。もし不正行為があれば、学則第46条に基づいて懲戒の対象とする。

(1) 試験規程

第１条　本規程は、本学学則第15条から第17条に基づき、本学において実施される定期試験等に関し、必要な事項を定めるものである。

第１章　定期試験

（定期試験）

第２条　定期試験とは、あらかじめ定められている期間に実施される試験で、前期末試験、後期末試験およびそれに準ずる試験を基本とする。

（受験資格）

第３条　出席時数が当該授業の全授業時数の３分の２に満たない者、および当該学期の学納金が未納の者は、受験資格を失う。仮に、これらの事実を確認せずに受験してしまった場合においても、その受験は無効となり、評価は「失格」となる。

（受験心得）

第４条　試験室においては、すべて担当教員の指示に従わなければならない。

2　受験に際しては、有効な学生証（仮学生証を含む）を机上に呈示しておかなければならない。

3　試験室への携帯品はカバンに入れるか､担当教員の指示する所定の位置に置くものとする。なお、携帯電話等の機器類の電源は必ず切っておかなければならない。

4　試験開始時刻に遅刻した場合は、担当教員の指示に従うこと。

5　試験途中での退室を認められた場合を含み、試験室を退出する場合は、必ず答案用紙を提出してからでなければならない。

6　試験室内においては、不正行為および不正行為を助ける行為をしてはならない。

7　不正行為および不正行為を助ける行為を行った者の答案は無効とし、その科目の評価は「失格」とする。それ以外の処置については、当該学生の所属する学部教授会において決定する。

8　前項によって「失格」の評価を受けた学生が再び不正行為を行った場合には、当該学期において登録している全科目の評価を「失格」とし、それ以外の処置については、当該学生の所属する学部教授会において決定する。

（不正行為）

第５条　不正行為とは、次のような行為を言う。

①　他人（自分以外の人）に代理受験を依頼して行わせた場合、および代理受験をした場合

②　他人のために答案、メモを書いたり、他人に答案、メモ等を書いてもらったりしている場合

③　持ち込みを許可されていない教科書、参考書、ノート、メモ等を見ている場合

④　他人の答案を見たと認められる場合
⑤　他人に自己の答案を見せたと認められる場合
⑥　口頭あるいは動作によって、試験の内容について互いに連絡している場合
⑦　持ち込みを許可されている教科書、参考書、ノート等を互いに貸借している場合
⑧　その他監督者が不正行為と判断する場合

2　不正行為は試験室内で指摘された場合に限らず、採点の際に発見された場合も同様の扱いを受ける。

第２章　追試験

（追試験）

第６条　以下に挙げる正当な理由により定期試験を受けることができなかった者は、学則第17条に基づき、本人の願い出により追試験を受けることができる。

①　天災地変のため試験を欠席した者
②　近親者（三親等以内）の死亡によって試験を欠席した者
③　交通事故のため試験を欠席した者
④　病気のため試験を欠席した者
⑤　公欠となる事由により試験を欠席した者
⑥　家庭の止むを得ない事情で試験を欠席した者
⑦　就職試験のため試験を欠席した者
⑧　派遣学生として他の大学等の科目を履修している学生のうち、定期試験日が本学で履修している科目の定期試験日と重なり、本学で定期試験を受けられなかった者
⑨　その他本人の責めに帰さない事情により試験を欠席した者で、学長から特別認められた者

（追試験の手続き）

第７条　追試験を希望する者は、試験欠席後速やかに学務部学務課に連絡して指示を受け、試験期間最終日から３日以内に正式な追試験の手続きをしなければならない。

2　追試験を希望する者は、１科目あたり1,000円の追試験料を納入しなければならない。ただし、前条⑤、⑧の理由によって定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、追試験料を徴収しない。

3　前条②に該当する場合は、会葬御礼等を提出しなければならない。

4　前条③に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。

5　前条④に該当する場合は、病院の発行する診断書、領収書、処方箋等を提出しなければならない。医療機関での受診がない場合は、原則として追試験を受けることはできない。

6　前条⑤に該当する場合は、公欠届を提出しなければならない。

7　前条⑥に該当する場合は、保証人による理由書を提出しなければならない。

8　前条⑦に該当する場合は、当該企業等の発行する証明書を提出しなければならない。

9　前条⑧に該当する場合は、証明書を提出しなければならない。

10　前条⑨に該当する場合は、相当する理由書または証明書を提出しなければならない。

第８条　定期試験の日程に組み込まれていない科目については、原則として追試験は行われない。

（追試験の評価）

第９条　追試験の成績は、採点の80％とする。ただし、公欠となる理由に基づく追試験の成績については、通常の定期試験受験者と同等に扱う。

第３章　レポート

（レポート）

第10条　定期試験に代わるもの、あるいは補うものとしてレポートの提出が求められる場合、そのレポートも成績評価の根拠となるものとして、定期試験に準じて扱われる。

第11条　レポートの提出先は原則として担当教員とする。

第12条　レポート提出に際しては、担当教員の指示に従い、授業科目名、担当教員名、レポート題、学籍番号、氏名等を明記するものとする。

第13条　レポートの作成に際しては、黒のペンまたはボールペンを使用することを原則とし、上部２個所を綴じて提出するものとする。

２　パソコン等を使用して作成する場合等については、担当者の指示に従うものとする。

第14条　レポートは必ず本人が直接提出しなければならない。

第15条　レポート作成および提出に関する不正行為については、定期試験における不正行為に準じて取り扱われる。

第４章　再試験

（再試験）

第16条　当該年度の卒業見込者で、以下の条件を満たしている場合は、学則第17条に基づき、再試験を受けることができる。

①　定期試験および追試験の結果、不合格科目のうち２科目以内の単位を修得できれば卒業要件を満たすことができる場合。

②　前号の不合格科目の成績評価が「F」である場合。その成績評価が「失格」または「欠試」である場合は、再試験の対象とはならない。

③　前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。

第17条　再試験の対象科目は、学務部より掲示される。

２　「基礎演習および学科のゼミに相当する演習」、「卒業研究」、「実験・実習・実技にかかわる科目」、「外国語科目のうちのCIS」、「単位互換による科目」、「卒業要件外の科目」は再試験の対象とはならない。

３　前項に挙げる科目のほか、再試験の対象とはならない科目を各学科が指定する場合がある。

（再試験の手続き）

第18条　再試験を希望する者は、指定された期日に学務部において正式な再試験の手続きをしなければならない。

２　再試験を希望する者は、１科目あたり5,000円の再試験料を納入しなければならない。

（再試験の評価および卒業）

第19条　再試験の結果、合格した科目の評価は「C」とする。

２　再試験を受験して卒業要件単位を満たした者の卒業期日は、一般卒業者と同一期日とする。

（規程の改定）

第20条　本規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附　　則

１　本規程は2017年４月１日より施行する。

２　本規程は2018年４月１日より施行する。

３　本規程は2019年４月１日より施行する。

(2) 成績評価に関する内規

第１条　本内規は、学則第７章に基づき、成績評価に関する事項を定めるものとする。

（成績評価）

第２条　学業成績は、定期試験および臨時試験（筆記・口述・実技等の試験を含む）、レポート等の成績を総合して評価され、合格と判定された場合は所定の単位が与えられる。

2　成績評価の基準は、以下の通りとし、AA、A、B、Cを合格とし、Fを不合格とする。

AA　90点以上
A　80点～89点
B　70点～79点
C　60点～69点
F　59点以下

3　定期試験に欠席し、追試験の手続きをしない場合の評価は「欠試」となり、単位は認定されない。

4　以下のいずれかに該当する場合の評価は「失格」となり、単位は認定されない。

①　出席時数が当該授業科目の全授業時数の３分の２に満たない場合
②　当該年度・学期の授業料等が未納の場合
③　定期試験またはレポート作成に際し、不正行為があったと認められたとき
④　その他、担当教員が十分な根拠をもって評価に値しないと判断したとき

（評定平均値）

第３条　評定平均値（GPA：Grade Point Average）は下記の数式によって算出される。

$$\text{評定平均値(GPA)} = \frac{\text{(科目の単位数×科目の成績点）の合計}}{\text{総履修登録単位数}}$$

※１　「総履修登録単位数」には、次に該当する科目の単位は含まれない。
①本学で修得したものとして単位が認定されたもの（記号「認」※のもの）
②履修登録後、正規の手続きを経て取り消しを行ったもの

※２　「科目の成績点」は、各々の科目の評定を次の通りに点数化して計算式にあてはめる。
【合　格】　AA＝4.0　　A＝3.0　　B＝2.0　　C＝1.0
【不合格】　F＝0　　欠（欠試）＝0　　失（失格）＝0

※３　不合格の評定を受けた科目を再履修して合格点を得た場合も、不合格評定と合格評定の双方が計算式に反映される。

※４　科目履修中に自身の判断で取り消しを決意した場合は、正規の手続きを経て取り消しを行うことができる。履修の取り消しは、学外実習等の一部科目を除き、定められた「履修登録取消期間」で行うことができる。取消手続きを行わない場合は失格もしくは欠試となり、評定平均値を下げることとなる。

2　評定平均値はIC-UNIPA上の個人成績画面、成績通知票、成績証明書に掲載され、優等賞、学業優秀賞、各種奨学金事業、教育実習履修要件等、学内の関連諸施策の運用に共通して使用される。

（成績通知）

第４条　成績評価の結果は、IC-UNIPAを通して、翌学期開始時に通知される。ただし、通年科目に関しては翌年度開始時に通知される。

2　前項の規定にも関わらず、卒業年次の成績通知に関しては、卒業生氏名発表と同時に行う。

（成績評価の変更）

第５条　科目担当者により、正式なものとして登録された成績は、原則として変更されない。

（成績評価に対する疑義）

第６条　成績評価に関して疑義が生じた場合は、学務部を通して調査等を依頼することができる。

2　前項の調査等の受付期間は、成績通知後１週間以内とし、期間が過ぎた場合は受け付けられない。ただし、実習等により成績調査依頼票を受付期間内に提出することができない場合については、別途指示する。

（保証人への成績通知）

第７条　成績通知は、原則として保証人のIC-UNIPAアカウントへ開示する。

2　前項の規定にもかかわらず、学生本人が保証人への成績開示を希望しない場合には、所定の期日までに申し出るものとする。

3　前項の申し出があった場合には、成績開示を本人が希望していない旨、保証人に通知する。

（内規の改定）

第８条　本内規の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附　　則

1　本内規は2017年４月１日より施行する。

2　本内規は2020年４月１日より施行する。

※「認」とは、本学入学以前に他大学または短期大学等で、また入学後に海外研修（留学を含む）等で修得した単位を表す記号である。

(3) 前期末卒業に関する内規

第１条　本内規は、学則第４条および第８章に基づき、前期末卒業に関して、必要な事項を定める

第２条　４年以上の在籍者のうち、前期完結科目の単位を修得することによって卒業要件単位数が満たされる場合、本人の願い出によって前期末卒業が認められることがある。

第３条　前条の該当者は、４月の履修登録締切日までに「前期末卒業申請書」を学務部に提出しなければならない。

第４条　前期末卒業に関しては、再試験は実施しない。

第５条　前期末卒業を申請し、卒業要件を満たした場合、年度末卒業への変更はできない。

第６条　前期末卒業に関わる学納金については、別に定める。

第７条　本内規の改定は、教務委員会、合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附　　則

1　本内規は2017年４月１日より施行する。

(4) 転科・転部試験規程

第１条　本規程は、学則第28条に基づき、転科・転部に関して必要な事項を定める。

（転科・転部試験）

第２条　転科・転部を希望する場合は、事前に学務部、アドヴァイザー教員、および受け入れ学科教務委員に申し出て、十分な指導を受けることとする。

第３条　転科・転部の受け入れ可能学科は、該当年次在籍者数等により年度毎に決定し、１月中旬に掲示される。

２　前項の規定にもかかわらず、文学部児童教育学科幼児保育専攻、生活科学部食物健康科学科、および看護学部看護学科においては転科・転部試験を実施しない。

（年次）

第４条　転科・転部を受け入れる年次は、原則として２年次とする。

２　前項の規定にもかかわらず、３年次への転科・転部を認める場合がある。

第５条　転科・転部を許可された者の年次は、原則として転科・転部する以前に在籍していた年次の翌年次とする。

（在籍期間）

第６条　転科・転部をした場合の在籍年限は、学則第４条に定められる期間を超えないものとする。

（出願および審査料）

第７条　転科・転部試験の受験を希望する者は、所定の願書により、指定された期日までに、審査料10,000円を納入し、出願しなければならない。

（選考方法）

第８条　転科・転部試験の選考方法は、受け入れ予定学科の指定する試験・面接等による。

（合否判定および結果通知）

第９条　転科・転部試験の合否判定は、教務委員会の議を経て、受け入れ予定学科の所属する学部教授会において審議・決定する。

２　転科・転部の合否については、前項の学部教授会の決定を受けて、学務部より通知する。

（規程の改定）

第10条　本規程の改定は、教務委員会および合同教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附　　則

１　本規程は2017年４月１日より施行する。ただし、2017年度に転科･転部を希望する者については、本規程を準用する。

8．科目コードと科目ナンバリング

(1) 科目コードとは

科目コードは、各科目がどの学部学科等が開講しているかわかるように付与している５桁の番号である。

(2) 科目コードの構成

10×××～	全学教養科目
12×××～	文学部現代英語学科科目
130××～、135××～	文学部児童教育学科児童教育専攻
131××～	文学部児童教育学科幼児保育専攻
14×××～	文学部文化交流学科
20×××～、21×××～	生活科学部心理福祉学科
20×××～、22×××～	生活科学部食物健康科学科
31×××～	看護学部看護学科
40×××～	経営学部経営学科
50×××～	卒業要件外科目

(3) 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングは、教育課程の体系が理解しやすくなるように、各授業科目に記号・番号を付し、各科目の配置、相互関係、位置づけ、授業形式などを明示する仕組みである。本学では2017（平成29）年度から、すべての学部・大学院において「科目ナンバリング」の制度を導入した。

(4) 科目ナンバリングの構成

①	②③	④	⑤	⑥
EN	11	A	01	E

例）English Communication Ⅰ（現代英語学科　学科科目）

① アルファベット２文字：学科・専攻等を表す。

LA ：全学教養科目
EN ：文学部　現代英語学科　学科科目
PE ：文学部　児童教育学科　児童教育専攻　学科科目
PC ：文学部　児童教育学科　幼児保育専攻　学科科目
CC ：文学部　文化交流学科　学科科目
WP ：生活科学部　心理福祉学科　学科科目

ＦＳ：生活科学部　食物健康科学科　学科科目
ＮＵ：看護学部　看護学科　学科科目
ＭＡ：経営学部　経営学科　学科科目
ＥＸ：卒業要件外科目

② ２桁の数字の十の位：年次レベルを表す。
１：学部　１年次レベル（１年次生から履修可能）の科目
２：学部　２年次レベル（２年次生から履修可能）の科目
３：学部　３年次レベル（３年次生から履修可能）の科目
４：学部　４年次レベル（４年次生が履修可能）の科目

③ ２桁の数字の一の位：科目（内容）の順位性を表す。
０　：特に順位性が設けられていない科目
１～：科目名のローマ数字（Ⅰ～Ⅶ）に対応し、順位性が示される科目

④ アルファベット１文字：必修・選択必修・選択の別を表す。
Ａ：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「必修」となる科目
Ｂ：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択必修」となる科目
Ｃ：当該科目が適用される全学生にとって卒業要件上「選択」となる科目

⑤ ２桁の数字：上記①～④の記号・数字が同一である科目グループの中の順番（カリキュラム表に現れる順番）を表す。
01～

⑥ アルファベット１文字：授業形式を表す。
Ｋ：講義科目
Ｅ：演習科目
Ｊ：実験科目、実習科目、実技科目
Ｓ：その他（卒業研究等）

履修要項Ⅰ　文学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1．卒業に必要な最低修得単位 …… 43

2．授業科目、単位数および履修規程

現代英語学科

(1) 全学教養科目 …… 46

(2) 学科科目 …… 50

児童教育学科　児童教育専攻

(1) 全学教養科目 …… 52

(2) 学科科目 …… 56

児童教育学科　幼児保育専攻

(1) 全学教養科目 …… 58

(2) 学科科目 …… 62

文化交流学科

(1) 全学教養科目 …… 64

(2) 学科科目 …… 68

1．卒業に必要な最低修得単位
文学部
＜2021（令和３）年度入学生＞

〔現代英語学科〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		6 単位	合計 32単位
		外国語	（英語）		
			（英語以外）	6 単位	
		健康スポーツ		体育実技 2 単位	
		留学			
		人文		14単位	
		社会			
		自然			
		ICT		2 単位	
		総合演習			
		特別授業			
	学科科目	英語技能科目		10単位	合計 76単位
		専門科目	グローバル・コミュニケーション		
			ホスピタリティ		
			英語教育		
			言語と文化		
			演習	12単位	
			アクティブ・ラーニング		
		資格サポート科目			
	自由選択※			16単位	
	合計			124単位以上	

※全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

〔児童教育学科　児童教育専攻〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		6 単位	合計 36単位
		外国語	（英語）	4 単位	
			（英語以外）	6 単位	
		健康スポーツ		体育実技 2 単位	
		留学			
		人文		16単位	
		社会			
		自然			
		ICT		2 単位	
		総合演習			
		特別授業			
	学科科目	基幹科目		20単位	合計 74単位
		専門科目		54単位	
		資格科目Ⅰ			
		資格科目Ⅱ			
		資格科目Ⅲ			
	自由選択※			14単位	
	合計			124単位以上	

※全学教養科目、学科科目（基幹科目・専門科目）、他学科科目、他学部科目の中から履修。
※学科科目の資格科目Ⅰ・資格科目Ⅱ・資格科目Ⅲは卒業に必要な単位に含まれない。

〔児童教育学科　幼児保育専攻〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位		
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		4単位		合計 30単位
		外国語	(英語)	2単位	2単位	
			(英語以外)	2単位		
		健康スポーツ		体育実技2単位		
		留学				
		人文		16単位		
		社会				
		自然				
		ICT		2単位		
		総合演習				
		特別授業				
	学科科目	基幹科目		20単位		合計 80単位
		専門科目		60単位		
		資格科目				
	自由選択※			14単位		
	合計			124単位以上		

※全学教養科目、学科科目（基幹科目・専門科目）、他学科科目、他学部科目の中から履修。
※学科科目の資格科目は卒業に必要な単位に含まれない。

〔文化交流学科〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		6単位	合計 40単位
		外国語	(英語)	8単位	
			(英語以外)	6単位	
		健康スポーツ		体育実技2単位	
		留学			
		人文		16単位	
		社会			
		自然			
		ICT		2単位	
		総合演習			
		特別授業			
	学科科目	基幹科目		30単位	合計 70単位
		文化交流を実践する	多文化協働	4単位 (いずれか 1区分から)	
			観光		
			地域貢献		
			日本語教育		
		文化を学ぶ			
		特別研究			
		キャリア教育			
	自由選択※			14単位	
	合計			124単位以上	

※全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

留意事項

1．自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位はどの学科も合計124単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、文学部各学科とも不足（現代英語学科16単位、児童教育学科14単位、文化交流学科14単位）が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2．科目の重複履修について

全学教養科目及び学科科目の一部について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	コリアンⅢB	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	コリアンⅣB	2
体育実技ⅡA 体育実技ⅡB	7	外国語としての日本語ⅢB 外国語としての日本語ⅣB	2 2
総合英語Ⅴ	2	その他の外国語A	3
総合英語Ⅵ	2	その他の外国語B	3
ドイツ語ⅢB	2	その他の外国語C	3
ドイツ語ⅣB	2	その他の外国語D	3
フランス語ⅢB	2	文化交流体験	2
フランス語ⅣB	2	海外ボランティア	2
中国語ⅢB	2		
中国語ⅣB	2		

＜この規程は2021（令和３）年度入学生から適用される。＞

2．授業科目、単位数および履修規程
〔文学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1．単位数を囲む○印は必修科目を示す。

2．単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。

3．各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。

4．**１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。**

＜現代英語学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
外国語	10062	1	LA31C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA32C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	同一言語6単位必修
	10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23B02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23B06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
	10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24B08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
外国語	10101	1	LA11B09E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12B09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B10E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12B10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B10E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	
健康スポーツ	10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修
	10160	1	LA12B11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10C06K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10C07K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C08J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C10J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め14単位以上選択
	10111	1	LA10C13K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C14K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C15K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C16K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C19K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C20K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C21K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C22K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C24K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C25K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C26K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C27K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C28K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C29K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C30K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C31K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C33K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C34K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C38K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C39K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C40K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C44K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	
自然	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C45K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C47K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C50K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
自然	10152	1	LA10C53K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C54K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C55K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B11E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C56K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C57E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C58J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A．現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修すること（以上1年次4単位）。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてⅢAを、および後期においてⅣAを履修すること（以上2年次2単位、合計6単位）。

＜この規程は2020（令和2）年度入学生から適用される。＞

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔現代英語学科〕

「英語技能科目」10単位以上と専門科目「演習」12単位以上を含み、学科科目合計76単位以上

2021年度～

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											Pe	Pc	C	W	F	N	M
英語技能科目		12144	1	EN11A01E	English Communication I	演習	30	①	1	必修10単位を含め20単位以上選択 合計76単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
		12145	1	EN12A01E	English Communication II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		12146	1	EN23A01E	English Communication III	演習	30	①	2		△	×	×	×	×	×	×
		12147	1	EN24A01E	English Communication IV	演習	30	①	2		△	×	×	×	×	×	×
		12191	1	EN31C01E	Advanced English Communication I	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
		12192	1	EN32C01E	Advanced English Communication II	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
		12193	1	EN43C01E	Advanced English Communication III	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		12194	1	EN44C01E	Advanced English Communication IV	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		12195	1	EN10C01E	Stydy Skills（Stydy Abroad Seminar）	演習	30	1	1～3		×	×	×	×	×	×	×
		12151	1	EN21C01E	Discussion I	演習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12152	1	EN22C01E	Discussion II	演習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12153	1	EN30C01E	Advanced Discussion	演習	30	1	3～4		×	×	×	×	×	×	×
		12012	1	EN11A02E	Reading I	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		12013	1	EN12A02E	Reading II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		12014	2	EN20C01E	Advanced Reading	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12004	1	EN11A03E	Listening I	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		12005	1	EN12A03E	Listening II	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		12006	2	EN20C02E	Advanced Listening	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12008	2	EN11C01E	Pronunciation I	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12009	2	EN12C01E	Pronunciation II	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12010	3	EN20C03E	Presentation	演習	30	1	2～4		△	×	×	×	×	×	×
		12016	2	EN11C02E	Grammar I	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12017	2	EN12C02E	Grammar II	演習	30	1	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12018	2	EN21C02E	Writing I	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12019	2	EN22C02E	Writing II	演習	30	1	2～4		○	○	○	○	○	○	○
専門科目	グローバル・コミュニケーション	12158	1	EN10C02K	コミュニケーション概論	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12047	1	EN20C04K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12180	1	EN20C05E	グローバルイングリッシュ	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12116	3	EN30C02K	地域研究（英語圏）	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12055	4	EN20C03E	政治・経済の英語	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12058	4	EN20C04E	文化・社会の英語	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12133	3	EN20C05K	人権と英語表現	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12162	1	EN20C06E	ソーシャル・ネットワーキング演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12063	3	EN20C07E	デジタル・コミュニケーション	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	ホスピタリティ	12165	1	EN10C03K	ホスピタリティ論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12117	2	EN20C08E	日本文化発信演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12169	1	EN20C09E	ホテル業界研究	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12043	1	EN20C10K	ホテル英語	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12170	1	EN20C11E	ホテル演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12171	1	EN20C12E	エアライン業界研究	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12042	1	EN20C13K	エアライン英語	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12109	3	EN20C14E	エアライン演習A	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12185	2	EN20C15E	エアライン演習B	演習	30	2	2～4		×	×	○	×	×	×	×
		12172	1	EN20C16E	観光業界研究	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12041	2	EN20C17K	観光英語	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	英語教育	12072	2	EN10C04K	言語習得論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		12071	1	EN20C18K	異文化理解教育	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12069	1	EN20C19K	子供の英語教育	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12120	2	EN10C05K	英語教材論（児童）	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12123	2	EN31C06E	英語教育実践研究（児童）	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
		12125	1	EN30C07E	英語教育実践研究（中等）	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
		12126	2	EN20C20E	英語教育演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12127	1	EN31C01E	英語科教育法Ⅰ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	×
		12128	1	EN32C01E	英語科教育法Ⅱ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	×
		12129	1	EN33C01E	英語科教育法Ⅲ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	×
		12130	1	EN34C01E	英語科教育法Ⅳ	演習	30	2	3～4		△	×	×	×	×	×	×

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											Pe	Pc	C	W	F	N	M
専門科目	言語と文化	12049	2	EN20C21E	通訳入門	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12196	1	EN30C08E	通訳演習	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12111	1	EN20C22E	翻訳入門	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12197	1	EN30C09E	翻訳演習	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12198	1	EN30C10E	サブカルチャー翻訳	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		12131	2	EN20C23K	英語学概論A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12075	3	EN20C24K	英語学概論B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12132	2	EN20C25K	英語学概論C	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12078	3	EN20C26K	英語文学概論A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12136	2	EN20C27K	英語文学概論B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12115	3	EN20C28E	英語文学講読	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12079	3	EN20C29K	児童文学（英語圏）	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12135	2	EN20C30K	児童文化（英語圏）	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	演習	12138	1	EN11A04E	現代英語基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	12単位必修	×	×	×	×	×	×	×
		12139	3	EN12A04E	現代英語基礎演習Ⅱ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		12082	1	EN31A01E	現代英語演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		12083	1	EN32A01E	現代英語演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		12084	1	EN43A01E	現代英語演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
		12085	1	EN44A01E	現代英語演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
		12140	3	EN20C31E	特殊演習	演習	30	2	2～4		△	×	×	×	×	×	×
		12142	1	EN30C11E	論文作成法	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
		12143	1	EN40C01S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×
	アクティブ・ラーニング	12020	2	EN11C03E	Interactive Studies Ⅰ	演習	30	1	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12021	2	EN12C03E	Interactive Studies Ⅱ	演習	30	1	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12154	1	EN11C04E	Education Activities Ⅰ	演習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12155	1	EN12C04E	Education Activities Ⅱ	演習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		12186	2	EN20C32J	Internship	実習	60	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		12189	1	EN21C03J	プロジェクト実習Ⅰ	実習	60	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		12190	1	EN22C03J	プロジェクト実習Ⅱ	実習	60	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
資格サポート科目		12086	3	EN10C06E	英語検定試験対策講座A	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	×
		12087	3	EN10C07E	英語検定試験対策講座B	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	×
		12088	3	EN10C08E	英語検定試験対策講座C	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	×
		12091	2	EN20C33E	旅行業務資格講座	演習	30	2	2～4		○	○	×	○	○	○	○
		12092	1	EN21C04E	秘書検定講座Ⅰ	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12093	1	EN22C04E	秘書検定講座Ⅱ	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		12097	2	EN20C34E	英語教員採用試験対策講座	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

＜児童教育学科　児童教育専攻＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
外国語	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	1単位必修
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1単位必修
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	1単位必修
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	1単位必修
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	同一言語6単位必修
	10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23B03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24B03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23B04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B04E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23B05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23B06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B06E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23B07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B07E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23B08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B08E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
	10093	1	LA23B09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24B09E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23B10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24B10E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11B11E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12B11E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B12E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12B12E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23B11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24B11E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23B12E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B12E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
健康スポーツ	10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修
	10160	1	LA12B14J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B15J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10C06K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10C07K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C08J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C10J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め16単位以上選択
	10111	1	LA10C13K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C14K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C15K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C16K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C19K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C20K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C21K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C22K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C24K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C25K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C26K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C27K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C28K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C29K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C30K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C31K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C33K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C34K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C38K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C39K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C40K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C44K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	
自然	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C45K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C47K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C50K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C53K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C54K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C55K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B13E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B13E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C56K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C57E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C58J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A．現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修すること（以上1年次4単位）。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてⅢAを、および後期においてⅣAを履修すること（以上2年次2単位、合計6単位）。

＜この規程は2020（令和2）年度入学生から適用される。＞

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔児童教育学科　児童教育専攻〕

基幹科目20単位、専門科目54単位、学科科目合計74単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pc	C	W	F	N	M
基幹科目	13000	2	PE10A01K	キリスト教教育論	講義	30	②	1	基幹科目　20単位必修	○	×	○	○	○	×	○
	13536	1	PE11A01E	音楽Ⅰ	演習	30	①	1		○	×	○	○	○	×	○
	13537	1	PE12A01E	音楽Ⅱ	演習	30	①	1		○	×	○	○	○	×	○
	13538	1	PE11A02E	美術Ⅰ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13539	1	PE12A02E	美術Ⅱ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13540	2	PE21A01E	労作体験Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	13541	2	PE22A01E	労作体験Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	13009	1	PE10A02E	基礎演習	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	13542	1	PE31A01J	児童体育Ⅰ	実技	30	①	3		○	×	○	○	○	×	○
	13543	1	PE32A01J	児童体育Ⅱ	実技	30	①	3		○	×	○	○	○	×	○
	13544	1	PE31A02E	児童教育演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	13545	1	PE32A02E	児童教育演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	13546	1	PE41A01E	児童教育演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	13547	1	PE42A01E	児童教育演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	13047	1	PE10C01K	教職論	講義	30	2	1	専門科目 54単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	13002	2	PE10C02K	教育原理	講義	30	2	1		○	×	○	○	○	×	○
	13091	1	PE10C03K	教育課程論	講義	30	2	1		△	×	×	×	×	×	×
	13004	1	PE11C01K	教育心理学Ⅰ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13005	1	PE12C01K	教育心理学Ⅱ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13049	2	PE10C04K	道徳教育の理論と方法	講義	30	2	1		△	×	×	×	×	×	×
	13050	2	PE10C05K	特別活動の理論と方法	講義	30	2	1		△	×	×	×	×	×	×
	13051	4	PE10C06K	教育方法論	講義	30	2	1		△	×	×	×	×	×	×
	13559	1	PE30C21K	総合的な学習の時間の教育法	講義	30	2	3		△	○	×	×	×	×	×
	13015	2	PE20C01K	教育行政学	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13548	1	PE21C01E	音楽Ⅲ	演習	30	1	2		○	×	○	○	○	×	○
	13549	1	PE22C01E	音楽Ⅳ	演習	30	1	2		○	×	○	○	○	×	○
	13067	3	PE20C02K	小学校音楽科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13550	1	PE21C02E	美術Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13551	1	PE22C02E	美術Ⅳ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13068	3	PE20C03K	小学校図工科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13069	1	PE20C04K	小学校体育科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13070	2	PE20C05K	小学校体育科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13057	2	PE20C06K	小学校国語科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13058	3	PE20C07K	小学校国語科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13560	1	PE10C12E	書写	演習	15	1	1		△	×	×	×	×	×	×
	13059	1	PE20C08K	小学校社会科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13060	2	PE20C09K	小学校社会科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13061	2	PE20C10K	小学校算数科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13062	3	PE20C11K	小学校算数科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13063	2	PE20C12K	小学校理科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13064	3	PE20C13K	小学校理科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×
	13065	2	PE20C14K	小学校生活科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13066	3	PE20C15K	小学校生活科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13071	2	PE20C16K	小学校家庭科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13072	3	PE20C17K	小学校家庭科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13561	1	PE20C23K	外国語（英語）教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13052	2	PE20C18J	介護等体験（事前事後指導含む）	講・実	45	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	13053	2	PE31C01J	初等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	3		△	×	×	×	×	×	×
	13054	2	PE32C01J	初等教育実習Ⅱ	実習	60	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13552	2	PE31C02K	生徒・進路指導の理論と方法	講義	30	2	3		△	○	×	×	×	×	×
	13553	2	PE32C02K	教育相談の基礎	講義	30	2	3		△	○	×	×	×	×	×
	13027	3	PE40C01K	教育相談実践	講義	30	2	4		×	○	×	×	×	×	×
	13089	1	PE40C02E	教職実践演習（小学校・幼稚園）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13017	2	PE10C07K	教育統計学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	×	○
	13028	1	PE11C02K	児童文化Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13029	1	PE12C02K	児童文化Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pc	C	W	F	N	M
専門科目	13030	1	PE11C03K	言語教育Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13033	2	PE10C08K	数学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13035	2	PE10C09K	自然科学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13562	1	PE10C13K	特別支援教育	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	13554	1	PE11C04K	地域社会研究Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	13556	1	PE20C19E	野外活動	演習	60	2	2～3		○	○	○	○	○	×	○
	13012	2	PE20C20K	教育史	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
	13019	2	PE20C21K	学習心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
	13041	2	PE31C03E	小学校英語教育Ⅰ	演習	30	2	2		×	○	×	×	×	×	×
	13042	2	PE32C03E	小学校英語教育Ⅱ	演習	30	2	2		×	○	×	×	×	×	×
	13508	1	PE30C08E	保育方法の研究	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13045	2	PE30C01K	児童教育特講A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
	13092	1	PE30C02K	児童教育特講B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
	13087	1	PE40C03J	教育実践研究A	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13088	1	PE40C04J	教育実践研究B	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13046	1	PE40C05S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅰ	13565	1	PE30C34K	保育内容総論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13502	2	PE30C04E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13503	2	PE30C05E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13504	2	PE30C06E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13505	2	PE30C07E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13506	2	PE31C04E	保育内容教育法・表現Ⅰ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13507	2	PE32C04E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13563	1	PE30C22E	幼児理解	演習	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	13564	1	PE30C23E	教育相談	演習	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	4		×	×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅱ	13511	2	PE10C10K	特別支援教育総論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13512	1	PE10C11K	特別支援教育原論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13513	1	PE20C22K	発達障害児教育論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13514	1	PE31C05K	知的障害児の教育Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13515	1	PE32C05K	知的障害児の教育Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13557	1	PE30C10K	知的障害児の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13518	1	PE30C11K	肢体不自由児の教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13519	1	PE30C12K	肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13520	1	PE30C13K	病弱児の教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13521	1	PE30C14K	病弱児の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13522	1	PE30C15K	重度重複障害児教育論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13558	1	PE30C16K	感覚障害児教育論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13524	1	PE30C17K	言語の発達と障害	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13526	1	PE30C18K	発達障害児の心理検査法	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13527	1	PE30C19K	障害児福祉論	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13528	1	PE30C20K	世界の障害児教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13529	1	PE40C07E	特別支援教育実地演習	演習	60	4	4		×	×	×	×	×	×	×
	13530	1	PE40C08J	特別支援教育実習（事前事後指導1単位を含む）	実習	30	3	4		×	×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅲ	13531	1	PE30C21K	学校経営と学校図書館	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	13532	1	PE30C22K	学校図書館メディアの構成	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	13533	1	PE30C23K	学習指導と学校図書館	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	13534	1	PE30C24K	読書と豊かな人間性	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	13535	1	PE30C25K	情報メディアの活用	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

＜児童教育学科　幼児保育専攻＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位	備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修	
	10051	1	LA12C01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	2	1		
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3		
外国語	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	1単位必修	※選択必修4単位を含め、外国語より6単位必修 ただし「英語以外の外国語」は同一言語2単位または同一言語4単位とする
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1		
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1単位必修	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1		
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	同一言語2単位必修	
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2		
	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2		
	10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2		
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3		
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3		
	10065	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1		
	10066	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1		
	10067	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1		
	10068	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1		
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2		
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2		
	10071	1	LA23B02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2		
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2		
	10073	1	LA11B04E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1		
	10074	1	LA12B04E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1		
	10075	1	LA11B05E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1		
	10076	1	LA12B05E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1		
	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2		
	10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2		
	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2		
	10080	1	LA24B04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2		
	10081	1	LA11B06E	中国語ⅠA	演習	30	1	1		
	10082	1	LA12B06E	中国語ⅡA	演習	30	1	1		
	10083	1	LA11B07E	中国語ⅠB	演習	30	1	1		
	10084	1	LA12B07E	中国語ⅡB	演習	30	1	1		
	10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2		
	10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2		
	10087	1	LA23B06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2		
	10088	1	LA24B06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2		
	10089	1	LA11B08E	コリアンⅠA	演習	30	1	1		
	10090	1	LA12B08E	コリアンⅡA	演習	30	1	1		
	10091	1	LA11B09E	コリアンⅠB	演習	30	1	1		
	10092	1	LA12B09E	コリアンⅡB	演習	30	1	1		
	10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2		
	10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2		
	10095	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2		
	10096	1	LA24B08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2		
	10097	1	LA10B01E	その他の外国語A	演習	30	1	1		
	10098	1	LA10B02E	その他の外国語B	演習	30	1	1		
	10099	1	LA10B03E	その他の外国語C	演習	30	1	1		
	10100	1	LA10B04E	その他の外国語D	演習	30	1	1		
	10101	1	LA11B10E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用	
	10102	1	LA12B10E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1		
	10103	1	LA11B11E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1		
	10104	1	LA12B11E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1		
	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2		
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2		
	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2		
	10108	1	LA24B10E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2		

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位	備考
健康スポーツ	10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修	
	10160	1	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4		
	10161	1	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4		
	10029	1	LA10C01K	健康科学	講義	30	2	1～4		
	10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4		
留学	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1		
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2		
	10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
	10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4		
	10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4		
	10049	1	LA10C07K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4		
人文	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め16単位以上選択	
	10111	1	LA10C08K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4		
	10112	1	LA10C09K	いのちを考える	講義	30	2	1～4		
	10113	1	LA10C10K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4		
	10114	1	LA10C11K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4		
	10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4		
	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4		
	10117	1	LA10C14K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4		
	10118	1	LA10C15K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4		
	10119	1	LA10C16K	ことばと人間	講義	30	2	1～4		
	10120	1	LA10C17K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4		
	10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4		
	10122	1	LA10C19K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4		
	10123	1	LA10C20K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4		
社会	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	②	1		
	10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4		
	10125	1	LA10C22K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4		
	10126	1	LA10C23K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4		
	10127	1	LA10C24K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4		
	10128	1	LA10C25K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4		
	10129	1	LA10C26K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4		
	10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4		
	10131	1	LA10C28K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4		
	10132	1	LA10C29K	働くということ	講義	30	2	1～4		
	10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4		
	10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4		
	10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4		
	10136	1	LA10C33K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4		
	10137	1	LA10C34K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4		
	10138	1	LA10C35K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4		
	10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4		
	10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4		
	10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4		
	10142	1	LA10C39K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4		
自然	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	②	1		
	10144	1	LA10C40K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4		
	10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4		
	10146	1	LA10C42K	健康とは何か	講義	30	2	1～4		
	10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4		
	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4		
	10149	1	LA10C45K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4		
	10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4		
	10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4		
	10152	1	LA10C48K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4		
	10153	1	LA10C49K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4		
	10154	1	LA10C50K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4		
ICT	10044	1	LA11B12E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修	
	10045	1	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1		
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2		

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位	備考
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3		
特別授業	10157	1	LA10C51K	教養特別講義	講義	30	2	1～4		
	10158	1	LA10C52E	教養特別演習	演習	30	2	1～4		
	10159	1	LA10C53J	教養特別実習	実習	60	2	1～4		

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ＩＡの単位を修得していなければⅡＡを履修することはできない。ⅡＡの単位を修得していればⅢＡまたはⅣＡを履修することができる。

2）（B系列の科目）ＩＢの単位を修得していなければⅡＢを履修することはできない。ⅡＡまたはⅡＢの単位を修得していればⅢＢまたはⅣＢを履修することができる。

3）ⅢＢおよびⅣＢについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ２度を上限とする（初回を含めて合計３度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

B．児童教育学科幼児保育専攻の学生は、外国語科目６単位を次の１）または２）の方法で履修すること。

1）英語２単位＋英語以外の同一外国語４単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、１年次前期においてＩＡとＩＢを、および１年次後期においてⅡＡとⅡＢを履修する。(以上１年次４単位)。

2）英語４単位＋英語以外の同一外国語２単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、１年次前期において（ＩＡとＩＢ）を、または１年次の通年にわたって（ＩＡとⅡＡ）もしくは（ＩＢとⅡＢ）を履修する。(以上１年次２単位)。

＜この規程は2020(令和２)年度入学生から適用される。＞

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ｉの単位を修得していなければ、体育実技ⅡＡまたは体育実技ⅡＢを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和３)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔児童教育学科　幼児保育専攻〕

基幹科目20単位、専門科目60単位、学科科目合計80単位以上

2019年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	C	W	F	N	M
基幹科目	13100	1	PC20A01K	キリスト教教育論	講義	30	②	2	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	13192	1	PC11A01E	音楽Ⅰ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13193	1	PC12A01E	音楽Ⅱ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13194	1	PC11A02E	美術Ⅰ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13195	1	PC12A02E	美術Ⅱ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	13196	2	PC31A02E	労作体験Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	13197	2	PC32A02E	労作体験Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	13109	1	PC10A01E	基礎演習	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	13198	1	PC21A02J	幼児体育Ⅰ	実技	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ	実技	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	13200	1	PC31A01E	幼児保育演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	13201	1	PC32A01E	幼児保育演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	13202	1	PC41A01E	幼児保育演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	13203	1	PC42A01E	幼児保育演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	13114	2	PC10C01K	保育原理	講義	30	2	1	60単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	13102	2	PC10C02K	教育原理	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13115	3	PC10C03K	保育者論	講義	30	2	1		×	○	×	×	×	×	×
	13103	3	PC10C08K	保育の心理学	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13213	1	PC20C23K	子ども家庭支援の心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13179	2	PC10C09E	子どもの理解と援助	演習	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
	13182	2	PC10C10K	保育の計画と評価	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13214	1	PC10C11K	幼児教育課程論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13152	2	PC10C12E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13154	2	PC10C13E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13151	2	PC20C24E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13153	2	PC20C25E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13221	1	PC20C32E	保育内容総論	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13205	1	PC22C01E	音楽Ⅳ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13207	1	PC22C02E	美術Ⅳ	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13118	1	PC20C04K	社会福祉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13116	3	PC21C05K	社会的養護Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13132	3	PC22C05E	社会的養護Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13133	3	PC20C26K	子ども家庭支援論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13105	2	PC20C08K	子育て支援論	講義	30	2	2		×	○	×	×	×	×	×
	13215	1	PC20C27E	子育て支援演習	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13216	1	PC20C28E	幼児理解	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13217	1	PC20C29E	教育相談	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13218	1	PC21C06K	乳児保育Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13219	1	PC22C06E	乳児保育Ⅱ	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	13121	1	PC20C13K	子ども文化論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13208	2	PC20C30K	子どもの保健	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13184	2	PC31C01E	保育実習指導Ⅰ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13161	3	PC32C01J	保育実習Ⅰ（施設）	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13120	1	PC20C14K	キリスト教保育	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	13125	1	PC20C15K	発達障害学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	13129	1	PC20C16K	言語発達心理学	講義	30	2	2～4		○	×	×	×	×	×	×
	13142	2	PC20C17E	身体表現	演習	30	2	2～4		×	○	×	×	×	×	×
	13220	1	PC20C31K	特別支援教育	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	13155	2	PC30C12E	保育内容教育法・表現Ⅰ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13156	2	PC30C13E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13157	1	PC30C01E	保育方法の研究	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13140	2	PC30C02E	子どもの食と栄養	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13181	3	PC30C14E	子どもの健康と安全	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	13117	3	PC30C15K	子ども家庭福祉	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	C	W	F	N	M
専門科目	13131	1	PC30C04E	障害児保育	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13160	2	PC32C03J	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13167	2	PC41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13162	3	PC42C01J	保育実習Ⅱ（保育所）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13163	3	PC42C02J	保育実習Ⅲ（施設）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	13135	1	PC30C05K	地域発達臨床論	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	13134	3	PC30C16E	地域子育て支援実践演習	演習	30	2	3～4		×	○	×	×	×	×	×
	13189	2	PC30C17E	地域発達支援実践演習	演習	30	2	3～4		×	○	×	×	×	×	×
	13210	1	PC20C18E	幼児保育特殊演習A	演習	30	2	2～4		×	○	×	×	×	×	×
	13211	1	PC20C19E	幼児保育特殊演習B	演習	30	2	2～4		×	○	×	×	×	×	×
	13212	1	PC20C20E	幼児保育特殊演習C	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	13165	1	PC40C01J	保育実践研究A	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13166	1	PC40C02J	保育実践研究B	実習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	13148	1	PC40C03S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×
資格科目	13168	1	PC10C07K	教職論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	13169	1	PC20C21K	教育行政学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13170	3	PC20C22K	教育方法論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13185	1	PC21C04J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導１単位を含む）	実習	45	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	13173	1	PC30C08K	小学校国語科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13174	1	PC30C09K	小学校算数科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13175	1	PC30C10K	小学校生活科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13176	1	PC30C11K	小学校体育科研究	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	13186	2	PC22C04J	初等教育実習Ⅳ	実習	90	3	2		×	×	×	×	×	×	×
	13177	1	PC40C04E	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

＜文化交流学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
外国語	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	8単位必修
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
	10056	1	LA23A02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
	10057	1	LA24A02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23A01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10061	1	LA24A01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C02E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	同一言語6単位必修
	10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23B02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23B04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23B06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
	10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23B08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24B08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10B02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10B03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10B04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10B05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11B09E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12B09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B10E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12B10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23B09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24B09E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23B10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B10E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
健康スポーツ	10155	1	LA11A04J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修
	10160	1	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10C01K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C07K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A04K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め16単位以上選択
	10111	1	LA10C08K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C09K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C10K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C11K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C14K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C15K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C16K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C17K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C19K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C20K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A05K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C22K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C23K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C24K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C25K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C26K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C28K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C29K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C33K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C34K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C35K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C39K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	
自然	10143	1	LA10A06K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C40K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C42K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C45K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C48K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C49K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C50K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C51K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C52E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C53J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

A．現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科児童教育専攻の学生は、以下の履修方法によること。

ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修すること（以上1年次4単位）。2年次においては1年次に履修した外国語と同じ外国語を引き続き履修し、前期においてⅢAを、および後期においてⅣAを履修すること（以上2年次2単位、合計6単位）。

＜この規程は2020（令和2）年度入学生から適用される。＞

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔文化交流学科〕

基幹科目30単位、「文化交流を実践する」科目４単位を含み、学科科目合計70単位以上

2021年度～

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											E	Pe	Pc	W	F	N	M
基幹科目		14245	2	CC11A03E	基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	合計30単位選択必修	×	×	×	×	×	×	×
		14178	1	CC12A04E	基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		14179	1	CC23A03E	基礎演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		14180	1	CC24A04E	基礎演習Ⅳ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		14182	1	CC31A01E	文化論演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		14183	1	CC32A01E	文化論演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		14184	1	CC41A01E	文化論演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
		14185	1	CC42A01E	文化論演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
		14186	2	CC10B01K	文化人類学A	講義	30	2	1～2	合計12単位選択必修	○	○	○	×	○	○	○
		14187	2	CC10B02K	文化人類学B	講義	30	2	1～2		○	○	○	×	○	○	○
		14188	3	CC20B01K	社会学A	講義	30	2	2～3		○	○	○	×	×	×	×
		14189	3	CC20B02K	社会学B	講義	30	2	2～3		○	○	○	×	×	×	×
		14155	5	CC20B03K	歴史学A	講義	30	2	2～3		○	○	○	○	○	×	○
		14190	4	CC20B04K	歴史学B	講義	30	2	2～3		○	○	○	○	○	×	○
		14191	2	CC21B01K	人文地理学Ⅰ	講義	30	2	2～3		○	○	○	×	○	×	×
		14192	2	CC22B01K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	2～3		○	○	○	×	○	×	×
		14115	1	CC40C01S	卒業研究			6	4		×	×	×	×	×	×	×
		14117	4	CC10C03J	文化交流体験A	実習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		14253	1	CC10C19J	文化交流体験B	実習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
文化交流を実践する	多文化協働	14237	1	CC30C02J	海外フィールドワーク	実習	60	2	3～4	４単位以上（いずれか１区分から）	×	×	×	×	×	×	×
		14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション	講義	30	2	3～4		×	○	○	○	○	○	○
		14120	1	CC30C04K	国際協力	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14254	1	CC31C01K	多文化協働論Ⅰ	講義	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14255	1	CC32C01K	多文化協働論Ⅱ	講義	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14256	1	CC10C20E	多文化協働演習	演習	30	2	1～4		○	○	○	×	○	×	○
		14257	1	CC31C02K	外国人教育支援演習Ⅰ	演習	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14258	1	CC32C02K	外国人教育支援演習Ⅱ	演習	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14259	1	CC33C01K	外国人教育支援演習Ⅲ	演習	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14260	1	CC34C01K	外国人教育支援演習Ⅳ	演習	30	2	3～4		○	○	○	×	○	×	○
		14233	3	CC10C05E	情報デザイン演習	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	観光	14118	1	CC30C08K	観光学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14172	2	CC30C09K	観光地理学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14173	3	CC30C10K	旅行業A（約款・法令）	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14193	2	CC30C11K	旅行業B（ホテル経営）	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14121	1	CC30C12E	観光英語	演習	30	2	3～4		×	○	○	○	○	×	○
		14194	1	CC30C13E	観光実務	演習	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14231	1	CC10C01K	海外事情	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
	地域貢献	14238	2	CC10C07K	ボランティア論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
		14195	1	CC10C08K	ひたち学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
		14196	1	CC10C09E	地域貢献研究	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
		14239	1	CC30C14K	地方行政学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14261	1	CC11C01E	地域貢献演習Ⅰ	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		14262	1	CC12C01E	地域貢献演習Ⅱ	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	日本語教育	14133	3	CC20C02K	日本語学A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14134	3	CC20C03K	日本語学B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14131	3	CC20C04E	日本語教育演習A	演習	30	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		14132	3	CC20C05E	日本語教育演習B	演習	30	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		14202	3	CC30C17K	言語学A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14203	3	CC30C18K	言語学B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
文化を学ぶ	文化研究の基礎	14204	2	CC20C09K	民俗学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14246	1	CC21C03K	自然地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14247	1	CC22C03K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14248	1	CC20C10K	地誌	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14147	2	CC20C11K	西洋史	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											E	Pe	Pc	W	F	N	M
文化を学ぶ	文化研究の基礎	14142	2	CC20C12K	東洋史	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14206	2	CC20C13K	日本史A	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14207	2	CC20C14K	日本史B	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	○	×	×
		14153	4	CC30C06K	国際関係論	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14249	1	CC20C45K	法学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14250	1	CC20C46K	生活と政治	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14251	1	CC20C47K	生活と国際経済	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
		14252	1	CC20C48K	女性学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	世界の歴史と文化	14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14214	2	CC30C22K	東南アジアの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14265	1	CC30C23K	東南アジアの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14216	2	CC30C24K	インドの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14146	3	CC30C28K	北アメリカの歴史と文化	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
	現代文化のフロンティア	14139	3	CC30C29K	性的マイノリティの文学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		14160	3	CC30C30K	アジアの大衆文学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14152	3	CC30C31K	ものがたりの世界	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
		14166	3	CC30C32K	現代の映像文化A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14167	3	CC30C33K	現代の映像文化B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14266	1	CC30C34K	仏像と語る	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14232	2	CC30C35K	伝統文化と現代アート	演習	30	2	1～4		○	○	○	○	○	×	○
		14164	3	CC30C36K	アジアの宗教	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14267	1	CC30C37K	グローバルカルチャー論	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
		14268	1	CC30C38K	文化多様性と現代世界	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	×	○
特別研究		14224	2	CC10C10K	特殊講義A	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		14225	2	CC10C11K	特殊講義B	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
		14241	2	CC10C12E	特別演習A	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		14242	2	CC10C13E	特別演習B	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		14243	2	CC10C14E	語学演習A	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		14244	2	CC10C15E	語学演習B	演習	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
キャリア教育		14175	3	CC20C49K	日本語教員試験対策講座（実践）	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座（入門）	講義	30	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		14165	2	CC20C07E	日本語教員育成演習A	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
		14240	2	CC20C06E	日本語教員育成演習B	演習	30	2	2～4		○	○	○	×	×	×	×
		14269	1	CC20C50K	旅行業務資格講座	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
		14171	1	CC20C51J	インターンシップ	実習	60	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履修要項Ⅱ　生活科学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1．卒業に必要な最低修得単位 …… 71

2．授業科目、単位数および履修規程
心理福祉学科
(1) 全学教養科目 …… 73
(2) 学科科目 …… 76
食物健康科学科
(1) 全学教養科目 …… 80
(2) 学科科目 …… 84

3．生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程 …… 86

4．生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程 …… 87

1．卒業に必要な最低修得単位
生活科学部
＜2021（令和３）年度入学生＞

〔心理福祉学科〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位		
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		4 単位		合計 27単位
		外国語	（英語）	4 単位		
			（英語以外）			
		健康スポーツ		1 単位		
		留学				
		人文		16単位		
		社会				
		自然				
		ICT		2 単位		
		総合演習				
		特別授業				
	学科科目	基幹科目		20単位		合計 92単位
		専門基礎科目		10単位以上		
		心理カウンセリング系科目		4 単位以上		
		福祉系科目		4 単位以上		
		心理福祉教育系科目		4 単位以上		
	自由選択※			5 単位		
	合計			124単位以上		

※全学教養科目、学科科目、他学科科目、他学部科目の中から履修。

〔食物健康科学科〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位		
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		4 単位		合計 23単位
		外国語	（英語）	4 単位		
			（英語以外）			
		健康スポーツ		1 単位		
		留学				
		人文		12単位		
		社会				
		自然				
		ICT		2 単位		
		総合演習				
		特別授業				
	学科科目	基幹科目		16単位		合計 105単位
		専門基礎分野		35単位	89単位	
		専門分野		47単位		
		人間生活領域		2 単位		
		応用専門分野		5 単位		
	合計			128単位以上		

留意事項

１．自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は心理福祉学科が124単位、食物健康科学科は128単位となっているが、全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても心理福祉学科においては124単位にはならず、５単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目・自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

２．科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢＢ	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語ⅣＢ	2
体育実技ⅡＡ 体育実技ⅡＢ	7	コリアンⅢＢ コリアンⅣＢ	2 2
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語ⅢＢ	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語ⅣＢ	2
ドイツ語ⅢＢ	2	その他の外国語Ａ	3
ドイツ語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｂ	3
フランス語ⅢＢ	2	その他の外国語Ｃ	3
フランス語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｄ	3
		海外ボランティア	2

＜この規程は2021（令和３）年度入学生から適用される。＞

2．授業科目、単位数および履修規程

〔生活科学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1．単位数を囲む○印は必修科目を示す。

2．単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。

3．各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。

4．**１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。**

＜心理福祉学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
外国語	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	1単位必修
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1単位必修
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	1単位必修
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	1単位必修
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
外国語	10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11C09E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12C09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11C10E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12C10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23C09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24C09E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23C10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24C10E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	
健康スポーツ	10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
	10160	1	LA12B04J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B05J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10B03K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め16単位以上選択
	10111	1	LA10C11K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C12K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C13K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C14K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C17K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C18K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C19K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C20K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C22K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C23K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C25K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C26K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C27K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C28K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C29K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C31K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C32K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C36K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C37K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C38K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C42K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
自然	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C43K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C45K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C48K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C54K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C55E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C56J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔心理福祉学科〕

基幹科目20単位、専門基礎科目10単位以上、心理カウンセリング系科目４単位以上、福祉系科目４単位以上、心理福祉教育系科目４単位以上、学科科目合計92単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	Pc	C	F	N	M
基幹科目	21000	2	WP11A03E	基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	21177	1	WP12A03E	基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	21103	1	WP31A02E	心理福祉演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	21104	1	WP32A01E	心理福祉演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	21105	1	WP43A01E	心理福祉演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	21106	1	WP44A01E	心理福祉演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎科目	21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	講義	30	2	1～2	10単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
	21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20008	1	WP10C14K	キリスト教福祉	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	×
	21092	1	WP20C28K	愛と死の人間学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21097	2	WP20C31E	発展演習A	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	21098	2	WP20C32E	発展演習B	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
	21062	3	WP20C33K	心理福祉特講A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21063	3	WP20C34K	心理福祉特講B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21111	1	WP20C35K	心理福祉特講C	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21112	1	WP20C36K	心理福祉特講D	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	×
	21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	×
	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21121	1	WP11C05K	心理福祉海外研修Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21122	1	WP22C08J	心理福祉海外研修Ⅱ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21069	1	WP40C02S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×
心理カウンセリング系科目	21123	1	WP10C29K	福祉心理学	講義	30	2	1～2	４単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	21124	1	WP10C30K	健康・医療心理学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21125	1	WP10C31K	発達心理学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21043	2	WP10C32K	心理学的支援法	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	21048	1	WP20C18K	深層心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21050	1	WP20C20K	老年心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	実習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21126	1	WP31C03J	心理学実験Ⅰ	実験	60	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21127	1	WP32C01J	心理学実験Ⅱ	実験	30	1	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21087	2	WP20C24E	心理演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	Pc	C	F	N	M
心理カウンセリング系科目	21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	21167	1	WP10C33K	公認心理師の職責	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21130	1	WP20C40K	心理学統計法	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21133	1	WP20C43K	関係行政論	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21134	1	WP30C10J	心理実習	実習	90	3	3～4		×	×	×	×	×	×	×
福祉系科目	21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	30	2	2～3	4単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21037	1	WP20C13K	介護概論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21078	1	WP20C14E	介護技術	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21033	1	WP20C10K	ジェンダー福祉論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21155	1	WP21C11K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21156	1	WP22C13K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
	21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	○
	21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習	演習	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21161	1	WP41C01K	社会福祉士試験対策講座Ⅰ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21162	1	WP42C03K	社会福祉士試験対策講座Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習	180	6	3～4		×	×	×	×	×	×	×
心理福祉教育系科目	20014	1	WP10C17K	法学	講義	30	2	1～2	4単位以上選択	○	○	○	×	○	○	×
	20013	1	WP10C16K	社会学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	○	○	×
	21061	1	WP20C26K	社会病理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	20017	1	WP10C18K	高齢者生活論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20006	1	WP10C21K	人権と教育	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20015	1	WP10C23K	生活と政治	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20012	1	WP10C22K	生活と国際経済	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20018	1	WP10C24K	女性学	講義	30	2	1～2		○	○	○	×	×	×	×
	20004	1	WP10C20K	人間と哲学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20003	2	WP10C19K	生命と倫理	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21165	1	WP11C09K	福祉教育論Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21166	1	WP12C07K	福祉教育論Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21168	1	WP10C34K	日本史A	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21169	1	WP10C35K	日本史B	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21170	1	WP10C36K	東洋史	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21171	1	WP10C37K	西洋史	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21172	1	WP21C13K	人文地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21173	1	WP22C15K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	Pc	C	F	N	M
教育系科目 心理福祉	21174	1	WP21C14K	自然地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21175	1	WP22C16K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21176	1	WP20C50K	地誌	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

＜食物健康科学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
外国語	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	1単位必修
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	1単位必修
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	1単位必修
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	1単位必修
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
	10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11C09E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12C09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11C10E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12C10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23C09E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24C09E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23C10E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24C10E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
健康スポーツ	10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
	10160	1	LA12B04J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B05J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10B03K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め12単位以上選択
	10111	1	LA10C11K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C12K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C13K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C14K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C17K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C18K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C19K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C20K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C22K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C23K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C25K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C26K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C27K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C28K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C29K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C31K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C32K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C36K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C37K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C38K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C42K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	
自然	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C43K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C45K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C48K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C54K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C55E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C56J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔食物健康科学科〕

基幹科目16単位、学科科目89単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	Pc	C	W	N	M
基幹科目	22203	1	FS10A08E	基礎演習	演習	30	②	1	16単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22100	1	FS10A01K	有機化学	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22103	2	FS11A03K	基礎栄養学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22195	1	FS31A01E	総合演習Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22169	2	FS40A01E	卒業演習	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎分野	22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	講義	30	②	3	35単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験	実験	45	①	4		×	×	×	×	×	×	×
	22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22180	1	FS10A03K	運動生理学	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22181	2	FS40A03J	運動栄養生理学実験	実験	45	①	4		×	×	×	×	×	×	×
	22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22182	1	FS31A02K	医学一般Ⅰ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	講義	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22115	3	FS22A02K	食品学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22184	1	FS10A04J	食品学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22117	2	FS10A05J	分析化学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22118	1	FS10C01K	食品化学	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	22119	2	FS30A03K	食品加工学	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22121	1	FS10C02K	食文化論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22123	1	FS20A01K	食品衛生学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22126	2	FS20A03K	調理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22127	2	FS20A04J	調理学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
専門分野	22185	1	FS11A06K	管理栄養士入門Ⅰ	講義	30	②	1	47単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22173	1	FS12A03K	管理栄養士入門Ⅱ	講義	15	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22186	1	FS10A06K	食事摂取基準論	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22122	4	FS32A04K	基礎栄養学Ⅱ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	講義	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22201	1	FS20A05J	栄養学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習Ⅰ	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22135	2	FS33A01K	栄養教育論Ⅲ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22144	2	FS32A06K	公衆栄養学Ⅱ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
										E	Pe	Pc	C	W	N	M
専門分野	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22164	3	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22177	1	FS10A07E	給食実務演習	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22150	3	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	実習	45	①	4		×	×	×	×	×	×	×
人間生活領域	22178	1	FS10C03K	人間と社会環境	講義	30	2	1～4	2単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
	22154	1	FS10C04K	保育学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22155	1	FS10C05K	児童臨床学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22156	1	FS10C06K	衣服環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22157	1	FS10C07K	居住環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22158	1	FS10C08K	家庭電気・機械及び情報処理	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22179	1	FS20C01J	栄養統計処理	実習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
応用専門分野	22170	1	FS40C01S	卒業研究			2	4	国家試験対策演習Ⅰを含めて5単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	22165	2	FS31C01K	学外実習事前事後指導Ⅰ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22193	1	FS32C01K	学外実習事前事後指導Ⅱ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22194	1	FS43C01K	学外実習事前事後指導Ⅲ	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22171	2	FS41A01E	国家試験対策演習Ⅰ	演習	60	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22202	1	FS42A01E	国家試験対策演習Ⅱ	演習	60	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22167	1	FS31C02K	学校栄養指導論Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	22168	1	FS32C02K	学校栄養指導論Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	20010	1	FS10C09K	生活経営論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20011	1	FS10C10K	生活経済学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

3．生活科学部食物健康科学科の進級要件に関する規程

この規程は、本学学則第18条第１項６）に基づき、生活科学部食物健康科学科の進級要件を定めるものである。

１．進級要件の設定年次

２年次から３年次への進級について要件を設ける。

２．進級要件の内容

３年次に進級するためには、２年以上在学し、学科科目（必修科目）について未修得の単位が10単位未満でなければならない。未修得単位が10単位以上の者は留年者とし、２年次とする。

＜履修単位数＞

<table>
<tr><th>年次</th><th>全学教養科目</th><th>学科科目</th><th>総単位</th></tr>
<tr><td>１年次</td><td>14</td><td>23</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>２年次</td><td rowspan="4">9</td><td>33</td></tr>
<tr><td>３年次</td><td>33</td></tr>
<tr><td>４年次</td><td>11</td></tr>
<tr><td>計</td><td>23</td><td>100＋5</td><td>128</td></tr>
</table>

３．その他

この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

４．規程の改定

この規程の改定は、生活科学部教授会の議を経て行なう。

附　則

１．この規程は、2014年４月１日から施行する。

２．この規程は、2015年４月１日から施行する。

３．この規程は、2016年４月１日から施行する。
ただし、2014年度入学生から適用される。

４．この規程は、2017年４月１日から施行する。

５．この規程は、2020年４月１日から施行する。

６．この規程は、2021年４月１日から施行する。

4．生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる履修規程

この規程は、生活科学部食物健康科学科の臨地実習に関わる科目の履修要件を定めるものである。

1．管理栄養士養成課程における臨地実習科目（必修）を履修するためには、各実習において関連科目（下表）の単位を全て修得済みであることが条件となる。

臨地実習Ⅰ（給食経営管理）（3年次）	給食経営管理論Ⅰ	（1年次　2単位）	6単位
	給食実務演習	（1年次　1単位）	
	給食経営管理論Ⅱ	（2年次　1単位）	
	給食経営管理実習Ⅰ	（2年次　1単位）	
	給食経営管理実習Ⅱ	（2年次　1単位）	
臨地実習Ⅱ（臨床栄養）（3年次）	臨床栄養学Ⅰ	（2年次　2単位）	5単位
	臨床栄養学Ⅱ	（2年次　2単位）	
	臨床栄養学実習	（2年次　1単位）	
臨地実習Ⅲ（公衆栄養）（4年次）	公衆栄養学Ⅰ	（2年次　2単位）	5単位
	公衆栄養学Ⅱ	（3年次　2単位）	
	公衆栄養学実習	（3年次　1単位）	

2．臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。

3．臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果が陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された日までに必ず接種する。

4．臨地実習科目を履修するには、大学で実施する腸内細菌検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査結果が陽性の場合は実習取りやめとなり、陰性への改善を確認後、別日程で行う。

5．臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。

6．この規程に定めるもののほか、必要な事項は生活科学部教授会が定める。

附　則

1．この規程は、2014年4月1日から施行する。

2．この規程は、2017年4月1日から施行する。

履修要項Ⅲ　看護学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1．卒業に必要な最低修得単位 …… 89

2．授業科目、単位数および履修規程
看護学科
(1) 全学教養科目 …… 90
(2) 学科科目 …… 94

3．看護学部看護学科科目の履修に関する規程 …… 96

1．卒業に必要な最低修得単位
看護学部
＜2021（令和３）年度入学生＞

〔看護学科〕

2021年度～

<table>
<tr><th colspan="2">科目区分</th><th colspan="2">最低修得単位</th></tr>
<tr><td rowspan="14">卒業に必要な単位および規程</td><td rowspan="12">全学教養科目</td><td colspan="2">建学の精神</td><td>4 単位</td><td rowspan="12">合計
25単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語</td><td>（英語）</td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>（英語以外）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">健康スポーツ</td><td>1 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">留学</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">人文</td><td rowspan="3">14単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然</td></tr>
<tr><td colspan="2">ICT</td><td>2 単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合演習</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">特別授業</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学科科目</td><td colspan="2">専門基礎科目</td><td>27単位</td><td rowspan="2">合計
99単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門科目</td><td>72単位</td></tr>
<tr><td colspan="3">合計</td><td colspan="2">124単位以上</td></tr>
</table>

留意事項

１．科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢＢ	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語ⅣＢ	2
体育実技ⅡＡ 体育実技ⅡＢ	7	コリアンⅢＢ コリアンⅣＢ	2 2
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語ⅢＢ	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語ⅣＢ	2
ドイツ語ⅢＢ	2	その他の外国語Ａ	3
ドイツ語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｂ	3
フランス語ⅢＢ	2	その他の外国語Ｃ	3
フランス語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｄ	3
		海外ボランティア	2

＜この規程は2021（令和３）年度入学生から適用される。＞

2．授業科目、単位数および履修規程
〔看護学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1．単位数を囲む○印は必修科目を示す。

2．単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。

3．各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。

4．**１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。**

＜看護学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
外国語	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	4単位必修
	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23C03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24C03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23C04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C04E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23C05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24C05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23C06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24C06E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23C07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24C07E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23C08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24C08E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
	10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
外国語	10093	1	LA23C09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10094	1	LA24C09E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23C10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24C10E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10C04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10C05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11C09E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	
	10102	1	LA12C09E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11C10E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12C10E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23C11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24C11E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23C12E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24C12E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	
健康スポーツ	10155	1	LA11B02J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
	10160	1	LA12B02J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B03J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10B03K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め14単位以上選択
	10111	1	LA10C11K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C12K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C13K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C14K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C17K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C18K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C19K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C20K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C22K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C23K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C25K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C26K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C27K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C28K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C29K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C31K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C32K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C36K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C37K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C38K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C42K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
自然	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C43K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C45K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C48K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C52K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C53K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B01E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
	10045	1	LA12B01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C54K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C55E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C56J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021（令和3）年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔看護学科〕

専門基礎科目27単位、専門科目72単位以上

2018年度～

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											E	Pe	Pc	C	W	F	M
専門基礎科目	人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進	31101	3	NU10A01K	人体構造機能学A	講義	30	②	1	27単位必修	×	×	×	×	×	×	×
		31186	1	NU10A02K	人体構造機能学B	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		31187	1	NU20A01E	人体構造機能学演習	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31103	1	NU10A03K	生化学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31104	2	NU10A04K	栄養・代謝学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31105	2	NU20C01J	食物健康実習	実習	30	1	2		×	×	×	×	×	×	×
		31106	2	NU10A05K	感染と防御（微生物学）	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31107	1	NU20A02K	病理病態学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31108	1	NU20A03K	薬理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31109	2	NU20A04K	疾病治療論A（成人・高齢者）	講義	45	③	2		×	×	×	×	×	×	×
		31188	1	NU20A05K	疾病治療論B（小児・母性・精神）	講義	45	③	2		×	×	×	×	×	×	×
	健康支援と倫理・社会	31189	1	NU10A06K	医療倫理	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		31111	2	NU10A07K	社会保障制度論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		31112	2	NU10A08K	保健医療福祉行政論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		31113	1	NU10C01K	保健医療看護経済学	講義	15	1	1		×	×	×	×	×	×	×
		31212	1	NU20C02K	カウンセリング技術	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×	×
	健康現象の疫学と統計	31178	1	NU10A09K	公衆衛生学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31115	2	NU20A06K	疫学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31179	1	NU30C01K	保健統計	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	看護学の基本	31117	1	NU10A10K	看護学概論	講義	15	①	1	18単位必修	×	×	×	×	×	×	×
		31190	1	NU20A07K	看護倫理	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31118	1	NU11A01E	科学的思考基礎演習Ⅰ（看護学へのアプローチ）	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31191	1	NU12A01E	科学的思考基礎演習Ⅱ（コミュニケーションと人間関係）	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31119	2	NU13A01E	科学的思考基礎演習Ⅲ（ヘルスアセスメントの基礎）	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31120	2	NU24A01E	科学的思考基礎演習Ⅳ（ヘルスアセスメントの応用）	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31123	2	NU10A11E	援助技術論A（日常生活の援助技術）	演習	60	②	1		×	×	×	×	×	×	×
		31124	2	NU20A08E	援助技術論B（診療に伴う援助技術）	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31125	2	NU10A12K	看護関係法規	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31126	2	NU20A09E	精神保健（発達段階と場に応じたメンタルヘルス）	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31192	1	NU20A10E	健康教育論（理論・実践）	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31129	1	NU10A13J	早期看護体験実習	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
		31130	1	NU20A11J	基礎看護学実習	実習	135	③	2		×	×	×	×	×	×	×
	看護展開の基礎	31122	2	NU25A01E	科学的思考基礎演習Ⅴ（看護実践力の基礎）	演習	30	①	2	9単位必修	×	×	×	×	×	×	×
		31135	2	NU20A12K	成人看護学概論	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31136	2	NU20A13K	高齢者看護学A（高齢者の健康と障害）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31193	1	NU20A14K	小児看護学A（健康な小児の生活支援）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31194	1	NU20A15K	母性看護学A（リプロダクティブヘルスケア）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31195	1	NU20A16K	精神看護学A（心の基本理解と健康）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31140	2	NU20A17K	公衆衛生看護学概論	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31196	1	NU20A18K	在宅看護学A（在宅療養者・家族の理解）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	看護展開の応用	31197	1	NU26A01E	科学的思考基礎演習Ⅵ（看護実践力の応用）	演習	30	①	3	32単位必修	×	×	×	×	×	×	×
		31142	2	NU20A19E	成人看護学A（セルフケア）	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×	×
		31198	1	NU30A01E	成人看護学B（ペリオペレイティブケア・クリティカルケア）	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
		31144	2	NU30A02E	高齢者看護学B（高齢者の健康障害と看護）	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31199	1	NU30A03E	小児看護学B（小児の健康障害と看護）	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31146	2	NU30A04E	母性看護学B（ペリネイタルケア）	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31200	1	NU30A05E	精神看護学B（心を病む人の理解とセルフマネジメント）	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31201	1	NU30A06E	在宅看護学B（在宅療養を支える看護）	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31202	1	NU20A20K	公衆衛生看護活動展開論A（発達・健康課題と看護）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31180	2	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B（公衆衛生看護技術）	演習	60	2	3		×	×	×	×	×	×	×
		31203	1	NU30C03K	公衆衛生看護活動展開論C（組織活動・社会資源）	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
		31181	2	NU40C01K	公衆衛生看護管理論（健康危機管理を含む）	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31204	1	NU20A21E	学校保健	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31205	1	NU40C02K	学校健康相談	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31182	1	NU40C03K	産業保健	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31155	1	NU30A07J	成人看護学実習	実習	180	④	3		×	×	×	×	×	×	×

学科目		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
											E	Pe	Pc	C	W	F	M
専門科目	看護展開の応用	31156	2	NU30A08J	高齢者看護学実習	実習	135	③	3		×	×	×	×	×	×	×
		31157	1	NU30A09J	小児看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31158	1	NU30A10J	母性看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31159	1	NU30A11J	精神看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31160	1	NU30A12J	在宅看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
		31183	2	NU20A22J	公衆衛生看護学実習Ａ（活動展開の基礎）	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
		31206	1	NU40C04J	公衆衛生看護学実習Ｂ（活動展開の応用）	実習	180	4	4		×	×	×	×	×	×	×
	看護学の発展	31163	1	NU40A01K	国際看護論	講義	15	①	4	11単位必修を含めて13単位選択	×	×	×	×	×	×	×
		31207	1	NU10C02E	国際看護論演習	演習	60	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
		31164	1	NU40A02K	看護マネジメント（医療安全含む）	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31165	1	NU40C05K	看護教育学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31167	1	NU40A03K	研究方法論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31208	1	NU41A01E	研究方法論演習Ⅰ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31209	1	NU42A01E	研究方法論演習Ⅱ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31169	1	NU40C06K	看護生体情報論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31170	1	NU40C07K	リハビリテーション看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31171	1	NU40C08K	がん看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31210	1	NU40A04E	災害看護（放射線災害を含む）	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31154	1	NU40A05K	ターミナルケア論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31173	1	NU40C09E	代替療法と看護	演習	30	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31211	1	NU40C10K	生と死の倫理	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
		31176	2	NU47A01E	科学的思考基礎演習Ⅶ（看護プロフェッショナルへの学び）	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×	×
		31185	1	NU40A06J	総合実習	実習	135	③	4		×	×	×	×	×	×	×

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

3．看護学部看護学科科目の履修に関する規程

この規程は、看護学部看護学科の臨地実習および研究方法論演習、科学的思考基礎演習Ⅶに関わる科目の履修要件を定めるものである。

1．看護師養成課程における臨地実習科目（必修）および研究方法論演習Ⅰ、科学的思考基礎演習Ⅶを履修するためには、履修年次前年までの学科必修科目を修得済みであることが条件となる（ただし、下表に記載されている科目以外の未修得科目が２科目以内までは履修可とする）。

2．保健師養成課程における公衆衛生看護学実習Ｂを履修するためには、１年次から３年次までの学科必修科目を全て修得済みであることが条件となる。

配置年次	科目	履修要件科目	
		学科科目	
		修得済み科目	定期試験の受験資格が必要条件となる科目
２年次	基礎看護学実習	人体構造機能学Ａ 人体構造機能学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅱ 科学的思考基礎演習Ⅲ 援助技術論Ａ	科学的思考基礎演習Ⅳ 援助技術論Ｂ
	公衆衛生看護学実習Ａ	公衆衛生学	公衆衛生看護学概論
３年次	成人看護学実習	成人看護学Ａ	成人看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
	高齢者看護学実習	科学的思考基礎演習Ⅳ 科学的思考基礎演習Ⅴ 基礎看護学実習	高齢者看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
	小児看護学実習		小児看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
	母性看護学実習		母性看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
	精神看護学実習		精神看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
	在宅看護学実習		在宅看護学Ｂ 科学的思考基礎演習Ⅵ
４年次	総合実習	３年次のすべての実習	
	科学的思考基礎演習Ⅶ		
	研究方法論演習Ⅰ		
	研究方法論演習Ⅱ	研究方法論演習Ⅰ	
	公衆衛生看護学実習Ｂ	保健統計 公衆衛生看護活動展開論Ｂ 公衆衛生看護活動展開論Ｃ	

3．臨地実習科目を履修するには、大学で実施する定期健康診断を受診していなければならない。やむを得ず受診できなかった学生は、該当する項目を他の機関で受診し、大学に診断書を提出する。

4．臨地実習科目を履修するには、大学で実施する感染症に対する指定の抗体検査を受けなければならない。やむを得ず検査ができなかった学生は、該当する項目を他の機関で実施し、指定された期日までに大学へ検査結果を報告する。検査の結果で陰性の場合、指示された項目のワクチンを指定された期日までに必ず接種し、大学に証明書を提出する。

5．臨地実習科目を履修するには、傷害・賠償等保険に加入しなければならない。

6．この規程に定めるもののほか、必要な事項は看護学部教授会が定める。

附　則

1．この規程は、2009年４月１日から施行する。
2．この規程は、2010年４月１日から施行する。
3．この規程は、2011年４月１日から施行する。
4．この規程は、2012年４月１日から施行する。
5．この規程は、2013年４月１日から施行する。
6．この規程は、2014年４月１日から施行する。ただし、2013年度入学生から適用する。
7．この規程は、2018年４月１日から施行する。
8．この規程は、2020年４月１日から施行する。

履修要項Ⅳ　経営学部

〔全学教養科目および学科科目の履修〕

1．卒業に必要な最低修得単位…… 97

2．授業科目、単位数および履修規程

経営学科

(1) 全学教養科目…… 98

(2) 学科科目…… 102

1．卒業に必要な最低修得単位
経営学部
＜2021（令和３）年度入学生＞

〔経営学科〕

2021年度～

	科目区分			最低修得単位	
卒業に必要な単位および規程	全学教養科目	建学の精神		4 単位	合計 35単位
		外国語	（英語）	8 単位のうち 英語を 4 単位以上	
			（英語以外）		
		健康スポーツ		1 単位	
		留学			
		人文		18単位	
		社会			
		自然			
		ICT		4 単位	
		総合演習			
		特別授業			
	学科科目	基幹科目		20単位	合計 80単位
		専門基礎科目		60単位のうち専門基礎科目 6 単位以上 専門科目52単位以上	
		専門科目			
	自由選択※			9 単位	
	合計			124単位以上	

※全学教養科目、学科科目、他学部科目の中から履修。

留意事項

1．自由に選択できる単位について

卒業に必要な最低修得単位は経営学科124単位となっているが､全学教養科目と学科科目の最低修得単位数を合計しても124単位にはならず、９単位の不足が生じることになる。この不足は、全学教養科目･自分が所属する学科の学科科目・他学科及び他学部の学科科目（これらは全て卒業要件単位に含まれる科目群である）の中から自由に履修し、単位を修得して充足させることができる。ただし、他学科及び他学部の学科科目の履修に際しては、受講制限をする科目もあるので注意すること。

2．科目の重複履修について

全学教養科目について、科目の重複履修が可能である。ただし、同一担当者による同一内容の場合、或いは同一時期に重複して履修することはできない。下記科目以外は同じ科目を重複して履修することができないので注意すること。

	重複履修回数		重複履修回数
キリスト教の精神と文化Ⅱ	2	中国語ⅢＢ	2
キリスト教の精神と文化Ⅲ	2	中国語ⅣＢ	2
体育実技ⅡＡ 体育実技ⅡＢ	7	コリアンⅢＢ	2
		コリアンⅣＢ	2
総合英語Ⅴ	2	外国語としての日本語ⅢＢ	2
総合英語Ⅵ	2	外国語としての日本語ⅣＢ	2
ドイツ語ⅢＢ	2	その他の外国語Ａ	3
ドイツ語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｂ	3
フランス語ⅢＢ	2	その他の外国語Ｃ	3
フランス語ⅣＢ	2	その他の外国語Ｄ	3
		海外ボランティア	2

＜この規程は2021（令和３）年度入学生から適用される。＞

2．授業科目、単位数および履修規程
〔経営学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1．単位数を囲む○印は必修科目を示す。

2．単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。

3．各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。

4．**１年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が47単位未満で、総単位数は56単位以内とする。ただし、前学年度のGPAが3.0以上の学生は、卒業要件科目については50単位未満、総単位数は60単位以内とする。**

＜経営学科＞

(1) 全学教養科目

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
外国語	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	8単位必修（うち英語4単位以上）英語以外の外国語を含める場合は同一言語2単位または同一言語4単位とする
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35B01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36B01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23B03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
	10070	1	LA24B03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
	10071	1	LA23B04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24B04E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
	10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
	10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
	10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
	10077	1	LA23B05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
	10078	1	LA24B05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
	10079	1	LA23B06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
	10080	1	LA24B06E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
	10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
	10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
	10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
	10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
	10085	1	LA23B07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
	10086	1	LA24B07E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
	10087	1	LA23B08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
	10088	1	LA24B08E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
	10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
外国語	10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
	10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
	10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
	10093	1	LA23B09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
	10094	1	LA24B09E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
	10095	1	LA23B10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
	10096	1	LA24B10E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
	10097	1	LA10B02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10B03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	10099	1	LA10B04E	その他の外国語C	演習	30	1	1	
	10100	1	LA10B05E	その他の外国語D	演習	30	1	1	
	10101	1	LA11B11E	外国語としての日本語ⅠA	演習	30	1	1	外国において中等教育を受けた学生にのみ適用
	10102	1	LA12B11E	外国語としての日本語ⅡA	演習	30	1	1	
	10103	1	LA11B12E	外国語としての日本語ⅠB	演習	30	1	1	
	10104	1	LA12B12E	外国語としての日本語ⅡB	演習	30	1	1	
	10105	1	LA23B11E	外国語としての日本語ⅢA	演習	30	1	2	
	10106	1	LA24B11E	外国語としての日本語ⅣA	演習	30	1	2	
	10107	1	LA23B12E	外国語としての日本語ⅢB	演習	30	1	2	
	10108	1	LA24B12E	外国語としての日本語ⅣB	演習	30	1	2	
健康スポーツ	10155	1	LA11B14J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
	10160	1	LA12B14J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
	10161	1	LA12B15J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
	10029	1	LA10B08K	健康科学	講義	30	2	1～4	
	10030	1	LA10B09K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
留学	10031	1	LA10C01J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
	10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
	10033	1	LA10C02J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
	10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
	10048	1	LA10C03J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
	10035	2	LA10C04J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
	10049	1	LA10C05K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
人文	10110	1	LA10A02K	人文科学の考え方	講義	30	②	1	必修6単位を含め18単位以上選択
	10111	1	LA10C06K	哲学とは何か	講義	30	2	1～4	
	10112	1	LA10C07K	いのちを考える	講義	30	2	1～4	
	10113	1	LA10C08K	ライフステージの心理学	講義	30	2	1～4	
	10114	1	LA10C09K	人生と儀礼	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C10K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C11K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10117	1	LA10C12K	歴史に学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10118	1	LA10C13K	日本社会の歴史	講義	30	2	1～4	
	10119	1	LA10C14K	ことばと人間	講義	30	2	1～4	
	10120	1	LA10C15K	文学を楽しむ	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C16K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10122	1	LA10C17K	ビジュアルアーツと現代	講義	30	2	1～4	
	10123	1	LA10C18K	本を読む（人文）	講義	30	2	1～4	
社会	10124	1	LA10A03K	社会科学の考え方	講義	30	②	1	
	10036	1	LA10C19K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10125	1	LA10C20K	法律と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10126	1	LA10C21K	現代社会と政治学	講義	30	2	1～4	
	10127	1	LA10C22K	グローバリゼーションとは何か	講義	30	2	1～4	
	10128	1	LA10C23K	現代社会と経済学	講義	30	2	1～4	
	10129	1	LA10C24K	資本主義の現在	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10131	1	LA10C26K	人権から見た教育と労働	講義	30	2	1～4	
	10132	1	LA10C27K	働くということ	講義	30	2	1～4	
	10133	1	LA10C28K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C29K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C30K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10136	1	LA10C31K	お金と税金のはなし	講義	30	2	1～4	
	10137	1	LA10C32K	ICTと暮らし	講義	30	2	1～4	
	10138	1	LA10C33K	メディアとつきあう	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C34K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10140	1	LA10C35K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位
社会	10141	1	LA10C36J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10142	1	LA10C37K	本を読む（社会）	講義	30	2	1～4	
自然	10143	1	LA10A04K	自然科学の考え方	講義	30	②	1	
	10144	1	LA10C38K	生命科学の基礎知識	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C39K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10146	1	LA10C40K	健康とは何か	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C41K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C42K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10149	1	LA10C43K	資源エネルギーと人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C44K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C45K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10152	1	LA10C46K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
	10153	1	LA10C47K	宇宙のはなし	講義	30	2	1～4	
	10154	1	LA10C48K	本を読む（自然）	講義	30	2	1～4	
ICT	10044	1	LA11B13E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修
	10045	1	LA12B13E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
	10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
総合演習	10156	1	LA30C01E	教養総合演習	演習	30	2	3	
特別授業	10157	1	LA10C49K	教養特別講義	講義	30	2	1～4	
	10158	1	LA10C50E	教養特別演習	演習	30	2	1～4	
	10159	1	LA10C51J	教養特別実習	実習	60	2	1～4	

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する注意事項≫

原則

1）（A系列の科目）ⅠAの単位を修得していなければⅡAを履修することはできない。ⅡAの単位を修得していればⅢAまたはⅣAを履修することができる。

2）（B系列の科目）ⅠBの単位を修得していなければⅡBを履修することはできない。ⅡAまたはⅡBの単位を修得していればⅢBまたはⅣBを履修することができる。

3）ⅢBおよびⅣBについては、授業の内容が異なり、かつ担当教員の了解を得ることを前提として重複履修を認める。重複の回数はそれぞれ2度を上限とする（初回を含めて合計3度）。重複履修によって修得した単位は自由科目の単位として認定される。

4）外国において中等教育を受けた学生、編転入・再入学の学生、休学後に復学した学生、留学を予定する学生等、特殊な事情のある学生は、学務部で相談すること。

≪ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの履修に関する規程≫

経営学部経営学科の学生は、外国語科目8単位を次の1）または2）または3）の方法で履修すること。

1）英語4単位＋英語以外の同一外国語4単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期においてⅠAとⅠBを、および1年次後期においてⅡAとⅡBを履修する。(以上1年次4単位)。

2）英語6単位＋英語以外の同一外国語2単位。

英語以外の外国語については、ドイツ語・フランス語・中国語・コリアンの各言語からひとつを選択し、1年次前期において（ⅠAとⅠB）を、または1年次の通年にわたって（ⅠAとⅡA）もしくは（ⅠBとⅡB）を履修する。(以上1年次2単位)。

3）英語を8単位修得し、それ以外の外国語については上記の「原則」にしたがって自由に履修すること。

＜この規程は2020(令和2)年度入学生から適用される。＞

≪健康スポーツ科目「体育実技」の履修に関する規程≫

1．体育実技Ⅰの単位を修得していなければ、体育実技ⅡAまたは体育実技ⅡBを履修することはできない。

＜この規程は2021(令和3)年度入学生から適用される。＞

(2) 学科科目〔経営学科〕

基幹科目20単位、専門科目60単位のうち、専門基礎科目６単位以上、専門科目52単位以上、学科科目合計80単位以上

2021年度～

学科目			科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
												E	Pe	Pc	C	W	F	N
基幹科目			41001	1	MA11A01K	経営学入門Ⅰ	講義	30	②	1	20単位必修	○	○	○	○	○	○	○
			41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	講義	30	②	1		○	○	○	○	○	○	○
			41126	1	MA10A01E	リーダーシップ基礎演習	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
			41009	1	MA11A02E	リーダーシップ演習Ⅰ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
			41012	2	MA22A01E	リーダーシップ演習Ⅱ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
			41010	2	MA23A01E	リーダーシップ演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
			41110	1	MA31A01E	経営演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
			41111	1	MA32A01E	経営演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
			41112	1	MA43A01E	経営演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
			41113	1	MA44A01E	経営演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎科目			40001	2	MA10B01K	公共哲学	講義	30	2	1～2	６単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
			40006	2	MA10B02K	政治学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			41114	1	MA10B03K	行政学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			40008	1	MA10B04K	コミュニケーションと言語学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			40011	2	MA10B05K	倫理学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			40017	1	MA10B06K	法学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			40018	1	MA10B07K	社会学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			40020	2	MA10B08K	哲学の歴史	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			40023	2	MA10B09K	宗教学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			41084	2	MA10B10K	社会経済史	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			41072	2	MA10B11K	会社法Ⅰ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			41073	2	MA10B12K	会社法Ⅱ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
			41121	1	MA10B13K	日本史A	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			41122	1	MA10B14K	日本史B	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			41123	1	MA10B15K	西洋史	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			41124	1	MA10B16K	東洋史	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
			41115	1	MA11C01K	人文地理学Ⅰ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
			41116	1	MA12C01K	人文地理学Ⅱ	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
			41117	1	MA21C01K	自然地理学Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41118	1	MA22C01K	自然地理学Ⅱ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41119	1	MA20C01K	地誌	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41125	1	MA20C02K	発達心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
専門科目	マネジメントコース	戦略・マネジメント系	41005	3	MA20B02K	経営学総論*	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
			41016	2	MA21C06K	経営戦略論Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41017	1	MA32C01K	経営戦略論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41018	2	MA30C01K	経営組織論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41020	2	MA20C02K	経営管理論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41019	3	MA30C02K	経営情報論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41127	1	MA30C20K	情報技術基礎	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41087	2	MA20C03K	情報システム論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41128	1	MA20C23E	情報システム演習	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41088	2	MA20C04K	ITビジネス論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41008	1	MA20C05K	ビジネスリサーチ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41129	1	MA30C21K	オペレーションズ・リサーチ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41026	3	MA30C03K	イノベーションマネジメント	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41027	2	MA30C04K	ビジネスプラニング	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41031	2	MA30C05K	ベンチャービジネス論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41022	1	MA21C02K	人材マネジメント論Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41023	1	MA22C03K	人材マネジメント論Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41090	1	MA30C06K	国際経営論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41028	3	MA20C06K	経営史	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41071	2	MA20C07K	英語で学ぶ経営学入門	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41007	1	MA10C01K	キャリアデザイン	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
		マーケティング系	41041	1	MA21B02K	マーケティング論Ⅰ*	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41043	2	MA20C08K	流通システム論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○

学科目			科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他学科・他学部科目履修の可否						
												E	Pe	Pc	C	W	F	N
専門科目	マネジメントコース	マーケティング系	41044	3	MA20C09K	流通経営論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41045	1	MA30C07K	マーケティング戦略論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41094	1	MA31C02K	消費者行動論Ⅰ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41095	1	MA32C02K	消費者行動論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41130	1	MA20C24K	マーケティングコミュニケーション論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41046	1	MA30C09K	サービス・マーケティング論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41100	2	MA20C25K	マーケティング調査	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	会計・ファイナンスコース	会計・ファイナンス系	41047	3	MA10C02K	入門簿記論	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41048	3	MA10C03K	基礎簿記論	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41049	3	MA20C10K	応用簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41050	3	MA20C11K	会社簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41003	1	MA11B01K	会計学入門Ⅰ*	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41051	1	MA21C03K	財務会計論Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41052	1	MA22C04K	財務会計論Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41059	3	MA30C11K	経営分析論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41055	3	MA20C12K	原価計算論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41056	3	MA20C13K	工業簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41057	2	MA30C12K	管理会計論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41066	2	MA31C03K	租税論Ⅰ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41067	2	MA32C03K	租税論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41061	1	MA21C04K	ファイナンスⅠ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41062	1	MA22C05K	ファイナンスⅡ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41063	2	MA20C14K	金融論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41064	2	MA20C15K	国際金融論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41065	1	MA20C16K	証券市場論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	地域イノベーションコース	ビジネスエコノミクス系	40016	1	MA10C04K	マクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			40015	1	MA10C05K	ミクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41038	2	MA20B01K	ビジネスエコノミクス入門*	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41039	2	MA21C05K	ビジネスエコノミクスⅠ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	×	○
			41101	1	MA32C04K	ビジネスエコノミクスⅡ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	×	○
			41102	1	MA30C13K	国際貿易論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41103	1	MA20C17K	医療経済学	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
		地域マネジメント系	41034	1	MA31C04K	地域産業経営論Ⅰ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41035	1	MA32C05K	地域産業経営論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41120	1	MA30C14K	観光ビジネス論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41098	2	MA30C15K	地域ブランド論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41036	3	MA20C18K	公共経済論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41030	2	MA30C16K	ソーシャルビジネス論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
			41085	2	MA20C19K	公共経営特講	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	ビジネスコミュニケーション系		41068	1	MA11C02K	ビジネスコミュニケーションⅠ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41069	1	MA12C03K	ビジネスコミュニケーションⅡ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○
			41070	2	MA20C20K	外書講読	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41104	1	MA20C21K	ビジネス英語	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41105	1	MA30C17K	時事英語	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
			41076	2	MA10C06K	TOEFL/TOEIC集中講座	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	フィールドスタディ系		41106	1	MA20C22E	グローバルビジネス演習	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×
			41107	1	MA30C18E	地域マネジメント演習	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
			41108	1	MA30C19E	地域インターンシップ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	特別講義		41079	1	MA21C05K	経営特講Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41080	1	MA22C06K	経営特講Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41081	1	MA23C01K	経営特講Ⅲ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
			41109	1	MA40C01S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×

＊は選択必修科目。指定４科目（８単位）から２科目（４単位）以上を選択。

他学科・他学部科目履修の可否は、各学科カリキュラム表に記載されている。○が付いているものは基本的に履修が可能であり、卒業要件単位となる。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が自学科用にある場合か、②学科必修の科目等で他学科学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

履　修　要　項　V

〔資格科目の履修(文学部・生活科学部・看護学部・経営学部)〕

資格取得にあたって…… 105

1．教育職員免許状取得に関する科目の履修…… 106

2．学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修…… 144

3．社会福祉主事任用資格に関する科目の履修…… 146

4．社会教育主事任用資格に関する科目の履修…… 148
(文学部)

5．学芸員資格に関する科目の履修…… 150
(文学部)

6．日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修…… 152
(文学部)

7．小学校英語指導者認定協会資格認定に関する科目の履修…… 156
(文学部現代英語学科)

8．保育士資格に関する科目の履修…… 158
(文学部児童教育学科幼児保育専攻)

9．社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修…… 164
(生活科学部心理福祉学科)

10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 168
(生活科学部心理福祉学科)

11. 認定心理士資格に関する科目の履修…… 172
(生活科学部心理福祉学科)

12. 福祉心理士資格に関する科目の履修…… 174
(生活科学部心理福祉学科)

13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修… 178
(生活科学部食物健康科学科)

14. 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目の履修… 184
(生活科学部食物健康科学科)

15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 187
(看護学部看護学科)

16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修…… 191
(看護学部看護学科)

資格取得にあたって

本学には、文学部・生活科学部・看護学部・経営学部の各学科を卒業する課程と併せて、下記の資格を取得する課程がある。資格取得のためには、卒業要件に係る科目以外に履修しなければならない科目もある。資格取得にあたっては、自分の将来設計を十分考慮の上、履修計画を立ててほしい。資格の多くは学外実習を伴っており、かなり質的に高度なものが要求され、対社会的な問題となることも十分認識すべきである。

学生諸君は、**まず第一に卒業を確実にすべき**であり、次に取得しようとする資格に優先順位をつけて履修すべきである。時間割の重複などで資格に必要な科目が履修できない場合もある。将来の可能性を広げる資格に対して、強い目的意識と自覚をもちながら履修することを心がけてほしい。

なお、資格取得を希望する場合は、**必ずIC-UNIPAで資格登録をすること。**

取得可能な資格 ＜2021（令和３）年度入学生＞

学部名	学科名	取得可能資格
文学部	現代英語学科	・小学校英語指導者資格 ・中学校教諭一種免許状（英語） ・高等学校教諭一種免許状（英語）
	児童教育学科 児童教育専攻	・小学校教諭一種免許状 ・幼稚園教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）
	児童教育学科 幼児保育専攻	・保育士資格 ・幼稚園教諭一種免許状
	文化交流学科	・中学校教諭一種免許状（社会） ・高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
	全学科	・社会教育主事任用資格 ・学芸員資格 ・日本語教育施設の教員資格
生活科学部	心理福祉学科	・社会福祉士国家試験受験資格 ・公認心理師国家試験受験資格 ※卒業後、大学院での学び、または実務経験が必要 ・日本心理学会認定心理士資格 ・福祉心理士資格 ・中学校教諭一種免許状（社会） ・高等学校教諭一種免許状（公民） ・高等学校教諭一種免許状（福祉）
	食物健康科学科	・管理栄養士国家試験受験資格 ・栄養士資格 ・食品衛生監視員任用資格 ・食品衛生管理者資格 ・中学校教諭一種免許状（家庭） ・高等学校教諭一種免許状（家庭） ・栄養教諭一種免許状
文学部 生活科学部 経営学部	全学科 （幼児保育専攻を除く）	・学校図書館司書教諭 （小中高の教員免許状を取得する場合）
経営学部	経営学科	・中学校教諭一種免許状（社会） ・高等学校教諭一種免許状（公民）
看護学部	看護学科	・看護師国家試験受験資格 ・保健師国家試験受験資格 ・養護教諭一種免許状
全学部	全学科	・社会福祉主事任用資格

1．教育職員免許状取得に関する科目の履修

(1) 教育職員免許状取得の要件

本学で取得できる教育職員免許状は、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の特別支援学校教諭一種免許状、「英語」「社会」「家庭」の中学校教諭一種免許状、「英語」「地理歴史」「公民」「福祉」「家庭」の高等学校教諭一種免許状、養護教諭一種免許状、栄養教諭一種免許状である。これを取得するためには、次の要件を満たさなくてはならない。(教育職員免許法、同施行規則による。)

1．教育職員免許状取得の要件

〔2019(平成31)年度以降入学生〕

〔施行規則第66条の６〕

免許状の種類	免許教科	基礎資格	大学における最低修得単位数				合計
			日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	
幼稚園一種		学士	2	2	2	2	8
小学校一種		学士	2	2	2	2	8
特別支援学校一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・高等学校又は幼稚園の普通免許状					
中学校一種	英語 社会 家庭	学士	2	2	2	2	8
高等学校一種	英語 地理歴史 公民 福祉 家庭	学士	2	2	2	2	8
養護教諭一種		学士	2	2	2	2	8
栄養教諭一種		学士 管理栄養士養成課程修了	2	2	2	2	8

〔施行規則第２～５、７、９、10条〕

免許状の種類	免許教科	基礎資格	大学における最低修得単位数									
			教科及び教職に関する科目等						養護に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	特別支援教育に関する科目	合計
			領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目				
					教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法（内容）及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目					
幼稚園一種		学士	16		10	4	7	14				51
小学校一種		学士		30	10	10	7	2				59
特別支援学校一種	知的障害者 肢体不自由者 病弱者	学士 小学校・中学校・高等学校又は幼稚園の普通免許状									26	26
中学校一種	英語 社会 家庭	学士		28	10	10	7	4				59
高等学校一種	英語 地理歴史 公民 福祉 家庭	学士		24	10	8	5	12				59
養護教諭一種		学士			8	6	7	7	28			56
栄養教諭一種		学士 管理栄養士 養成課程修了			8	6	4			4		22

〔参考〕二種免許状取得に必要な単位数

免許状の種類	科目の区分と最低修得単位数								
学校種別等	教科及び教職に関する科目						養護に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	特別支援教育に関する科目
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目			
			教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法（内容）及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目				
幼稚園	12		6	4	7	2			
小学校		16	6	6	7	2			
特別支援									16
中学校		12	6	6	7	4			
養護			5	3	6	4	24		
栄養			5	3	4			2	

(2) 小学校教諭一種（児童教育学科児童教育専攻）

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次				
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 ① 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 1 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 1 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語ⅠB	1				
		10068	1	ドイツ語ⅡB	1				
		10075	1	フランス語ⅠB	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語ⅠB	1				
		10084	1	中国語ⅡB	1				
		10091	1	コリアンⅠB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				
		10046	2	コンピュータ実習		2			

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	小学校一種	小学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	16	13057	2	PE20C06K	○小学校国語科研究		2			
				13560	1	PE10C08E	○書写	1				
				13030	1	PE11C03K	言語教育Ⅰ	〔	2		〕	
				13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	〔	2		〕	
	社会			13059	1	PE20C08K	○小学校社会科研究		2			
				13554	1	PE11C04K	地域社会研究Ⅰ	〔	2		〕	
				13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ	〔	2		〕	
	算数			13061	2	PE20C10K	○小学校算数科研究		2			
				13033	2	PE10C08K	数学教育	〔	2		〕	
	理科			13063	2	PE20C12K	○小学校理科研究		2			
				13035	2	PE10C09K	自然科学教育	〔	2		〕	
	生活			13065	2	PE20C14K	○小学校生活科研究		2			
				13540	2	PE21A01E	○労作体験Ⅰ			①		
				13541	2	PE22A01E	○労作体験Ⅱ			①		
	音楽			13536	1	PE11A01E	○音楽Ⅰ	①				
				13537	1	PE12A01E	○音楽Ⅱ	①				
				13548	1	PE21C01E	○音楽Ⅲ		1			
				13549	1	PE22C01E	○音楽Ⅳ		1			
	図画工作			13538	1	PE11A02E	○美術Ⅰ	①				
				13539	1	PE12A02E	○美術Ⅱ	①				
				13550	1	PE21C02E	○美術Ⅲ		1			
				13551	1	PE22C02E	○美術Ⅳ		1			
	家庭			13071	2	PE20C16K	○小学校家庭科研究		2			
	体育			13069	1	PE20C04K	○小学校体育科研究		2			
				13542	1	PE31A01J	○児童体育Ⅰ			①		
				13543	1	PE32A01J	○児童体育Ⅱ			①		
				13556	1	PE20C19E	野外活動		〔2〕			
	外国語			13041	2	PE31C03E	○小学校英語教育Ⅰ		2			
				13042	2	PE32C03E	○小学校英語教育Ⅱ		2			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語（書写を含む。）			13058	3	PE20C07K	○小学校国語科教育法		2			
	社会			13060	2	PE20C09K	○小学校社会科教育法		2			
	算数			13062	3	PE20C11K	○小学校算数科教育法		2			
	理科			13064	3	PE20C13K	○小学校理科教育法		2			
	生活			13066	3	PE20C15K	○小学校生活科教育法		2			
	音楽			13067	3	PE20C02K	○小学校音楽科教育法		2			
	図画工作			13068	3	PE20C03K	○小学校図工科教育法		2			
	家庭			13072	3	PE20C17K	○小学校家庭科教育法		2			
	体育			13070	2	PE20C05K	○小学校体育科教育法		2			
	外国語			13561	1	PE20C23K	○外国語（英語）教育法		2			

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※規則上は、「教科に関する専門的事項」について、小学校10教科から１以上の科目について修得する。
※規則上は、「各教科の指導法」について、小学校一種では10教科各１単位以上、小学校二種では10教科のうち６教科以上（音楽、図画工作、体育のうち２教科以上を含む）をそれぞれ１単位以上、となっている。

3．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	小学校一種	小学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	13002	2	PE10C02K	○教育原理	2				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			13047	1	PE10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			13015	2	PE20C01K	○教育行政学	2				
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			13004	1	PE11C01K	○教育心理学Ⅰ	2				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			13562	1	PE10C13K	○特別支援教育	〔 2 〕				
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			13091	1	PE10C03K	○教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	6	13049	2	PE10C04K	○道徳教育の理論と方法	2				
	・総合的な学習の時間の指導法			13559	1	PE30C21K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
	・特別活動の指導法			13050	2	PE10C05K	○特別活動の理論と方法	2				
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			13051	4	PE10C06K	○教育方法論	2				
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			13552	2	PE31C02K	○生徒・進路指導の理論と方法			2		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			13553	2	PE32C02K	○教育相談の基礎			2		
				13027	3	PE40C01K	教育相談実践				2	
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	13053	2	PE31C01J	○初等教育実習Ⅰ（事前事後指導１単位を含む）			3		
				13054	2	PE32C01J	○初等教育実習Ⅱ			2		
				13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導１単位を含む）				3	
	・教職実践演習	2	2	13089	1	PE40C02E	○教職実践演習（小学校・幼稚園）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※「教職実践演習（小学校・幼稚園）」は、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」の所定の実習期間を終了した者のみ受講可能。なお、「教職実践演習（小学校・幼稚園）」履修の最終的な可否は、児童教育学科児童教育専攻会議の合議により決定する。

4．大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得単位数	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	配置年次および単位数				備考
						1年次	2年次	3年次	4年次	
	2	13052	1	PE20C18J	○介護等体験（事前事後指導含む）		〔2〕			

(3) 幼稚園教諭一種（児童教育学科児童教育専攻）

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次 1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 ① 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 1 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 1 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語ⅠB	1				
		10068	1	ドイツ語ⅡB	1				
		10075	1	フランス語ⅠB	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語ⅠB	1				
		10084	1	中国語ⅡB	1				
		10091	1	コリアンⅠB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				
		10046	2	コンピュータ実習		2			

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

児童教育学科児童教育専攻学生の幼稚園免許の取得について

1）児童教育学科児童教育専攻学生の教員免許取得の基本は、小学校一種免許状である。

2）幼稚園免許取得のためには、小学校免許取得のための条件に加え、「保育内容総論」、「保育内容教育法・健康」、「保育内容教育法・人間関係」、「保育内容教育法・言葉」、「幼児理解」、「教育相談」を修得すれば、免許申請の基準を満たす。教育実習は、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」（小学校）を当てることができる。

3）そのため、「初等教育実習Ⅲ」（幼稚園）を履修しようとする者は、幼稚園での教育に強い関心を持ち、幼稚園に就職することを強く希望する者に限る。Ⅲに関しては学生自身が事前に実習可能な幼稚園を探し、受け入れの了承を得る必要がある。

2．領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	幼稚園一種	幼稚園二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
領域に関する専門的事項	国語	16	12	13057	2	PE20C06K	○小学校国語科研究		2			
				13030	1	PE11C03K	言語教育Ⅰ	〔	2		〕	
				13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	〔	2		〕	
	算数			13061	2	PE20C10K	○小学校算数科研究		2			
				13033	2	PE10C08K	数学教育	〔	2		〕	
	生活			13065	2	PE20C14K	○小学校生活科研究		2			
				13540	2	PE21A01E	○労作体験Ⅰ			①		
				13541	2	PE22A01E	○労作体験Ⅱ			①		
	音楽			13536	1	PE11A01E	○音楽Ⅰ	①				
				13537	1	PE12A01E	○音楽Ⅱ	①				
				13548	1	PE21C01E	○音楽Ⅲ		1			
				13549	1	PE22C01E	○音楽Ⅳ		1			
	図画工作			13538	1	PE11A02E	○美術Ⅰ	①				
				13539	1	PE12A02E	○美術Ⅱ	①				
				13550	1	PE21C02E	○美術Ⅲ		1			
				13551	1	PE22C02E	○美術Ⅳ		1			
	体育			13069	1	PE20C04K	○小学校体育科研究		2			
				13542	1	PE31A01J	○児童体育Ⅰ			①		
				13543	1	PE32A01J	○児童体育Ⅱ			①		
				13556	1	PE20C19E	野外活動		〔2〕			
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				13565	1	PE30C34K	○保育内容総論			2		
				13502	2	PE30C04E	○保育内容教育法・健康			2		
				13503	2	PE30C05E	○保育内容教育法・人間関係			2		
				13504	2	PE30C06E	○保育内容教育法・環境			2		※1
				13505	2	PE30C07E	○保育内容教育法・言葉			2		
				13506	2	PE31C04E	○保育内容教育法・表現Ⅰ			2		※1
				13507	2	PE32C04E	○保育内容教育法・表現Ⅱ			2		※1

※1　施行規則第2条第1項付表備考第13号による。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
※規則上の修得単位数
「領域に関する専門的事項」:小学校の教科に関する専門的事項、国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育から1以上の科目について修得する。

3．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	幼稚園一種	幼稚園二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	13002	2	PE10C02K	○教育原理	2				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			13047	1	PE10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			13015	2	PE20C01K	○教育行政学	2				
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			13004	1	PE11C01K	○教育心理学Ⅰ	2				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			13562	1	PE10C13K	○特別支援教育	〔 2 〕				
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム･マネジメントを含む。）			13091	1	PE10C03K	○教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	4	13051	4	PE10C06C	○教育方法論	2				
	・幼児理解の理論及び方法			13563	1	PE30C22E	○幼児理解			1		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			13564	1	PE30C23E	○教育相談			1		
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	13053	2	PE31C01J	○初等教育実習Ⅰ（事前事後指導１単位を含む）			3		
				13054	2	PE32C01J	○初等教育実習Ⅱ			2		
				13510	1	PE40C06J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導１単位を含む）				3	
	・教職実践演習	2	2	13089	1	PE40C02E	○教職実践演習（小学校・幼稚園）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

4．大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得単位数	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	配置年次および単位数				備考
						1年次	2年次	3年次	4年次	
	14	13052	1	PE20C18J	介護等体験（事前事後指導含む）		〔2〕			

※「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(4) 特別支援教育〔特別支援学校教諭一種（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）〕

1．特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分		最低修得単位数 特別支援一種	最低修得単位数 特別支援三種	本学開設科目 科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	中心となる領域	含む領域	配置年次および単位数 1年次	2年次	3年次	4年次	備考
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	2	13512	1	PE10C11K	○特別支援教育原論			2				
				13528	1	PE30C20K	世界の障害児教育					2		
				13527	1	PE30C19K	障害児福祉論					2		
				13511	2	PE10C10K	特別支援教育総論					2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	8	13557	1	PE30C10K	○知的障害児の心理・生理・病理	知的障害者				2		
				13519	1	PE30C12K	○肢体不自由児の心理・生理・病理	肢体不自由者				2		
				13521	1	PE30C14K	○病弱児の心理・生理・病理	病弱者				2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目			13514	1	PE31C05K	○知的障害児の教育Ⅰ	知的障害者				2		
				13515	1	PE32C05K	○知的障害児の教育Ⅱ	知的障害者				2		
				13518	1	PE30C11K	○肢体不自由児の教育	肢体不自由者	知的障害者			2		
				13520	1	PE30C13K	○病弱児の教育	病弱者	知的障害者			2		
				13529	1	PE40C07E	○特別支援教育実地演習	知的障害者	肢体不自由者 病弱者				4	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	5	13526	1	PE30C18K	発達障害児の心理検査法	重複・LD等領域	知的障害者		2	2		情緒・LD・ADHD
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目			13522	1	PE30C15K	○重度重複障害児教育論	重複・LD等領域				2		重複
				13513	1	PE20C22K	○発達障害児教育論	重複・LD等領域						情緒・LD・ADHD
				13524	1	PE30C17K	○言語の発達と障害	重複・LD等領域	知的障害者 聴覚障害者			2		言語・情緒
				13558	1	PE30C16K	○感覚障害児教育論		視覚障害者 聴覚障害者			2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3	3	13530	1	PE40C08J	○特別支援教育実習（事前事後指導１単位を含む）						3	

※授業科目の前の○印は教職必修科目
※備考欄に、重複、言語、情緒、LD、ADHDという記載がある授業科目では、その内容も学ぶ。
　重複：重複障害　言語：言語障害　情緒：情緒障害　LD：学習障害　ADHD：注意欠陥多動性障害

(5) 幼稚園教諭一種（児童教育学科幼児保育専攻）

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次				
					1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 ① 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 1 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 1 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10067	1	ドイツ語ⅠB	1				
		10068	1	ドイツ語ⅡB	1				
		10075	1	フランス語ⅠB	1				
		10076	1	フランス語ⅡB	1				
		10083	1	中国語ⅠB	1				
		10084	1	中国語ⅡB	1				
		10091	1	コリアンⅠB	1				
		10092	1	コリアンⅡB	1				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				
		10046	2	コンピュータ実習		2			

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2．領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	幼稚園一種	幼稚園二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
領域に関する専門的事項	国語	16	12	13173	1	PC30C08K	○小学校国語科研究			2		
	算数			13174	1	PC30C09K	○小学校算数科研究			2		
	生活			13175	1	PC30C10K	○小学校生活科研究			2		
	音楽			13192	1	PC11A01E	○音楽Ⅰ	①				
				13193	1	PC12A01E	○音楽Ⅱ	①				
				13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ		1			
				13205	1	PC22C01E	音楽Ⅳ		1			
	図画工作			13194	1	PC11A02E	○美術Ⅰ	①				
				13195	1	PC12A02E	○美術Ⅱ	①				
				13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ		1			
				13207	1	PC22C02E	美術Ⅳ		1			
	体育			13176	1	PC30C11K	○小学校体育科研究			2		
				13198	1	PC21A02J	幼児体育Ⅰ		①			
				13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ		①			
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				13221	1	PC20C32E	○保育内容総論		2			
				13151	2	PC20C24E	○保育内容教育法・健康		2			
				13152	2	PC10C12E	○保育内容教育法・人間関係	2				
				13153	2	PC20C25E	○保育内容教育法・環境		2			
				13154	2	PC10C13E	○保育内容教育法・言葉	2				
				13155	2	PC30C12E	○保育内容教育法・表現Ⅰ			2		
				13156	2	PC30C13E	○保育内容教育法・表現Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
※規則上の修得単位数
「領域に関する専門的事項」:小学校の教科に関する専門的事項、国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育から１以上の科目について修得する。

3．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	幼稚園一種	幼稚園二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	13102	2	PC10C02K	○教育原理	2				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			13168	1	PC10C07K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			13169	1	PC20C21K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			13103	3	PC10C08K	○保育の心理学	2				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			13220	1	PC20C31K	○特別支援教育		〔 2 〕			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム･マネジメントを含む。）			13214	1	PC10C11K	○幼児教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	4	13170	3	PC20C22K	○教育方法論		2			
	・幼児理解の理論及び方法			13216	1	PC20C28E	○幼児理解		1			
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			13217	1	PC20C29E	○教育相談		1			
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	13185	1	PC21C04J	○初等教育実習Ⅲ（事前事後指導１単位を含む）		2			
				13186	2	PC22C04J	○初等教育実習Ⅳ		3			
	・教職実践演習	2	2	13177	1	PC40C04E	○保育・教職実践演習（幼稚園）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。
※「保育・教職実践演習（幼稚園）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

4．大学が独自に設定する科目

「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(6) 中学校教諭一種、高等学校一種（現代英語学科、文化交流学科、心理福祉学科、食物健康科学科、経営学科）

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する授業科目及び単位数								備考
科目	単位数	該当学科	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次 1年次	2年次	3年次	4年次		
日本国憲法	2	全学科	10036	1	○日本国憲法	〔	2		〕		
体育	2	現代英語 文化交流	10155	1	体育実技Ⅰ	〔	①		〕		
			10160	1	体育実技ⅡA	〔	1		〕		
			10161	1	体育実技ⅡB	〔	1		〕		
			10030	1	運動と健康	〔	2		〕		
		心理福祉 食物健康科 経営	10155	1	体育実技Ⅰ	〔	1		〕		2単位選択必修
			10160	1	体育実技ⅡA	〔	1		〕		
			10161	1	体育実技ⅡB	〔	1		〕		
			10030	1	運動と健康	〔	2		〕		
外国語コミュニケーション	2	現代英語	12144	1	English Communication Ⅰ	①					
			12145	1	English Communication Ⅱ	①					
		文化交流	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	①					
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	①					
			10056	1	英語コミュニケーションⅢ		①				
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		①				
		心理福祉 食物健康科	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1					2科目選択必修
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1					
			10058	1	総合英語Ⅰ	1					
			10059	1	総合英語Ⅱ	1					
			10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1				
			10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1				
			10060	1	総合英語Ⅲ		1				
			10061	1	総合英語Ⅳ		1				
		経営	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1					2科目選択必修
			10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1					
			10058	1	総合英語Ⅰ	1					
			10059	1	総合英語Ⅱ	1					
情報機器の操作	2	現代英語 文化交流 心理福祉	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2					1科目選択必修
			10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2					
			10046	2	コンピュータ実習		2				
		食物健康科 経営	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2					1科目選択必修
			10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2					

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔現代英語学科〕中学校教諭一種（英語）、高等学校教諭一種（英語）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	英語学	28	12	24	12131	2	EN20C23K	○英語学概論A		〔 2 〕			最低修得単位 中一種20単位以上 高一種20単位以上 (中二種10単位以上)
					12075	3	EN20C24K	○英語学概論B		〔 2 〕			
					12132	2	EN20C25K	○英語学概論C		〔 2 〕			
					12016	2	EN11C02E	○Grammar Ⅰ	〔 1 〕				
					12017	2	EN12C02E	○Grammar Ⅱ	〔 1 〕				
					12072	2	EN10C04K	言語習得論	〔 2 〕				
	英語文学				12078	3	EN20C26K	○英語文学概論A		〔 2 〕			
					12136	2	EN20C27K	○英語文学概論B		〔 2 〕			
					12115	3	EN20C28E	英語文学講読		〔 2 〕			
					12079	3	EN20C29K	児童文学（英語圏）		〔 2 〕			
	英語コミュニケーション				12146	1	EN23A01E	○English Communication Ⅲ		①			
					12147	1	EN24A01E	○English Communication Ⅳ		①			
					12018	2	EN21C02E	○Writing Ⅰ		〔 1 〕			
					12019	2	EN22C02E	○Writing Ⅱ		〔 1 〕			
					12055	4	EN20C03E	政治・経済の英語			〔2〕		
					12058	4	EN20C04E	文化・社会の英語			〔2〕		
					12006	2	EN20C02E	Advanced Listening		〔 1 〕			
					12014	2	EN20C01E	Advanced Reading		〔 1 〕			
					12153	1	EN30C01E	Advanced Discussion			〔1〕		
					12191	1	EN31C01E	Advanced English Communication Ⅰ			1		
					12192	1	EN32C01E	Advanced English Communication Ⅱ			1		
					12193	1	EN43C01E	Advanced English Communication Ⅲ				1	
					12194	1	EN44C01E	Advanced English Communication Ⅳ				1	
	異文化理解				12071	1	EN20C18K	○異文化理解教育		〔 2 〕			
					12116	3	EN30C02K	地域研究（英語圏）			〔2〕		
					12135	2	EN20C30K	児童文化（英語圏）		〔 2 〕			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					12127	1	EN31C01E	○英語科教育法Ⅰ			〔2〕		最低修得単位 中一種８単位以上、 高一種４単位以上 (中二種２単位以上)
					12128	1	EN32C01E	○英語科教育法Ⅱ			〔2〕		
					12129	1	EN33C01E	○英語科教育法Ⅲ			〔2〕		
					12130	1	EN34C01E	○英語科教育法Ⅳ			〔2〕		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔文化交流学科〕中学校教諭一種（社会）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	12	14206	2	CC20C13K	○日本史A		〔 2 〕			最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)
				14207	2	CC20C14K	○日本史B		〔 2 〕			
				14147	2	CC20C11K	○西洋史		〔 2 〕			
				14142	2	CC20C12K	○東洋史		〔 2 〕			
				14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			〔2〕		
				14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ		〔 2 〕			
				14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ		〔 2 〕			
				14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A			〔2〕		
				14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B			〔2〕		
				14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			〔2〕		
				14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			〔2〕		
				14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化			〔2〕		
	地理学（地誌を含む。）			14191	2	CC21B01K	○人文地理学Ⅰ		〔2〕			
				14192	2	CC22B01K	○人文地理学Ⅱ		〔2〕			
				14246	1	CC21C03K	○自然地理学Ⅰ		〔 2 〕			
				14247	1	CC22C03K	○自然地理学Ⅱ		〔 2 〕			
				14248	1	CC20C10K	○地誌		〔 2 〕			
	「法律学、政治学」			14249	1	CC20C45K	○法学		〔 2 〕			
				14250	1	CC20C46K	○生活と政治		〔 2 〕			
				14153	4	CC30C06K	国際関係論			〔2〕		
	「社会学、経済学」			14188	3	CC20B01K	○社会学A		〔2〕			
				14189	3	CC20B02K	○社会学B		〔2〕			
				14251	1	CC20C47K	○生活と国際経済		〔 2 〕			
				14252	1	CC20C48K	女性学		〔 2 〕			
	「哲学、倫理学、宗教学」			14164	3	CC30C36K	アジアの宗教			〔2〕		
				10111	1	LA10C08K	○哲学とは何か	〔 2 〕				
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法Ⅰ			2		最低修得単位 中一種８単位以上 (中二種２単位以上)
				50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		
				50097	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史教育法Ⅰ			2		
				50098	1	EX32C04K	○社会科・地理歴史教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔文化交流学科〕高等学校教諭一種（地理歴史）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数	本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	日本史	24	14206	2	CC20C13K	○日本史A		〔 2 〕			最低修得単位20単位以上
			14207	2	CC20C14K	○日本史B		〔 2 〕			
			14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			〔2〕		
			14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ		〔 2 〕			
			14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ		〔 2 〕			
	外国史		14147	2	CC20C11K	○西洋史		〔 2 〕			
			14142	2	CC20C12K	○東洋史		〔 2 〕			
			14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化A			〔2〕		
			14265	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化B			〔2〕		
			14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			〔2〕		
			14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			〔2〕		
			14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化			〔2〕		
	人文地理学・自然地理学		14191	2	CC21B01K	○人文地理学Ⅰ		〔2〕			
			14192	2	CC22B01K	○人文地理学Ⅱ		〔2〕			
			14246	1	CC21C03K	○自然地理学Ⅰ		〔 2 〕			
			14247	1	CC22C03K	○自然地理学Ⅱ		〔 2 〕			
	地誌		14128	1	CC20C10K	○地誌		〔 2 〕			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			50095	1	EX31C03K	○社会科・地理歴史教育法Ⅰ			2		最低修得単位4単位以上
			50096	1	EX32C03K	○社会科・地理歴史教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔 〕印は〔 〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕中学校教諭一種（社会）

免許法施行規則上の科目区分等	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数 中学校一種	最低修得単位数 中学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	配置年次および単位数 1年次	2年次	3年次	4年次	備考
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	12	21168	1	WP10C34K	○日本史A	〔2〕				最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)
				21169	1	WP10C35K	○日本史B	〔2〕				
				21171	1	WP10C37K	○西洋史	〔2〕				
				21170	1	WP10C36K	○東洋史	〔2〕				
				21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A		〔 2 〕			
				21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B		〔 2 〕			
	地理学（地誌を含む。）			21172	1	WP21C13K	○人文地理学Ⅰ		〔 2 〕			
				21173	1	WP22C15K	○人文地理学Ⅱ		〔 2 〕			
				21174	1	WP21C14K	○自然地理学Ⅰ		〔 2 〕			
				21175	1	WP22C16K	○自然地理学Ⅱ		〔 2 〕			
				21176	1	WP20C50K	○地誌		〔 2 〕			
	「法律学、政治学」			20014	1	WP10C17K	○法学	〔2〕				
				20015	1	WP10C23K	○生活と政治	〔2〕				
				20006	1	WP10C21K	人権と教育	〔2〕				
				21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		〔 2 〕			
				21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		〔 2 〕			
	「社会学、経済学」			20013	1	WP10C16K	○社会学	〔2〕				
				20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済	〔2〕				
				20018	1	WP10C24K	女性学	〔2〕				
				21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	〔2〕				
				21061	1	WP20C26K	社会病理学		〔 2 〕			
				21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		〔 2 〕			
	「哲学、倫理学、宗教学」			20004	1	WP10C20K	○人間と哲学	〔2〕				
				20003	2	WP10C19K	○生命と倫理	〔2〕				
				21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	〔2〕				
				21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	〔2〕				
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法Ⅰ			2		最低修得単位 中一種８単位以上 (中二種２単位以上)
				50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		
				50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2		
				50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕高等学校教諭一種（公民）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数	本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	24	20014	1	WP10C17K	○法学	〔2〕				最低修得単位20単位以上
			20015	1	WP10C23K	○生活と政治	〔2〕				
			20006	1	WP10C21K	人権と教育	〔2〕				
			21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		〔 2 〕			
			21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		〔 2 〕			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		20013	1	WP10C16K	○社会学	〔2〕				
			20012	1	WP10C22K	○生活と国際経済	〔2〕				
			20018	1	WP10C24K	女性学	〔2〕				
			21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	〔2〕				
			21061	1	WP20C26K	社会病理学		〔 2 〕			
			21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		〔 2 〕			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		20004	1	WP10C20K	○人間と哲学	〔2〕				
			20003	2	WP10C19K	○生命と倫理	〔2〕				
			21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	〔2〕				
			21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	〔2〕				
			21125	1	WP10C31K	発達心理学	〔2〕				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2		最低修得単位4単位以上
			50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔心理福祉学科〕高等学校教諭一種（福祉）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数	本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	社会福祉学（職業指導を含む。）	24	21165	1	WP11C09K	○福祉教育論Ⅰ	〔2〕				最低修得単位20単位以上
			21166	1	WP12C07K	○福祉教育論Ⅱ	〔2〕				
			21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ		〔2〕			
			21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		〔2〕			
			21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		〔2〕			
			21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		〔2〕			
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉		21139	2	WP11C06K	○児童・家庭福祉Ⅰ	〔2〕				
			21140	2	WP12C04K	○児童・家庭福祉Ⅱ	〔2〕				
			21141	2	WP11C07K	○障害者福祉Ⅰ	〔2〕				
			21142	2	WP12C05K	○障害者福祉Ⅱ	〔2〕				
			21143	2	WP11C08K	○高齢者福祉Ⅰ	〔2〕				
			21144	2	WP12C06K	○高齢者福祉Ⅱ	〔2〕				
	社会福祉援助技術		21113	2	WP10C38K	○ソーシャルワークの基盤と専門職	2				
			21114	2	WP10C39K	○ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2				
			21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		〔2〕			
			21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		〔2〕			
			21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		〔2〕			
			21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		〔2〕			
	介護理論・介護技術		21037	1	WP20C13K	○介護概論		〔2〕			
			21078	1	WP20C14E	○介護技術		2			
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）		21023	3	WP10C40E	○ソーシャルワーク演習	〔2〕				
			21024	3	WP21C17E	○ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		〔2〕			
			21119	2	WP21C15E	○ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		〔2〕			
			21120	2	WP22C17E	○ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		〔2〕			
			21067	3	WP21C16J	○ソーシャルワーク実習Ⅰ		〔2〕			
			21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		〔2〕			
			21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ			〔2〕		
			21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			〔2〕		
			21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ			〔2〕		
			21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ			〔6〕		
	人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解		20017	1	WP10C18K	○高齢者生活論	〔2〕				
	加齢に関する理解・障害に関する理解		21049	2	WP20C19K	○障害者・障害児心理学		〔2〕			
			21050	1	WP20C20K	○老年心理学		〔2〕			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			50099	1	EX31C05K	○福祉科教育法Ⅰ			2		最低修得単位4単位以上
			50100	1	EX32C05K	○福祉科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

高一種免（福祉）単独で取得希望することは認めないので注意すること。

中一種免（社会）と高一種免（公民）を合わせて取得希望すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔食物健康科学科〕中学校教諭一種（家庭）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	12	20010	1	FS10C09K	○生活経営論	〔2〕				最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)
				20011	1	FS10C10K	○生活経済学	〔2〕				
				22107	2	FS30A01K	○社会福祉概論			②		
	被服学（被服製作実習を含む。）			22156	1	FS10C06K	○衣服環境論	〔	2		〕	
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）			22128	2	FS21A02K	○ライフステージ栄養学Ⅰ		②			
				22103	2	FS11A03K	○基礎栄養学Ⅰ	②				
				22201	1	FS20A05J	○栄養学実験		①			
				22102	1	FS11A02K	○食品学Ⅰ	②				
				22115	3	FS22A02K	○食品学Ⅱ		②			
				22119	2	FS30A03K	○食品加工学			②		
				22120	2	FS30A04J	○食品加工学実習			①		
				22122	4	FS32A04K	○基礎栄養学Ⅱ			②		
				22184	1	FS10A04J	○食品学実験	①				
				22199	1	FS11A05J	○調理学実習Ⅰ	①				
				22200	1	FS12A02J	○調理学実習Ⅱ	①				
				22126	2	FS20A03K	○調理学		②			
				22127	2	FS20A04J	○調理学実験		①			
				22121	1	FS10C02K	食文化論	〔	2		〕	
				22118	1	FS10C01K	食品化学	2				
	住居学			22157	1	FS10C07K	○居住環境論	〔	2		〕	
	保育学（実習を含む。）			22154	1	FS10C04K	○保育学	〔	2		〕	
				22155	1	FS10C05K	児童臨床学	〔	2		〕	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				50011	1	EX21C01K	○家庭科教育法Ⅰ		2			最低修得単位 中一種８単位以上 (中二種２単位以上)
				50012	1	EX22C01K	○家庭科教育法Ⅱ		2			
				50013	1	EX33C01K	○家庭科教育法Ⅲ			2		
				50014	1	EX34C01K	○家庭科教育法Ⅳ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔食物健康科学科〕高等学校教諭一種（家庭）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数	本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	24	20010	1	FS10C09K	○生活経営論	〔2〕				最低修得単位20単位以上
			20011	1	FS10C10K	○生活経済学	〔2〕				
			22107	2	FS30A01K	○社会福祉概論			②		
	被服学（被服製作実習を含む。）		22156	1	FS10C06K	○衣服環境論	〔 2 〕				
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		22128	2	FS21A02K	○ライフステージ栄養学Ⅰ		②			
			22103	2	FS11A03K	○基礎栄養学Ⅰ	②				
			22201	1	FS20A05J	○栄養学実験		①			
			22102	1	FS11A02K	○食品学Ⅰ	②				
			22115	3	FS22A02K	○食品学Ⅱ		②			
			22119	2	FS30A03K	○食品加工学			②		
			22120	2	FS30A04J	○食品加工学実習			①		
			22122	4	FS32A04K	○基礎栄養学Ⅱ			②		
			22184	1	FS10A04J	○食品学実験	①				
			22199	1	FS11A05J	○調理学実習Ⅰ	①				
			22200	1	FS12A02J	○調理学実習Ⅱ	①				
			22126	2	FS20A03K	○調理学		②			
			22127	2	FS20A04J	○調理学実験		①			
			22121	1	FS10C02K	食文化論	〔 2 〕				
			22118	1	FS10C01K	食品化学	2				
	住居学		22157	1	FS10C07K	○居住環境論	〔 2 〕				
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）		22154	1	FS10C04K	○保育学	〔 2 〕				
			22155	1	FS10C05K	児童臨床学	〔 2 〕				
	家庭電気・家庭機械・情報処理		22158	1	FS10C08K	○家庭電気・機械及び情報処理	〔 2 〕				
			10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習		2			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			50013	1	EX33C01K	○家庭科教育法Ⅲ			2		最低修得単位4単位以上
			50014	1	EX34C01K	○家庭科教育法Ⅳ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔経営学科〕中学校教諭一種（社会）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	12	41121	1	MA10B13K	○日本史A	〔2〕				最低修得単位 中一種20単位以上 (中二種10単位以上)
				41122	1	MA10B14K	○日本史B	〔2〕				
				41123	1	MA10B15K	○西洋史	〔2〕				
				41124	1	MA10B16K	○東洋史	〔2〕				
	地理学（地誌を含む。）			41115	1	MA11C01K	○人文地理学Ⅰ	2				
				41116	1	MA12C01K	○人文地理学Ⅱ	2				
				41117	1	MA21C01K	○自然地理学Ⅰ		2			
				41118	1	MA22C01K	○自然地理学Ⅱ		2			
				41119	1	MA20C01K	○地誌		2			
	「法律学、政治学」			40017	1	MA10B06K	○法学	〔2〕				
				40006	2	MA10B02K	○政治学	〔2〕				
				41072	2	MA10B11K	会社法Ⅰ	〔2〕				
				41073	2	MA10B12K	会社法Ⅱ	〔2〕				
	「社会学、経済学」			40018	1	MA10B07K	○社会学	〔2〕				
				40015	1	MA10C05K	○ミクロ経済学入門	2				
				40016	1	MA10C04K	○マクロ経済学入門	2				
				41001	1	MA11A01K	経営学入門Ⅰ	②				
				41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	②				
				41003	1	MA11B01K	会計学入門Ⅰ	2				
				41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	2				
				41005	3	MA20B02K	経営学総論		2			
				41041	1	MA21B02K	マーケティング論Ⅰ		2			
				41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ		2			
	「哲学、倫理学、宗教学」			40020	2	MA10B08K	○哲学の歴史	〔2〕				
				40011	2	MA10B05K	倫理学	〔2〕				
				40023	2	MA10B09K	宗教学	〔2〕				
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)				50093	1	EX31C02K	○社会科教育法Ⅰ			2		最低修得単位 中一種8単位以上 (中二種2単位以上)
				50094	1	EX32C02K	○社会科教育法Ⅱ			2		
				50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2		
				50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

2．教科及び教科の指導法に関する科目

〔経営学科〕高等学校教諭一種（公民）

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数	本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	24	40017	1	MA10B06K	○法学	〔2〕				最低修得単位20単位以上
			40006	2	MA10B02K	○政治学	〔2〕				
			41072	2	MA10B11K	会社法Ⅰ	〔2〕				
			41073	2	MA10B12K	会社法Ⅱ	〔2〕				
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		40018	1	MA10B07K	○社会学	〔2〕				
			40015	1	MA10C05K	○ミクロ経済学入門	2				
			40016	1	MA10C04K	○マクロ経済学入門	2				
			41001	1	MA11A01K	経営学入門Ⅰ	②				
			41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	②				
			41003	1	MA11B01K	会計学入門Ⅰ	2				
			41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	2				
			41005	3	MA20B02K	経営学総論		2			
			41041	1	MA21B02K	マーケティング論Ⅰ		2			
			41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ		2			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		40020	2	MA10B08K	○哲学の歴史	〔2〕				
			40011	2	MA10B05K	倫理学	〔2〕				
			40023	2	MA10B09K	宗教学	〔2〕				
			41125	1	MA20C02K	発達心理学		2			
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			50097	1	EX31C04K	○社会科・公民科教育法Ⅰ			2		最低修得単位4単位以上
			50098	1	EX32C04K	○社会科・公民科教育法Ⅱ			2		

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※単位数が□印で囲まれているものは卒業するための選択必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

中学校一種免許・高等学校一種免許の取得について

中一種免・高一種免のいずれか一方のみを取得希望することは認めないので注意すること。

3．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等		最低修得単位数			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	中学校一種	中学校二種	高等学校一種	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	6	10	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	6	8	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			中免のみ
	・総合的な学習の時間の指導法				50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
	・特別活動の指導法				50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
	・生徒指導の理論及び方法				50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
					50020	2	EX40C01K	学校カウンセリング実践				2	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				50092	2	EX30C20K	○進路指導論			1		
教育実践に関する科目	・教育実習	5	5	3	50025	1	EX41C01J	○中等教育実習Ⅰ（事前事後指導１単位を含む）				3	中一種免必修
					50026	1	EX42C01J	中等教育実習Ⅱ				2	
	・教職実践演習	2	2	2	50070	1	EX40C02E	○教職実践演習（中学校・高等学校）				2	

※「教職実践演習（中学校・高等学校）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

4．大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目	最低修得単位数			科目コード	科目明細	科目ナンバリング	該当授業科目	配置年次および単位数				備考
	中学校一種	中学校二種	高等学校一種					1年次	2年次	3年次	4年次	
	4	4	12	50031	2	EX20C08J	介護等体験（事前事後指導含む）		〔2〕			中一種免必修

※「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(7) 養護教諭

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次 1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 1 〕				
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 1 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 1 〕				
		10030	1	○運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	①				
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	①				
		10058	1	総合英語Ⅰ	①				
		10059	1	総合英語Ⅱ	①				
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2				１科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
			50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
			50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
教育実践に関する科目	・養護実習	5	50069	1	EX40C05J	○養護実習（事前事後指導１単位を含む）				5	
	・教職実践演習	2	50072	1	EX40C06E	○教職実践演習（養護）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※修得した単位のあふれは、大学が独自に設定する科目に算入する。
※「教職実践演習（養護）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

3．養護に関する科目

免許法施行規則上の科目区分等		本学開設科目				配置年次および単位数				備考
各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
衛生学・公衆衛生学 （予防医学を含む。）	4	31115	1	NU10A09K	○疫学		②			予防医学を含む
		31179	1	NU30C01K	保健統計			2		
		31112	2	NU10A08K	○保健医療福祉行政論	②				
学校保健	2	31140	2	NU20A17K	○公衆衛生看護学概論		②			
		31204	1	NU20A21E	○学校保健		①			
		31193	1	NU20A14K	○小児看護学A （健康な小児の生活支援）		①			
養護概説	2	50073	1	EX30C17K	○養護概説			2		
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	31202	1	NU20A20K	○公衆衛生看護活動展開論A （発達・健康課題と看護）		①			
		31180	2	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B （公衆衛生看護技術）			2		
		31205	1	NU40C02K	○学校健康相談				1	
		31191	1	NU12A01E	○科学的思考基礎演習Ⅱ （コミュニケーションと人間関係）	①				
栄養学 （食品学を含む。）	2	31104	2	NU10A04K	○栄養・代謝学	①				食品学を含む
		31103	1	NU10A03K	○生化学	①				
		31105	2	NU20C01J	食物健康実習		1			
解剖学・生理学	2	31101	3	NU10A01K	○人体構造機能学A	②				
		31186	1	NU10A02K	○人体構造機能学B	②				
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	31108	1	NU20A03K	○薬理学		②			
		31106	2	NU10A05K	○感染と防御（微生物学）	①				
精神保健	2	31126	2	NU20A09E	○精神保健 （発達段階と場に応じたメンタルヘルス）		①			
		31195	1	NU20A16K	○精神看護学A （心の基本理解と健康）		①			
		31200	1	NU30A05E	○精神看護学B （心を病む人の理解とセルフマネジメント）			②		
看護学 （臨床実習及び救急処置を含む。）	10	31117	1	NU10A10K	○看護学概論	①				
		31199	1	NU30A03E	○小児看護学B （小児の健康障害と看護）			②		
		31188	1	NU20A05K	○疾病治療論B （小児・母性・精神）		③			
		31198	1	NU30A01E	○成人看護学B （ペリオペレイティブケア・クリティカルケア）			①		救急処置を含む
		31157	1	NU30A09J	○小児看護学実習			②		臨床実習
		31155	1	NU30A07J	○成人看護学実習			④		臨床実習
		31206	1	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B （活動展開の応用）				4	臨床実習

※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※単位数が○印で囲まれているものは卒業するための必修科目。
※修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

4．大学が独自に設定する科目

「養護に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得した単位のあふれは、「大学が独自に設定する科目」に算入する。

(8) 栄養教諭

1．免許法施行規則第66条の６に定める科目の履修

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目及び単位数							備考
科目	単位数	科目コード	科目明細	該当授業科目	配置年次および単位数 1年次	2年次	3年次	4年次	
日本国憲法	2	10036	1	○日本国憲法	〔 2 〕				
体育	2	10155	1	体育実技Ⅰ	〔 1 〕				2単位選択必修
		10160	1	体育実技ⅡA	〔 1 〕				
		10161	1	体育実技ⅡB	〔 1 〕				
		10030	1	運動と健康	〔 2 〕				
外国語コミュニケーション	2	10054	1	英語コミュニケーションⅠ	1				2科目選択必修
		10055	1	英語コミュニケーションⅡ	1				
		10058	1	総合英語Ⅰ	1				
		10059	1	総合英語Ⅱ	1				
		10056	1	英語コミュニケーションⅢ		1			
		10057	1	英語コミュニケーションⅣ		1			
		10060	1	総合英語Ⅲ		1			
		10061	1	総合英語Ⅳ		1			
情報機器の操作	2	10044	1	コンピュータ基礎Ⅰ	2				1科目選択必修
		10045	1	コンピュータ基礎Ⅱ	2				

※科目ナンバリングは、学科の全学教養科目を参照すること。
※授業科目の前の○印は教職必修科目。
※〔　〕印は〔　〕内のいずれの年次に履修してもよいことを示す。

2．栄養に係る教育に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	配置年次および単位数 1年次	2年次	3年次	4年次	備考
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	22167	1	FS31C02K	○学校栄養指導論Ⅰ			2		
・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項										
・食生活に関する歴史的及び文化的事項		22168	1	FS32C02K	○学校栄養指導論Ⅱ			2		
・食に関する指導の方法に関する事項										

※授業科目の前の○印は教職必修科目。

3．教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則上の科目区分等			本学開設科目				配置年次および単位数				備考
	各科目に含める ことが必要な事項	最低修得 単位	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	50001	1	EX20C01K	○教育原理		2			
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		50000	1	EX10C01K	○教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		50003	1	EX20C03K	○教育行政学		2			
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		50002	1	EX20C02K	○教育心理学		2			
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		50089	1	EX20C20K	○特別支援教育		2			
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		50055	1	EX30C01K	○教育課程論			2		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	50015	2	EX20C04K	○道徳教育の理論と方法		2			
			50090	1	EX30C18K	○総合的な学習の時間の教育法			2		
			50016	2	EX20C05K	○特別活動の理論と方法		2			
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		50017	4	EX20C06K	○教育方法論		2			
	・生徒指導の理論及び方法		50091	1	EX30C19K	○生徒指導論			1		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		50018	2	EX30C07K	○教育相談の基礎			2		
教育実践に関する科目	・栄養教育実習	2	50056	1	EX40C03J	○栄養教育実習 （事前事後指導1単位を含む）				2	
	・教職実践演習	2	50071	1	EX40C04E	○教職実践演習（栄養）				2	

※授業科目の前の○印は教職必修科目
※「教職実践演習（栄養）」は、教育実習が終了した者のみ受講可能。

(9)「介護等体験」について

中学校・小学校教諭の免許状を取得する場合、介護等の体験を義務づける法律、いわゆる「介護等体験特例法」が1997（平成９）年に公布された。それにより、1998（平成10）年４月以降の大学入学者等から、７日間以上の介護等体験が義務づけられている。

この体験をとおして、①人間の尊さや人権を理解する　②一人一人が違った個性と能力を有することを実感し、様々な価値観があることを理解する　③諸施設やそこで働いている人々を理解する、ことを学ぶことになっている。

本学の位置する茨城県でも、介護等体験について関係各機関が協議を重ね、該当者は福祉施設で５日間（以上）、特別支援学校で２日間の介護、介助、交流等の体験を行うことになっている。近年一部の学生の心構えや態度に問題があるとの指摘が全国的に受入れ施設側からなされており、本学では事前指導の徹底をはかっている。なお、介護等体験中の学生の態度に著しい問題があり、施設利用者に不利益をあたえるおそれがある場合には、該当学生の介護等体験を中止することもあり得る。

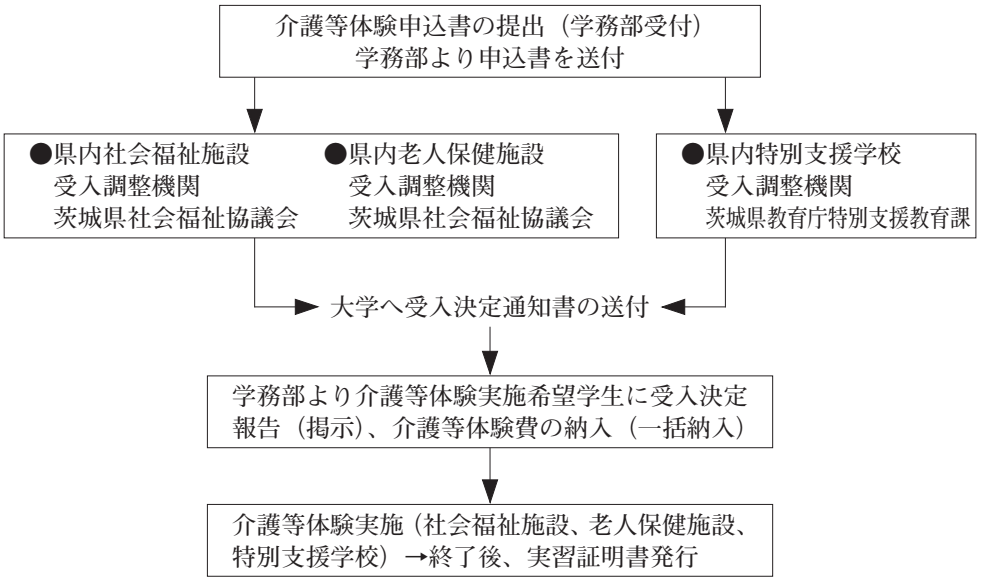
本学では、2000年度入学生より上記のとおり「介護等体験」は授業（半期科目、２単位）として開講している。中学校及び小学校一種免許状取得希望の学生は、必ず履修すること。

介護等体験を実施するにあたって、様々な調整や準備が必要となるので、学生諸君は以下の留意事項（手続きの流れ）を十分理解してもらいたい。

１）事前指導

介護等体験実施にあたっては、授業での事前指導を必ず受けること。事前指導を欠席した場合は、介護等体験の実施ができなくなる。

２）介護等体験実施のための手続き



手続きの詳細については、IC-UNIPAにて掲示するので希望者はよく確認すること。

3）実施期間及び費用

実施期間（日数）は以下のとおりだが、実施日は各受入れ施設が決定するので、必ずしも希望どおりになるとは限らない。費用は、大学でまとめて、社会福祉協議会へ振り込む。

・県内社会福祉施設　　5日間（申込みは年2回、実施時期は10～12月、1～2月）
・県内老人保健施設　　介護等体験費、8,000円（一人1日　1,000円×5日、調整費用　3,000円）
・県内特別支援学校　　2日間（申込みは年2回、実施時期は6月～翌年2月）
　　手数料（証明書代）400円

※その他、実習施設等への交通費、昼食代は自己負担となる。

4）介護等体験の証明書発行とその保管について

介護等体験を実施した施設（学校）では、終了後介護等体験証明書を発行する。その証明書は、教員免許状申請時（卒業年次）に使用するので、介護等体験実施後ただちに学務部に提出し、コピーを本人が保管しておくこと。証明書を紛失すると再発行されない場合もあるので注意すること。

(10) 教育実習に関わる履修規程

教育実習は、大学が実習校（園）に対してお願いし、実施可能となる特殊な科目である。実習の受講について学生の希望は尊重されるが、権利ではない。

したがって、たとえ、下記の履修条件を満たしている場合でも、学科会および本学教職課程委員会が、実習生として適正に欠けると判断する場合は、実習を許可しない場合や実習途中でも実習を中止させる場合がある。

なお、初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、中等教育実習Ⅰ・Ⅱを履修しようとする者は、下記の履修条件に加え、教職課程委員会が実施する「教職課程一般教養試験」を受験し、これに合格しておくこと。

また、教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であることが求められる。

教職課程一般教養試験について

※1　この試験は毎年度末（2月上旬～中旬）に実施する。
※2　試験の内容（範囲）や試験日等の詳細については、毎年6月上旬に学務部掲示版に掲示する。
※3　この試験は1年次末に受験し、合格しておくことが望ましい。不合格となり、さらに教員免許状の取得を目指す者は、次年度以降に再受験することができる。

＜初等教育実習（小学校）を行うための履修条件＞

「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」（小学校）を履修しようとする者は、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は3年次4月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち2分の1（62単位）以上。
② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学Ⅰ、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、特別活動の理論と方法、教育方法論、計18単位のうち14単位以上。
③ 小学校各教科研究（小学校英語教育Ⅰ及びⅡ及び書写を含む）及び、各科教育法（外国語（英語）教育法を含む）、計39単位のうち30単位以上。
④ 音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、美術Ⅰ、美術Ⅱ、体育実技A（水泳）、計5単位。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜特別支援学校教諭一種免許状取得課程の履修要件＞

特支一種免取得課程を履修する場合、特支免課程が開始される年度の当初（通常は３年次の４月）までに、下記の要件を満たしていなければならない。

① 「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」（小学校）の履修条件を満たしていること。

② 「特別支援教育原論」を修得すること。なお、「特別支援教育」及び「発達障害児教育論」も修得していることが望ましい。また、特支免課程の履修は、一定の人数制限を設けるため、上記要件を満たしている場合であっても、課程の履修が認められない場合がある。

＜特別支援教育実習を行うための履修条件＞

「特別支援教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち４分の３（93単位）以上。

② 初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、計５単位。

③ 発達障害児教育論、知的障害児の教育Ⅰ、知的障害児の教育Ⅱ、知的障害児の心理・生理・病理、肢体不自由児の教育、肢体不自由児の心理・生理・病理、病弱児の教育、病弱児の心理・生理・病理、重度重複障害児教育論、言語の発達と障害、感覚障害児教育論、計22単位のうち14単位以上。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜初等教育実習Ⅲ（幼稚園）を行うための履修条件　（児童教育学科児童教育専攻）＞

児童教育学科児童教育専攻で「初等教育実習Ⅲ」（幼稚園）を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち４分の３（93単位）以上。

② 初等教育実習Ⅰ・Ⅱ、計５単位。

③ 音楽Ⅲ、音楽Ⅳ、美術Ⅲ、美術Ⅳ、計４単位。

④ 保育内容総論、保育内容教育法・健康、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、幼児理解、教育相談、計10単位のうち８単位以上。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜初等教育実習Ⅲ（幼稚園）を行うための履修条件　（児童教育学科幼児保育専攻）＞

児童教育学科幼児保育専攻で「初等教育実習Ⅲ」（幼稚園）を履修しようとする者は、実習を行う年度の当初（通常は２年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

教育原理、教職論、保育の心理学、幼児教育課程論、保育原理、子どもの理解と援助、保育者論、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、美術Ⅰ、美術Ⅱ、合計23単位のうち14単位以上。

※GPAは問わない。

＜初等教育実習Ⅳ（幼稚園）を行うための履修条件　（児童教育学科幼児保育専攻）＞

教育実習を行う前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜中等教育実習を行うための履修条件＞

「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

【免許状の教科（領域）が英語以外の場合】

① 卒業に必要な単位のうち４分の３（93単位。食物健康科学科は96単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。

③ 各科教育法

④ 教科及び教科の指導法に関する科目20単位以上（各科教育法は含めない）。

【免許状の教科（領域）が英語の場合】

① 卒業に必要な単位のうち４分の３（93単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、進路指導論、教育相談の基礎、計24単位のうち18単位以上。

③ 英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ、計８単位。

④ ③の４科目と英語学概論Ａ、英語学概論Ｂ、英語学概論Ｃ、GrammarⅠ、GrammarⅡ、英語文学概論Ａ、英語文学概論Ｂ、English CommunicationⅢ、English CommunicationⅣ、WritingⅠ、WritingⅡ、異文化理解教育、計16科目中12科目以上。

※留学等の理由により、履修することができなかった科目がある場合は、10科目以上の単位を修得していれば、『中等教育実習』の履修を認める場合がある。

さらに下記の条件を満たしていなければならない。

「③および④の16科目のうち、履修した科目のGPAが2.5以上であること。」

「中等教育実習を行うために必要な英語力を有していること。教育実習を行う前年度末の定められた期日までに、下記の条件のうちいずれかを必ず満たすこと。」

(1) 英語力診断テスト（520点以上）

(2) TOEIC Listening & Reading Test（470点以上）

(3) TOEFL ITP（455点以上）

※いずれも大学入学後に受験した結果のみ有効とする。

※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。（免許状の教科に関わらず共通の条件）

＜養護実習を行うための履修条件＞

「養護実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち４分の３（93単位）以上。

② 教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。

③　公衆衛生看護学概論、学校保健、小児看護学Ａ（健康な小児の生活支援）、養護概説、計６単位。
※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

＜栄養教育実習を行うための履修条件＞

「栄養教育実習」を履修しようとする者は、当該年度に卒業見込みが確実で、卒業後、教職に就くことを強く希望する者であること。実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに、下記の科目を修得していなければならない。

①　卒業に必要な単位のうち４分の３（96単位）以上。
②　教育原理、教職論、教育行政学、教育心理学、特別支援教育、教育課程論、道徳教育の理論と方法、総合的な学習の時間の教育法、特別活動の理論と方法、教育方法論、生徒指導論、教育相談の基礎、計23単位のうち18単位以上。
③　学校栄養指導論Ⅰ、学校栄養指導論Ⅱ、計４単位。
※教育実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

○教育実習の実習年次、期間と場所

「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、３年次に、日立市近辺の小学校（実習協力校）において、４週間にわたって行う。実習Ⅰには、事前・事後指導１単位分が含まれ、一日観察実習も行う。

児童教育専攻の「初等教育実習Ⅲ」は、原則として、学生自身が探した幼稚園で４年次９月に２週間にわたって行う。幼児保育専攻の「初等教育実習Ⅲ」は、２年次前期に大学附属認定こども園で計１週間にわたって行う。「初等教育実習Ⅳ」は、２年次２月に大学附属認定こども園や実習協力園で計３週間にわたって行う。実習園を学生自身が探すこともできる。両専攻とも実習Ⅲには、事前事後指導１単位分が含まれ、一日観察実習も行われる。

「特別支援教育実習」は、４年次に特別支援学校において２週間にわたって行う。実習には事前事後指導１単位分が含まれる。

「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、４年次に、原則として出身中学校・高等学校において、15日間にわたって行う。実習Ⅰには事前・事後指導１単位分が含まれる。

「養護実習」は４年次に、原則として日立市内の小学校（実習協力校）または出身小学校・中学校において、15日間にわたって行う。実習には事前事後指導１単位分が含まれる。

「栄養教育実習」は４年次に、小・中学校において５日間にわたって行う。なお、４年次６月に事前準備として一日観察実習を行う。

(11) その他

＜１＞ 資格課程費および教育実習費

教育職員免許状を取得しようとする者は教育実習の履修登録をする際、以下の表の通り、資格課程費および教育実習費を納入しなければならない。

資格課程費

学科	取得予定の免許	金額	納入者	納入年次	納期
現代英語学科	中一種免（英語）	5,000	履修者	2年次	5月下旬
	高一種免（英語）	5,000	履修者		
児童教育学科（児童教育専攻）	小一種免	10,000	履修者		
	幼一種免	5,000	履修者	3年次	
	特支一種免	5,000	履修者		
児童教育学科（幼児保育専攻）	幼一種免	5,000	履修者	2年次	
文化交流学科	中一種免（社会）	5,000	履修者	2年次	
	高一種免（地歴）	5,000	履修者		
心理福祉学科	中一種免（社会）	5,000	履修者		
	高一種免（公民）	5,000	履修者		
	高一種免（福祉）	5,000	履修者		
食物健康科学科	中一種免（家庭）	5,000	履修者		
	高一種免（家庭）	5,000	履修者		
	栄教一種免	5,000	履修者		
看護学科	養教一種免	5,000	履修者		
経営学科	中一種免（社会）	5,000	履修者		
	高一種免（公民）	5,000	履修者		

・資格課程費は、取得予定の免許状の種類ごとに納入することになる。たとえば、中一種免（社会）と高一種免（公民）および高一種免（福祉）を取得予定の学生は、15,000円を納入することになる。
２年次以降に受講可となる教職課程科目は、資格課程費を納入しなければ履修できないので注意すること。
なお、「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」を除く教育実習には教育実習費（下表参照）が必要となる。

教育実習費

種別	金額(予定)	納入者	納入年度	納期
初等教育実習Ⅲ（Pe）	8,000	履修者	履修登録年度	7月上旬
特別支援教育実習	10,000	履修者	履修登録年度	別途指示
初等教育実習Ⅲ（Pc）	4,000	履修者	履修登録年度	5月下旬
初等教育実習Ⅳ（Pc）	12,000	履修者	履修登録年度	別途指示
中等教育実習Ⅰ・Ⅱ	15,000	履修者	履修登録年度	実 習 時
栄養教育実習	5,000	履修者	履修登録年度	7月中旬
養護実習	15,000	履修者	履修登録年度	別途指示

・上記教育実習費は予定額である。詳細については実習前に指示する。

＜２＞免許状授与申請の手続

Ａ．幼一種免、小一種免、特支一種免、中一種免、高一種免、養教一種免

１）本学から茨城県教育委員会への教員免許状一括申請（所属学科課程認定教科免許状）は、教職課程認定上の必修科目を含めた単位を修得した場合に限られる。

２）教育職員免許状授与申請にあたっては、次の手続きを必要とする。

〔提出すべき書類〕

① 教育職員免許状授与願（茨城県の指定様式）
② 個人事項証明書（戸籍抄本）
③ 履歴書（茨城県の指定様式）
④ 宣誓書（茨城県の指定様式）
⑤ 介護等体験証明書（社会福祉施設及び特別支援学校による証明）
⑥ 学力に関する証明書

以上のうち①・③・④（茨城県の指定様式）は、説明会時に学務部より配付する。②は各自入手する。⑤は介護等体験後学務部へ提出する。（申請書類作成時一度本人に返却される）⑥は、本学所定の証明書交付願により申し込むこと。（⑥は、本学より直接県に提出）

書類は①・②・③・④・⑤の順に綴じて、決められた期日までに学務部に提出する。高等学校（一種）、中学校（一種）の両方の免許状を申請する場合は各１部ずつ提出する。

※授与手数料は、高等学校・中学校・小学校各々茨城県収入証紙3,400円を教育職員免許状授与願の表面に貼付すること。証紙には捺印しないこと。

※提出書類については、異なる可能性があるため説明会に出席すること。

Ｂ．栄教一種免

１）栄養教諭一種免許状申請のための要件

① 卒業見込みである者。
② 「免許法施行規則第66条の６に定める科目」、「栄養に係る教育に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位修得が確実な者。
③ 卒業後、「栄養士」の免許状が取得できる者。

２） 教育職員免許状授与申請にあたっては、次の手続きを必要とする。

〔提出すべき書類〕

① 教育職員免許状授与願（茨城県の指定様式）
② 個人事項証明書（戸籍抄本）
③ 履歴書（茨城県の指定様式）
④ 宣誓書（茨城県の指定様式）
⑤ 学力に関する証明書
⑥ 栄養士免許状の写し

以上のうち①・③・④（茨城県の指定様式）は、説明会時に学務部より配付する。②は各自入手する。⑤は、本学所定の証明書交付願により申し込むこと。（⑤は、本学より直接県に提出）⑥は卒業後に、写しを大学へ郵送。書類は、⑤・⑥を除く全てを順に綴じて、決められた期日までに学務部に提出する。

※免許状は卒業後に受取ることになる。

※授与手数料は、茨城県収入証紙3,400円を教育職員免許状授与願の表面に貼付すること。証紙には捺印しないこと。

※提出書類については、年度によって異なる可能性があるため、説明会に出席すること。

※卒業の翌年度に栄養教諭として採用が確定している場合、速やかに学務部に申し出ること。

2．学校図書館司書教諭資格に関する科目の履修

司書教諭は、学校図書館の専門的職務を担当する者であり、学校図書館法によって小学校、中学校及び高等学校に置くように規定されている。学校図書館法には、司書教諭になるためには学校図書館司書教諭講習を修了する必要があると定められている。本学の児童教育学科児童教育専攻には、資格の取得を希望する者のために、学校図書館司書教諭講習規程に定められた科目が開設されている。

＜１＞ 資格取得の要件

1）教育職員免許状（幼稚園教諭、栄養教諭、養護教諭は除く）を有する者であること。
したがって教職課程科目と併せて履修しなければならない。

2）大学において、この資格を取得するに必要な科目の単位を修得していること。
この単位は司書教諭講習会を受講することによって修得するものであるが、本学に開講されている科目の単位の修得により、この要件をみたすことができる。

3）必修科目とその単位数
必修科目は５科目10単位である。

① 児童教育学科児童教育専攻学生の場合、児童教育学科児童教育専攻資格科目Ⅲにある以下の科目を履修すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	１年次	２年次	３年次	４年次
13531	1	PE30C21K	学校経営と学校図書館			〔　2　〕	
13532	1	PE30C22K	学校図書館メディアの構成			〔　2　〕	
13533	1	PE30C23K	学習指導と学校図書館			〔　2　〕	
13534	1	PE30C24K	読書と豊かな人間性			〔　2　〕	
13535	1	PE30C25K	情報メディアの活用			〔　2　〕	

② 中等教職課程履修者の場合
原則として３年次からの履修となる。
このため、児童教育学科児童教育専攻資格科目と同様の科目が、「卒業要件外の科目」に配置されているので、その科目コードで登録すること。

科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	１年次	２年次	３年次	４年次
50050	1	EX30C13K	学校経営と学校図書館			〔　2　〕	
50051	1	EX30C14K	学校図書館メディアの構成			〔　2　〕	
50052	1	EX30C15K	学習指導と学校図書館			〔　2　〕	
50053	1	EX30C16K	読書と豊かな人間性			〔　2　〕	
50054	1	EX20C17K	情報メディアの活用		〔　2　〕		

＜２＞学校図書館司書教諭資格申請

申請は以下のとおり行う。単位の修得状況により申請時期が異なるので注意すること。

1）対象

＜前年度終了（３年次修了）までに、以下の条件を全て満たしている者＞

①　３年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得済の者

②　児童教育学科児童教育専攻の学生は初等教育実習Ⅰ・Ⅱの単位を修得済の者、もしくは４年次で教育実習参加が確実な者。中等教職課程履修者の場合は４年次での教育実習参加が確実な者

③　３年次修了までに、卒業に必要な単位のうち62単位以上を修得済の者

※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。

※申請は４年次の前期に行う。修了証書は卒業した年の３月頃までに郵送される。ただし、教育職員免許状を取得できなかった場合には資格として認められない。

＜４年次修了までに、以下の条件を全て満たす者＞

①　４年次修了までに、学校図書館司書教諭に関する科目全てを修得見込みの者

②　４年次修了までに、教育職員免許状取得が可能な者で、教育職員免許状一括申請者（または、教育職員免許状を既に取得している者）。

※上記の条件を一つでも満たせない場合には学校図書館司書教諭資格申請を取り消すものとする。

※４年次後期に申請についての説明会を行い、申請は卒業後に行う。修了証書は卒業後司書教諭資格および教育職員免許状を取得した翌年の３月頃までに郵送される。

2）学校図書館司書教諭資格申請ガイダンス

申請手続きに関するガイダンスを実施する。具体的な手続き方法や提出すべき書類についてはガイダンス時に指示する。日時・場所については掲示で告知する。

3．社会福祉主事任用資格に関する科目の履修
〔文学部・生活科学部・看護学部・経営学部〕

社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉主事任用資格は公務員試験に合格し、市町村の福祉サービス担当課や福祉事務所に配属になり、福祉職として仕事をする際に名乗ることのできる資格である。

しかし、実際には民間の社会福祉法人等で就職の採用条件とされる場合もあり、福祉の職場に就職したいと考えている人は取得しておいた方がよい。

この資格は右記の厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を３科目以上（ただし、福祉に関わる専門科目を１科目以上選択するようにしてほしい）修得し、本学を卒業すると取得できる。なお、社会福祉主事任用資格は、社会福祉士試験受験資格と異なる。混同しないよう注意すること。

＜文学部・生活科学部・看護学部・経営学部　2021年度以降入学生＞

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目	本学指定授業科目			配置年次	単位数	履修可能学科								備考
	科目コード	科目明細	科目名			E	Pe	Pc	C	W	F	N	M	
社会福祉概論	13118	1	社会福祉	2	2	×	×	○	×	×	×	×	×	
	21101	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	21102	2	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	22107	2	社会福祉概論	3	2	×	×	×	×	×	○	×	×	
社会福祉事業史	21115	1	社会福祉発達史A	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	×	2科目修得して1科目とみなす
	21116	1	社会福祉発達史B	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	×	
社会福祉援助技術論	21113	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	6科目修得して1科目とみなす
	21114	2	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	21135	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2～3	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	21136	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2～3	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	21137	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2～3	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	21138	2	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2～3	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
社会福祉調査論	21076	2	社会福祉調査の基礎	2～4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
社会福祉施設経営論	21149	2	福祉サービスの組織と経営A	2～4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	21150	2	福祉サービスの組織と経営B	2～4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
社会保障論	21147	2	社会保障Ⅰ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して1科目とみなす
	21148	2	社会保障Ⅱ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
	31111	2	社会保障制度論	1	2	×	×	×	×	×	×	○	×	
公的扶助論	21029	2	貧困に対する支援	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
児童福祉論	13117	3	子ども家庭福祉	3	2	×	×	○	×	×	×	×	×	
	21139	2	児童・家庭福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して2科目とみなす
	21140	2	児童・家庭福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
家庭福祉論	21139	2	児童・家庭福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して2科目とみなす
	21140	2	児童・家庭福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
保育理論	13114	2	保育原理	1	2	×	×	○	×	×	×	×	×	
	22154	1	保育学	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
老人福祉論	21143	2	高齢者福祉Ⅰ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して1科目とみなす
	21144	2	高齢者福祉Ⅱ	1～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域福祉論	21145	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	2科目修得して1科目とみなす
	21146	2	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
法学	14249	1	法学	2～4	2	×	×	×	○	×	×	×	×	
	20014	1	法学	1～2	2	○	○	○	×	○	○	○	×	
	40017	1	法学	1～2	2	×	×	×	×	×	×	×	○	
心理学	21099	1	心理学概論Ⅰ	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	21100	1	心理学概論Ⅱ	1	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
社会学	14188	3	社会学A	2～3	2	○	○	○	○	×	×	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	14189	3	社会学B	2～3	2	○	○	○	○	×	×	×	×	
	20013	1	社会学	1～2	2	×	×	×	×	○	○	○	×	
	40018	1	社会学	1～2	2	×	×	×	×	×	×	×	○	
教育学	13002	2	教育原理	1	2	○	○	×	○	○	○	×	○	
	13102	2	教育原理	1	2	×	×	○	×	×	×	×	×	
	50001	1	教育原理	2	2	○	×	×	○	○	○	○	○	
倫理学	40011	2	倫理学	1～2	2	×	×	×	×	×	×	×	○	
公衆衛生学	22104	1	公衆衛生学Ⅰ	2	2	×	×	×	×	×	○	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	22106	1	公衆衛生学Ⅱ	3	2	×	×	×	×	×	○	×	×	
	31178	1	公衆衛生学	1	1	×	×	×	×	×	×	○	×	
医学一般	21109	1	人体の構造と機能及び疾病	2～4	2	×	×	×	×	○	×	×	×	
	22182	1	医学一般Ⅰ	3	2	×	×	×	×	×	○	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	22183	1	医学一般Ⅱ	4	2	×	×	×	×	×	○	×	×	
看護学	31117	1	看護学概論	1	1	×	×	×	×	×	×	○	×	
介護概論	21037	1	介護概論	2～4	2	○	○	○	○	○	○	○	○	
栄養学	22103	2	基礎栄養学Ⅰ	1	2	×	×	×	×	×	○	×	×	2科目修得して1科目とみなす
	22122	4	基礎栄養学Ⅱ	3	2	×	×	×	×	×	○	×	×	

・科目については、福祉の内容に関する科目を１つは履修することが望ましい。
・本学指定授業科目のいずれか１科目を修得することで、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を１科目修得したとみなす。
　ただし、科目が複数の科目に区分される場合（「Ⅰ、Ⅱ」「A、B」など）は、社会福祉に関する科目上、当該区分された科目の全てを修得して１科目とみなす。
　例)「社会福祉の原理と政策Ⅰ」と「社会福祉の原理と政策Ⅱ」を修得して、社会福祉に関する科目の「社会福祉概論」１科目とみなす。
・「児童･家庭福祉Ⅰ･Ⅱ」については、社会福祉に関する科目の「児童福祉論」と「家庭福祉論」にまたがるため、２科目修得して２科目とみなす。
・「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門)」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」「ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ」は社会福祉に関する科目上、６科目修得して１科目とみなす。
・本学指定授業科目の中で社会福祉に関する科目が同様の科目を複数修得したとしても、社会福祉に関する科目は１科目とみなされるので注意すること。
　例)「社会保障Ⅰ・Ⅱ」と「社会保障制度論」を修得したとしても、社会福祉に関する科目の「社会保障論」１科目とみなす。
・科目ナンバリングは各学科科目を参照すること。

4．社会教育主事任用資格に関する科目の履修
〔文学部〕

（1）社会教育主事任用資格及び社会教育士（養成課程）

1．概要

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言･指導に当たる役割を担う。また、2018年度の文部科学省法改正により、2020年度から「社会教育主事任用資格」を得た者は、「社会教育士（養成課程）」と称することができるようになった。

従来社会教育主事は任用資格（≒教育委員会や公民館等、必要な部署に就いた時のみ有効）だったが、この改正では「学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働し、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割」が求められた。地域において、子供のみならず大人、高齢者をも対象とした多様な学習活動を計画、実施、支援し、住民の生きがいを生み出し、地域を活性化するような活動が期待されている。

そのため社会教育主事任用資格と同様の単位取得証明書をもって「社会教育士」という称号を付与できるようになった。

2．資格取得に関する規程

下記の要件及び次ページの科目群における所定の単位を修得することによって、社会教育主事任用資格及び社会教育士（養成課程）を同時に取得することができる。

1．社会教育実習Ⅰ・Ⅱまたは社会教育演習を履修しようとするものは、実習を行う年度の当初までに生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ及び社会教育経営論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位を修得していなければならない。

2．社会教育実習Ⅰ・Ⅱの履修を予定している者は、社会教育実習費20,000円を納入すること。

3．省令科目における各分野（科目名）から、必要な単位数を修得すること。

- 生涯学習概論から 4 単位を修得すること。
- 生涯学習支援論から 4 単位を修得すること。
- 社会教育経営論から 4 単位を修得すること。
- 社会教育特講から 8 単位を修得すること。
- 社会教育実習から 1 単位を修得すること。
- 社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究から 3 単位を修得すること。（大学開設科目の社会教育実習Ⅱの単位を含み 3 単位修得のこと）

(2) 社会教育主事任用資格に関する科目

＜文学部　2021（令和３）年度以降入学生＞

省令科目		大学開設科目						配置年次	備考
科目名	単位数	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数 必修	単位数 選択		
生涯学習概論	4	**50081**	2	EX21C03K	生涯学習概論Ⅰ	2		1～2	
		50082	2	EX22C03K	生涯学習概論Ⅱ	2		1～2	
生涯学習支援論	4	**50102**	1	EX21C06K	生涯学習支援論Ⅰ	2		2～3	
		50103	1	EX22C06K	生涯学習支援論Ⅱ	2		2～3	
社会教育経営論	4	**50104**	1	EX21C07K	社会教育経営論Ⅰ	2		2～3	
		50105	1	EX22C07K	社会教育経営論Ⅱ	2		2～3	
社会教育特講	8	13554	1	PE11C04K	地域社会研究Ⅰ		2	1～4	
		13555	1	PE12C04K	地域社会研究Ⅱ		2	1～4	
		14252	1	CC20C48K	女性学		2	2～4	文化交流学科
		20018	1	WP10C24K	女性学		2	1～2	文化交流学科を除く
		20017	1	WP10C18K	高齢者生活論		2	1～2	他学部履修
		50037	2	EX10C02K	博物館概論		2	1	
		50075	1	EX20C09K	博物館経営論		2	2～3	
		50076	1	EX20C10K	博物館資料論		2	2～3	
		50079	1	EX20C11K	博物館情報・メディア論		2	2～3	
		13015	2	PE20C01K	教育行政学		2	1	児童教育学科 児童教育専攻
		13169	1	PC20C21K	教育行政学		2	2	児童教育学科 幼児保育専攻
		50003	1	EX20C03K	教育行政学		2	2	現代英語学科・ 文化交流学科
		13002	2	PE10C02K	教育原理		2	1	児童教育学科 児童教育専攻
		13102	2	PC10C02K	教育原理		2	1	児童教育学科 幼児保育専攻
		13028	1	PE11C02K	児童文化Ⅰ		2	1～4	
		13029	1	PE12C02K	児童文化Ⅱ		2	1～4	
		13556	1	PE20C19E	野外活動		2	2～3	
		13542	1	PE31A01J	児童体育Ⅰ		1	3	児童教育学科 幼児保育専攻を除く
		13543	1	PE32A01J	児童体育Ⅱ		1	3	児童教育学科 幼児保育専攻を除く
		14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化		2	3～4	
		50001	1	EX20C01K	教育原理		2	2	現代英語学科・ 文化交流学科
社会教育実習	1	**50106**	1	EX31C06K	社会教育実習Ⅰ	1		3～4	社会教育実習Ⅱ 同時履修
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	選択必修3	**50085** **50035** **50036**	2 2 1	EX30C22E EX32C06K EX30C10K	社会教育演習 社会教育実習Ⅱ 社会教育課題研究	2 1 2		3～4 3～4 3～4	社会教育実習Ⅱ を含め３単位以 上修得

5．学芸員資格に関する科目の履修
〔文学部〕

学芸員資格に関する科目

学芸員となるには、大学において法定の単位を修得するか、または文部科学大臣による資格認定を受ける必要がある。本課程は前者に相当するが、これによってその資格を取得するには博物館法、博物館法施行規則によって定められた必修科目と選択科目（考古学含む）を修得し、併せて学士の学位を取得しなければならない。

また、資格取得に必要な博物館実習の履修にあたっては、博物館の機能に関する相当な専門知識と研究心が必要とされる。

＜文学部　2021（令和３）年度以降入学生＞

省令科目		大学開設科目						配置年次	備考
科目名	単位数	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数 必修	単位数 選択		
生涯学習概論	2	**50081**	2	EX21C03K	生涯学習概論Ⅰ	2		1～2	
		50082	2	EX22C03K	生涯学習概論Ⅱ	2		1～2	
博物館概論	2	**50037**	2	EX10C02K	博物館概論	2		1	
博物館経営論	2	**50075**	1	EX20C09K	博物館経営論	2		2～3	
博物館資料論	2	**50076**	1	EX20C10K	博物館資料論	2		2～3	
博物館資料保存論	2	**50077**	1	EX20C13K	博物館資料保存論	2		2～3	
博物館展示論	2	**50078**	1	EX20C14K	博物館展示論	2		2～3	
博物館情報･メディア論	2	**50079**	1	EX20C11K	博物館情報･メディア論	2		2～3	
博物館教育論	2	**50080**	1	EX10C03K	博物館教育論	2		1	
博物館実習	3	**50041**	1	EX30C11J	博物館実習	3		3	(事前事後指導1単位含む)
その他関連科目		14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化		2	3～4	
		14218	3	CC30C26K	ヨーロッパの歴史と文化Ａ		2	3～4	
		14219	3	CC30C27K	ヨーロッパの歴史と文化Ｂ		2	3～4	
		14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化Ａ		2	3～4	
		14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化Ｂ		2	3～4	
		14217	2	CC30C25K	イスラムの歴史と文化		2	3～4	
		14208	1	CC21C01K	考古学Ⅰ	2		2～4	
		14209	1	CC22C01K	考古学Ⅱ	2		2～4	
		14204	2	CC20C09K	民俗学		2	2～4	
		14186	2	CC10B01K	文化人類学Ａ		2	1～2	
		14187	2	CC10B02K	文化人類学Ｂ		2	1～2	

その他関連科目は考古学Ⅰ・Ⅱ４単位を含めて８単位以上修得すること。

＜１＞ 博物館実習

学芸員資格に関する科目のうち、博物館実習は、茨城県内外の博物館等において行っている。尚、履修者は３年次生以上とし、博物館実習費を納入しなければならない。実習の登録は、実習する年の前年度12月～１月に実施する説明会に出席し、希望届けを学務部に提出すること。

＜２＞ 実習の履修に関する規程

博物館実習を履修しようとする場合は、前年度終了までに、下記の科目を修得していなければ、その履修は認められない。

① 卒業に必要な単位のうち、２分の１以上。

② 「博物館概論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」及び「考古学Ⅰ」「考古学Ⅱ」の７科目、計14単位。

③ 「生涯学習概論Ⅰ」及び「生涯学習概論Ⅱ」の２科目、もしくは「博物館経営論」「博物館情報・メディア論」のうち１科目以上。

6．日本語教育施設の教員資格に関する科目の履修
〔文学部〕

日本語教育施設の教員資格に関する科目

2000年３月の文化庁「日本語教育のための教員養成について」で示された基準に基づき「日本語教育施設の教員資格に関する科目」が定められている。修得科目・単位数に従って「主専攻コース」「副専攻コース」のいずれかの修了を認定する。

主専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目14単位および選択必修科目14単位を含め、合計48単位以上を修得した場合、「主専攻コース」の修了を認定する。

主専攻コースの「日本語教育実習Ａ」(必修科目）は、主に学外の日本語教育施設で実施される。実習履修者は、学外の日本語教育施設において責任ある行動をとれる者に限られるため、複数の教員による面接･審査を経て選抜される。審査結果によっては「修得単位上の条件」を満たしていても履修不可とすることがある。

「日本語教育実習Ａ」履修上の条件

日本語教育実習Ａを行うためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

① 必修科目「日本語教育概論」を修得していること。

② 必修科目「日本語と社会」「日本語と心理」「異文化間コミュニケーション」「日本語の構造Ａ」のうち、少なくとも１科目を修得していること。

③ 以上を含んで、日本語教員資格科目を合計20単位以上修得していること。

④ 実習を行う年度の前年度までに履修登録した科目について、GPAが2.0以上であること。

副専攻コース

「日本語教育施設の教員資格に関する科目」から、必修科目11単位および選択必修科目16単位を含め、合計27単位以上を修得した場合、「副専攻」コースの修了を認定する。

2017年８月に施行された法務省「日本語教育機関の告示基準」に基づき、2017年度以降の入学者は副専攻においても「日本語教育実習」が必修となった。副専攻コースの「日本語教育実習Ｂ」は、主に学内の授業等で実施される。実習履修者の選抜を行わないが､副専攻コースの実習履修者にも主専攻コース同様、責任ある行動をとることを強く求める。

「日本語教育実習Ｂ」履修上の条件

日本語教育実習Ｂを行うためには、実習を行う年度の当初までに以下の条件を満たすこと。

・必修科目「日本語教育概論」を修得していること。

＜文学部　2021（令和３）年度以降入学生＞

区分	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	配置年次および単位数 1年次	2年次	3年次	4年次	※1 主専攻コース	※2 副専攻コース	備考
社会・文化・地域	50059	1	EX10C04K	日本語教育概論	〔 2 〕				◎	◎	
	14211	4	CC30C19K	日本の歴史と文化			〔2〕		○	○	
	14214	2	CC30C22K	東南アジアの歴史と文化A			〔2〕				
	14265	1	CC30C23K	東南アジアの歴史と文化B			〔2〕				
	14120	1	CC30C04K	国際協力			〔2〕				
	14155	5	CC20B03K	歴史学A		〔2〕					
	14190	4	CC20B04K	歴史学B		〔2〕					
	14160	3	CC30C30K	アジアの大衆文学			〔2〕				
	14139	3	CC30C29K	性的マイノリティの文学			〔2〕				
	14254	1	CC31C01K	多文化協働論Ⅰ			〔2〕		○	○	
	14255	1	CC32C01K	多文化協働論Ⅱ			〔2〕		○	○	
	14263	1	CC30C20K	東アジアの歴史と文化A			〔2〕				
	14264	1	CC30C21K	東アジアの歴史と文化B			〔2〕				
言語と社会	50060	1	EX10C05K	日本語と社会	〔 2 〕				◎	◎	
	14131	3	CC20C04E	日本語教育演習A		〔 2 〕			○	○	
	14186	2	CC10B01K	文化人類学A	〔2〕						
	14187	2	CC10B02K	文化人類学B	〔2〕						
	14188	3	CC20B01K	社会学A		〔2〕					
	14189	3	CC20B02K	社会学B		〔2〕					
言語と心理	50061	1	EX20C15K	日本語と心理		〔 2 〕			◎	◎	
	12072	2	EN10C04K	言語習得論	〔 2 〕				○	○	
	13019	2	PE20C21K	学習心理学		〔 2 〕			○	○	
	13129	1	PC20C16K	言語発達心理学		〔 2 〕			○	○	児童教育学科幼児保育専攻、現代英語学科のみ
	14132	3	CC20C05E	日本語教育演習B		〔 2 〕			○	○	
言語と教育	12047	1	EN20C04K	異文化間コミュニケーション		〔 2 〕			◎	◎	現代英語学科のみ
	14129	2	CC30C03K	異文化間コミュニケーション			〔2〕		◎	◎	現代英語学科を除く
	50062	2	EX30C12J	日本語教育実習A			〔2〕		◎		
	50101	1	EX30C21J	日本語教育実習B			〔1〕			◎	
	12071	1	EN20C18K	異文化理解教育		〔 2 〕			○	○	
	13030	1	PE11C03K	言語教育Ⅰ	〔 2 〕				○	○	
	13031	1	PE12C03K	言語教育Ⅱ	〔 2 〕						
	14240	2	CC20C06E	日本語教員育成演習B		〔 2 〕			○	○	
	14175	3	CC20C49K	日本語教員試験対策講座（実践）		〔 2 〕			○		
	14176	3	CC20C44K	日本語教員試験対策講座（入門）		〔 2 〕			○		

区分	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	配置年次および単位数				※1 主専攻コース	※2 副専攻コース	備考
					1年次	2年次	3年次	4年次			
言語	50065	2	EX21C05K	日本語の構造A		〔 2 〕			◎	◎	
	50066	2	EX22C05K	日本語の構造B		〔 2 〕			◎		
	14202	3	CC30C17K	言語学A			〔2〕				
	14203	3	CC30C18K	言語学B			〔2〕				
	50067	1	EX20C16K	日本語の歴史		〔 2 〕			○	○	
	12049	2	EN20C21E	通訳入門		〔 2 〕					
	14133	3	CC20C02K	日本語学A		〔 2 〕			○	○	
	14134	3	CC20C03K	日本語学B		〔 2 〕			○	○	
	14165	2	CC20C07E	日本語教員育成演習A		〔 2 〕			○	○	
	50063	2	EX11C02K	日本語学各論A（音声）	〔 2 〕				○	○	
	50064	2	EX12C02K	日本語学各論B（文字）	〔 2 〕				○	○	

※1　主専攻コースをめざす者は、◎必修科目14単位および○選択必修科目から14単位を含め、合計48単位以上を修得すること。
※2　副専攻コースをめざす者は、◎必修科目11単位および○選択必修科目から16単位を含め、合計27単位以上を修得すること。

7．小学校英語指導者認定協会資格認定に関する科目の履修
〔文学部現代英語学科〕

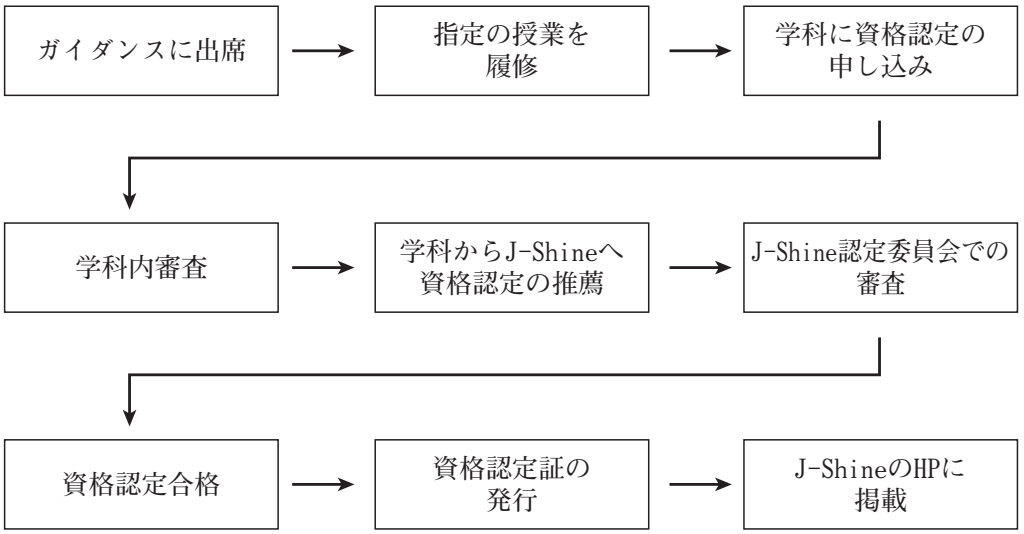
1．小学校英語指導者認定協会とは

小学校英語指導者認定協会（略称：J-Shine）とは2002年に設立したNPO法人で、小学校における英語活動指導者を育成し、高水準の指導者を小学校に供給するために活動している団体である。指導者に統一資格を付与し、資格者の情報を協議会のホームページ上（http://www.j-shine.org/）で公開することによって各地の教育委員会などに有資格者の採用を働きかけている。J-Shineの指導者資格は、現在日本の小学校英語活動の専門家に与えられる唯一の資格となっている。

2．J-Shineの小学校英語指導者資格の取得方法

現代英語学科は、J-Shineの認定教育機関となっており、必要な科目（下記）を履修し、その単位を修得した学生を学科からJ-Shineに推薦することができる。J-Shineが指導者として認めた学生には認定証が発行され、「小学校英語指導者」として活動する資格が与えられる。

◆資格取得までの流れ



3．J-Shineの小学校英語指導者資格取得に関する科目

現代英語学科の学生で、J-Shineの資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「本学設置科目」を全て修得することが必要となる。

＜文学部現代英語学科　2021（令和３）年度以降入学生＞

小学校英語指導者認定協会資格認定科目の履修方法	本学設置科目				単位数	配置年次
	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名		
必修科目	12008	2	EN11C01E	Pronunciation Ⅰ	1	1～4
	12009	2	EN12C01E	Pronunciation Ⅱ	1	1～4
	12069	1	EN20C19K	子供の英語教育	2	2～4
	12127	1	EN31C01E	英語科教育法Ⅰ	2	3～4
	12072	2	EN10C04K	言語習得論	2	1～4
	12123	2	EN31C06E	英語教育実践研究（児童）	2	3～4
	12120	2	EN20C05K	英語教材論（児童）	2	1～4

4．学科推薦の基準

①推薦基準：卒業要件科目のGPAが2.5以上であること。

②上記の資格取得に関する科目のGPAが2.75以上であること。

8．保育士資格に関する科目の履修
〔文学部児童教育学科幼児保育専攻〕

学則第37条第６項に定められている保育士の資格を取得するためには、以下の要件を満たさなければならない。

○児童福祉法施行規則（第６条の２第１項第三号）による授業科目の最低修得単位数

教科目の種類	設置単位数	本学開設科目の単位数	本学における最低修得単位数
教　養　科　目	10単位以上	22	12
告示別表第１による教科目	51単位以上	62	62
告示別表第２による教科目	18単位以上	29	19
小計		113	93

＜１＞保育士資格取得の要件（細則）

１）本学を卒業し、学士の学位を有すること。

２）児童福祉法施行規則（第６条の２第１項第三号）に基づく保育士養成のための本学所定の授業科目の単位を、以下の１～３に従い修得すること。

１．全学教養科目（教養科目）　　開設科目22単位中12単位必修

・「キリスト教の精神と文化Ⅰ」（２単位）および「キリスト教の精神と文化Ⅲ」（２単位）、計４単位必修（卒業要件上必修）

・「英語コミュニケーションⅠ」または「総合英語Ⅰ」（１単位）、「英語コミュニケーションⅡ」または「総合英語Ⅱ」（１単位）、計２単位選択必修（卒業要件上必修）

・「コンピュータ基礎Ⅰ」（２単位）、「コンピュータ基礎Ⅱ」（２単位）、「コンピュータ実習」（２単位）より２単位選択必修（卒業要件上必修）

・「運動と健康」（２単位）必修

・「体育実技Ⅰ」（１単位）、「体育実技ⅡA」（１単位）または「体育実技ⅡB」（１単位）計２単位必修（卒業要件上必修）

２．必修科目（「告示別表第１による教科目」）　　開設科目62単位すべて必修

「音楽Ⅰ」（１単位）、「音楽Ⅱ」（１単位）、「美術Ⅰ」（１単位）、「美術Ⅱ」（１単位）、「幼児体育Ⅰ」（１単位）、「幼児体育Ⅱ」（１単位）は卒業要件上必修

３．選択科目（「告示別表第２による教科目」）　　開設科目29単位中19単位以上選択必修

「保育実習Ⅱ（保育所）」または「保育実習Ⅲ（施設）」（２単位）はいずれかを必ず修得しなければならない。

また、「保育実習指導Ⅱ」（１単位）は、「保育実習Ⅱ（保育所）」または「保育実習Ⅲ（施設）」のために必修である。

したがって、上記３単位のほかに16単位以上を選択し修得する必要がある。

1．教養科目

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および単位数				備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目				授業形態					
				科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	②				
				10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義			②		
				10044	1	LA11B12J	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	2				2単位選択必修
				10045	1	LA12B12J	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	2				
				10046	2	LA20B01J	コンピュータ実習	演習		2			
	外国語	演習	2以上	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	1				総合英語Ⅰまたは英語コミュニケーションⅠから1単位選択必修 総合英語Ⅱまたは英語コミュニケーションⅡから1単位選択必修
				10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	1				
				10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習		1			
				10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習		1			
				10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	1				
				10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	1				
				10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習		1			
				10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習		1			
	体育	講義	1	10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	〔 2 〕				保育士資格必修
		実技	1	10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	〔 ① 〕				
				10160	1	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	〔 1 〕				1科目選択必修
				10161	1	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	〔 1 〕				
合計		10単位以上		22単位開設					本学において12単位必修				

○印は卒業要件上の必修科目を意味する。
□印は卒業要件上の選択必修科目を意味する。

2．必修科目

告示別表第による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および単位数				備考
系列	教科目	授業	単位数	左に対応して開設されている教科目				授業形態					
				科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目		1年次	2年次	3年次	4年次	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	13114	2	PC10C01K	保育原理	講義	2				
	教育原理	講義	2	13102	2	PC10C02K	教育原理	講義	2				
	子ども家庭福祉	講義	2	13117	3	PC30C15K	子ども家庭福祉	講義			2		
	社会福祉	講義	2	13118	1	PC20C04K	社会福祉	講義		2			
	子ども家庭支援論	講義	2	13133	3	PC20C26K	子ども家庭支援論	講義		2			
	社会的養護Ⅰ	講義	2	13116	3	PC21C05K	社会的養護Ⅰ	講義		2			
	保育者論	講義	2	13115	3	PC10C03K	保育者論	講義	2				
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	13103	3	PC10C08K	保育の心理学	講義	2				
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	13213	1	PC20C23K	子ども家庭支援の心理学	講義		2			
	子どもの理解と援助	演習	1	13179	2	PC10C09E	子どもの理解と援助	演習	1				
	子どもの保健	講義	2	13208	2	PC20C30K	子どもの保健	講義		2			
	子どもの食と栄養	演習	2	13140	2	PC30C02E	子どもの食と栄養	演習			2		
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	13182	2	PC10C10K	保育の計画と評価	講義	2				
	保育内容総論	演習	1	13221	1	PC20C32E	保育内容総論	演習		2			
	保育内容演習	演習	5	13151	2	PC20C24E	保育内容教育法・健康	演習		2			
				13152	2	PC10C12E	保育内容教育法･人間関係	演習	2				
				13153	2	PC20C25E	保育内容教育法・環境	演習		2			
				13154	2	PC10C13E	保育内容教育法・言葉	演習	2				
				13155	2	PC30C12E	保育内容教育法・表現Ⅰ	演習			2		
				13156	2	PC30C13E	保育内容教育法・表現Ⅱ	演習			2		
	保育内容の理解と方法	演習	4	13192	1	PC11A01E	音楽Ⅰ	演習	①				
				13193	1	PC12A01E	音楽Ⅱ	演習	①				
				13194	1	PC11A02E	美術Ⅰ	演習	①				
				13195	1	PC12A02E	美術Ⅱ	演習	①				
				13198	1	PC21A02J	幼児体育Ⅰ	実技		①			
				13199	1	PC22A02J	幼児体育Ⅱ	実技		①			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	13218	1	PC21C06K	乳児保育Ⅰ	講義		2			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	13219	1	PC22C06E	乳児保育Ⅱ	演習		1			
	子どもの健康と安全	演習	1	13181	3	PC30C14E	子どもの健康と安全	演習			1		
	障害児保育	演習	2	13131	1	PC30C04E	障害児保育	演習			2		
	社会的養護Ⅱ	演習	1	13132	3	PC22C05E	社会的養護Ⅱ	演習		2			
	子育て支援演習	演習	1	13215	1	PC20C27E	子育て支援演習	演習		1			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	13161	3	PC32C01J	保育実習Ⅰ（施設）	実習			2		
				13160	2	PC32C03J	保育実習Ⅰ（保育所）	実習			2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	13184	2	PC31C01E	保育実習指導Ⅰ	演習			2		
総合演習	保育実践演習	演習	2	13177	1	PC40C04E	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習				2	
合計		51単位		62単位開設				本学において62単位開設					

○印は卒業要件上の必修科目を意味する。

3．選択必修科目

告示別表第による教科目				指定保育士養成施設における教科の開設					配置年次および単位数				備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目				授業形態					
				科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目		1年次	2年次	3年次	4年次	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	不問	15単位以上	13105	2	PC20C08K	子育て支援論	講義		2			
				13120	1	PC20C14K	キリスト教保育	講義		〔 2 〕			
				13134	3	PC30C16E	地域子育て支援実践演習	演習			〔 2 〕		
				13189	2	PC30C17E	地域発達支援実践演習	演習			〔 2 〕		
				13135	1	PC30C05K	地域発達臨床論	講義			〔 2 〕		
保育の対象の理解に関する科目				13125	1	PC20C15K	発達障害学	講義		〔 2 〕			
				13129	1	PC20C16K	言語発達心理学	講義		〔 2 〕			
				13216	1	PC20C28E	幼児理解	演習		1			
				13217	1	PC20C29E	教育相談	演習		1			
保育の内容・方法に関する科目				13157	1	PC30C01E	保育方法の研究	演習			2		
				13204	1	PC21C01E	音楽Ⅲ	演習		1			
				13205	1	PC22C01E	音楽Ⅳ	演習		1			
				13206	1	PC21C02E	美術Ⅲ	演習		1			
				13207	1	PC22C02E	美術Ⅳ	演習		1			
				13142	2	PC20C17E	身体表現	演習		〔 2 〕			
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	13162	3	PC42C01J	保育実習Ⅱ（保育所）	実習				2	
				13163	3	PC42C02J	保育実習Ⅲ（施設）	実習				2	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	13167	2	PC41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習				1	
合計		18単位以上		29単位開設					本学において19単位以上修得				

＜２＞保育実習を行うための履修条件

1）「保育実習指導Ⅰ」の履修

「保育実習指導Ⅰ」（演習２単位　３年次）は保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）のための実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

2）保育実習Ⅰ（保育所）（２単位　３年次５月）

保育実習Ⅰ（保育所）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は３年次４月）までに、次の①②の単位を修得していなければならない。

① 全学教養科目の１年次配置のうちキリスト教の精神と文化Ⅰ２単位、コンピュータ基礎Ⅰ２単位、運動と健康２単位、体育実技Ⅰ１単位、体育実技ⅡＡ１単位または体育実技ⅡＢ１単位の計８単位中４単位以上。

② 必修科目（「告知別表第１による教科目」）１年次配置（保育原理、教育原理、保育者論、保育の心理学、子どもの理解と援助、保育の計画と評価、保育内容教育法・人間関係、保育内容教育法・言葉、音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、美術Ⅰ、美術Ⅱ）の19単位中13単位以上。

3）保育実習Ⅰ（施設）（２単位　３年次９月）

保育実習Ⅰ（施設）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は３年次４月）までに、次の①～③の単位を修得していなければならない。

① 卒業に必要な単位のうち二分の一（62単位）以上を修得していること。

② 全学教養科目の１・２年次配置（上記１年次科目に英語コミュニケーションⅠまたは総合英語Ⅰ、英語コミュニケーションⅡまたは総合英語Ⅱのうち２単位が加わる）の10単位のうち６単位以上。

③ ２年次配置までの必修科目（「告知別表第１による教科目」）計43単位中33単位以上。〔１年次科目に加わる２年次配置の科目＝社会福祉、子育て支援演習、社会的養護Ⅰ、子ども家庭支援の心理学、子どもの保健、子ども家庭支援論、保育内容総論、保育内容教育法・健康、保育内容教育法・環境、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ、社会的養護Ⅱ、幼児体育Ⅰ、幼児体育Ⅱ　24単位。〕

4）「保育実習指導Ⅱ」の履修

「保育実習指導Ⅱ」（演習１単位　４年次）は保育実習Ⅱ（保育所）・保育実習Ⅲ（施設）のための実習事前事後指導なので必ず受講しなければならない。

5）保育実習Ⅱ（保育所）（４年次５月　２単位）

保育実習Ⅲ（施設）　（４年次９月　２単位）

保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）を履修するためには、実習を行う年度の当初（通常は４年次４月）までに保育実習Ⅰ（施設）と同じ履修条件を満たしていなければならない。

※なお、保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するためには保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）の所定の実習期間を終えなければならない。

なお、保育実習履修の最終的な可否は、児童教育学科幼児保育専攻会議の合議により決定する。上記の履修条件すべて満たしている場合であっても専攻会議が実習生としての適正に欠けると判断する場合は実習の履修を許可しない場合がある。

＜３＞保育士登録申請（2021年３月現在）

保育士登録申請は、都道府県知事委託保育士登録機関である登録事務処理センター発行の『保育士登録の手引き』に則って申請を行う。具体的な申請手続きについては説明会で指示する。

なお、①登録申請書類に添付する証明書（２種）の発行手数料として800円、②登録手数料として登録事務処理センターに4,200円の払い込みが必要となるので留意すること。

保育士登録申請から「保育士証」の交付までの流れ

保育士登録一括申請説明会で申請に係る資料の受領 ……10月下旬～11月上旬

↓

登録手数料（4,200円）の払い込み ……11月上旬

↓

保育士登録申請書類の作成、添付書類の用意および申請関係書類の提出 ……11月上旬～中旬

↓

「保育士登録済通知書」の受領および記載内容の確認 ……４月上旬

↓

「保育士証」受領 ……６月上旬～中旬

9．社会福祉士国家試験受験資格に関する科目の履修
〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 社会福祉士とは

社会福祉士とは、国家資格である「社会福祉士」の名称を用いて、社会で生活するにあたって様々な困難を感じ、サポートを必要とする人々に対し、その人権を尊重し、社会福祉の専門知識・技術を駆使して支援するソーシャルワーク専門職をいう。

社会福祉の仕事は、大きく相談援助業務と介護業務にわけることができる。社会福祉士は、主として相談業務に携わる。具体的には、地域や施設で福祉サービスを利用する人たち（日常生活の支援を必要とする高齢者や障害児・者、親と生活することのできない児童、経済的な課題のある人など）やその家族の相談に応じたり、必要な交渉や手続きを手伝ったり、仕事や住まいを探したりすることを仕事としている。

したがって、福祉の知識や技術はもちろんのこと、法律や医学など関連領域の専門知識のほか、一人の社会人として生活する際の常識や日常の知識が併せて必要となる。

社会福祉士は、「全ての人の人権を尊重しその生活を支えること」を専門職として守ることを旨とし、本学では、社会福祉の専門職としての知識と技術を学ぶとともに、この人権尊重の価値観を育むことを目指す。

なお、社会福祉の仕事に関する国家資格には、社会福祉士の他に上記介護業務を担う介護福祉士がある。

(2) 社会福祉士の資格の取得方法は

社会福祉士の資格は、『社会福祉士及び介護福祉士法』によって定められた課程を経て社会福祉士国家試験受験資格を取得し、年一回実施される国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる。

(3) 社会福祉士国家試験受験資格に関する科目

心理福祉学科の学生で社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者は、卒業までに次表の「大学開設科目」を順次取得することが必要となる。

なお、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ等の科目の履修については、それぞれ以下に定める科目について修得・履修を条件とする。

1）ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱおよびソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ・Ⅱを履修しようとする者は、以下の科目を修得していることが必要である。

①社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ　②ソーシャルワークの基盤と専門職　③ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)　④ソーシャルワーク演習　⑤心理学概論Ⅰ・Ⅱ

2）ソーシャルワーク実習Ⅱおよびソーシャルワーク実習指導Ⅲ・Ⅳを履修しようとする者は、1)に示した科目に加えて、以下の科目のうち①②③④が修得済みであること。なお、⑤⑥については、同時履修が条件となる。

①ソーシャルワーク実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱおよびソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ

②ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ

③ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ・Ⅱ

④高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉Ⅰ・Ⅱ、児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援、保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱのうち、自分の実習希望配属先に関連する科目

⑤ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ

⑥ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ

3）その他の科目については、以下の条件となる。

①ソーシャルワークの基盤と専門職の科目を修得していなければ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）を履修することはできない。

②ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱを履修することはできない。

③ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲを履修することはできない。

④ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳを履修することはできない。

⑤ソーシャルワーク実習指導Ⅰの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱを履修することはできない。

⑥ソーシャルワーク実習指導Ⅲの科目を修得していなければ、ソーシャルワーク実習指導Ⅳを履修することはできない。

社会福祉士国家試験受験資格関係科目履修モデル

	1年目		2年目		3年目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
講義	社会福祉の原理と政策Ⅰ	社会福祉の原理と政策Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	人体の構造と機能及び疾病、福祉サービスの組織と経営A・B、社会福祉調査の基礎、刑事司法と福祉A・B ※4	
	ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		
	心理学概論Ⅰ	心理学概論Ⅱ	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ・Ⅱ、社会保障Ⅰ・Ⅱ、貧困に対する支援、保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱ、権利擁護を支える法制度 ※3			
	社会学 ※1					
	高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉Ⅰ・Ⅱ、児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ ※2					
演習		ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ
実習				ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワーク実習Ⅱ	
実習指導			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ

※1「社会学」は1年次または2年次のうちに履修することが望ましい。
※2「高齢者福祉Ⅰ・Ⅱ」「障害者福祉Ⅰ・Ⅱ」「児童・家庭福祉Ⅰ・Ⅱ」のうち、いずれかは1年次に履修することが望ましい。残りの科目も2年次までに履修することが望ましい。
※3「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ・Ⅱ」「社会保障Ⅰ・Ⅱ」「貧困に対する支援」「保健医療と福祉Ⅰ・Ⅱ」「権利擁護を支える法制度」は、可能な限り2年次に履修することが望ましい。
※4「人体の構造と機能及び疾病」「福祉サービスの組織と経営A・B」「社会福祉調査の基礎」「刑事司法と福祉A・B」は3年次で履修することが望ましい。

〔社会福祉士資格科目〕　〔2021（令和３）年度以降入学生〕

社会福祉士及び介護福祉法第７条第一号の規定に基づく社会福祉に関する科目	本学指定授業科目				配置年次および単位数			
	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	1年次	2年次	3年次	4年次
医学概論	21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病		〔 2 〕		
心理学と心理的支援	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	2			
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	2			
社会学と社会システム	20013	1	WP10C16K	社会学	〔2〕			
社会福祉の原理と政策	21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2			
	21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2			
社会福祉調査の基礎	21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎		〔 2 〕		
ソーシャルワークの基盤と専門職	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2			
ソーシャルワークの理論と方法	21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		〔2〕		
	21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		〔2〕		
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		〔2〕		
	21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		〔2〕		
地域福祉と包括的支援体制	21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		〔 2 〕		
	21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		〔 2 〕		
福祉サービスの組織と経営	21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		〔 2 〕		
	21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		〔 2 〕		
社会保障	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ		〔 2 〕		
	21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		〔 2 〕		
高齢者福祉	21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ	〔 2 〕			
障害者福祉	21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ	〔 2 〕			
児童・家庭福祉	21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ	〔 2 〕			
	21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ	〔 2 〕			
貧困に対する支援	21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		〔 2 〕		
保健医療と福祉	21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ		〔 2 〕		
	21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ		〔 2 〕		
権利擁護を支える法制度	21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度		〔 2 〕		
刑事司法と福祉	21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		〔 2 〕		
	21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		〔 2 〕		
ソーシャルワーク演習	21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習	〔2〕			
ソーシャルワーク演習（専門）	21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		〔2〕		
	21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		〔2〕		
	21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ			〔2〕	
	21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ			〔2〕	
ソーシャルワーク実習指導	21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		〔2〕		
	21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		〔2〕		
	21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			〔2〕	
	21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ			〔2〕	
ソーシャルワーク実習	21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ		〔2〕		
	21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ			〔6〕	

※実習施設の種類については、社会福祉法施行規則にある指定施設のみとする。

10. 公認心理師国家試験受験資格に関する科目の履修
〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 公認心理師とは

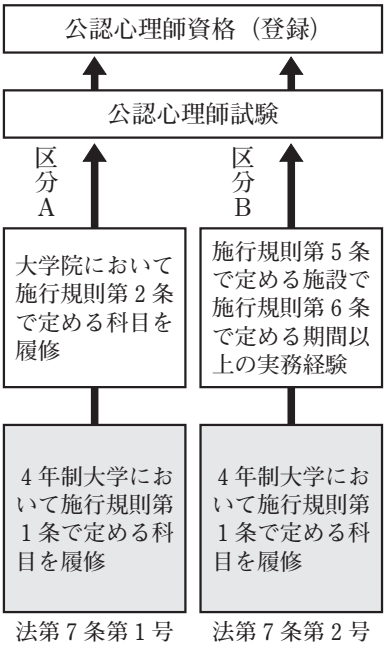
公認心理師とは、心の健康に関わる諸活動の実践に際して必要な高度の専門性を有する者に与えられる国家資格である。公認心理師法（第２条）においては、「公認心理師」とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育、司法、産業等の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者であることが規定されている。

① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師には、国民の心の健康の保持増進にむけて、医師、教員その他の関係者と連携し、幅広く多様な職務を担うことが期待されている。

(2) 公認心理師資格の取得方法

公認心理師の資格は、公認心理師法によって定められた課程（大学４年間と大学院２年間で心理学その他の公認心理師となるために必要な科目として文部科学省令、厚生労働省令で定める科目を修めて卒業／修了していることなど）を経て、公認心理師試験受験資格を取得し、国家試験に合格した後、資格登録をすることによって得られる（第７条第１号及び第２号）。学部を卒業したのちに所定の専門機関における定められた期間の実務経験を経て受験資格が発生するルート（区分Ｂ；第７条第１号）も設けられているが、基本的には公認心理師養成に対応した大学院（修士課程）へ進学して受験資格を得るルート（区分Ａ；第７条第１号）を想定しておくことが望ましい。なお、この資格を取得した者は、法に定められた職責に反する行為を行わない限り、永続的にその資格を有する。



(3) 履修登録上の留意点

① 公認心理師国家試験受験資格を得るためには、(4)で示した表の公認心理師法施行規則第１条に定められた科目の25科目（本学設置科目26科目）すべての単位修得が必須である。なお、１科目でも未修得の科目がある状態で卒業した場合、卒業後の科目等履修などによる追加の履修は不可能であり、改めて公認心理師養成課程（学部）を有する大学に入学し直す必要がある。
② 進級に伴い他の卒業要件科目等の履修も必要となるため、(5)の履修モデル（一部、履修要件科目有）を踏まえつつ１年次からの計画的かつ余裕をもった履修登録が必要である。

(4) 公認心理師法施行規則に定められた科目及び本学設置科目

＜2019年(平成31年)度以降入学生＞

公認心理師法施行規則 第１条に定められた科目	本学設置科目								
	科目名	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	形式	配置年次			
						1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
①公認心理師の職責	○公認心理師の職責	21167	1	WP10C33K	講義	〔2〕			
②心理学概論	○心理学概論Ⅰ	21099	1	WP11A01K	講義	②			
③臨床心理学概論	○臨床心理学概論	21046	2	WP10C08K	講義	〔2〕			
④心理学研究法	○心理学研究法Ⅰ	21085	1	WP21C04K	講義		〔 2 〕		
⑤心理学統計法	○心理学統計法	21130	1	WP20C40K	講義		〔 2 〕		
⑥心理学実験	○心理学実験Ⅰ	21126	1	WP31C03J	実験			〔2〕	
⑦知覚・認知心理学	○知覚・認知心理学	21058	2	WP20C25K	講義		〔 2 〕		
⑧学習・言語心理学	○学習・言語心理学	21131	1	WP20C41K	講義		〔 2 〕		
⑨感情・人格心理学	○感情・人格心理学	21042	2	WP20C16K	講義		〔2〕		
⑩神経・生理心理学	○神経・生理心理学	21110	1	WP20C30K	講義		〔 2 〕		
⑪社会・集団・家族心理学	○社会・集団・家族心理学Ⅰ ○社会・集団・家族心理学Ⅱ	21117 21118	1 1	WP11C03K WP12C02K	講義 講義	〔2〕 〔2〕			
⑫発達心理学	○発達心理学	21125	1	WP10C31K	講義	〔2〕			
⑬障害者・障害児心理学	○障害者・障害児心理学	21049	2	WP20C19K	講義		〔 2 〕		
⑭心理的アセスメント	○心理的アセスメント	21083	3	WP20C21K	講義		〔 2 〕		
⑮心理学的支援法	○心理学的支援法	21043	2	WP10C32K	講義	〔 2 〕			
⑯健康・医療心理学	○健康・医療心理学	21124	1	WP10C30K	講義	〔2〕			
⑰福祉心理学	○福祉心理学	21123	1	WP10C29K	講義	〔2〕			
⑱教育・学校心理学	○教育・学校心理学	21132	1	WP20C42K	講義		〔 2 〕		
⑲司法・犯罪心理学	○司法・犯罪心理学	21128	1	WP30C09K	講義			〔2〕	
⑳産業・組織心理学	○産業・組織心理学	21088	2	WP30C05K	講義			〔2〕	
㉑人体の構造と機能及び疾病	○人体の構造と機能及び疾病	21109	1	WP20C29K	講義		〔 2 〕		
㉒精神疾患とその治療	○精神疾患とその治療	21129	1	WP20C39K	講義		〔 2 〕		
㉓関係行政論	○関係行政論	21133	1	WP20C43K	講義		〔 2 〕		
㉔心理演習	○心理演習	21087	2	WP20C24E	演習		〔 2 〕		
㉕心理実習	○心理実習	21134	1	WP30C10J	実習			〔3〕	

※授業科目の前の○印は公認心理師資格必修科目である。
　丸数字は卒業要件上の必修科目の単位数である。

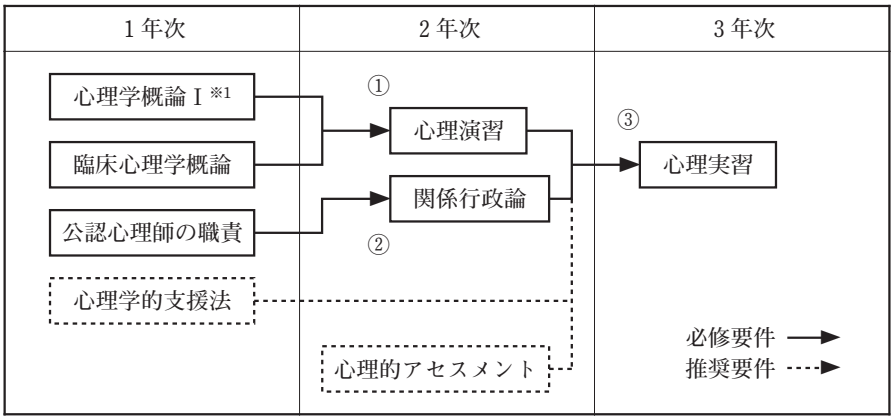
(5)「心理実習」および「心理学実験Ⅰ」を履修するには

「心理実習」および「心理学実験Ⅰ」の履修に際しては、下記に示す履修要件や科目履修の順序性があることを十分に留意して履修計画を立てる必要がある。

1.「心理実習」の履修要件

① 「心理学概論Ⅰ」と「臨床心理学概論」の単位修得の後に「心理演習」を履修できる。
② 「公認心理師の職責」の単位修得の後に「関係行政論」を履修できる。
③ 「心理演習」と「関係行政論」の単位修得の後に「心理実習」を履修できる。

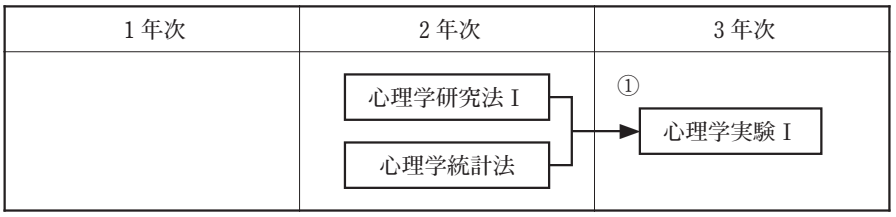
なお、必須ではないが「心理実習」の履修に先行して「心理学的支援法」と「心理的アセスメント」を単位修得済であることが望ましい。



※1 公認心理師関連科目は「心理学概論Ⅰ」のみだが、心理学概論ⅠはⅡと合わせて卒業要件であるため、Ⅰ、Ⅱともに単位修得すること。

2.「心理学実験Ⅰ」の履修要件

① 「心理学研究法Ⅰ」と「心理学統計法」の単位修得の後に「心理学実験Ⅰ」を履修できる。



11. 認定心理士資格に関する科目の履修
〔生活科学部心理福祉学科〕

日本心理学会が認定する資格で、心理学の専門家としての職務を遂行する上で必要な最少限の標準的、基礎的学力と技能を修得していると認定された人に対して与えられる資格である。下記の科目を修得し、本学心理福祉学科を卒業すれば、申請資格を有することになる。なお、資格申請は個人で行うことになるが、卒業時に資格申請手続きについての説明会を行うので取得希望者は必ず出席すること。

〔2020(令和２)年度以降入学生〕

	認定心理士該当科目	本学設置科目				配置年次	認定単位数
		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名		
(1) 基礎科目 12単位以上	(a)心理学概論	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ※	1	2
		21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ※	1	2
	(b)心理学研究法	21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ	2～4	2
		21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	2～4	2
		21130	1	WP20C40K	心理学統計法	2～4	2
	(c)心理学実験	21126	1	WP31C03J	心理学実験Ⅰ	3～4	2
		21127	1	WP32C01J	心理学実験Ⅱ	3～4	1
		21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	2～4	1
(2) 選択科目 16単位以上	(d)知覚心理学・学習心理学	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	2～3	2
		21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	2～4	2
		21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	2～4	2
	(e)生理心理学・比較心理学	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	2～4	2
	(f)教育心理学・発達心理学	21125	1	WP10C31K	発達心理学	1～2	2
		21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	2～4	2
	(g)臨床心理学・人格心理学	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	1～2	2
		21123	1	WP10C29K	福祉心理学	1～2	2
		21043	2	WP10C32K	心理学的支援法	1～4	2
		21048	1	WP20C18K	深層心理学	2～4	2
		21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	2～4	2
		21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	2～4	2
		21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	3～4	2
		21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療	2～4	1＊
	(h)社会心理学・産業心理学	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	1～2	2
		21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	1～2	2
		21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学	3～4	2
(3) その他の科目 (最大４単位)	(i)心理学関連の科目・卒業論文・卒業研究						

(a)，(c)：各領域４単位以上
(b)，(c)：領域の合計が８単位以上 } 小計が12単位以上
(d)～(h)：５領域中３領域以上で各領域４単位以上、かつ、５領域の小計が16単位以上

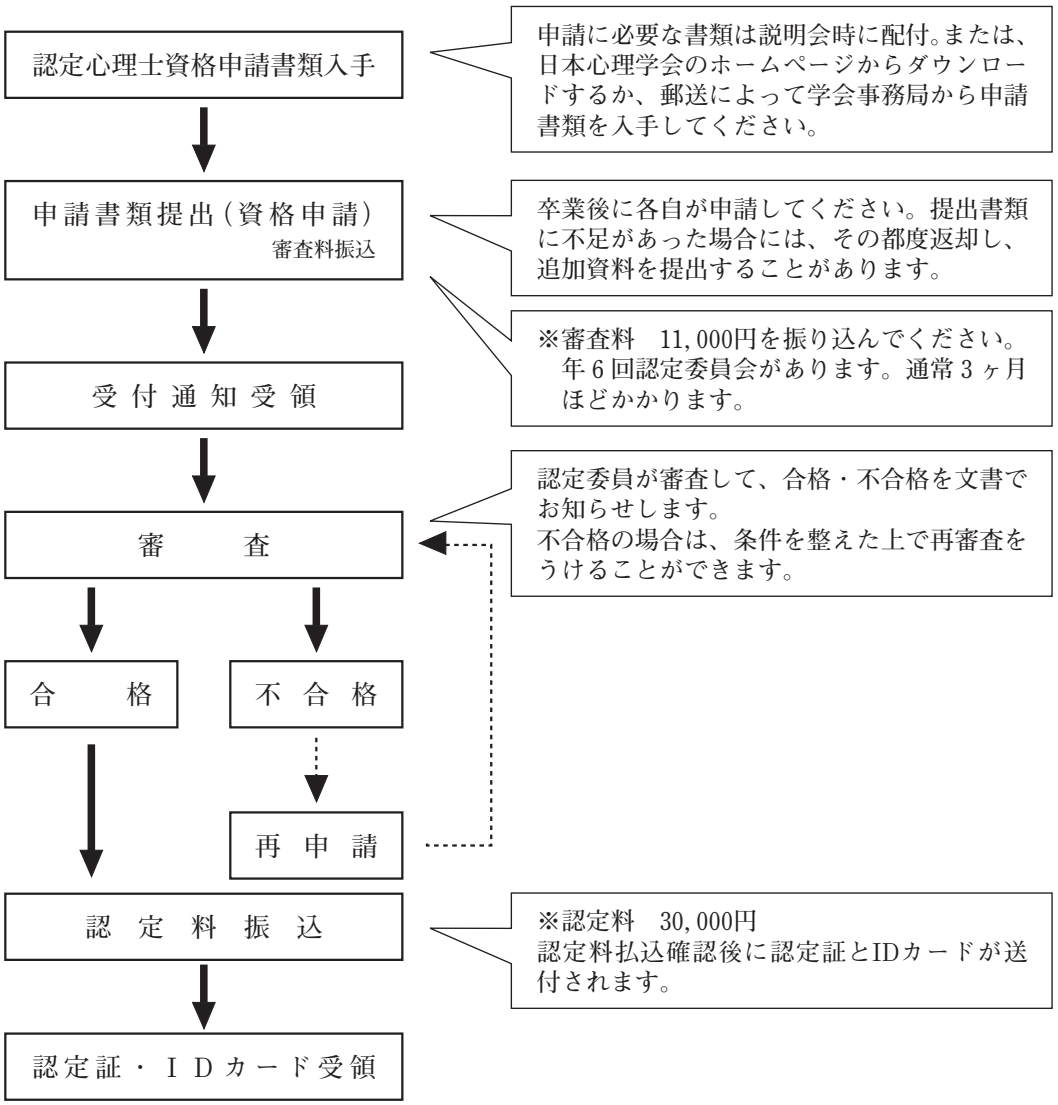
(1)「基礎科目」、(2)「選択科目」、(3)「その他の科目」(i) の単位を加えて総計36単位以上

※は、心理福祉学科必修科目
＊「精神疾患とその治療」は２単位の科目だが、認定心理士資格に関する副次主題の科目として１単位が認定される。

認定心理士資格申請の手順（2021年３月現在）

１．認定心理士の資格取得希望者は、４年次の１月中旬頃に説明会を予定しているので、必ず出席すること。

認定心理士資格申請の流れ



※　心理学関係科目修得単位表は、担当教員の署名・捺印が必要になる。

※　３月初旬卒業生氏名発表日以降の成績をもとに、書類を各自整備し、指定期日までに学務部窓口に提出すること。同時に卒業証明書並びに成績証明書の申し込みを行うこと、学位授与式当日に署名捺印がすんだ書類を返却する。

※　申請時に修得科目のシラバスが必要になるので、当該科目の履修登録時にIC-UNIPAよりシラバスを印刷しておき全て保管しておくこと。

※　審査料11,000円と認定料30,000円は個人負担。

12. 福祉心理士資格に関する科目の履修
〔生活科学部心理福祉学科〕

(1) 福祉心理士とは

福祉心理士とは日本福祉心理学会が認定する民間資格で、専門家として、福祉職場で福祉心理支援などを行うことができる基礎学力・技能を有していると認定された人のことである。福祉サービスの利用者への心理相談援助の他に、利用者の家族やそこで働く職員への心理相談援助を行う。

(2) 福祉心理士資格の取得方法

本学が開講している科目のうち日本福祉心理学会が指定している科目で32単位以上修得し、学部を卒業もしくは大学院を修了すれば資格認定の申請ができる。審査の結果、認定されると福祉心理士資格を取得できる。

学部生 3 年次以降で既に指定科目32単位以上修得している者は資格の仮認定申請ができる。審査の結果認定されると、卒業までの期間は仮認定の福祉心理士資格を取得できる。卒業時に卒業証明書を提出すると本認定の福祉心理士資格を取得できる。

なお、この資格は日本福祉心理学会会員に対して認定される資格であるため、申請時などに日本福祉心理学会に入会することが必要である。

資格認定の申請は、必要書類を揃えて個人で行うことになるが、事前に担当教員に相談するのもよい。申請に必要な書類は担当教員から、もしくは日本福祉心理学会ホームページから入手できる。

資格認定に必要な費用は

認定審査料　20,000円

認定料　　10,000円（審査に合格した後に必要な費用）

である。資格認定申請と同時に日本福祉心理学会へ入会する場合は、準会員（学部学生）の学会費3,000円が別に必要となる。

(3) 福祉心理士資格に関する科目

福祉心理士資格の認定申請をするためには、「福祉心理士資格認定のための指定科目」表の「大学開設科目」の修得が必要である。

福祉心理士資格認定のための指定科目

〔2021（令和３）年度以降入学生〕

指定科目		本学設置科目				必要科目・単位数	配置年次	単位数
		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名			
基礎科目	心理学 福祉心理学 社会福祉学	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	２科目以上 ４単位以上	1	2
		21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ		1	2
		21123	1	WP10C29K	福祉心理学		1～2	2
		21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ		1	2
		21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ		1	2
心理学関係科目	臨床心理学 心理査定法 カウンセリング（心理相談） 心理療法 発達心理、児童心理 障害者の心理 高齢者の心理	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	４科目 ８単位以上	1～2	2
		21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント		2～4	2
		21096	1	WP20C22J	心理検査法実習		2～4	1
		21043	2	WP10C32K	心理学的支援法		1～4	2
		21087	2	WP20C24E	心理演習		2～4	2
		21125	1	WP10C31K	発達心理学		1～2	2
		21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学		2～4	2
		21050	1	WP20C20K	老年心理学		2～4	2
	その他の心理学関係＊1	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	４単位以上	1～2	2
		21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ		1～2	2
		21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学		2～3	2
		21048	1	WP20C18K	深層心理学		2～4	2
		21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学		2～4	2
		21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学		3～4	2
		21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療		2～4	2
		21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学		3～4	2
		21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー		3～4	2
		21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ		2～4	2
		21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ		2～4	2
		21126	1	WP31C03J	心理学実験Ⅰ		3～4	2
		21127	1	WP32C01J	心理学実験Ⅱ		3～4	1
		21124	1	WP10C30K	健康・医療心理学		1～2	2
		21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学		3～4	2
		21130	1	WP20C40K	心理学統計法		2～4	2
		21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学		2～4	2
		21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学		2～4	2
社会福祉学関係科目	相談援助 精神保健福祉援助技術	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	１科目 ２単位以上	1	2
		21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）		1	2
		21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2～3	2
		21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2～3	2
		21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		2～3	2
		21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		2～3	2
		21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習		1～2	2
		21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		2～3	2
		21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		2～3	2
		21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ		3～4	2
		21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ		3～4	2
		21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2～3	2
		21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2～3	2
		21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		3～4	2
		21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		3～4	2
		21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2～3	2
		21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ		3～4	6

指定科目		本学設置科目				必要科目・単位数	配置年次	単位数
		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名			
社会福祉学関係科目	その他の社会福祉学関係＊2	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ	10単位以上	2～4	2
		21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ		2～4	2
		21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A		2～4	2
		21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B		2～4	2
		21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ		2～4	2
		21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ		2～4	2
		21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2～4	2
		21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2～4	2
		21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度		2～4	2
		21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A		2～4	2
		21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B		2～4	2
		21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援		2～4	2
		21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ		1～4	2
		21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ		1～4	2
		21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ		1～4	2
		21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ		1～4	2
		21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ		1～4	2
		21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ		1～4	2
		21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎		2～4	2
		21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A		2～4	2
		21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B		2～4	2
		21037	1	WP20C13K	介護概論		2～4	2
		21078	1	WP20C14E	介護技術		2	2
	合計					32単位		

＊1：「臨床心理学」「心理査定法」「カウンセリング（心理相談）」「心理療法」「発達心理」「児童心理」「障害者の心理」「高齢者の心理」で4科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。
＊2：「相談援助」で3科目12単位以上を修得し、かつ全体で32単位以上を修得している場合は、修得しなくてもよい。
※：科目が複数の科目に区分される場合（「Ⅰ、Ⅱ」「A、B」など）は、当該区分された科目の全てを修得して1科目とみなす。
例）「心理学概論Ⅰ」と「心理学概論Ⅱ」を修得して、1科目とみなす。

13. 管理栄養士国家試験受験資格・栄養士資格に関する科目の履修
〔生活科学部食物健康科学科〕

(1) 管理栄養士とは

高齢社会をむかえ、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病に悩む人が増えており、健康課題も深刻化している。また、同時に食をめぐる問題も深刻化・多様化しており、疾病を予防し、健康づくりを果たす上で生涯を通じた食育の実施が重要視されている。そのため、専門的な栄養の知識に基づき、人々の栄養状態、食行動を総合的に判断し、対象者に応じた適切な栄養教育ができる優れた技能と人格を備えた人材の育成が求められている。管理栄養士は、健康づくりを「食」の領域から支援する専門家として、社会から大きな期待が寄せられている。

栄養士法（第１条第２項）において、管理栄養士は以下の３項目に該当する業務を行うことを業とする者であることが規定されている。

① 傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導
② 個人の身体状況、栄養状態等に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康の保持のための栄養の指導
③ 特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行う。

なお、①を行う場合、医師等の医療職種との連携（医師の指導）のもとに栄養量や摂取方法などの指導を行うことが義務づけられている（栄養士法第５条の５）。

管理栄養士の免許は、管理栄養士国家試験に合格した者に対して厚生労働大臣から与えられる（栄養法第２条３項）。管理栄養免許取得後は、病院、学校、保健所・保健センター、社会福祉施設（高齢者・児童）等の専門職員として、また、食品関係の技術員、研究員として活躍が期待できる。

(2) 管理栄養士養成施設の指定科目（管理栄養士国家試験受験資格）

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、栄養士及び管理栄養士の養成施設に指定されている。本学科において栄養士の免許、及び管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、本学学則の定める規定に基づき、管理栄養士学校指定規則に定める次頁以降の必修科目について所定の単位を修得し、併せて学士の資格を取得しなければならない。なお、所定の単位を修得したものは、４年次に実施される管理栄養士国家試験を受験することができる。

管理栄養士学校指定規則に定める科目及び本学設置科目（管理栄養士養成課程）

〔2017（平成29）年度以降入学生〕

管理栄養士学校指定規則に定める科目・単位数				本学設置科目						
教育内容		単位数		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数		配置年次
		講義又は演習	実験又は実習					講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康*	6		22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2
				22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	2		3
				22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
				22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験		1	4
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち*	14		22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1
				22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	2		2
				22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験		1	1
				22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1
				22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	2		2
				22198	1	FS30A02J	生化学実験		1	3
				22182	1	FS31A02K	医学一般Ⅰ	2		3
				22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	2		4
				22180	1	FS10A03K	運動生理学	2		3
				22181	2	FS40A03J	運動栄養生理学実験		1	4
	食べ物と健康*	8	10	22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	2		1
				22115	3	FS22A02K	食品学Ⅱ	2		2
				22184	1	FS10A04J	食品学実験		1	1
				22117	2	FS10A05J	分析化学実験		1	1
				22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
				22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
				22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
				22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験		1	2
				22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ		1	1
				22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
				22126	2	FS20A03K	調理学	2		2
				22127	2	FS20A04J	調理学実験		1	2
専門分野	基礎栄養学*	2		22103	2	FS11A03K	基礎栄養学Ⅰ	2		1
				22122	4	FS32A04K	基礎栄養学Ⅱ	2		3
				22201	1	FS20A05J	栄養学実験		1	2
	応用栄養学*	6		22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2
				22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2
				22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習Ⅰ		1	3
				22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ		1	3
				22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	2		4

管理栄養士学校指定規則に定める科目・単位数				本学設置科目						
教育内容		単位数		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数		配置年次
		講義又は演習	実験又は実習					講義又は演習	実験又は実習	
専門分野	栄養教育論*	6		22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	2		2
				22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
				22135	2	FS33A01K	栄養教育論Ⅲ	2		3
				22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
	臨床栄養学*	8	8	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2
				22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
				22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	2		3
				22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	2		3
				22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
				22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習		1	3
	公衆栄養学*	4		22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	2		2
				22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
				22144	2	FS32A06K	公衆栄養学Ⅱ	2		3
	給食経営管理論*	4		22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	2		1
				22164	3	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	1		2
				22177	1	FS10A07E	給食実務演習	1		1
				22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ		1	2
				22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
	総合演習	2		22195	1	FS31A01E	総合演習Ⅰ	1		3
				22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	1		3
	臨地実習		4	22150	3	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）		1	3
				22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）		2	3
				22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）		1	4
	累計	60	22				累計	64	24	
	合計	82					合計	88		

臨地実習にある「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」には給食の運営に係る校外実習の１単位を含む。
＊管理栄養士国家試験科目

栄養士法施行規則に定める科目及び本学設置科目（栄養士養成課程）

〔2017（平成29）年度以降入学生〕

栄養士法施行規則に定める科目・単位数			本学設置科目						
教育内容	単位数		科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数		配置年次
	講義又は演習	実験又は実習					講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4		22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2
			22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	2		3
人体の構造と機能	8	4	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1
			22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験		1	1
			22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1
			22182	1	FS31A02K	医学一般Ⅰ	2		3
			22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	2		4
食品と衛生	6		22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	2		1
			22184	1	FS10A04J	食品学実験		1	1
			22117	2	FS10A05J	分析化学実験		1	1
			22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
			22120	2	FS30A04J	食品加工学実習		1	3
			22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
栄養と健康	8		22103	2	FS11A03K	基礎栄養学Ⅰ	2		1
			22201	1	FS20A05J	栄養学実験		1	2
			22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2
			22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習Ⅰ		1	3
			22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2
			22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習		1	2
			22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	2		2
栄養の指導	6	10	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	2		2
			22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習		1	3
			22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	2		2
			22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	2		2
			22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習		1	3
給食の運営	4		22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	2		1
			22177	1	FS10A07E	給食実務演習	1		1
			22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ		1	2
			22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ		1	2
			22126	2	FS20A03K	調理学	2		2
			22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ		1	1
			22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ		1	1
			22150	3	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）		1	3
小計	36	14				小計	37	14	
合計	50					合計	51		

(3) 学内外実験・実習計画

○管理栄養士養成に関わる４年間の実験・実習科目

履修年次	履修科目	単位	履修方法	備考
１年次	調理学実習Ⅰ	1	週２コマ×15週	
	調理学実習Ⅱ	1	週２コマ×15週	
	食品学実験	1	週２コマ×15週	
	分析化学実験	1	週２コマ×15週	
	解剖生理学実験	1	週２コマ×15週	
２年次	栄養学実験	1	週２コマ×15週	
	調理学実験	1	週２コマ×15週	
	食品衛生学実験	1	週２コマ×15週	
	臨床栄養学実習	1	週２コマ×15週	
	給食経営管理実習Ⅰ	1	週３コマ×10週	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	週３コマ×10週	
３年次	食品加工学実習	1	週２コマ×15週	
	生化学実験	1	週２コマ×15週	
	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）	1	集中	A
	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	2	集中	B
	応用臨床栄養学実習	1	週２コマ×15週	
	応用栄養学実習Ⅰ	1	週２コマ×15週	
	応用栄養学実習Ⅱ	1	週２コマ×15週	
	栄養教育論実習	1	週２コマ×15週	
	公衆栄養学実習	1	週２コマ×15週	
４年次	公衆衛生学実験	1	週２コマ×15週	
	運動栄養生理学実験	1	週２コマ×15週	
	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	1	集中	C

○臨地実習

臨地実習は、２～４名の学生を１組として各実習施設に配属する。実習を効果的に進めるため、事前指導では学習課題の作成に取り組み、実習の意義・目的の明確化に努める。

実習中には「実習記録」の記録を、また、終了後には「実習報告書」の提出を義務付ける。各自が十分な目的意識を持ち、主体的、意欲的に実習に臨む事を期待する。

A．臨地実習Ⅰ（給食経営管理）

特定給食施設に位置づけられる学校給食センター（共同調理場）または単独調理方式の小・中学校における給食経営管理の実際ならびに管理栄養士の役割を学ぶ。各施設の実習担当者の指導に従い、現場実習を通して経営管理（原価管理、帳票類の扱い方）、栄養管理（基準栄養量の扱い方、献立作成法、喫食状況の把握）、衛生・安全管理、食材料管理（発注、検品・検収の方法）、作業管理（作業計画のあり方、作業の効率化・標準化の方法）、施設設備管理について要点を学習する。また、栄養教育教材の作成、食指導の実際を通して栄養教育の手法を体得する。

B．臨地実習Ⅱ（臨床栄養）

栄養士法において、病院などの医療施設における傷病者に対する栄養食事指導は管理栄養士の業務に位置づけられている。傷病者に対する栄養管理の実際を通して、各実習施設の特性をふまえながら、臨床栄養管理（栄養アセスメント、各種調査、栄養食事指導、チーム医療など）の要点、方法および管理栄養士の役割を理解する。

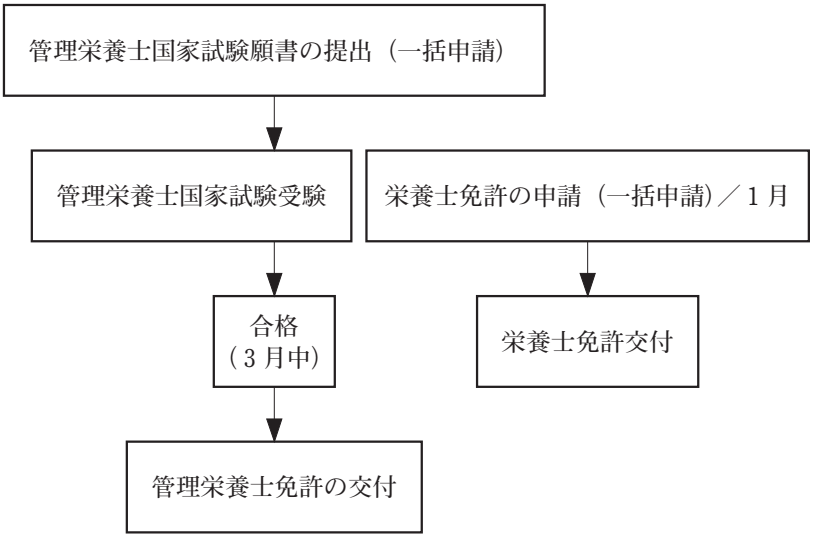
また、医療の一環として提供される病院給食について、種類・特性、食数管理などの要点を学ぶと同時に、入院時食事療養制度の運用と併せて給食経営管理の視点からの運営システムを学習する。

C．臨地実習Ⅲ（公衆栄養）

行政機関である保健所・市町村保健センターの役割と、そこでの管理栄養士の役割を学び、国民の健康づくり推進のための仕組みや地域保健対策についての理解を深める。

特に、保健所では、地域保健栄養体制の整備業務、市町村に対する支援業務、広域的または専門的な知識や技術を必要とする栄養指導業務、特定給食施設・栄養関連企業等への実施体制の調整業務、栄養相談・一般的栄養指導業務などの要点および住民の栄養改善の推進、地域組織の育成・啓発・普及の方法等についての理解を深める。

管理栄養士資格取得まで〔該当年次に詳細説明あり〕



14. 食品衛生監視員任用資格･食品衛生管理者資格に関する科目の履修
〔生活科学部食物健康科学科〕

(1) 食品衛生監視員・食品衛生管理者とは

食品衛生監視員とは、食品衛生法の規定に基づき、食品に起因する衛生上の危害を防止するために営業施設等への立入検査や食品衛生に関する指導の職務等を行う公務員のことをいい、任用されるには本資格が必要となる（食品衛生法第30条）。国の食品衛生監視員は、検疫所における輸入食品の監視指導や地方厚生局における総合衛生管理製造過程の承認等を行っている。一方、自治体の食品衛生監視員は、保健所などにおいて各自治体の所管地域の営業施設等への監視指導を行う。平成15年の法改正により、国は、監視指導実施に関する統一的な考え方である「食品衛生に関する監視指導指針」を策定し、その指針に基づき国は輸入食品について「輸入食品監視指導計画」を策定し、自治体は「都道府県等監視指導計画」を策定し、それぞれの計画に従って監視指導を行うことになっている。

また食品衛生管理者とは、乳畜肉製品、食品添加物、及び特に衛生上の考慮を必要とする食品の製造、加工を行う施設で、監督、指導の業務にあたる者をいう。なお、このような施設では資格者を置くことが法律で義務づけられている（食品衛生法第48条）。

(2) 食品衛生監視員任用資格・食品衛生管理者資格に関する科目

生活科学部食物健康科学科は、厚生労働大臣により、食品衛生監視員（任用）、及び食品衛生管理者の養成施設に指定されている。本学科において食品衛生法（施行令第９条第１項第１号及び法第48条第６項第３号）に定める食品衛生監視員任用資格及び食品衛生管理者の資格を取得するためには、本学学則の定める規程に基づき、所定の科目を修得することが必要である。

〔2017(平成29)年度以降入学生〕

区分	本学設置科目						配置年次
	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	科目名	単位数 必修	単位数 選択	
A群　化学関係	22100	1	FS10A01K	有機化学	2		1
	22117	2	FS10A05J	分析化学実験	1		1
B群　生物化学関係	22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	2		1
	22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	2		2
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	1		3
	22118	1	FS10C01K	食品化学		2	1
C群　微生物学関係	22119	2	FS30A03K	食品加工学	2		3
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	1		3
D群　公衆衛生学関係	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	2		2
	22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	2		3
	22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験	1		4
	22123	1	FS20A01K	食品衛生学	2		2
	22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験	1		2
	22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	1		4
E群　その他の関連科目	22103	2	FS11A03K	基礎栄養学Ⅰ	2		1
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	2		1
	22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	2		2
	22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験	1		1
	22182	1	FS31A02K	医学一般Ⅰ	2		3
	22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	2		4
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	2		2
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	2		2
	22201	1	FS20A05J	栄養学実験	1		2
	22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習Ⅰ	1		3
	22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ	1		3
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	2		2
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	1		2
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	2		2
	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	1		3
	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ	1		2
	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	1		2
	22150	3	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）	1		3
	22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	2		3

(1) A群～D群までの各群において、それぞれ１科目以上修得すること。
(2) A群～D群までの科目の中から、合計22単位以上修得すること。
(3) 上記22単位を含み、A群～E群までの各科目の中から、合計40単位以上修得すること。

15. 看護師国家試験受験資格に関する科目の履修
〔看護学部看護学科〕

看護師とは

少子･高齢化や医療の高度化、社会や自然環境の変化に伴い、看護をめぐる情勢は著しく変化し、保健･医療・福祉の一端を担う看護職への期待はかつてなく高まっている。

看護職とは、保健師・助産師・看護師の総称であり、すべて「看護」を基盤に持つ専門職である。看護職能団体である日本看護協会は「看護とは、健康のあらゆるレベルにおいて個人が健康的に正常な日常生活ができるように援助することであり、この場合のあらゆるレベルにおける援助というのは、健康危機、健康回復など健康のどのレベルにおいても、対象となる人が、それまで持ち続けていた生活リズム（健康な状態）にまで整えることである」と述べている。

このように看護職の行う仕事は、人々のさまざまなレベルの健康状態に関心を持って、その人の生活上に起こる諸問題に対して専門的な知識と技術を活用して健康問題の改善や解決をめざす援助活動であり、人間にとって最も大切な健康、すなわち生命に直接関わる仕事といえる。

看護師の具体的な役割としては、①健康を障害した人々の身の回りの世話、②疾病に罹患した者に対して医師の行う診断や治療・検査の介助、③健康を保持し疾病の回復に必要な生理的、心理的、社会的環境づくり、④疾病予防に対する保健指導や健康教育、⑤円滑な医療遂行のための医療従事者との協力・調整などがあげられる。これらの役割を果たすためには専門的な知識・技術・態度が必要である。看護の三大要素とも言われるものである。

看護師は、人間を対象とする仕事であるところから、学習内容も多岐にわたる。健康や疾病に関する医学的知識、心理や情緒に関する心理学的知識、社会や経済に関する社会学的知識などである。また、看護は実践の科学といわれるように科学的な根拠を持った技術の修得が必要であり、看護専門職業人としての態度面の学習も欠かせない。これらは、講義だけでなく演習や学外の病院、保健所、老人保健施設など医療施設や福祉施設などの実習を合わせて実施することによって修得できる。

本学看護学部では、これらの一般教養から専門知識や技術を修得する内容を含む科目を整え、学習の場を準備しており、所定の単位を修得すれば看護師国家試験受験資格が得られる。

教育課程と指定規則の対比表

〔2021（令和３）年度以降入学生〕

区分		科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び卒業要件	看護師課程 基礎分野 科学的思考の基盤	基礎分野 人間と生活・社会の理解	専門基礎分野 人体の構造と機能	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	専門分野Ⅰ 基礎看護学	専門分野Ⅱ 成人看護学	専門分野Ⅱ 老年看護学	専門分野Ⅱ 小児看護学	専門分野Ⅱ 母性看護学	専門分野Ⅱ 精神看護学	統合分野 在宅看護論	統合分野 看護の統合と実践	臨地実習 専門分野Ⅰ 基礎看護学	臨地実習 専門分野Ⅱ 成人看護学	臨地実習 専門分野Ⅱ 老年看護学	臨地実習 専門分野Ⅱ 小児看護学	臨地実習 専門分野Ⅱ 母性看護学	臨地実習 専門分野Ⅱ 精神看護学	臨地実習 統合分野 在宅看護論	臨地実習 統合分野 看護の統合と実践	計
教育課程 ＼ 指定規則の教育内容									13		21			40								23							97
全学教養科目				全学教養科目				14単位必修＋11単位選択必修	○																				2
		計						25	25		0			0								0							25
専門基礎科目	人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進	31101	3	人体構造機能学A	1	2		27単位必修			○																		2
		31186	1	人体構造機能学B	1	2					○																		2
		31187	1	人体構造機能学演習	2	1					○																		1
		31103	1	生化学	1	1					○																		1
		31104	2	栄養・代謝学	1	1					○																		1
		31105	2	食物健康実習	2		1				○																		
		31106	2	感染と防御（微生物学）	1	1					○																		1
		31107	1	病理病態学	2	2					○																		2
		31108	1	薬理学	2	2					○																		2
		31109	2	疾病治療論A（成人・高齢者）	2	3					○																		3
		31188	1	疾病治療論B（小児・母性・精神）	2	3					○																		3
	健康支援と倫理・社会	31189	1	医療倫理	1	2					○																		2
		31111	2	社会保障制度論	1	2					○																		2
		31112	2	保健医療福祉行政論	1	2					○																		2
		31113	1	保健医療看護経済学	1		1				○																		
		31212	1	カウンセリング技術	2		1				○																		
	健康現象の疫学と統計	31178	1	公衆衛生学	1	1					○																		1
		31115	2	疫学	2	2					○																		2
		31179	1	保健統計	3		2				○																		
		計						27	0		27			0								0							27
専門科目	看護学の基本	31117	1	看護学概論	1	1		18単位必修						○															1
		31190	1	看護倫理	2	1			○																				1
		31118	1	科学的思考基礎演習Ⅰ（看護学へのアプローチ）	1	1								○	○	○	○	○	○	○									1
		31191	1	科学的思考基礎演習Ⅱ（コミュニケーションと人間関係）	1	1								○	○	○	○	○	○	○									1
		31119	2	科学的思考基礎演習Ⅲ（ヘルスアセスメントの基礎）	1	1								○	○														1
		31120	2	科学的思考基礎演習Ⅳ（ヘルスアセスメントの応用）	2	1								○	○	○													1
		31123	1	援助技術論A（日常生活の援助技術）	1	2								○															2
		31124	1	援助技術論B（診療に伴う援助技術）	2	2								○															2
		31125	2	看護関係法規	1	1								○															1
		31126	2	精神保健（発達段階と場に応じたメンタルヘルス）	2	1									○	○	○	○	○										1
		31192	1	健康教育論（理論・実践）	2	2									○	○	○	○	○										2
		31129	1	早期看護体験実習	1	1																○	○	○	○	○	○	○	1
		31130	1	基礎看護学実習	2	3																○							3
		計						18	1		0			13								4							18
	看護展開の基礎	31122	2	科学的思考基礎演習Ⅴ（看護実践力の基礎）	2	1		9 単位必修							○	○			○	○									1
		31135	2	成人看護学概論	2	1									○														1
		31136	2	高齢者看護学A（高齢者の健康と障害）	2	1										○													1
		31193	1	小児看護学A（健康な小児の生活支援）	2	1											○												1
		31194	1	母性看護学A（リプロダクティブヘルスケア）	2	1												○											1
		31195	1	精神看護学A（心の基本理解と健康）	2	1													○										1
		31140	2	公衆衛生看護学概論	2	2									○	○	○	○	○										2
		31196	1	在宅看護学A（在宅療養者・家族の理解）	2	1														○									1
		計						9	0		0			9								0							9

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

教育課程 ＼ 指定規則の教育内容								看護師課程																			
								基礎分野		専門基礎分野			専門分野 Ⅰ	専門分野 Ⅱ					統合分野		臨地実習 専門分野 Ⅰ	臨地実習 専門分野 Ⅱ					臨地実習 統合分野		計
								科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践	
区分		科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び卒業要件	13		21		40								23								97
専門科目	看護展開の応用	31197	1	科学的思考基礎演習Ⅵ（看護実践力の応用）	3	1		32単位必修						○	○	○	○	○	○										1
		31142	2	成人看護学A（セルフケア）	2	2								○															2
		31198	1	成人看護学B（ペリオペレイティブケア・クリティカルケア）	3	1								○															1
		31144	2	高齢者看護学B（高齢者の健康障害と看護）	3	2									○														2
		31199	1	小児看護学B（小児の健康障害と看護）	3	2										○													2
		31146	2	母性看護学B（ペリネイタルケア）	3	2											○												2
		31200	1	精神看護学B（心を病む人の理解とセルフマネジメント）	3	2												○											2
		31201	1	在宅看護学B（在宅療養を支える看護）	3	2													○										2
		31202	1	公衆衛生看護活動展開論A（発達・健康課題と看護）	2	1								○	○	○	○	○											1
		31180	2	公衆衛生看護活動展開論B（公衆衛生看護技術）	3		2													○									
		31203	1	公衆衛生看護活動展開論C（組織活動・社会資源）	3		1													○									
		31181	2	公衆衛生看護管理論（健康危機管理を含む）	4		1													○									
		31204	1	学校保健	2	1										○													1
		31205	1	学校健康相談	4		1									○													
		31182	1	産業保健	4		1													○									
		31155	1	成人看護学実習	3	4																○							4
		31156	2	高齢者看護学実習	3	3																	○						3
		31157	1	小児看護学実習	3	2																		○					2
		31158	1	母性看護学実習	3	2																			○				2
		31159	1	精神看護学実習	3	2																				○			2
		31160	1	在宅看護学実習	3	2																					○		2
		31183	2	公衆衛生看護学実習A（活動展開の基礎）	2	1																○	○	○	○	○			1
		31206	1	公衆衛生看護学実習B（活動展開の応用）	4		4																					○	
		計						32	0		0		16								16								32
	看護学の発展	31163	1	国際看護論	4	1		11単位必修＋2単位選択												○									13
		31207	1	国際看護論演習	1−4		2													○									
		31164	1	看護マネジメント（医療安全含む）	4	1														○									
		31165	1	看護教育学	4		1													○									
		31167	1	研究方法論	4	1														○									
		31208	1	研究方法論演習Ⅰ	4	1														○									
		31209	1	研究方法論演習Ⅱ	4	1														○									
		31169	1	看護生体情報論	4		1													○									
		31170	1	リハビリテーション看護	4		1							○	○				○										
		31171	1	がん看護	4		1													○									
		31154	1	ターミナルケア論	4	1								○	○		○	○	○	○									
		31173	1	代替療法と看護	4		1													○									
		31211	1	生と死の倫理	4		1							○			○			○									
		31210	1	災害看護（放射線災害を含む）	4	1														○									
		31176	2	科学的思考基礎演習Ⅶ（看護プロフェッショナルへの学び）	4	1							○	○	○	○	○	○	○	○									
		31185	1	総合実習	4	3															○	○	○	○	○	○	○	○	
		計						13	0		0		10（選択2単位を含む）								3								12
卒業要件単位数								124	26		27		48（選択2単位を含む）								23								124
指定規則に対する増単位数									13		6		8								0								27

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

16. 保健師国家試験受験資格に関する科目の履修
〔看護学部看護学科〕

保健師とは

日本は世界屈指の先進国、長寿国といわれているが、地域では虐待や登校拒否、中・高年者の過労死や自殺など、身体に現れた病気だけでなく「生きる」「生活する」「学び、発達する」「働く」という場面でさまざまな障害が発生している。また、地球の温暖化や自然の破壊が進行し、生命そのものが危機に曝されている。このような状況下で、身体と心の悩みを総合的に捉えるヒューマンケアや保健・予防の考え方を重視して、人々が生活の場で自らの健康の決定要因をコントロールし続けられるように、地域（個人、家庭、地域社会、学校、職場）の環境条件を整備支援する活動がますます期待されている。

看護師が病気や障害などの援助を必要とする人に対して、個人個人の健康を取り戻す過程へのケアを中心に行うのに対して、保健師は、地域で生活するすべての人々を対象にして、援助を求めてくる人だけでなく、家庭の事情や経済的問題などさまざまな理由で必ずしも援助を求めてこない人々を見つけ出し、保健・予防の観点から地域住民の健康を守る活動をする。つまり、保健師は、看護技術、予防的・公衆衛生的援助技術、社会事業的援助技術を駆使して、地域の人々の健康を守り、その人の持っている生命力や能力を最大限に発揮して楽しく生活が続けられるよう支援する専門職である。

保健師の具体的な役割として、①人々の健康ならびに疾病･障害の予防、発生、回復及び改善の過程を、社会的条件の中でとらえた支援、②地域の人々が自らの健康状態を認識して健康の保持・増進を図れるよう健康学習や自助グループ活動を実施し、また社会資源を活用できるような支援活動、③地域に潜在している健康問題を見出すとともに、潜在している健康問題を予測し、これらの問題を組織的に解決していくこと、④保健･医療･福祉行政の基本的知識を踏まえ、地域の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や、保健・医療・福祉サービスを評価し、調整することなどがあげられる。

保健師教育は、看護教育の大学化に伴い、養成所・短大専攻科から学部での保健師看護師統合カリキュラム、そして学部選択制・選抜制と移行し、さらに大学院教育へと多様化している。すなわち、高度実践者として活躍できる専門職人材の育成が、ますます求められているところである。保健師のアイデンティティを持ち、保健師として「保健指導」できる知識・技術の基礎を修得できる教育体制として、本学看護学部も学部選抜制を導入している。選抜方法は以下の通りである。

1．募集定員　20名
2．出願時期　２年次２月初旬（後期定期試験期間終了後）
3．出願資格　２年次前期までのGPA 2.5以上の者であり、かつ、１年次および２年次の必修全科目が、３年次進級当初に履修済みであること。
　　在学期間中、出願できるのは１回限りとする。
4．選抜方法
　出願者の中から、２年次前期までのGPAおよび２年次後期までに履修する公衆衛生看護学領域科目（公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動展開論Ａ、健康教育論、公衆衛生看護学実習Ａ）の成績上位者から定員数を選抜する。

選抜合格者は、看護師国家試験受験資格に関する科目の履修に加えて所定の単位を修得すれば、保健師国家試験受験資格を得ることができる。

教育課程と指定規則の対比表

〔2021（令和３）年度以降入学生〕

教育課程 ＼ 指定規則の教育内容								保健師課程										
								公衆衛生看護学				疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護学実習			計
区分		科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び卒業要件	公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論				個人・家族・集団・組織の支援実習	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護管理論実習	
									23（20）							5			28(25)
全学教養科目				全学教養科目				14単位必修＋11単位選択必修											
				計				25	0							0			0
専門基礎科目	人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進	31101	3	人体構造機能学A	1	2		29単位必修											
		31186	1	人体構造機能学B	1	2													
		31187	1	人体構造機能学演習	2	1													
		31103	1	生化学	1	1													
		31104	2	栄養・代謝学	1	1													
		31105	2	食物健康実習	2		1												
		31106	2	感染と防御（微生物学）	1	1													
		31107	1	病理病態学	2	2													
		31108	1	薬理学	2	2													
		31109	2	疾病治療論A（成人・高齢者）	2	3													
		31188	1	疾病治療論B（小児・母性・精神）	2	3													
	健康支援と倫理・社会	31189	1	医療倫理	1	2													
		31111	2	社会保障制度論	1	2													
		31112	2	保健医療福祉行政論	1	2									○				2
		31113	1	保健医療看護経済学	1		1												
		31212	1	カウンセリング技術	2		1												
	健康現象の疫学と統計	31178	1	公衆衛生学	1	1			○										1
		31115	2	疫学	2	2							○						2
		31179	1	保健統計	3	2								○					2
	計							29	7							0			7
専門科目	看護学の基本	31117	1	看護学概論	1	1		18単位必修											
		31190	1	看護倫理	2	1													
		31118	1	科学的思考基礎演習Ⅰ（看護学へのアプローチ）	1	1													
		31191	1	科学的思考基礎演習Ⅱ（コミュニケーションと人間関係）	1	1													
		31119	2	科学的思考基礎演習Ⅲ（ヘルスアセスメントの基礎）	1	1													
		31120	2	科学的思考基礎演習Ⅳ（ヘルスアセスメントの応用）	2	1													
		31123	1	援助技術論A（日常生活の援助技術）	1	2													
		31124	1	援助技術論B（診療に伴う援助技術）	2	2													
		31125	2	看護関係法規	1	1			○										1
		31126	2	精神保健（発達段階と場に応じたメンタルヘルス）	2	1				○									1
		31192	1	健康教育論（理論・実践）	2	2					○								2
		31129	1	早期看護体験実習	1	1													
		31130	1	基礎看護学実習	2	3													
	計							18	4							0			4
	看護展開の基礎	31122	2	科学的思考基礎演習Ⅴ（看護実践力の基礎）	2	1		9単位必修											
		31135	2	成人看護学概論	2	1													
		31136	2	高齢者看護学A（高齢者の健康と障害）	2	1													
		31193	1	小児看護学A（健康な小児の生活支援）	2	1													
		31194	1	母性看護学A（リプロダクティブヘルスケア）	2	1													
		31195	1	精神看護学A（心の基本理解と健康）	2	1													
		31140	2	公衆衛生看護学概論	2	2			○										2
		31196	1	在宅看護学A（在宅療養者・家族の理解）	2	1				○									1
	計							9	3							0			3

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

教育課程 ＼ 指定規則の教育内容								保健師課程										
								公衆衛生看護学				疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護学実習			計
								公衆衛生看護学概論	個人・家族・集団・組織の支援	公衆衛生看護活動展開論	公衆衛生看護管理論				個人・家族・集団・組織の支援実習	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護管理論実習	
区分		科目コード	科目明細	授業科目	配置年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び卒業要件	23（20）						5			28(25)
専門科目	看護展開の応用	31197	1	科学的思考基礎演習Ⅵ（看護実践力の応用）	3	1		41単位必修										
		31142	2	成人看護学A（セルフケア）	2	2												
		31198	1	成人看護学B（ペリオペレイティブケア・クリティカルケア）	3	1												
		31144	2	高齢者看護学B（高齢者の健康障害と看護）	3	2												
		31199	1	小児看護学B（小児の健康障害と看護）	3	2												
		31146	2	母性看護学B（ペリネイタルケア）	3	2												
		31200	1	精神看護学B（心を病む人の理解とセルフマネジメント）	3	2												
		31201	1	在宅看護学B（在宅療養を支える看護）	3	2				○								2
		31202	1	公衆衛生看護活動展開論A（発達・健康課題と看護）	2	1					○							1
		31180	2	公衆衛生看護活動展開論B（公衆衛生看護技術）	3	2					○							2
		31203	1	公衆衛生看護活動展開論C（組織活動・社会資源）	3	1					○							1
		31181	2	公衆衛生看護管理論（健康危機管理を含む）	4	1						○						1
		31204	1	学校保健	2	1				○								1
		31205	1	学校健康相談	4		1											
		31182	1	産業保健	4	1				○								1
		31155	1	成人看護学実習	3	4												
		31156	2	高齢者看護学実習	3	3												
		31157	1	小児看護学実習	3	2												
		31158	1	母性看護学実習	3	2												
		31159	1	精神看護学実習	3	2												
		31160	1	在宅看護学実習	3	2												
		31183	2	公衆衛生看護学実習A（活動展開の基礎）	2	1										○		1
		31206	1	公衆衛生看護学実習B（活動展開の応用）	4	4										○	○	4
		計						41	9						5			14
	看護学の発展	31163	1	国際看護論	4	1		11単位必修＋2単位選択										
		31207	1	国際看護論演習	1－4		2											
		31164	1	看護マネジメント（医療安全含む）	4	1												
		31165	1	看護教育学	4		1											
		31167	1	研究方法論	4	1												
		31208	1	研究方法論演習Ⅰ	4	1												
		31209	1	研究方法論演習Ⅱ	4	1												
		31169	1	看護生体情報論	4		1											
		31170	1	リハビリテーション看護	4		1											
		31171	1	がん看護	4		1											
		31154	1	ターミナルケア論	4	1												
		31173	1	代替療法と看護	4		1											
		31211	1	生と死の倫理	4		1											
		31210	1	災害看護（放射線災害を含む）	4	1					○							1
		31176	2	科学的思考基礎演習Ⅶ（看護プロフェッショナルへの学び）	4	1												
		31185	1	総合実習	4	3										○	○	3
		計						13	1						3			4
卒業要件単位数								124	24						8			32
保健師国家試験受験資格を取得する場合の最低必要単位数								135	24						8			32
指定規則に対する増単位数									1						3			4

※科目ナンバリングは、学科科目を参照すること。

履　修　要　項　Ⅵ

〔諸規程・諸制度・その他〕

1．卒業研究規程…… 195

2．茨城キリスト教大学研究倫理指針…… 198

3．海外研修制度…… 202

4．『異文化体験』の履修…… 212

5．単位互換制度…… 214

6．派遣学生および特別聴講学生に関する規程…… 216

7．国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程…… 218

8．茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定、
卒業の認定および学位の授与に関する規程…… 220

9．科目等履修生に関する規程…… 221

10．聴講生に関する規程…… 223

11．その他…… 225

1．卒業研究規程

卒業研究提出にかかわる注意事項、指示事項がある場合は掲示にて指示する。
提出締切日　学事暦及び掲示で確認すること
提出先　　学務部（文化交流学科を除く）

文学部

現代英語学科

1．研究内容の範囲　英語学・英米文学・英語教育・異文化間コミュニケーション・観光学・メディア論・その他英語および英語（圏）文化に関連するテーマであること。

2．卒業研究の様式：

A．論文

◆英文の場合、A４判用紙を使用。１ページ25行程度で12枚以上に相当するワード数であること。さらに、和文（400字詰原稿用紙３枚程度）の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。

◆和文の場合、A４判用紙を使用。400字詰原稿用紙30枚以上に相当する字数であること。さらに、本文の前に英文（400語程度）の要旨を付けること。ただし、表紙、目次、要旨はページ数に入れない。参考文献、図表は本文のページ数に入れる。

B．ドラマ・プレゼンテーション：指導教員の指示に従い、ＣＤ、ＤＶＤ等に保存し、概要とともに提出する。概要はA４判用紙を使用し、400字程度とする。

C．その他：学科の担当教員に問い合わせること。

3．注意点

指導教員と十分にコミュニケーションをとりながら研究を進めること。

児童教育学科

1．研究内容の範囲　教育学、教育心理学、児童学に関わる論文（作品、演奏等を含む）とする。

2．卒業研究の様式　担当教員の指示に従うものとする。

文化交流学科

1．研究内容の範囲　文化交流学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。

2．指導教員　　原則として学科所属の教員とする。
　　学科外教員の指導を希望する場合には、学科主任に相談すること。

生活科学部

心理福祉学科

1．研究内容の範囲　心理福祉にかかわる研究（調査等を含む）で卒業研究にふさわしいテーマとする。
※様式の詳細は、学科の申し合わせに基づく担当教員の指示に従うものとする。

2．用紙規格・枚数
A４用紙（和文40字×30行）、本文（表紙、目次、図表等を除く）10枚以上を目安とする。原則として、日本語ワープロでの作成とする。ただし、担当者の指示があった場合はそれに従うこととする。

3．指導教員
心理福祉演習の担当者を原則とする。
心理福祉演習を担当しない学科専任教員の指導を希望する場合は、当該教員の了解を得るものとする。
他学科の専任教員の指導を希望する場合は、学科主任ならびに当該教員に相談すること。
兼任講師の指導は認めない。

食物健康科学科

1．研究内容の範囲　(1) 食物健康科学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。
(2) 指導は、学科所属の担当教員が行う。

2．用紙規格・枚数　(1) A４判用紙を使用し、横とじとすること。
(2) 構成は表紙、目次、本文、図表、謝辞、参考文献とする。

経営学部

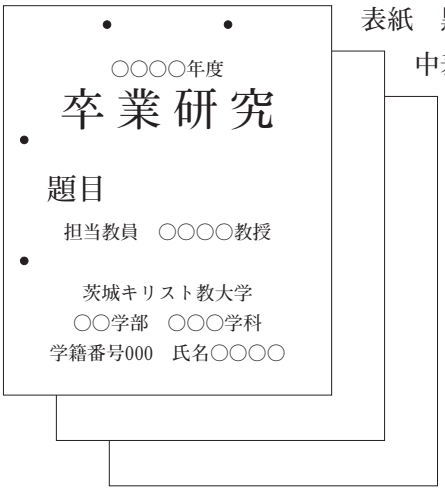
経営学科

1．研究内容の範囲　経営学科の卒業研究にふさわしいテーマであること。

2．指導は、学科所属の担当教員が行う。

3．その他詳細については、卒業研究要項にて説明する。

●卒業研究の体裁例（文学部・生活科学部・経営学部共通）



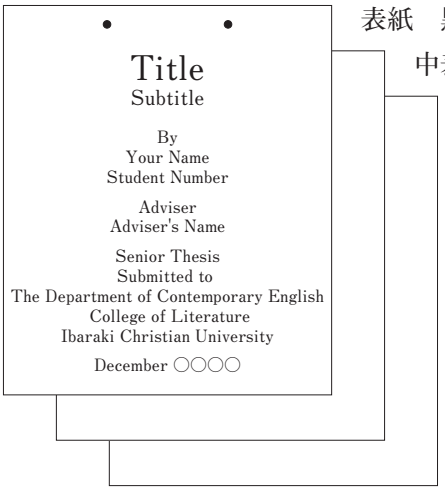
表紙　黒表紙か厚紙を使用

中表紙（表紙と同じものを記入する）

目次・本文

※上部または横２ヶ所をとじひもでとじる。
　食物健康科学科は横２ヶ所をとじる。
※児童教育学科は学科名の後に専攻名を記載する。

●現代英語学科卒業研究（英文）体裁例



表紙　黒表紙か厚紙を使用

中表紙（表紙と同じものを記入する）

目次・本文

※上部２ヶ所をとじひもでとじる。

2．茨城キリスト教大学研究倫理指針

（目的）

第１条　茨城キリスト教大学（以下「本学」という。）は、本学の学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的とし、研究を遂行する上で求められる研究者および研究に関与する事務職員の行動、態度の倫理的指針をここに定める。

（研究の基本）

第２条　研究者は、良心と信念に従って、自らの責任で研究を遂行し、不当な圧力により研究成果の客観性を歪めることがあってはならない。

２　研究者は、生命の尊厳を重んじ、個人のプライバシーに配慮し、基本的人権を尊重しなければならない。

３　研究者は、国際的に認められた規範、規約および条約等、国内の法令、告示等および本学の諸規程を遵守しなければならない。

（定義）

第３条　「研究者」は、次の者とする。

（１）本学教育職員任用規程第２条（１）から（７）に定める者

（２）前（１）と共同で研究を行う全ての者

２　「研究」とは、研究計画の立案、計画の実施、成果の発表、評価にいたる全ての過程における行為、決定およびそれに付随する全ての事項をいう。

３　「発表」とは、自己の研究に係る新たな知見、発見または専門的知見を公表する全ての行為をいう。

４　「研究に関与する事務職員」とは、本学の研究に対する事務、管理等（以下「研究事務等」という。）に携わる専任事務職員、嘱託員、臨時職員、およびアルバイト職員をはじめとする全ての研究事務等に従事する者をいう。

（研究者の態度）

第４条　研究者は、自己の専門研究が及ぶ範囲を自覚し、他分野の専門研究を尊重するとともに、自己研鑽に努めなければならない。

２　研究者は、他の国、地域、組織等の研究活動における、文化、慣習、規律の理解に努めなければならない。

３　研究者は、他の研究者と共同で研究活動を行う場合は、相互の学問的立場を尊重しなければならない。

４　研究者は、研究協力者、研究支援者等に対しては、謝意をもって接しなければならない。

５　研究者は、学生が共に研究活動に関わる場合は、学生が不利益を蒙らないよう十分に配慮をしなければならない。

６　研究者は、自己の研究計画について、分かり易く、明瞭に説明できるよう努めなければならない。

７　研究者は、研究遂行中において、計画進捗状況の自己点検を行い、適切な時期に途中経過の報告ができるよう努めなければならない。

（研究のための情報、データ等の収集）

第５条　研究者は、科学的かつ一般的に妥当な方法、手段で、研究のための資料、情報、データ等を収集しなければならない。

２　研究者が、研究のために資料、情報、データ等を収集する場合は、その目的に適う必要な範囲におい

て収集するよう努めなければならない。

（インフォームド・コンセント）

第６条　研究者が、人の行動、環境、心身等に関する個人の情報、データ等の提供を受けて研究を行う場合は、提供者に対してその目的、収集方法等について、分かり易く説明し、提供者の明確な同意を得なければならない。

２　組織、団体等から、当該組織、団体等に関する資料、情報、データ等の提供を受ける場合も前項に準じるものとする。

（個人情報の保護）

第７条　研究者は、プライバシー保護の重要性に鑑み、研究のために収集した資料、情報、データ等で、個人を特定できるものは、これを他に洩らしてはならない。

（実験ノート、情報、データ等の利用および管理）

第８条　研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等の滅失、漏洩、改ざん等を防ぐために適切な措置を講じなければならない。

２　研究者は、実験ノート、研究のために収集または生成した資料、情報、データ等を適切な期間保存しなければならない。ただし、法令または規程等に保存期間の定めのある場合はそれに遵うものとする。

（機器、薬品・材料等の安全管理）

第９条　研究者が、研究実験において研究装置・機器等および薬品・材料等を用いるときは、関係取扱規程、要領等を遵守し、その安全管理に努めなければならない。

２　研究者は、研究の過程で生じた残渣物、使用済みの薬品・材料等について、責任をもってその最終処理をしなければならない。

（研究成果の発表）

第10条　研究者は、研究の成果を広く社会に還元するため、公表しなければならない。ただし、産業財産権等の取得およびその他合理的理由のため公表に制約のある場合は、その合理的期間内において公表しないものとすることができる。

２　研究成果は、学問的誠実性と論理的忠実性によって導かれた、新たな知見、発見であることに鑑み、研究者は、他者の成果を自己の成果として発表してはならない。

３　研究者は、研究成果の発表に際しては、先行研究を精査し尊重するとともに、他者の知的財産を侵害してはならない。

４　研究者は、研究成果発表における不正な行為は、本学および研究者に対する社会の信頼性を喪失する行為であることを自覚し、次に掲げる不正な行為は、絶対にこれをしてはならない。

(1) 捏造（存在しないデータの作成）

(2) 改ざん（データの変造、偽造）

(3) 盗用（他人のデータや研究成果等を適切な引用なしで使用）

５　研究者は、研究発表における不適切な引用、引用の不備、誇大な表現、都合のよい誤解をさせる表現等は、不正行為とみなされる恐れがあることを自覚し、適切な引用、誤解のない完全な引用、そして真摯な表現をしなければならない。

（オーサーシップ）

第11条　研究者は、研究活動に実質的な関与をし、研究内容に責任を有し、研究成果の創意性に十分な貢献をしたと認められる場合に、適切なオーサーシップを認められる。

（研究費の取扱い）

第12条　研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の源泉が、学生納付金、国・地方公共団体等か

らの補助金、財団、企業等からの助成金、受託・共同研究費、寄附金等によって賄われていることを常に留意し、研究費の適正な使用および管理に努め、その負託に応えなければならない。

2　研究者は、交付された研究費を当該研究に必要な経費のみに使用しなければならない。

3　研究者および研究に関与する事務職員は、研究費の使用および管理に当たっては、法令、本学の諸規程、当該研究費の使用規定等を遵守しなければならない。

4　研究者および研究に関与する事務職員は、証憑書類等を適切に管理し、実績報告においては、研究遂行の真実を明瞭に記載しなければならない。

（他者の業績評価）

第13条　研究者が、レフリー、論文査読、審査委員等の委嘱を受けて、他者の研究業績の評価に関わるときは、被評価者に対して予断を持つことなく、評価基準、審査要綱等に従い、自己の信念に基づき評価しなければならない。

2　研究者は、他者の業績評価に関わり知り得た情報を不正に利用してはならない。当該業績に関する秘密は、これを保持しなければならない。

（本学の責務）

第14条　本学は、研究者の研究倫理意識を高揚するために、必要な啓発、倫理教育の計画を策定し、実施するものとする。

2　本学は、この指針の運用を実効あるものとするため、研究者の研究倫理に反する行為および研究に関与する事務職員の研究倫理に反する行為に加担する行為に対しては適切な措置を講じるものとする。

3　前２項に関する事項は別に定める。

（改定）

第15条　この指針の改定は、研究支援委員会の議を経、合同教授会の承認を得てこれを行う。

附則

1　この指針は、2010年４月１日から施行する。

2　この指針は、2014年４月１日から施行する。

3　この指針は、2015年４月１日から施行する。

3．海外研修制度

(1) 海外語学研修

海外語学研修は、学部・学科・学年を問わず全ての学生を対象として、夏期／春期休業中の約 2 週間または 4 週間で実施される。語学研修を中心に、それぞれの国の歴史や文化などを直接体験できる内容が盛り込まれている。参加に伴い、海外語学研修の単位修得が可能である。

なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

○研修先

アメリカ合衆国

機　関　名：**オクラホマクリスチャン大学（Oklahoma Christian University: OC）**
所　在　地：オクラホマ州　オクラホマ市
時期・内容：春期休業中の約 4 週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。
修 得 単 位：海外語学研修Ａ または Ｂ（4 単位）

機　関　名：**アッシュランド大学（Ashland University）**
所　在　地：オハイオ州　アッシュランド市
時期・内容：夏期休業中の約 2 週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。
修 得 単 位：海外語学研修Ｃ または Ｄ（2 単位）

機　関　名：**ウェストアラバマ大学（The University of West Alabama）**
所　在　地：アラバマ州　リビングストン市
時期・内容：夏期休業中の約 2 週間。英語､米国文化に関する授業を受講する。ESLコースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修Ｃ または Ｄ（2 単位）

機　関　名：**アビリーンクリスチャン大学（Abilene Christian University）**
所　在　地：テキサス州　アビリーン市
時期・内容：夏期休業中の約 2 週間。英語、米国文化に関する授業を受講する。
修 得 単 位：海外語学研修Ｃ または Ｄ（2 単位）

カ ナ ダ

機　関　名：**ファンショーカレッジ（Fanshawe College）**
所　在　地：オンタリオ州　ロンドン市
時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。ESLコースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修Ａ または Ｂ（4 単位）、Ｃ または Ｄ（2 単位）

イギリス

機　関　名：**イーストサセックスカレッジ（East Sussex College）**
所　在　地：ルイス市
時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。ESLコースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）、C または D（2 単位）

ニュージーランド

機　関　名：**ワイカト大学パスウェイズカレッジ（The University of Waikato Pathways College）**
所　在　地：ハミルトン市
時期・内容：春期休業中の約 4 週間。一般英語コースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）

フランス共和国

機　関　名：**現代フランス語視聴覚センター　カヴィラム**
（Centre d'Approches Vivantes des Langues et des Médias: CAVILAM）
所　在　地：ヴィシー市
時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。フランス語学習コースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）、C または D（2 単位）

ドイツ連邦共和国

機　関　名：**ブレーメン州立大学外国語センター**
（Fremdsprachenzentrum der Hochschulen im Land Bremen）
所　在　地：ブレーメン市
時期・内容：夏期休業中の約 4 週間。ドイツ語学習コースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）

機　関　名：**インターナショナル・コミュニケーション研究所デュッセルドルフ校**
（Institut für Internationale Kommunikation in Düsseldorf）
所　在　地：デュッセルドルフ市
時期・内容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間。ドイツ語学習コースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）、C または D（2 単位）

中華人民共和国

機　関　名：**天津師範大学（Tianjin Normal University）**
所　在　地：天津市
時 期 ・ 内 容：夏期休業中の約 2 週間。中国語、中国文化に関する授業を受講する。
修 得 単 位：海外語学研修C または D（2 単位）
最低催行人数：5 名

大韓民国

機　関　名：**明知大学校（Myongji University）**
所　在　地：ソウル市、龍仁市
時 期 ・ 内 容：夏期休業中の約 2 週間。韓国語、韓国文化に関する授業を受講する。
修 得 単 位：海外語学研修C または D（2 単位）

フィリピン共和国

機　関　名：**ネグロス・オクシデンタルーレコレトス大学（University of Negros Occidental-Recoletos）**
所　在　地：バコロド市
時 期 ・ 内 容：夏期／春期休業中の約 4 週間または 2 週間ESLコースを受講する。
修 得 単 位：海外語学研修A または B（4 単位）、
C または D（2 単位）
最低催行人数：3 名

(2) 海外文化研修

海外文化研修は、学部・学科・学年を問わず全ての学生を対象として、当該年度の引率教員がデザインしたテーマに沿って、夏期／春期休業中の約 2 週間で実施される。参加に伴い、海外文化研修の単位修得が可能である。

修得単位：海外文化研修（2 単位）

(3) 学科科目における海外研修

文学部現代英語学科

【エアライン演習Ｂ】

［履修条件:文学部現代英語学科、文化交流学科］キャビンアテンダントやグランドスタッフを志望する文学部現代英語学科と文化交流学科 2 年次から 4 年次の学生を対象として、夏期の約 2 週間で実施される。

修得単位：エアライン演習Ｂ（2 単位）

【特殊演習】

［履修条件：文学部現代英語学科］特殊演習は、小学校・中学校・高等学校の英語教員を志望する文学部現代英語学科の学生を対象として、夏期の約 2 週間で実施される。

修得単位：特殊演習（2 単位）

文学部文化交流学科

【文化交流体験Ａ】

［履修条件:文化交流学科］ 7 日～10日間の外国訪問を通じて文化交流体験を行う、アクティブラーニング型の海外研修である。訪問先は毎回異なる。これまでに、ヨーロッパや東南アジア、東アジア、南アジアで研修を行った。

修得単位：文化交流体験Ａ（2 単位）

看護学部看護学科

【国際看護論演習（Global Nursing Seminar)】

［履修条件：看護学部看護学科］看護学の専門科目（選択）として、事前準備後に 2 週間の Oklahoma Christian University での研修（現地でのプレゼンテーション含む）と帰国後の報告会を行う。異文化における授業・医療施設の見学、学生との交流などの体験を通じて、看護の本質と国際的な視野に立ち、多様化する社会でのこれからの看護の役割について学ぶ。

修得単位：国際看護論演習（2 単位）

文学部共通

【日本語教育実習Ａ】

［履修条件：日本語教員主専攻］日本語教師を目指す学生向けに開講された実習科目である。学習の一環として、国内の提携先あるいはインドネシア・リアウ大学で教育実習を行うことができる。なお、インドネシアで実習する場合には、日本語を専攻するリアウ大学の大学生に対して、日本語の教育指導を行う。

修得単位：日本語教育実習Ａ（2 単位）

(4) 交換留学

協定を結んでいる大学に、学生を約１年間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される（最大30単位）。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、本学の単位として認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、４年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機　関　名：**オクラホマクリスチャン大学**（Oklahoma Christian University: OC）
所　在　地：オクラホマ州　オクラホマ市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**ウェストアラバマ大学**（The University of West Alabama）
所　在　地：アラバマ州　リビングストン市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**ハワイ大学マノア校**（University of Hawai'i at Mānoa）
所　在　地：ハワイ州　ホノルル市
留学先授業料：全額免除

カ ナ ダ

機　関　名：**ファンショーカレッジ**（Fanshawe College）
所　在　地：オンタリオ州　ロンドン市
留学先授業料：全額免除

スウェーデン王国

機　関　名：**リンネ大学**（Linnaeus University）
所　在　地：ヴェクショー市
留学先授業料：全額免除

イタリア共和国

機　関　名：**ミラノ大学**（University of Milan）
所　在　地：ミラノ市
留学先授業料：全額免除

中華人民共和国

機　関　名：**天津師範大学**（Tianjin Normal University）
所　在　地：天津市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**広東海洋大学**（Guangdong Ocean University）
所　在　地：湛江市
留学先授業料：全額免除

台　湾

機　関　名：**南華大学**（Nanhua University）
所　在　地：嘉義県
留学先授業料：全額免除

大韓民国

機　関　名：**明知大学校**（Myongji University）
所　在　地：ソウル市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**韓瑞大学校**（Hanseo University）
所　在　地：瑞山市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**ＫＣ大学校**（KC University）
所　在　地：ソウル市
留学先授業料：全額免除

ベトナム社会主義共和国

機　関　名：**ホーチミン市外国語情報技術大学**
（Ho Chi Minh City University of Foreign Languages and Information Technology: HUFLIT）
所　在　地：ホーチミン市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**フエ大学外国語大学**（Hue University-University of Foreign Languages）
所　在　地：フエ市
留学先授業料：全額免除

機　関　名：**ホーチミン市テクノロジー大学（Ho Chi Min City University of Technology: HUTECH）**
所　在　地：ホーチミン市
留学先授業料：全額免除

カンボジア王国

機　関　名：**アンコール大学（Angkor University）**
所　在　地：シェムリアプ市
留学先授業料：全額免除

インドネシア共和国

機　関　名：**リアウ大学（University of Riau）**
所　在　地：プカンバル市
留学先授業料：全額免除

キルギス共和国

機　関　名：**カラサエフ記念　ビシケク国立大学（K. Karasaev Bishkek State University）**
所　在　地：ビシケク市
留学先授業料：全額免除

ウクライナ

機　関　名：**イワン・フランコ記念リヴィウ国立大学（Ivan Franko National University of Lviv）**
所　在　地：リヴィウ市
留学先授業料：全額免除

※詳細（内容、手続き方法等）は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際交流課に問い合わせること。
申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

(5) セメスター留学〔文学部現代英語学科〕

文学部現代英語学科の学生のみを対象とし、提携している大学に約７ヵ月間派遣する制度である。

また、留学中に修得した単位の一部は本学の単位として認定される（最大20単位）。認定方法としては、留学先で修得した科目の内容及び時間数と、次ページのリストから認定を希望する科目の内容及び時間数を勘案し、認定となる。そのため、留学先で修得したすべての単位が認定されるとは限らないため注意すること。なお、成績評価は「認」となり、GPA算出の対象とはならない。

留学期間は本学における在学期間として算入されるため、４年間で卒業することも可能であり、経済的な支援制度もある。

○留学先

アメリカ合衆国

機　関　名：**ハワイ大学マノア校（University of Hawai'i at Mānoa）**
所　在　地：ハワイ州　ホノルル市
留学先授業料：10％免除
対 象 学 年：１年～３年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

フィリピン共和国

機　関　名：**ネグロス・オクシデンタルーレコレトス大学（University of Negros Occidental-Recoletos）**
所　在　地：バコロド市
留学先授業料：10％免除
対 象 学 年：１年～３年次後期
修 得 単 位：必修科目及び選択科目最大20単位

※詳細（内容、手続き方法等）は、本学ホームページを参照するか、直接、地域・国際交流センター国際交流課に問い合わせること。
申込みにあたっては、通常の授業に支障をきたさないよう注意して計画を立てること。

セメスター留学における単位認定可能科目

セメスター留学で修得した単位は、下記の授業科目の単位（最大20単位）として充当することができる。

	科目コード	科目ナンバリング	授業科目	必須／選択	単位数	年次	
1	12004	EN11A03E	Listening I	必須	1	1	
2	12005	EN12A03E	Listening II	必須	1	1	
3	12006	EN20C02E	Advanced Listening	選択	1	2～4	＊
4	12008	EN11C01E	Pronunciation I	選択	1	1～4	
5	12009	EN12C01E	Pronunciation II	選択	1	1～4	
6	12010	EN20C03E	Presentation	選択	1	2～4	
7	12012	EN11A02E	Reading I	必須	1	1	
8	12013	EN12A02E	Reading II	必須	1	1	
9	12014	EN20C01E	Advanced Reading	選択	1	2～4	＊
10	12018	EN21C02E	Writing I	選択	1	2～4	＊
11	12019	EN22C02E	Writing II	選択	1	2～4	＊
14	12047	EN20C04K	異文化間コミュニケーション	選択	2	2～4	
15	12083	EN32A01E	現代英語演習 II	必須	2	3	
20	12140	EN20C31E	特殊演習	選択	2	2～4	
21	12144	EN11A01E	English Communication I	必須	1	1	
22	12145	EN12A01E	English Communication II	必須	1	1	
23	12146	EN23A01E	English Communication III	必須	1	2	
24	12147	EN24A01E	English Communication IV	必須	1	2	
25	12191	EN31C01E	Advanced English Communication I	選択	1	3	
26	12192	EN32C01E	Advanced English Communication II	選択	1	3	
27	12020	EN11C03E	Interactive Studies I	選択	1	1～4	
28	12021	EN12C03E	Interactive Studies II	選択	1	1～4	
29	12151	EN21C01E	Discussion I	選択	1	2～4	
30	12152	EN22C01E	Discussion II	選択	1	2～4	
31	12180	EN20C05E	グローバルイングリッシュ	選択	2	2～4	
32	12186	EN20C32J	Internship	選択	2	2～4	＊＊

＊のついた科目は教職課程に必要な科目であるため、教員免許状取得を希望する学生は単位認定ができない。
＊＊フィリピンのセメスタープログラムの参加者のみ。

1）単位認定は留学する学年次内で履修できる科目に限る。
2）留学によって認定できる単位数の上限は20単位である。各科目で単位数や授業期間、授業時間が異なることがあるので、よく確認すること。

4.『異文化体験』の履修

授業科目『異文化体験』のねらい

『異文化体験』は、「学ぶ者の主体的な体験」を尊重し、「学生個人が自発的に準備し、計画を練り、実行に移した海外研修」を、大学の授業科目として認めるものである。

そのため、手がかりとなる現代英語学科科目『異文化間コミュニケーション』（2単位）または、文化交流学科科目『異文化間コミュニケーション』（2単位）を事前に履修しているか、履修中であることが望ましい。

想定される『異文化体験』

(1) 本学とは提携関係にない海外の教育機関への短期留学。

(2) 明確な研究テーマを設定して、海外において調査を行う場合。

いずれの場合も実施時期は、夏期休業中・冬期休業中・春期休業中を原則とする。

同時に修得できる外国語の単位

上記(1)の場合、『異文化体験』（2単位）に加えて、その教育機関において学習する外国語科目の単位（1～2単位）を認定する。

認定される外国語科目は、

『総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ』

『英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』

『フランス語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『ドイツ語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『中国語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『コリアンⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB』

『その他の外国語A、B、C、D』

のいずれか1外国語とする。ただし、現代英語学科の学生の場合は、『総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』および『英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』は該当しない。

履修登録から単位の修得まで

希望者は、履修登録から単位修得に至るまでのスケジュールを右表で確認し、所定書類の提出や期限等を遵守すること。（不明な点は随時、学務部窓口にて相談すること）

手続きのスケジュール

手続き ＼ 体験期間	夏期休業中	冬期休業中 （卒業年次は不可）	春期休業中 （卒業年次は不可）
履修登録 （夏期・冬期休業中に 体験する場合）	体験しようとする年度の 4月 （後期科目として登録）	体験しようとする年度の 4月または9月 （後期科目として登録）	
計画書作成	所属学科の教務委員に相談し、体験前に詳細な計画書を作成すること。		
計画書提出期限 （提出先：学務部窓口）	5月末	10月末	12月下旬
教務委員会による 計画書審査結果通知	6月	11月	1月
体験実施			
レポート作成必要書類準備	帰国後、その成果をレポートにまとめること。教育機関において外国語を学んできた場合は、合計60時間（2単位分）の学習を証明する文書も同時に準備しておくこと。		
履修登録 （春期休業中に体験する場合）			体験・帰国後の4月 （前期科目として登録）
レポート提出期限 （提出先：学務部窓口）	10月末	2月中旬	4月末
教務委員による 口頭試問	11月	2月下旬	5月
教務委員会による 成績認定審査	12月	2月下旬	6月
成績通知	3月 （後期成績として通知）	3月 （後期成績として通知）	9月 （前期成績として通知）

※提出締切等の具体的な日時については毎年度、IC-UNIPAにて掲示する。

5．単位互換制度

単位互換制度

本学では、茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学、沖縄大学、放送大学との間で、単位互換に関する協定を結んでいる。

この制度は、「相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図る」ことを目的とし、各大学がお互いの独自性を生かした授業を公開し合い、それぞれの学生が自由に他大学で学べるようにしたものである。

(1) 茨城大学、茨城県立医療大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学及び常磐短期大学との単位互換制度

前年度末から、単位互換可能な授業科目を学生に明示するので、その中から希望する科目を選択してもらうことになる。特に単位互換科目は、単位数や授業期間、授業時限が異なることがあるので、よく確認してから申し込むこと。受講できる科目数は、一人３科目までである。修得した単位は、本学の卒業要件単位として認定される。

なお、申込期間は、履修登録との関係上、短くなっているので、〆切日および必要書類等をよく確認すること。書類は大学を通して受入れ大学（茨城大学　他）に一括申請することになるので、期日までに遅れないよう提出すること。

また、受入れ大学と定期試験の日時が重なる場合には追試験の対象となるため、早めに学務部に相談すること。

●申込みに必要な書類

① 特別聴講学生願（指定用紙）
② 在学証明書
③ 成績証明書
④ 健康診断書（本学健康診断受診後、提出）

・上記書類の提出〆切日　　４月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。
・受入学生の決定（許可）　４月中旬
・聴講開始時期　　４月中旬以降

※受講希望者は、正式な受入許可が決定する前に授業が始まることになるので、第１回目の授業から出席するよう、心がけること。

(2) 沖縄大学との単位互換制度

本学に在籍したまま沖縄大学で１年間学ぶことができる単位互換制度に関わる協定が2005年度に締結された。この協定は、相互に学生を派遣する制度で、沖縄大学からの学生も本学で受け入れている。

沖縄大学との単位互換制度については、10月（予定）に説明会を行うので、希望者は必ず出席すること。

沖縄大学における受講科目単位数の上限は48単位となっているが、本学で認定できる単位数は30単位までとなっている（「派遣学生および特別聴講学生に関する規程」第４条」）。沖縄大学における受講科目については、申込時から所属学科と随時相談し、決定することになる。なお、受講に際し、有料となる科目もあるので、事前によく確認すること。

沖縄大学への派遣は、１年間となるので、保護者ともよく相談し、十分な理解を得たうえで、応募すること。

●申込みに必要な書類

① 特別科目等履修生願書（指定用紙）

② 派遣学生志望動機（指定用紙）

③ 成績証明書（派遣決定時）

・上記書類の提出〆切日　11月上旬、詳しくは掲示等で確認すること。

・派遣学生の決定　11月中旬（面接等実施）

・聴講開始時期　翌年度４月

※説明会は10月を予定しているが、希望者は前期中に学務部窓口で相談することが望ましい。

(3) 放送大学との単位互換制度

従来型の教室における授業とは異なり、放送による自宅での学習も可能になり、また受講時間の制約も大幅に緩和されることが予想される。(逆に自分自身をしっかりと管理していかないと、失敗の元にもなるので、注意すること。)

本学の学生が修得できる放送大学の単位は、在学期間を通じて20単位、１学期間では４単位が上限となっている。また、単位を修得するためには、放送大学が定める通信指導あるいは単位認定試験を受けて、合格しなければならない。

放送大学の授業を受講する場合は、放送大学が定める額の授業料を支払わなければならない。

申込方法、必要書類、受講開始時期等については、後日掲示するので、注意すること。

6．派遣学生および特別聴講学生に関する規程

第１章　総則

（趣旨）

第１条　茨城キリスト教大学（以下「本学」とする。）の学生で、本学学則第56条の規程により、他大学又は短期大学等（以下「他大学等」とする。）の授業科目を履修しようとする派遣学生、及び他大学等の学生で、本学学則第57条の規程により、本学の授業科目を履修しようとする特別聴講学生の取扱については、本規程の定めるところによる。

（他大学等との協議）

第２条　本学学則第56条及び第57条の規程による派遣学生の派遣及び特別聴講学生の受入れについては、次の各号に掲げる事項について、他大学等と協議し、合同教授会の承認を得るものとする。

(1) 履修を認める授業科目の範囲
(2) 履修を認める学生数
(3) 単位の認定方法と評価方法
(4) 履修期間
(5) 学生の身分
(6) 授業料等の費用
(7) その他必要と思われる事項

第２章　派遣学生

（履修願と許可）

第３条　本学学生が他大学等の授業の履修を希望する場合には、所属する学部教授会の承認を得て当該大学等に履修願を提出し、当該大学等の許可を得なければならない。

２　前項の規定する許可を得た者の当該大学等における身分は、当該大学等の規定するものとする。

（単位と評価）

第４条　派遣学生としての許可を受けた者は、大学にあっては30単位、短期大学にあっては15単位を超えない範囲で、本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受けることができる。

２　前項の単位数は、本学学則第14条の算定基準によるものとする。

３　本学の卒業要件中の科目の単位として認定を受ける科目の成績評価については、本規程第２条に規定するとおり、本学と当該大学等との協議によってその評価基準を設定し、当該大学等は成績証明書を交付するものとする。

（検定料・入学金・授業料等）

第５条　派遣学生としての許可を受けた者は、当該大学等に対し、本学との協議によって決定される額の検定料・入学金・授業料等を支払わなければならない。

（学生証と規則等の遵守）

第６条　派遣学生の許可を受けた者で当該大学等から所定の学生証又はそれに準ずる証明書の交付を受けた者は、当該大学等に滞在する間はそれを携帯しなければならない。

２　派遣学生は、当該大学等の規則を遵守しなければならない。

第３章　特別聴講学生

（履修願と許可）

第７条　他大学等の学生が本学の授業の履修を希望する場合には、当該大学等を通して本学に履修願を提出し、本学学部教授会または合同教授会の承認を得なければならない。

２　前項の規定する許可を得た者の本学における身分は、特別聴講学生とする。

（単位と評価）

第８条　特別聴講学生の許可を得て本学の授業を履修する者の単位は、本学との協議に基づいて、当該大学等における単位として認定される。

２　本学は当該大学等と協議して評価基準を設定し、成績証明書を交付するものとする。

（検定料・入学金・授業料等）

第９条　特別聴講学生は、本学と当該大学等との協議によって決定される額の検定料・入学金・授業料等を本学に支払わなければならない。

（身分証明書と規則等の遵守）

第10条　特別聴講学生の許可を受けた者に対し、本学は特別聴講学生としての学生証を交付する。この学生証は当該特別聴講学生が本学に滞在する間はそれを携帯しなければならない。

２　特別聴講学生は、本学の規則を遵守しなければならない。

第４章　その他

（規程の改正）

第11条　本規程の改正は、教授会の議を経て学長がこれを行うことができる。

附　　則

１　この規程は、1996年４月１日より施行する。

２　この規程は、1999年４月１日より施行する。

３　この規程は、2013年４月１日より施行する。

４　この規程は、2017（平成29）年４月１日より施行する。

５　この規程は、2019（平成31）年４月１日より施行する。

7．国外大学とのデュアル・ディグリー制度運営規程

第１条（目的）

この規程は、茨城キリスト教大学（以下、「本学」と記す）学則第34条に則り、本学とデュアル・ディグリー制に関する協議が成立した国外大学との間のデュアル・ディグリー制運営に関して規定することを目的とする。

第２条（用語の定義）

デュアル・ディグリー制とは、本学と国外大学での学位取得要件を充足した者に、両大学で学位を授与する制度のことである。

第３条（修学期間および身分）

1．デュアル・ディグリー取得を目指す学生（以下、「デュアル・ディグリー生」と記す）の修学期間は、本学で２年、国外大学で２年を基本とする。ただし、修学期間を調整する必要がある場合は、学長の承認を受けなければならない。

2．国外大学で修学しているデュアル・ディグリー生は、修学期間中、本学の学籍を維持する在学留学生として扱う。

第４条（志願要件）

デュアル・ディグリー取得を志願する者は、以下の要件を満たさなければならない。

(1) 本学で１学期以上を修了し、GPAが2.5以上の者。

(2) 国外大学の使用言語で受講が可能な者。

(3) 学則による懲戒履歴がない者。

(4) 海外旅行資格停止などの処分を受けたことがない者。

第５条（申請手続および選抜手続）

1．デュアル・ディグリーを志願する学生は、所定の期日までに申請書を学務部に提出しなければならない。

2．学務部は、当該学生の所属する学科と連携し、申請者の資格要件、修学能力などに関して審査を行い、教務委員会の議を経てデュアル・ディグリー候補生を選抜する。

3．デュアル・ディグリー候補生の選抜が完了したら、学務部は学生の氏名等必要事項を地域・国際交流センターに通知しなければならない。

4．前項の通知を受け、地域・国際交流センターは当該学生を特別在学留学生とすることの可否について当該委員会の議を経て決定しなければならない。

5．上記３.および４.を経てデュアル・ディグリー候補生として選抜された学生は、所属教授会の議を経て、学長の承認を受けなければならない。

第６条（派遣・受け入れ・時期および人数）

1．派遣・受け入れの時期は、毎学期開始時とする。

2．派遣・受け入れの人数は、国外大学との協定による。ただし、両大学間での別途の協議によって、派遣・受け入れ・人数等の調整をおこなうことができるものとする。

第７条（登録および授業料）

1．デュアル・ディグリー生は、両大学の登録手順により、所定の登録をしなければならない。

2．デュアル・ディグリー生の授業料は、両大学間の協定による。

3．授業料以外の生活費等は、両大学間の協定によって定める。

第８条（卒業単位認定）

1．デュアル・ディグリー生は、国外大学の教育課程を履修しなければならない。

2．国外大学で履修した科目の成績評価は、当該国外大学の規程により、卒業単位および成績認定は本学の規程による。

3．国外大学からのデュアル・ディグリー生の一学期当たりの取得単位の範囲は、本学の学則による。

第９条（学位授与）

1．国外大学からのデュアル・ディグリー生は、本学卒業に必要な単位の二分の一以上を取得しなければならない。

2．デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学両校の規程に定められるそれぞれの卒業要件を満たした場合に、双方の大学から学位を取得できる。

第10条（遵守事項）

1．デュアル・ディグリー生は、本学と国外大学の学則および諸規程を遵守しなければならない。

2．デュアル・ディグリー生は、出入国管理法および諸般の法規を遵守しなければならない。

第11条（途中放棄）

1．デュアル･ディグリー生は国外大学で修学中、本学学長の承認なく就学放棄および休学はできない。

2．デュアル・ディグリー生として派遣された者が途中放棄する場合、デュアル・ディグリー履修放棄願を学務部に提出しなければならない。取得済みの単位の扱いについては本学の規程を適用する。

第12条（その他）

この規程に明示されていない事項は、国外大学との相互協議により定める。

第13条（改定）

この規程の改定は、合同教授会の議を経て行う。

附　　則

1．この規程は、2015年４月１日から施行する。

2．この規程は、2018（平成30）年４月１日から施行する。

8．茨城キリスト教大学編転入学生の入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関する規程

第１条　この規程は、本学学則第22条および第23条により転入学または編入学を許可された者の、本学入学前の既修得単位の認定、卒業の認定および学位の授与に関して必要な事項を定めるものである。

第２条　本学２年次に転入学または編入学を認められた者については、１年次生が履修を認められている卒業要件科目に相当すると認められる科目について、最大30単位の範囲で本学において修得したものとしてその単位を認定することがある。

２　本学３年次に転入学または編入学を認められた者については、１年次生および２年次生が履修を認められている卒業要件科目に相当すると認められる科目について、最大60単位の範囲で本学において修得したものとしてその単位を認定することがある。

３　デュアル・ディグリー制度により本学に編入学を認められた者については、当該海外提携校との協議に基づき、卒業要件単位の二分の一を、本学において修得した単位として認定する。

４　留学に関する協議が成立している外国の大学等から本学への編入学または転入学を認められた者の既修得単位の認定については、別に定める。

第３条　本学学則第４条に定める修業年限内に、学則第18条に定める各学科の卒業要件を満たした者について、本学の卒業を認定し、学士の学位を授与する。

２　前項の学位は、文学部各学科・専攻においては学士（文学）、生活科学部各学科においては学士（生活科学）、看護学部看護学科においては学士（看護学）、経営学部経営学科においては学士（経営学）とする。

第４条　この規程による単位認定に当たっては、学務部長が原案を作成し、当該学科主任および当該学部長の承認を得るものとする。

第５条　この規程の改定は、合同教授会の審議を経て学長がこれを行う。

附　　則

１　この規程は2015年４月１日より施行する。ただし、2015年度に本学に編入学・転入学を認められた者については、この規程により単位の認定を行うものとする。

２　この規程は2020（令和２）年４月１日より施行する。ただし、2020（令和２）年度に本学に編入学・転入学を認められた者については、この規程により単位の認定を行うものとする。

9．科目等履修生に関する規程

（目的）

第１条　この規程は本学学則第21章の各条文に基づき、科目等履修生の取扱いに関し必要事項を定めるものである。

（出願資格）

第２条　科目等履修生として出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 短期大学または高等専門学校を卒業した者。

(2) 大学に２年以上在学し、62単位以上を修得して中途退学した者。

(3) 大学を卒業した者。

(4) 本学の卒業生で、教職関連科目および各種資格関連科目の修得を希望する者。

(5) 本学と提携関係にある外国の大学からの留学生。

２　外国人については、前項各号のいずれかに該当し、履修する年度の４月より１年間以上の日本在留資格を有している者。または、本学と提携関係にある外国の大学の留学生。

（受講科目の制限）

第３条　科目等履修生は、本学開講科目中、次の各号に該当する科目の履修は認められない。

(1) 実験・実技関連科目および外国語科目

(2) 教職関連科目（教育実習を含む）および各種資格関連科目

(3) その他本学が受講を認めない科目

２　前項（2）に掲げる科目については、本学の卒業生および大学院生、その他本学がその受講を特に認めた者に限り、受講できるものとする。

（受講期間）

第４条　受講期間は１年以内とする。ただし、希望により第６条の手続きを経て継続を許可することがある。

（履修単位等の制限）

第５条　科目等履修生が履修できる単位数は30単位までとする。

（出願手続きおよび審査料）

第６条　科目等履修生を志願する者は、次の各号に定める審査料と書類を期日までに提出しなければならない。ただし本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

(1) 審査料：10,000円（本学の卒業生は、5,000円）
なお、継続する場合、審査料は無料とする。

(2) 提出書類：科目等履修生願書、卒業証明書、単位修得証明書、写真１枚

(3) 外国人については、前項のいずれかに該当する書類の他、在留資格証明書を添付すること。

（選考方法および許可）

第７条　科目等履修生の選考は書類審査と面接とし、教務委員会が審査に当たり、教授会に諮り許可する。ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

（登録料および受講料等）

第８条　科目等履修生として入学を許可された者は、定められた期間内に次の各号に該当する登録料および受講料を納入する。ただし、本学と提携関係にある外国の大学の留学生については別に定める。

(1) 登録料：8,000円（本学の卒業生は、4,000円）

(2) 受講料：１単位　17,000円

（許可の取消）

第９条　前条に定められた納付金を所定の期日までに納入しない場合は、許可を取り消すことがある。

（納付金の返還）

第10条　既に納入された納入金は、原則として返還しない。

（証明書の発行）

第11条　科目等履修生から願い出があったときは、単位修得証明書を発行する。

（規程の改定）

第12条　本規程の改定は、合同教授会の議を経て学長がこれを行うことができる。

附　　則

1　この規程は2005年４月１日より施行する。
尚、この規程の発効をもって「聴講生および科目等履修生に関する規程」は廃止する。

2　この規程は2011年４月１日より施行する。
尚、2011年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を2010年度末より行う。

3　この規程は2015年４月１日より施行する。
ただし、2015年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2014年度末より行う。

4　この規程は2017（平成29）年４月１日より施行する。
ただし、2017年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2016年度末より行う。

5　この規程は2019（平成31）年４月１日より施行する。
ただし、2019年度より科目等履修生となることを希望する者については、その募集および審査を本規程に則り、2018年度末より行う。

10. 聴講生に関する規程

（目的）

第１条　この規程は本学学則第21章の各条文に基づき、聴講生の取扱いに関し必要事項を定めるものである。

（出願資格）

第２条　聴講生として出願できる者は、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者とする。

２　外国人については､履修する年度の４月より１年間以上の日本在留資格を有している者。または、本学と提携関係にある外国の大学の留学生。

（受講科目の制限）

第３条　本学の開講科目中、聴講生の受講できない授業科目は、次の各号に該当するものとする。

(1) 実習・実技関連科目および外国語科目

(2) 教職科目および各種資格関連科目

(3) その他本学が受講を認めない科目

（受講期間）

第４条　受講期間は１年以内とする。ただし、希望により第６条の手続きを経て継続を許可することがある。

（履修単位等の制限）

第５条　聴講生が１年以内に履修できる授業科目は、通年科目の場合は５科目まで、半期科目の場合は10科目までとする。

（出願手続きおよび審査料）

第６条　聴講生を志願する者は、次の書類を期日までに提出しなければならない。

提出書類：聴講生願書、写真２枚

ただし、外国人については在留資格証明書を添付すること。

２　第８条に規定される登録料および受講料において割引を受けようとする者は、必要な証明書を添付すること。

（選考方法および許可）

第７条　聴講生の選考は書類審査とする。

（登録料および受講料等）

第８条　聴講生として許可された者は、定められた期間内に次の各号に該当する登録料および受講料を納入する。

(1) 登録料：4,000円（本学の卒業生または60歳以上の場合は半額とする。）

(2) 受講料：１科目（通年）32,000円　（半期科目）16,000円

（本学の卒業生または60歳以上の場合は、それぞれの半額とする。）

（許可の取消）

第９条　前条に定められた納付金を所定の期日までに納入しない場合は、許可を取り消すことがある。

（納付金の返還）

第10条　既に納入された納入金は、原則として返還しない。

（証明書の発行）
第11条　聴講生から願い出があったときは、聴講証明書を発行する。
（規程の改正）
第12条　本規程の改正は、合同教授会の議を経てこれを行うことができる。

附　　則

1　この規程は2005年４月１日より施行する。
　尚、この規程の発効をもって「聴講生および科目等履修生に関する規程」は廃止する。
2　この規程は、2015（平成27）年９月１日より施行する。

11. その他

(1) コンピュータ教室・コンピュータ自習室の利用について

学内には学生が利用できるコンピュータが下記のとおり設置されています。これらのコンピュータは授業で使用するほか、IC-UNIPA、電子メールの送受信、ホームページの閲覧、図書館システム、レポート作成などに利用することができます。全てのコンピュータは茨城キリスト教学園LAN（IC-Net）に接続されており、学内LANを経由してインターネットに接続できるようになっています。コンピュータ教室、コンピュータ自習室の場所は、次ページの配置図に記載しています。

＜コンピュータ教室＞

○ 6号館2階6204教室　（Windows 10×48台）
○ 7号館4階7401教室　（Windows 10×52台）
○11号館3階11301教室（Windows 10×48台）
○11号館3階11302教室（Windows 10×40台　ノートPC）
○シオン館3階325教室（Windows 10×48台）

＜コンピュータ自習室（PC-Room）＞

○PC-Room Ⅰ（10号館2階10204教室）（Windows 10×10台）
○PC-Room Ⅱ（7号館4階7402教室）（Windows 10×40台）

＜利用時間＞

① コンピュータ教室

授業以外でコンピュータ教室を利用できる時間は、掲示でお知らせします。学務部掲示板にて確認してください。

※夏・冬・春期休業期間については、原則として利用することは出来ません。

② コンピュータ自習室（PC-Room）

PC-Room Ⅰ　月曜日～金曜日　9：00～20：00　土曜日　9：00～14：10
PC-Room Ⅱ　月曜日～金曜日　9：00～20：00　土曜日　9：00～11：30

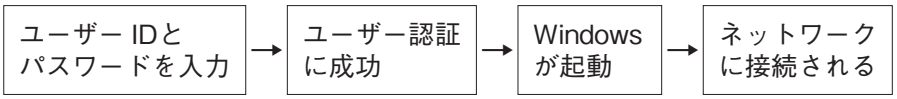
※利用時間は授業時間帯（1時限単位）で区切っています。他の利用者の迷惑にならないよう節度をもって利用してください。

※授業・年末年始・学内行事による使用不可日は、学務部より掲示にてお知らせしますので確認してください。

＜コンピュータの利用方法＞

① 認証方法

ユーザー IDとパスワードはIC-UNIPAと同一です。



② 学生用個人フォルダの割り当て

ユーザー認証に成功すると、学生用ファイルサーバーの中に設定されている個人フォルダを利用することができるようになります(Windows上のライブラリがこの個人フォルダになっています)。フォルダの容量は上限300MB（メガバイト）です。授業の課題やレポートなど個人のファイルを保存することが出来ます。また、この個人フォルダは、学内のどのコンピュータからログインしても同じとなります。

※私用データ（画像や音楽）を保存すると容量超過につながります。

③ ユーザー ID・パスワードの管理

ユーザー IDとパスワードは、コンピュータを起動させるために必要なだけでなく、自分の個人的なデータが保存されている個人フォルダを開く鍵でもあります。同時に IC-UNIPA へのログインや自分宛の電子メールを読むための鍵でもありますので、個人の責任において厳重に管理してください。万一、他人があなたのユーザー IDやパスワードを使った場合、自分の個人情報が盗まれるだけでなく、悪意のあるものが犯罪行為に利用した際、あなたがその責任に問われることがあります。厳重に管理すると同時に、パスワードは他の人が推測できないものにしましょう。

＜ユーザー IDと仮パスワードの配付について＞

① ユーザー IDと仮パスワードは、入学時全員に配付します。

② パスワードの変更方法については、履修ガイダンス時に説明します。

③ 仮パスワードは、４月20日まで有効です。それまでの間に自分だけがわかるパスワードに変更してください。

(2) IC-UNIPAについて

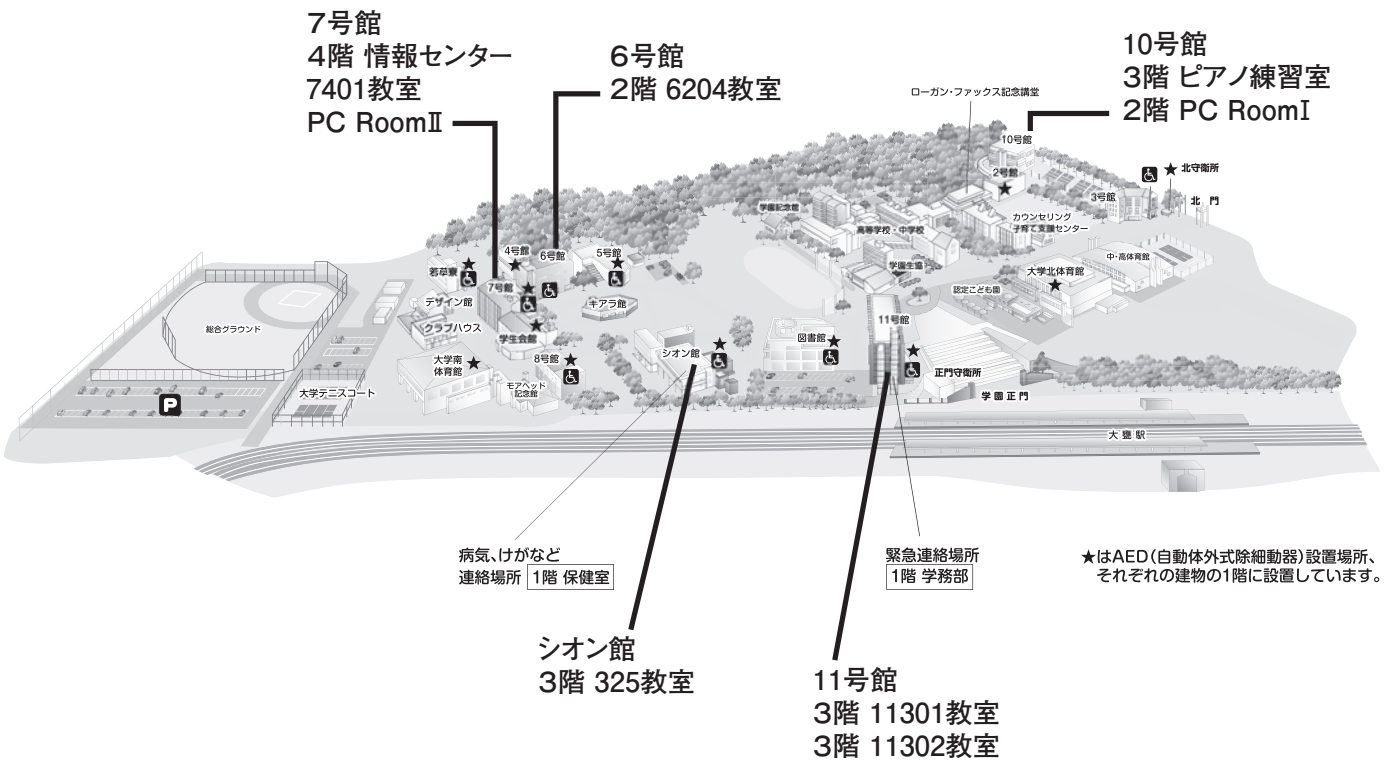
IC-UNIPAは、さまざまな情報を一つの共有サーバに蓄積することにより、学生・教職員がその情報を有効に活用することを可能にしたWEBサービスシステムです。各種お知らせ、休講情報の確認をはじめ、WEB履修登録、シラバス照会、成績照会、授業資料のダウンロード等の機能があり、それらを学内外から利用できます。

(3) ピアノ練習室の利用について

10号館３階にある『ピアノ練習室』は、音楽科目の予習・復習に利用したり、趣味でピアノをひきたいという学生が利用しています。

希望者は空いている練習室を自由に利用できます。利用の際は、他の利用者の迷惑にならないようモラルをもって使用してください。

PC Room・コンピュータ教室・ピアノ練習室配置図



(4) 正規授業に係る実習による授業欠席届について

学生が、正規授業に係る学外実習で授業を欠席する場合は、学務部窓口カウンターに備え付けの、「授業欠席届」（下記様式）に記入し朱肉印を押して、欠席授業１週間前までに授業担当教員へ本人が直接提出すること。

詳細は、各実習に関する説明会や授業等で説明する。

就職活動や個人的事由で欠席する場合に、この様式を使用してはいけない。

なお、当該授業が休講になる場合は、提出しなくてよい。

＜様式＞

年　　月　　日届出

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿先生

正規授業「　　」の学外実習による授業欠席届

「　」に該当実習名を必ず記入すること

上記の実習のため、先生の下記の授業を欠席いたします。

記

学部・学科	学部　　学科　　専攻　　年次				
学籍番号		氏名			㊞
欠席授業科目	欠席授業科目名	日付・曜日・時限			
		月	日	曜日	時限
		月	日	曜日	時限
		月	日	曜日	時限
		月	日	曜日	時限
		月	日	曜日	時限
実習校・施設名及び住所・電話番号	TEL				
実習期間	年　月　日（　）　から 年　月　日（　）　まで				
備考					

茨城キリスト教大学

〈注〉この届出を提出しても出席扱いとならないので注意してください。

担当教員各位：この欠席届に関する問い合わせは、学務部までお願いいたします。

大学院について

1．文学研究科英語英米文学専攻／修士課程…… 229

2．文学研究科先取り履修制度と、１年半・３年履修制度について… 230

3．生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程…… 231

4．生活科学研究科心理学専攻／修士課程…… 232

5．看護学研究科看護学専攻／修士課程…… 234

1．文学研究科英語英米文学専攻／修士課程

本専攻の教育課程は、英語文学・文化、英語教育学、英語学の３分野の専門科目を中心に、基礎科目、関連科目、研究指導から編成されている。

英語文学・文化の分野では、リベラル・アーツとして英語圏文学および文化を広く学ぶとともに、翻訳や通訳の理論や技術を修得できる科目も用意している。

英語教育学の分野は、すでに英語教育に携わっている人や、これから英語教育に携わろうとしている人を対象に、最新の教育理論をベースとした実践的な授業を提供する。

英語学の分野では、多様な言語理論に基づく高度な英語分析を行うことにより、英語という言語への理解を深めることを目標としている。

教育職員免許状の取得

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）を有する者が、本専攻において、教育職員免許法及び同施行規則に定められている単位を修得した場合、中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）を取得することができる。

英語英米文学専攻科目　（2021年度以降）

科目	単位数	科目	単位数
〔基礎科目〕		**〔関連科目〕**	
Academic Communication Skills A（Listening & Speaking）	2	特殊演習 A	2
Academic Communication Skills B（Reading & Writing）	2	特殊演習 B	2
〔英語文学・文化の分野〕			
英語コミュニケーション文化研究Ａ（英語文学・文化概論）	2	**〔研究指導〕**	
英語コミュニケーション文化研究Ｂ（英語文学・文化演習）	2	英語文学・文化研究指導Ⅰ	2
英語コミュニケーション文化研究Ｃ（翻訳概論）	2	英語文学・文化研究指導Ⅱ	2
英語コミュニケーション文化研究Ｄ（翻訳演習）	2	英語文学・文化研究指導Ⅲ	2
英語コミュニケーション文化研究Ｅ（通訳概論）	2	英語文学・文化研究指導Ⅳ	2
英語コミュニケーション文化研究Ｆ（通訳演習）	2	英語教育学研究指導Ⅰ	2
〔英語教育学の分野〕		英語教育学研究指導Ⅱ	2
英語コミュニケーション教育研究Ａ（英語教育学概論）	2	英語教育学研究指導Ⅲ	2
英語コミュニケーション教育研究Ｂ（英語教育学演習）	2	英語教育学研究指導Ⅳ	2
英語コミュニケーション教育研究Ｃ（第二言語習得論概論）	2	英語学研究指導Ⅰ	2
英語コミュニケーション教育研究Ｄ（第二言語習得論演習）	2	英語学研究指導Ⅱ	2
英語コミュニケーション教育研究Ｅ（ICTを活用した英語教育）	2	英語学研究指導Ⅲ	2
英語コミュニケーション教育研究Ｆ（小学校英語教育）	2	英語学研究指導Ⅳ	2
〔英語学の分野〕			
英語コミュニケーション言語研究Ａ（形態論・統語論概論）	2		
英語コミュニケーション言語研究Ｂ（形態論・統語論演習）	2		
英語コミュニケーション言語研究Ｃ（意味論・語用論概論）	2		
英語コミュニケーション言語研究Ｄ（意味論・語用論演習）	2		
英語コミュニケーション言語研究Ｅ（応用言語学）	2		
英語コミュニケーション言語研究Ｆ（社会言語学）	2		

備考
　研究を行う分野から研究指導８単位を含め12単位以上、研究を行う分野以外の科目を含め総計30単位以上を修得する。（2021年度入学生から）

2．文学研究科先取り履修制度と、1年半・3年履修制度について

「先取り履修制度」とは、文学部の4年次生（以上）が、後期期間中に大学院科目等履修生として大学院の科目を履修する制度のことです。この制度を利用すれば、大学院進学前に大学院の授業を受講することができますし、単位を取得できれば、大学院に進学後、文学研究科が定めた修了要件の一部として認定されます。さらに、本学在校生がこの「先取り履修制度」を利用して大学院科目を履修する場合、科目等履修生の審査料・登録料・受講料がすべて半額になります。

「先取り履修制度」を利用するには？

(1) 学務部から「先取り履修可能科目」と「先取り履修希望届・推薦書」を入手します。

(2) 履修したい科目の決定および推薦状の依頼

科目等履修生として履修したい科目が決まったら、ゼミの先生に推薦状の作成をお願いしてください。

(3) 科目等履修生の申し込み

「先取り履修制度」希望者受付期間（6月）が設定（IC-UNIPAおよび学務部の大学院掲示版参照）されますので、その期間中に「先取り履修希望届・推薦書」を提出します。「先取り履修制度」に申し込みができる資格は下記の通りです。

1）茨城キリスト教大学文学部に3年以上在学し、かつ卒業要件単位108単位以上取得している者。
2）3年次までのGPAが2.5以上の者。
3）9月に大学院文学研究科Ⅰ期入学試験に出願予定の者。

(4)「先取り履修制度」申込者の面接

(5)「先取り履修制度」許可の確認

(6) 科目等履修生として登録

(7) 大学院科目履修開始および大学院Ⅰ期試験の受験申込

後期の授業開始日から、科目等履修生として大学院の授業を履修し、大学院Ⅰ期試験の申し込みをします。大学院Ⅱ期試験を受験することも可能です。

○1年半履修制度と3年履修制度について

1．「1年半履修制度」とは、通常より早く修士号を取得したい学生のための制度です。この「1年半履修制度」のメリットは、短期間で修士号を取得できるだけでなく、学納金の総支払金額も軽減されることです。ただし、1年半で30単位を取得し、さらに修士論文を修了期間内に仕上げるのは困難ですので、「1年半履修制度」を希望する学生は、4年次後期に「先取り履修制度」により、大学院の授業を科目等履修生として、年間10単位を上限として単位を取得することができます。

2．「3年履修制度」とは、通常よりも時間をかけて研究し、修士号を取得する希望を持つ学生のための制度です。この「3年履修制度」のメリットは、3年間の在籍に対して、学納金は2年分で済みますので、1年間で支払う金額が軽減されることです。

◎「1年半」、「2年」、「3年」、いずれの履修制度を選択するのが最適であるか、大学院の試験を受験する前に、事前相談を受けて、慎重に検討してください。事前相談は入試広報部で受け付けています。

3．生活科学研究科食物健康科学専攻／修士課程

茨城キリスト教大学大学院　生活科学研究科食物健康科学専攻（修士課程）では、食物を介した人間の健康における諸問題を科学的に探究し解決する能力を養い、食品管理、健康管理、医療、食育分野で地域社会に貢献する人材の養成を目指す。

基本となる教育・研究のフィールドとして、「食物科学」と、「人間栄養学」の２分野を配置した。

「食物科学」分野では、食物中の機能成分、危害因子等、人間の健康やQOL（Quality of Life）に影響を与える因子を研究し、食品機能分析、食品有害物質対策等の専門技能をみがく。

「人間栄養学」分野では、摂取後の栄養素の機能発現、食物と健康や疾病との関係を神経機能など心の側面からも研究し、専門職業人としての知識技術を身につける。

また、両分野の発展系として［専門応用科目］と［食教育支援科目］の科目群を設けて、高度な専門性と倫理性を培い、崇高な精神、高い指導力を有する教育者の養成を目指す。

修了することにより、修士（食物健康科学）の学位が授与されるほか、中学校・高等学校教諭（家庭）の一種免許状の取得者、栄養教諭一種免許状の取得者は、必要な単位を履修することにより、それぞれの専修免許状を取得することができる。昼夜間開講制、３年間の長期履修制度を設けているので、仕事をもちながらの学びも可能である。

食物健康科学専攻科目　（2019年度以降）

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔食物科学分野〕		**〔人間栄養学分野〕**		**専門関連分野**	
食物科学特論Ⅰ	2	人間栄養学特論Ⅰ	2	**〔専門応用科目〕**	
食物科学特論Ⅱ	2	人間栄養学特論Ⅱ	2	分子栄養学特論	2
食物科学特論Ⅲ	2	人間栄養学特論Ⅲ	2	栄養生理学特論	2
食物科学演習	2	人間栄養学演習	2	神経栄養学特論	2
食物科学特別実習	1	人間栄養学特別実習	1	神経生理学特論	2
食物科学特別研究	8	人間栄養学特別研究	8	病態臨床栄養学特論	2
				保健統計学特論	2
				食教育特論	2
				人間栄養学特論Ⅳ	2
				ライフステージ栄養学特論	2
				医療栄養学特論	2
				食行動科学特論	2
				食品開発特論	2
				調理科学特論	2
				〔食教育支援科目〕	
				教育方法学特論	2
				教育方法学演習	2
				教育支援特論	2
				教育支援演習	2
				臨床心理学特論	2
				障害者支援特論	2
				障害児教育研究	2
				発達心理学特論	2
				発達心理学演習	2

備考
・生活科学研究科を修了し修士の学位を得るためには30単位以上を修得しなければならない。
・専門教育を構成する「食物科学」、「人間栄養学」の２分野を総合的に履修するため、各分野の特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの３科目６単位、合計12単位必修の履修のほか、修士論文を含め、専攻する分野の選択科目11単位の履修、及び選択科目７単位以上の履修が必要（修了要件30単位以上）。

4．生活科学研究科心理学専攻／修士課程

茨城キリスト教大学大学院生活科学研究科心理学専攻（修士課程）では、建学の精神の下、心理に関する支援や研究を行う上で求められる優れた思考力・判断力・表現力とともに倫理性の深化を通して、将来、高度心理専門職業人として託された責務を適正に行い、広く市民の福祉に貢献する人材の育成をめざしている。

心理学専攻を修了した者には、修士（心理学）の学位が授与される。また公認心理師法の定めに従い、学部教育においてすべての指定科目を取得済みの者であり、かつ本専攻において同法が定めるすべての大学院指定科目を修得した者は、課程修了と同時に公認心理師国家試験受験資格を得ることができる。公認心理師には、いじめや不登校、自死・自殺、虐待など、現代社会において専門的介入によって当事者やその関係者の心理や生活の質の向上、発達の支援等に寄与することが期待されている。

本専攻の教育課程は、「心理教育科目」「心理実践科目」「実習科目」の３群、全29科目から編成されている。

「心理教育科目」群は、建学の精神と歴史に深い関係のある教育支援系科目を含む全10科目から構成されている。人間の生涯に渡る発達や学習の機序に関する科学的・専門的知識を深めるための科目が配置されている。心理教育課題研究Ⅰ～Ⅳは、自ら批判的思考を持って研究に従事することを通して現代社会における心理社会的課題を読み解く能力とともに心理専門職として科学的視点を持って実践に臨む能力を養うことをめざすものであり、その成果は修士論文として結実される。

「心理実践科目」群には、心理学の理論と技能との相互連環と有機的な関連付けを図るための科目が配置されている。全16科目のうち９科目は、公認心理師指定科目である。この資格の取得をめざす者には必修科目となる。心理実践課題研究Ⅰ～Ⅳでは、自らの心理的支援体験を題材とした研究活動への取り組みを通して、生物心理社会モデルに基づいたアセスメント力、多職種多機関と協働して支援実践に臨む力など、現代社会における心理専門職従事者としてふさわしい態度の形成を図る。研究活動の成果は、ケース研究論文として結実される。

「実習科目」群は、「心理実践実習Ⅰ～Ⅲ」から構成されている。「心理教育科目」と「心理実践科目」の各群において培われた専門知識と技術を病院や学校等、学内外における実習協力施設において実際に試行、体現する学びを通して実践者として求められる力の涵養を図る。

本専攻では、心理学を基盤とし、そこに自らの学びの志向と将来像を加えることによって、それぞれの興味関心と進路に応じた多様な履修展開が可能である。また昼夜間開講制、３年間の長期履修制度の利用によって、仕事や子育て、留学等と就学の両立など、ニーズに応じた多様な形態による学びが可能になっている。

心理学専攻科目

(2020年度以降)

科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数
〔心理教育科目〕		**〔心理実践科目〕**		**〔実習科目〕**	
教育方法学特論	2	臨床心理学特論	2	心理実践実習Ⅰ	5
教授学習心理学特論	2	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習Ⅱ	5
教授学習心理学演習	2	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	心理実践実習Ⅲ	5
発達心理学特論	2	教育分野に関する理論と支援の展開	2		
発達心理学演習	2	学校カウンセリング特論	2		
特別支援教育特論	2	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2		
心理教育課題研究Ⅰ	2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2		
心理教育課題研究Ⅱ	2	心理的アセスメントに関する理論と実践	2		
心理教育課題研究Ⅲ	2	心理支援に関する理論と実践Ⅰ	2		
心理教育課題研究Ⅳ	2	心理支援に関する理論と実践Ⅱ	2		
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2		
		心の健康教育に関する理論と実践	2		
		心理実践課題研究Ⅰ	2		
		心理実践課題研究Ⅱ	2		
		心理実践課題研究Ⅲ	2		
		心理実践課題研究Ⅳ	2		

備考
・「実習科目」の「心理実践実習Ⅰ」5単位を修得し、「心理教育課題研究Ⅰ～Ⅳ」または「心理実践課題研究Ⅰ～Ⅳ」の8単位を含め、総計30単位以上を修得しなければならない。

5．看護学研究科看護学専攻／修士課程

茨城キリスト教大学大学院　看護学研究科看護学専攻（修士課程）は、

1．社会の保健医療福祉ニーズに応える高度専門職業人の育成

2．高度専門能力を支える実践看護学研究やその教育の担い手の育成

3．慢性病者の在宅医療ケアシステムの開発

4．専門職業人の自立とキャリア形成

5．Evidence based Nursingを支える基礎看護科学研究やその教育の担い手の育成

を教育研究の目標として、「基礎看護科学」分野及び「実践看護学」分野（慢性看護専攻教育課程・クリティカルケア看護専攻教育課程を含む）の2分野を設置した。「基礎看護科学」分野では、基盤実証看護学領域として、看護学のより高度な科学化と学問としての体系化のための実験的実証研究や、看護技術の安全性に関する実験的研究、新たな看護技術の開発研究をおこなう。さらに社会の要請もあり看護管理学と看護教育学をおいた。「実践看護学」分野では、多様化・複雑化する看護機能に的確な対応ができる高度な看護実践実現のための専門的な知識や技術を修得することや、看護実践上の諸問題の実態把握や構造分析をとおして、科学的かつ論理的に課題解決に取り組むことのできる研究的能力を育成することを目指していく。この分野には、生活支援看護学領域、発達支援看護学領域、精神看護学領域の3領域がある。特に注目すべきは、生活支援看護学領域において、慢性疾患患者への看護の実践と実践方法の開発を目指す慢性疾患看護のCNSコースを履修できることである。

社会人にも広く学びの場を提供するため、昼夜間開講制・3年間の長期履修制度を設け、少人数教育で、丁寧な指導を実施する。

看護学専攻科目

(2021年度以降)

科目	単位数
〔共通選択科目〕	
保健統計学特論	2
教育方法学特論	2
発達心理学特論	2
カウンセリング特論	2
栄養生理学特論	2
障害者支援特論	2
マネジメント特論	2
ヘルスアセスメント特論	2
病態生理学特論	2
臨床薬理学特論	2
〔専門共通科目〕	
看護学研究法特論	2
看護理論特論	2
看護倫理特論	2
看護形態機能学	2
ヘルスプロモーション特論	2
コンサルテーション特論	2
看護管理学特論	2
看護教育論	2
看護政策論	2
専門科目	
基礎看護科学分野	
〔基盤実証看護学領域〕	
看護生体情報学特論	2
看護生体情報学演習	2
応用看護技術学	2
応用看護技術学演習	2
看護マネジメント特論Ⅰ	2
看護マネジメント特論Ⅱ	2
看護マネジメント演習	2
看護教育学特論Ⅰ	2
看護教育学特論Ⅱ	2
看護教育学演習	2
養護実践特論Ⅰ	2
養護実践特論Ⅱ	2
養護実践演習	2
看護学特別研究（基盤実証看護学）	8
実践看護学分野	
〔生活支援看護学領域〕	
慢性看護学特論	2
慢性看護学援助特論Ⅰ	2
慢性看護学援助特論Ⅱ	2
慢性看護学援助特論Ⅲ	2
慢性看護学援助特論Ⅳ	2
慢性看護学演習Ⅰ	2
慢性看護学演習Ⅱ	2
慢性看護学実習Ⅰ	2
慢性看護学実習Ⅱ	4
慢性看護学実習Ⅲ	4
生活支援看護学特論Ⅰ	2
生活支援看護学特論Ⅱ	2
生活支援看護学特論Ⅲ	2
生活支援看護学演習Ⅰ	2
生活支援看護学演習Ⅱ	2
急性期看護学特論	2
急性期看護学援助特論Ⅰ	2
急性期看護学援助特論Ⅱ	2
急性期看護学援助特論Ⅲ	2
急性期看護学演習Ⅰ	2
急性期看護学演習Ⅱ	2
急性期看護学演習Ⅲ	2
急性期看護学演習Ⅳ	2
看護学特別研究（生活支援看護学）	8
課題研究	2
クリティカルケア看護学実習Ⅰ	2
クリティカルケア看護学実習Ⅱ	3
クリティカルケア看護学実習Ⅲ	5
〔発達支援看護学領域〕	
発達支援看護学特論Ⅰ	2
発達支援看護学特論Ⅱ	2
発達支援看護学特論Ⅲ	2
発達支援看護学演習Ⅰ	2
発達支援看護学演習Ⅱ	2
看護学特別研究（発達支援看護学）	8
〔精神看護学領域〕	
精神保健学特論	2
臨床精神看護学特論	2
精神看護学演習	2
看護学特別研究（精神看護学）	8
養護教育支援科目	
教授学習心理学特論	2
教授学習心理学演習	2
学校カウンセリング特論	2
特別支援教育特論	2

〈備考〉

・論文コースの場合は、共通選択科目 6 単位以上、専門共通科目 8 単位以上、専門科目の選択した領域 8 単位以上、看護学特別研究 8 単位の合計30単位以上を修得しなければならない。

・CNSコースの場合は、共通選択科目 6 単位以上、専門共通科目 8 単位以上、看護専門科目14単位以上、看護学実習10単位、課題研究 2 単位の合計40単位以上を修得しなければならない。

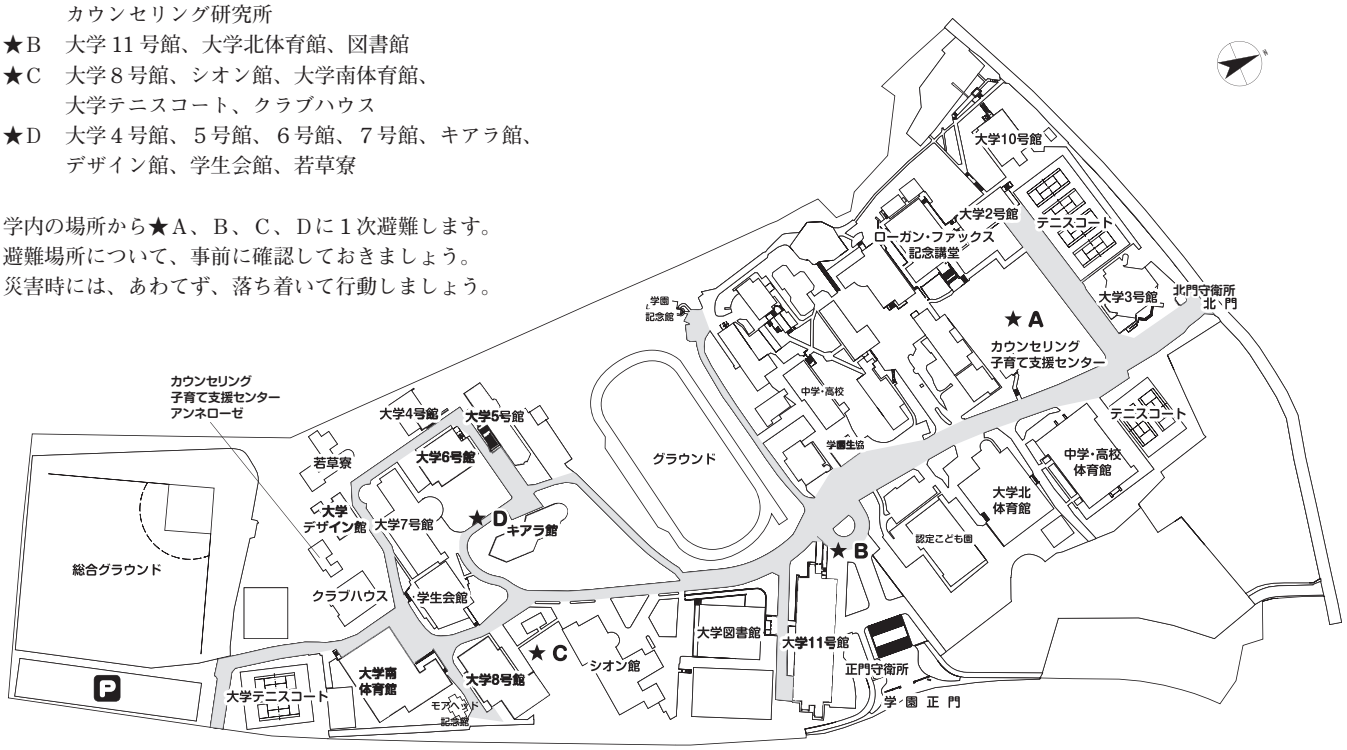
施設案内図および教員研究室配置図

施設案内図および教員研究室配置図

◇災害時指定１次避難場所

★A　大学２号館、３号館、10 号館、
　　カウンセリング研究所
★B　大学 11 号館、大学北体育館、図書館
★C　大学８号館、シオン館、大学南体育館、
　　大学テニスコート、クラブハウス
★D　大学４号館、５号館、６号館、７号館、キアラ館、
　　デザイン館、学生会館、若草寮

学内の場所から★A、B、C、Dに１次避難します。
避難場所について、事前に確認しておきましょう。
災害時には、あわてず、落ち着いて行動しましょう。



◇地震発生時

・まず自分自身の身を守ってください。
・冷静に対処しましょう。
・揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
・衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
・窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってください。
・ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してください。
・窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン・ブラインドを閉めてください。

◇原子力災害発生時

・建物（できればコンクリート製）に入り、ドアを閉めてください。
・窓を閉めてください。
・エアコン・換気扇を止めてください。
・カーテンは開けてください。

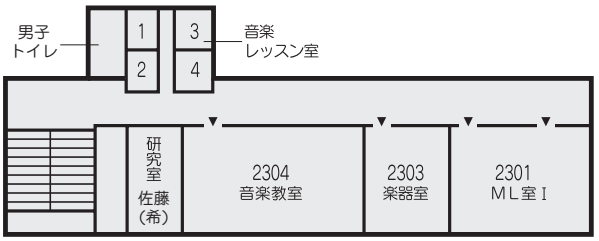
◇地震がおさまったら…

・屋外退避の避難指示放送がなかった場合は、授業を再開します。
・屋外退避の避難指示放送があった場合は、指定避難場所へ避難します（１次避難）。
・余震に十分気をつけましょう。
・出口に殺到しないでください（前後のドアを利用）。
・障害者や負傷者の避難をサポートしてください。
・上下階への移動は階段を使用してください。
・移動の際は、姿勢を低く保ちましょう。
・エレベータは使用しないでください。
・全員の退出を確認するので、グループから離れないでください。

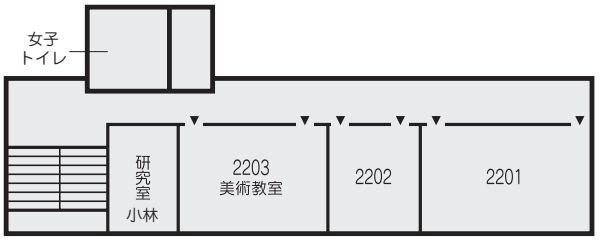
◇施設案内図

●２号館

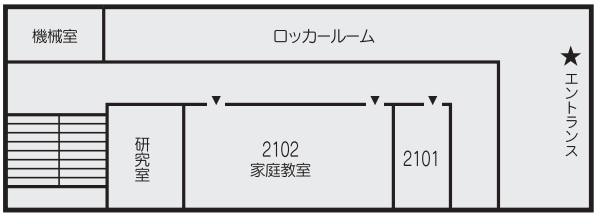
〈３階〉



〈２階〉



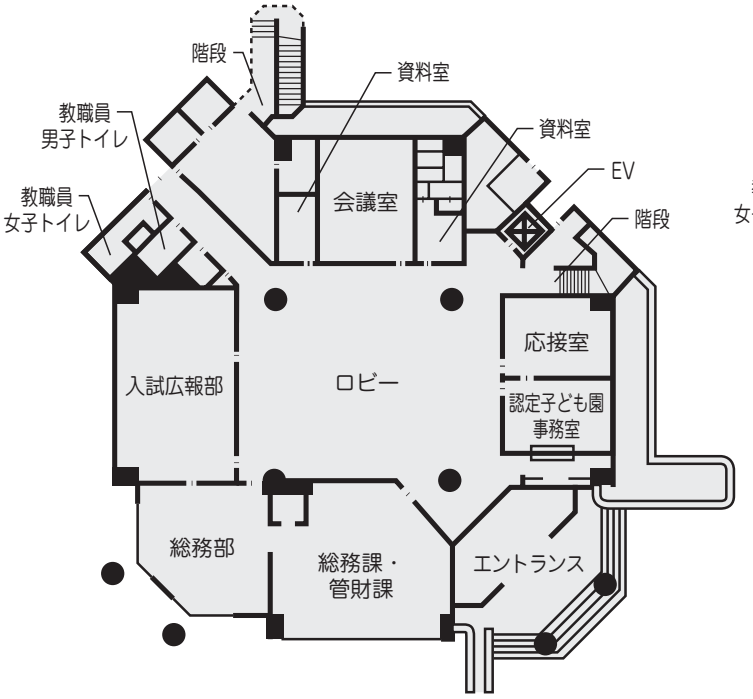
〈１階〉



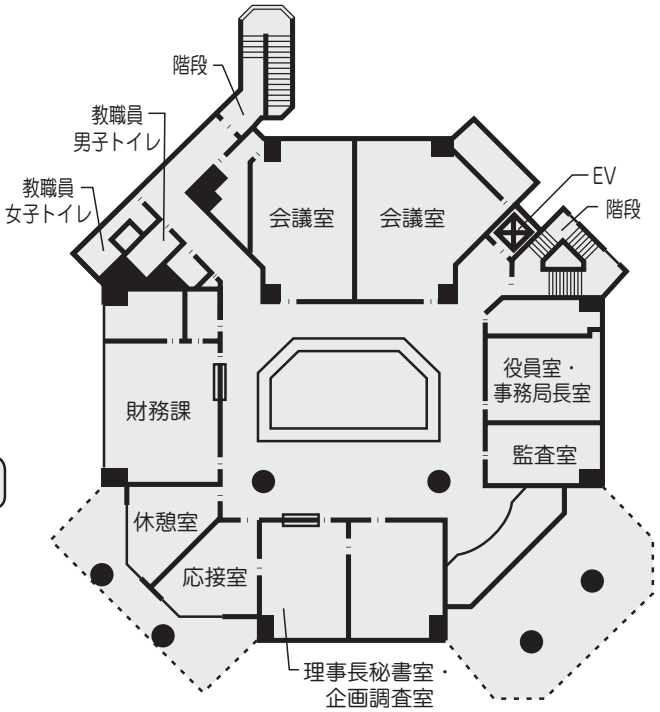
★　AED（自動体外式除細動器）設置

●３号館

〈１階〉



〈２階〉

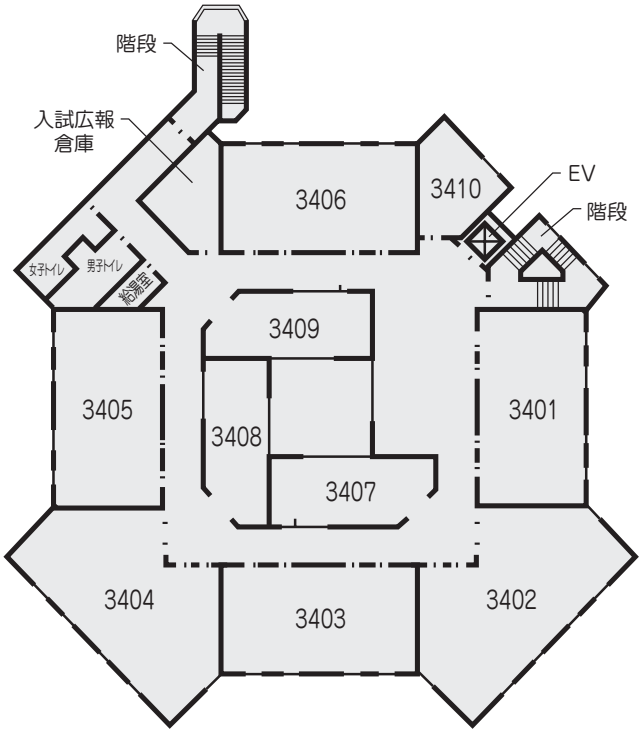


●３号館

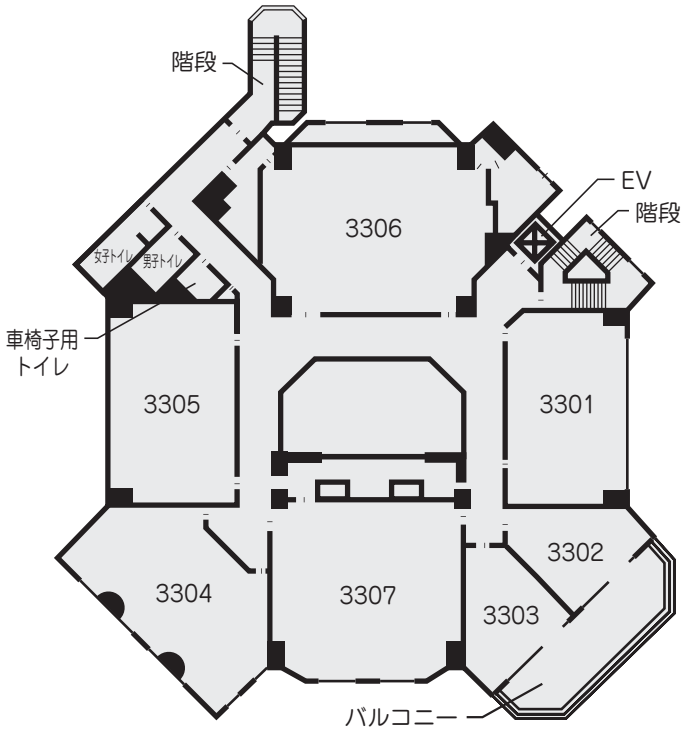
〈５階〉

階段
コピー室
3501 佐藤（真）
3502 講師室
3503 池内
3504 清水（悦）
3505 小幡（幸）
EV
階段
女子トイレ
男子トイレ
給湯室
保育実習指導室分室
3525
3524 藤原
3523 飛田
3522 佐々木(隆)
児童教育学科研究室Ⅰ（P共研Ⅰ）
児童教育学科研究室Ⅱ（P共研Ⅱ）
3506 天野
3507 小野(司)
3508
3509 斎藤(遼)
3521 原口
3520 椎木
3519 三橋
3518 高野
3517 中島
3516 安喰
3515 高橋（和）
3514 穂積
3513
3512
3511
3510 保育実習指導室
教職資料室
教職指導室
鈴木(範)

〈４階〉

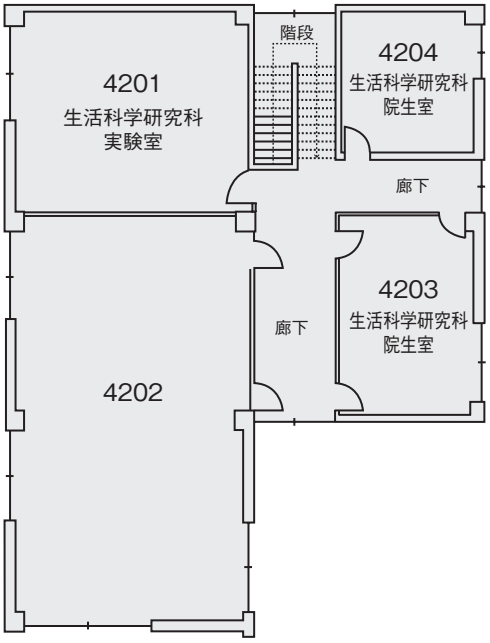

階段
入試広報倉庫
3406
3410
EV
階段
女子トイレ
男子トイレ
給湯室
3409
3405
3408
3401
3407
3404
3403
3402

〈３階〉

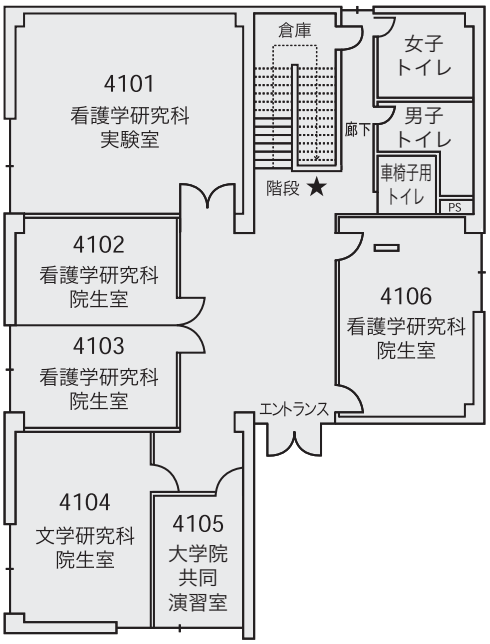

階段
3306
EV
階段
女子トイレ
男子トイレ
車椅子用トイレ
3305
3301
3302
3304
3307
3303
バルコニー

●４号館

〈２階〉



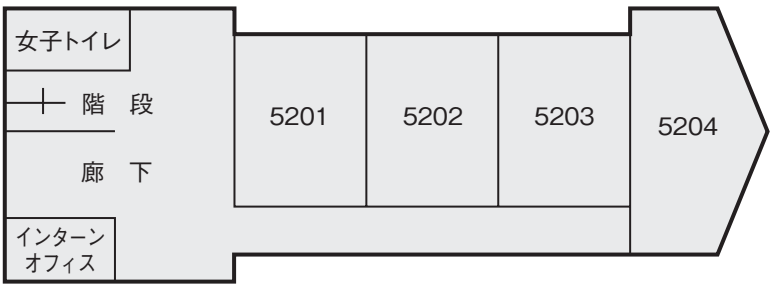
〈１階〉



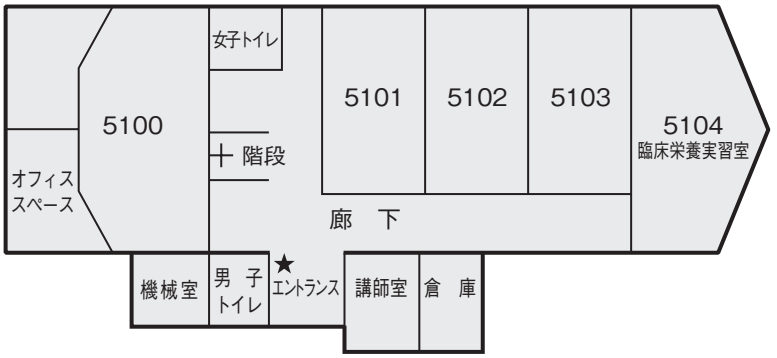
★　AED（自動体外式除細動器）設置

●５号館

〈２階〉



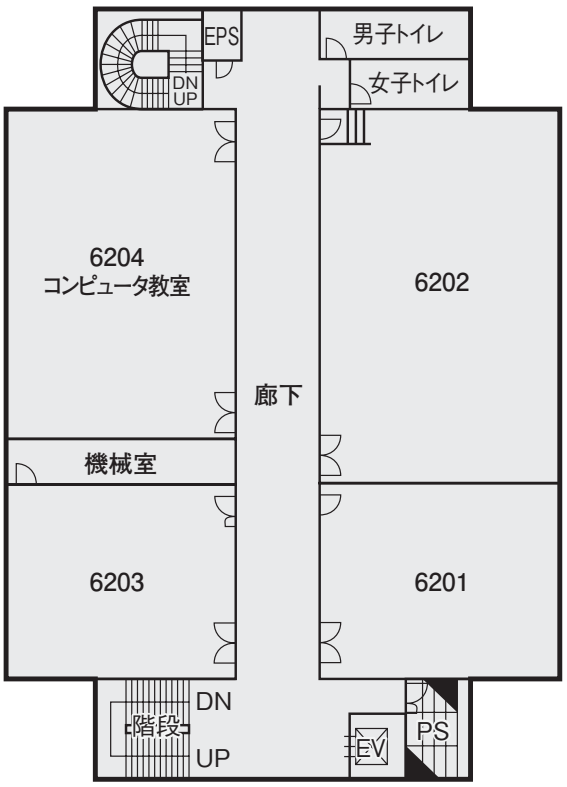
〈１階〉



★　AED（自動体外式除細動器）設置

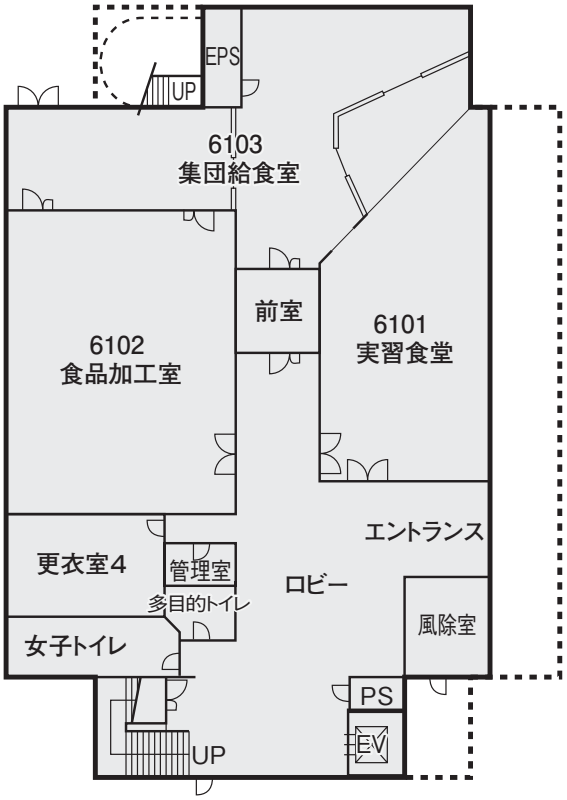
●６号館

〈２階〉

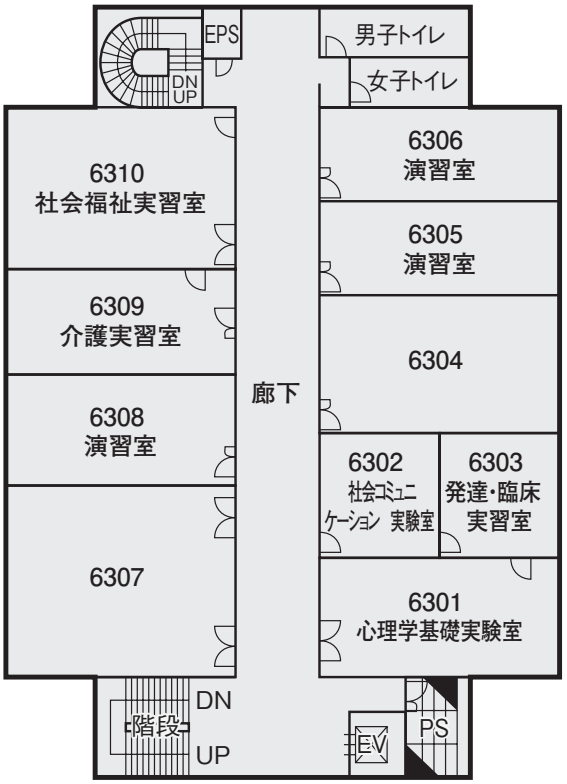


〈４階〉

〈１階〉

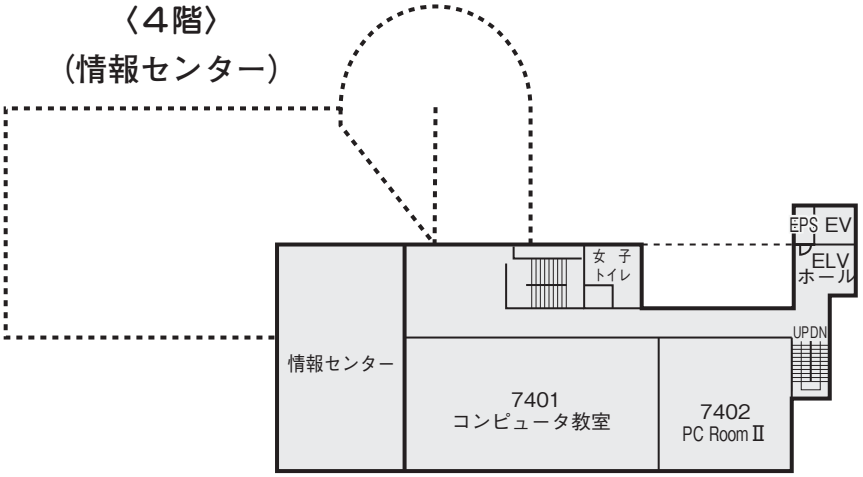


〈３階〉

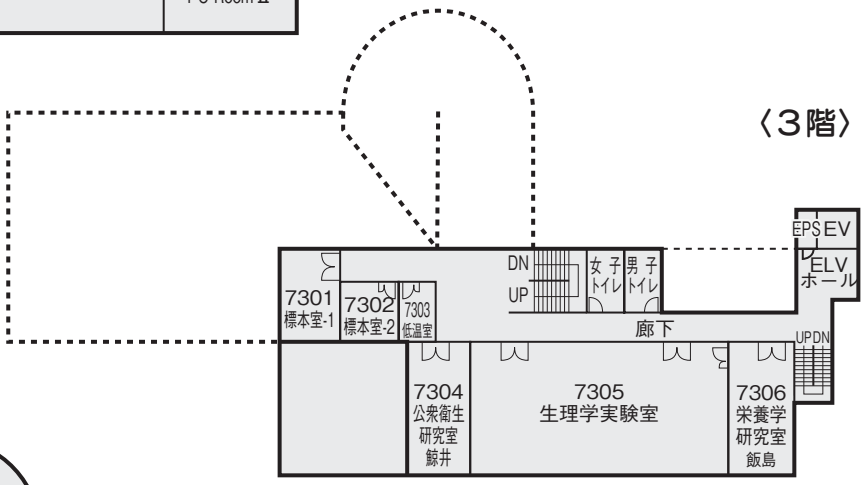


●７号館

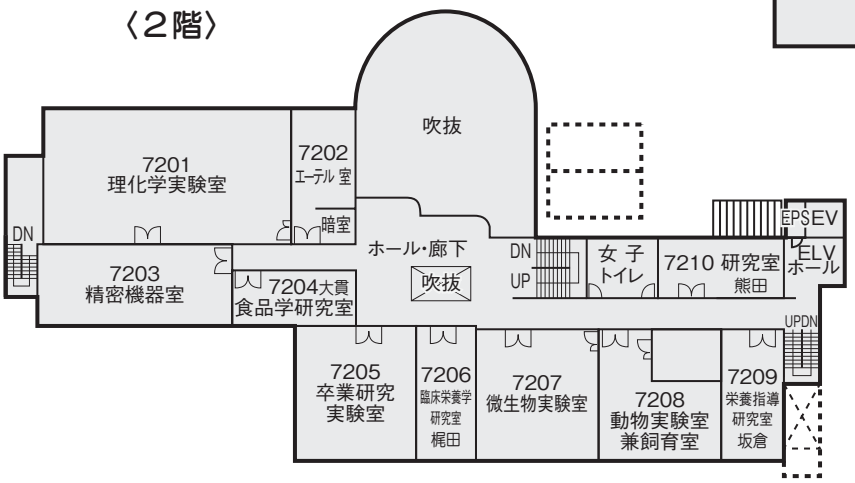
〈４階〉
（情報センター）



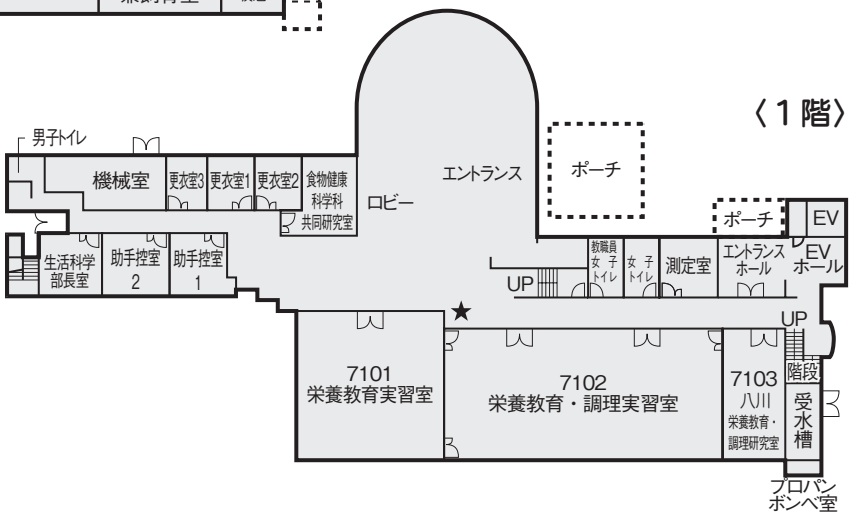
〈３階〉



〈２階〉

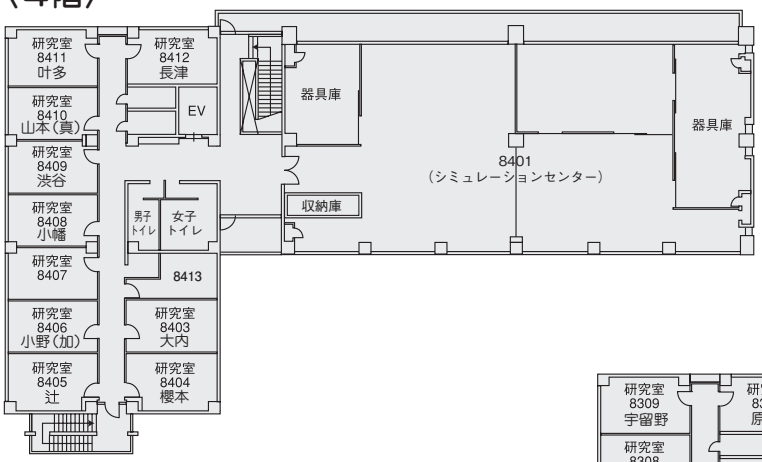


〈１階〉

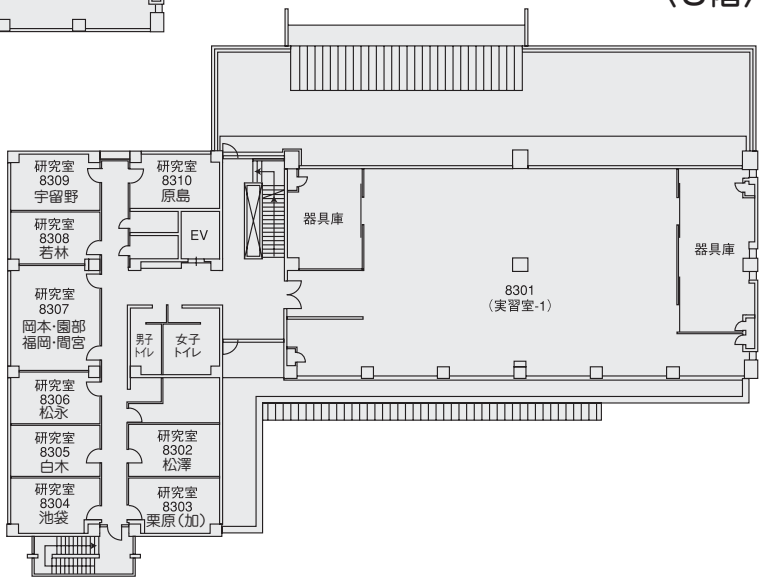


●８号館

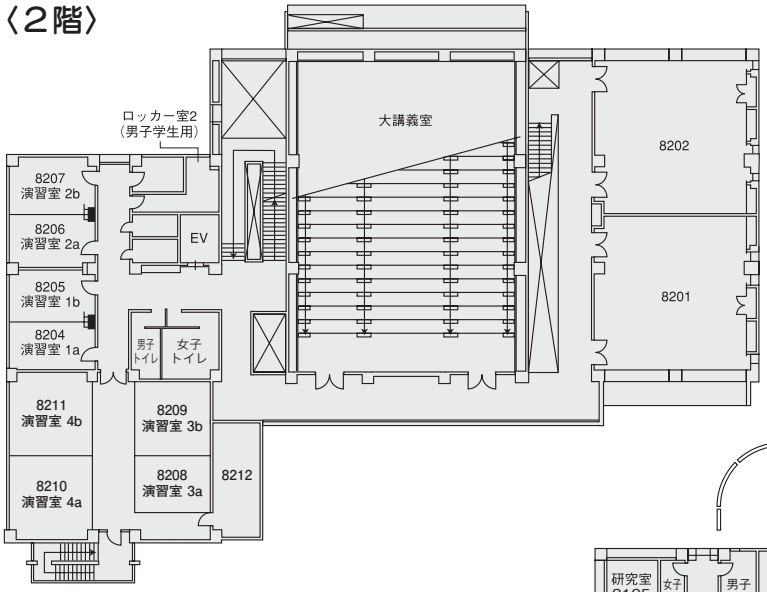
〈４階〉



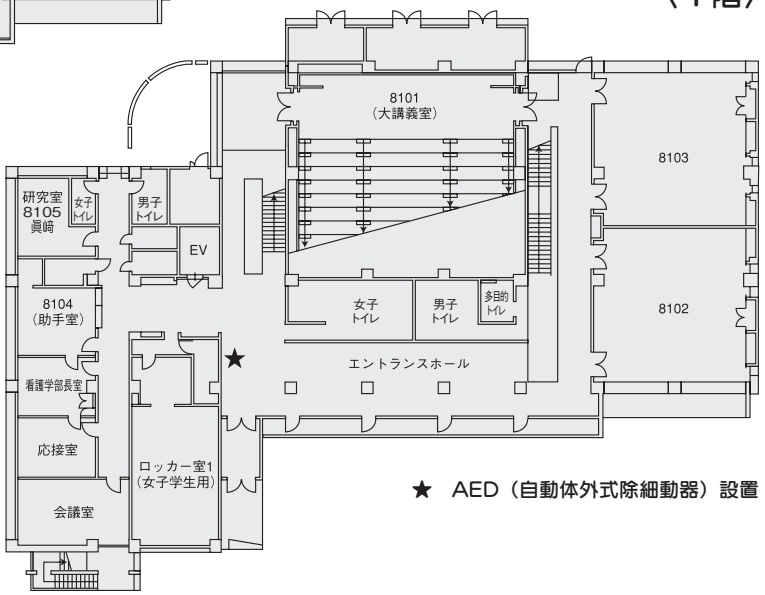
〈３階〉



〈２階〉



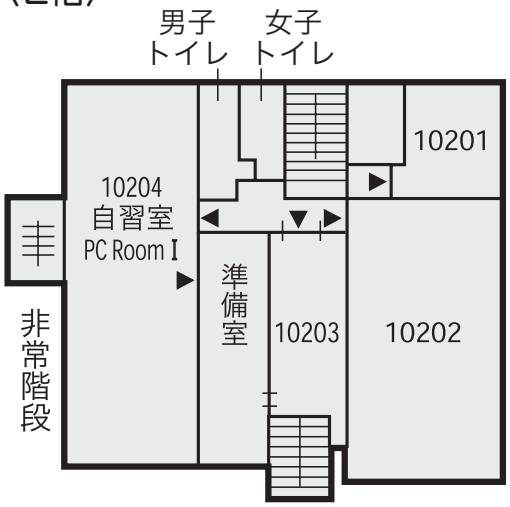
〈１階〉



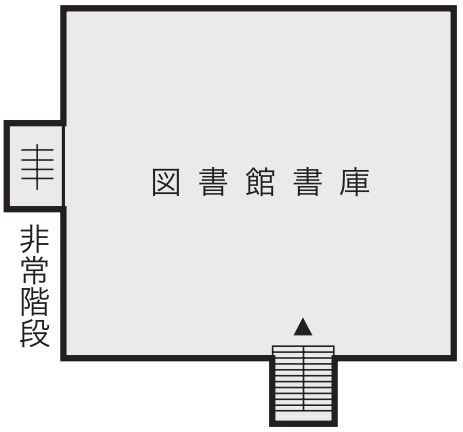
★　AED（自動体外式除細動器）設置

●10号館

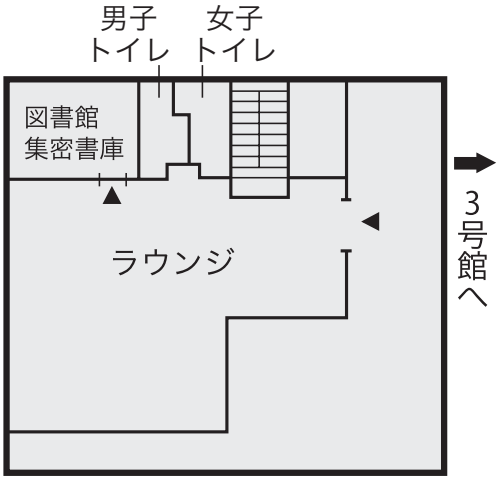
〈2階〉



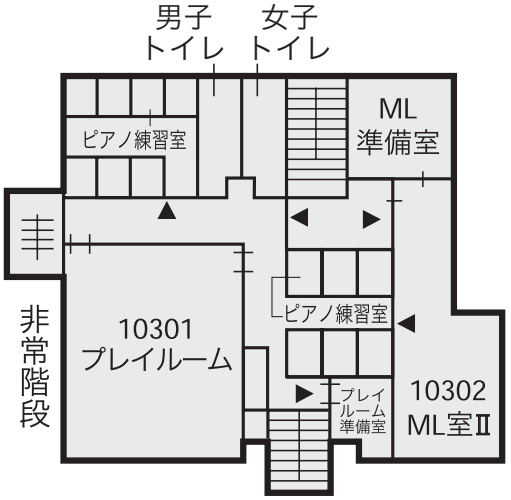
〈4階〉



〈1階〉

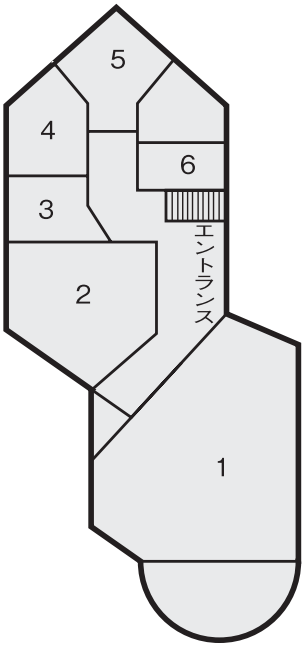


〈3階〉



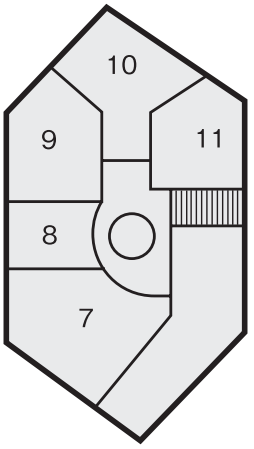
●キアラ館

〈1階〉



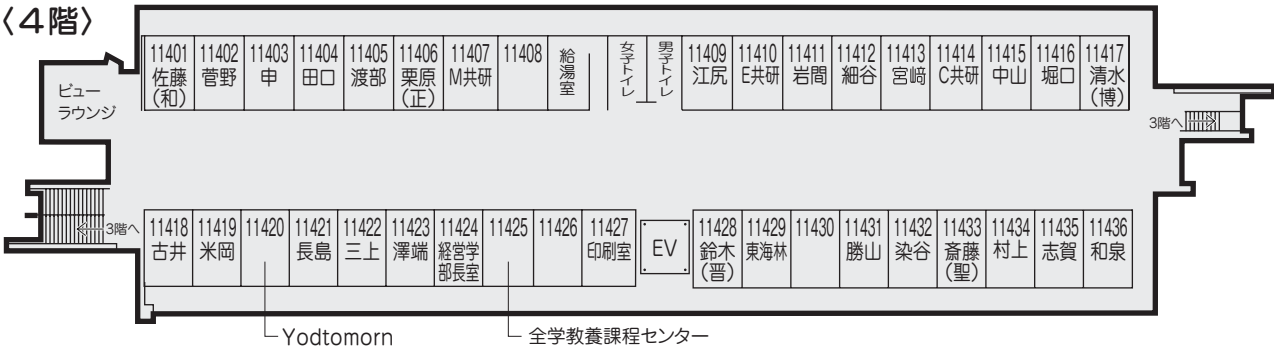
1　礼拝堂
2　キリスト教センター事務室
3　チャプレン室
4　リエゾン・オフィス
5　アリーナ
6　男子トイレ
7　資料センター
8　メディテーション・ルーム
9　総長室
10　アッパー・ルーム
11　女子トイレ

〈2階〉

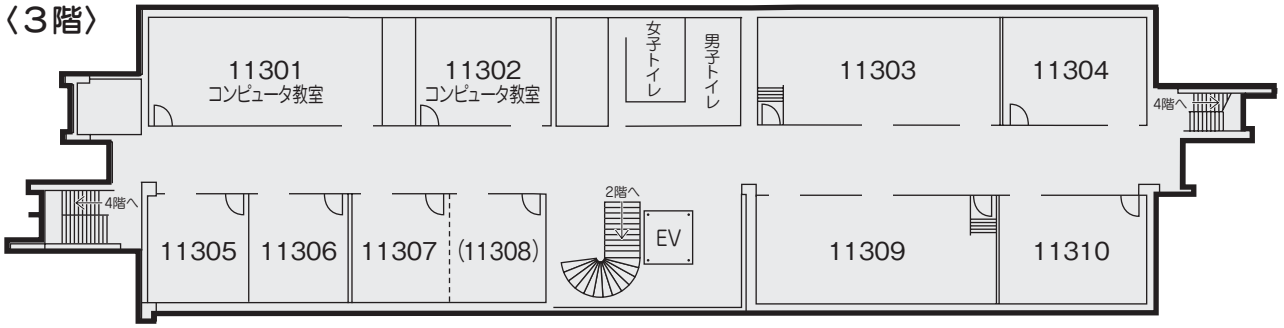


●11号館

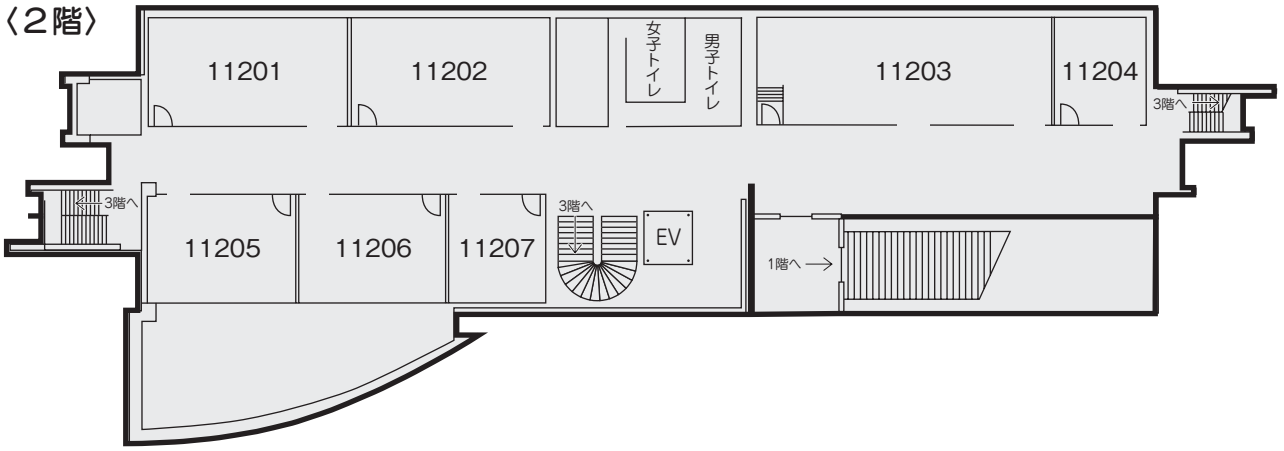
〈4階〉



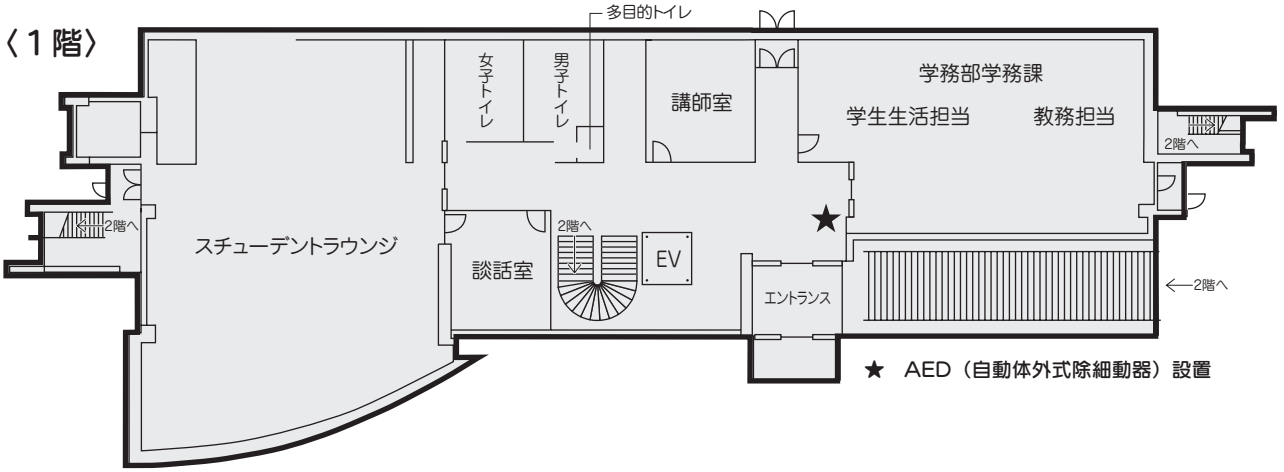
〈3階〉



〈2階〉

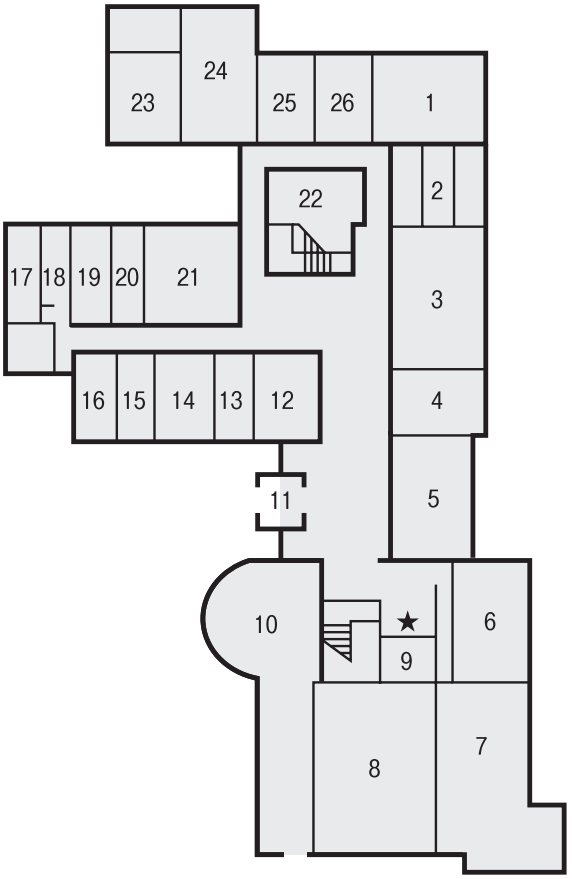


〈1階〉

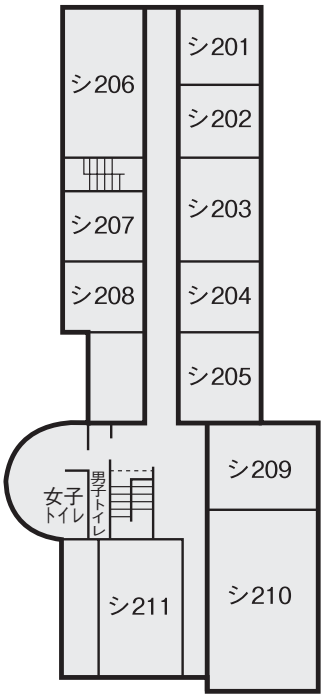


●シオン館〈１階〉

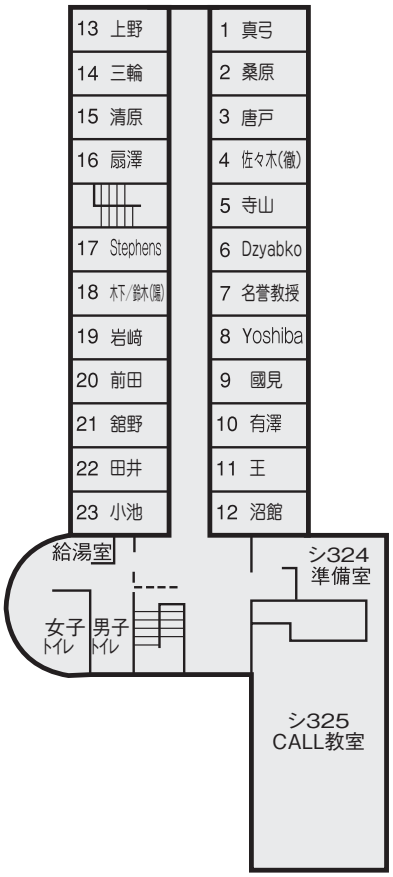
1　学長室
2　キャリア支援センター（相談室）
3　キャリア支援センター
4　キャリア支援センター資料室
5　庶務課
6　小会議室
7　地域・国際交流センター
8　ラウンジ
9　女子トイレ
10　ロッカー室
11　エントランス
12　応接室
13　講師室
14　学術研究センター
15　休憩室
16　清掃員控室
17　倉庫
18　職員更衣室
19　教職員女子トイレ
20　教職員男子トイレ
21　保健室
22　資料室
23　機械室
24　大会議室
25　文学部長室
26　副学長室
★　AED（自動体外式除細動器）設置



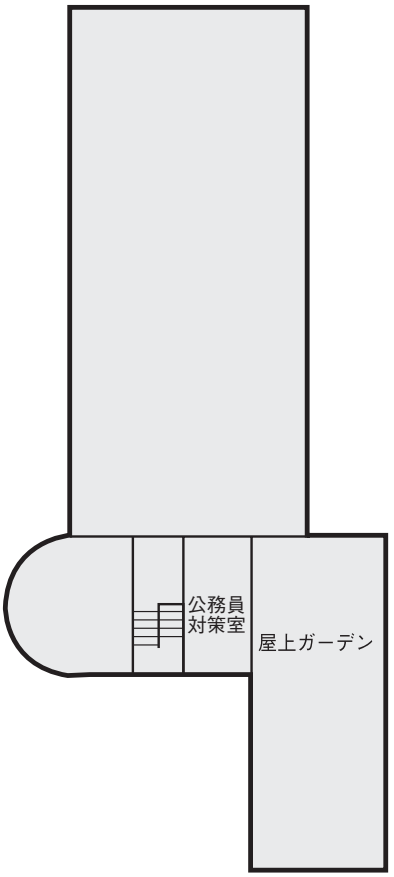
〈２階〉



〈３階〉

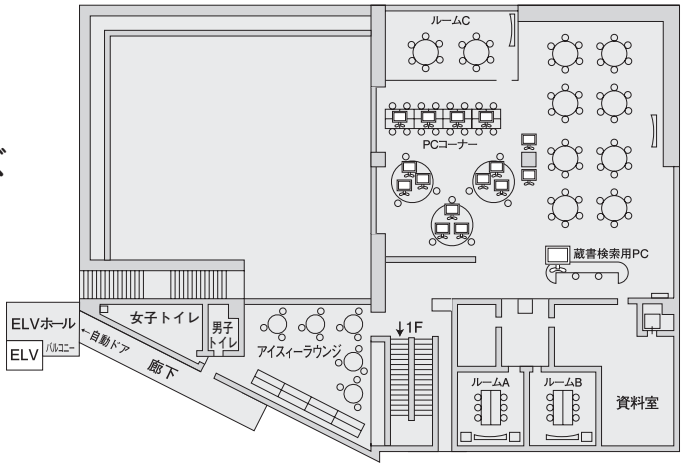


〈４階〉

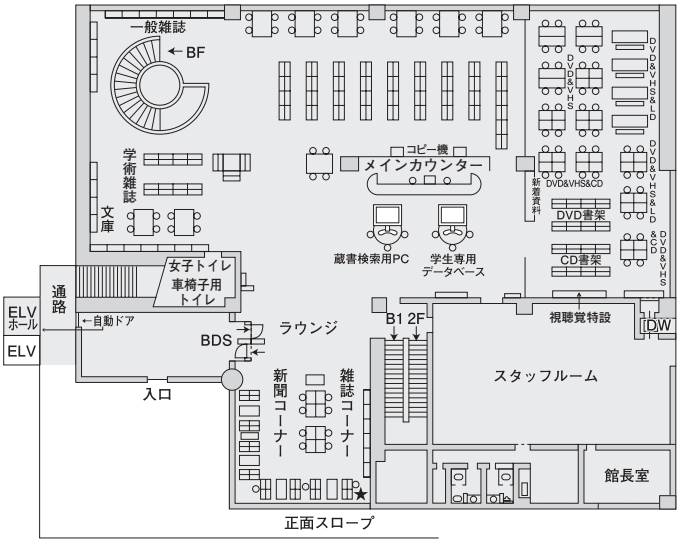


●図書館

〈2階〉ラーニング・コモンズ

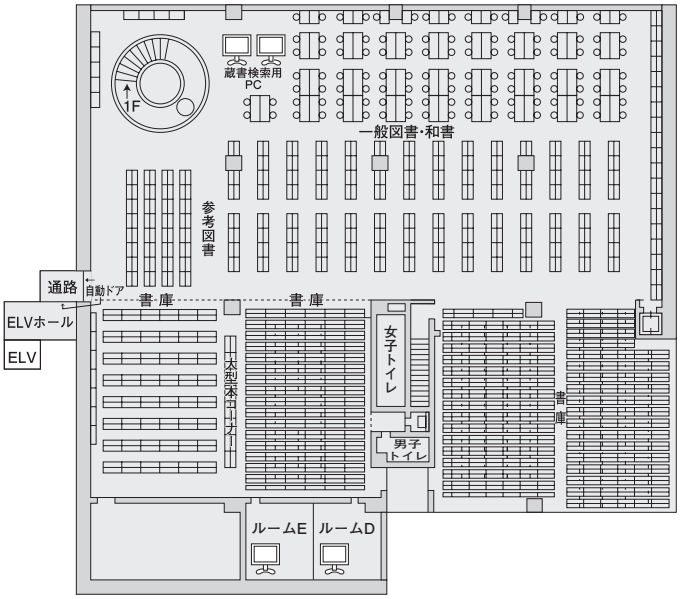


〈1階〉



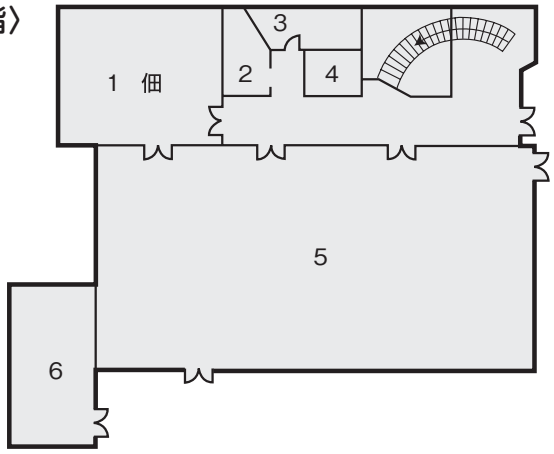
★ AED（自動体外式除細動器）設置

〈地下1階〉

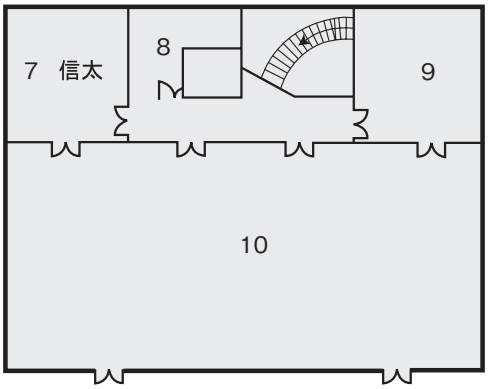


●デザイン館

〈１階〉

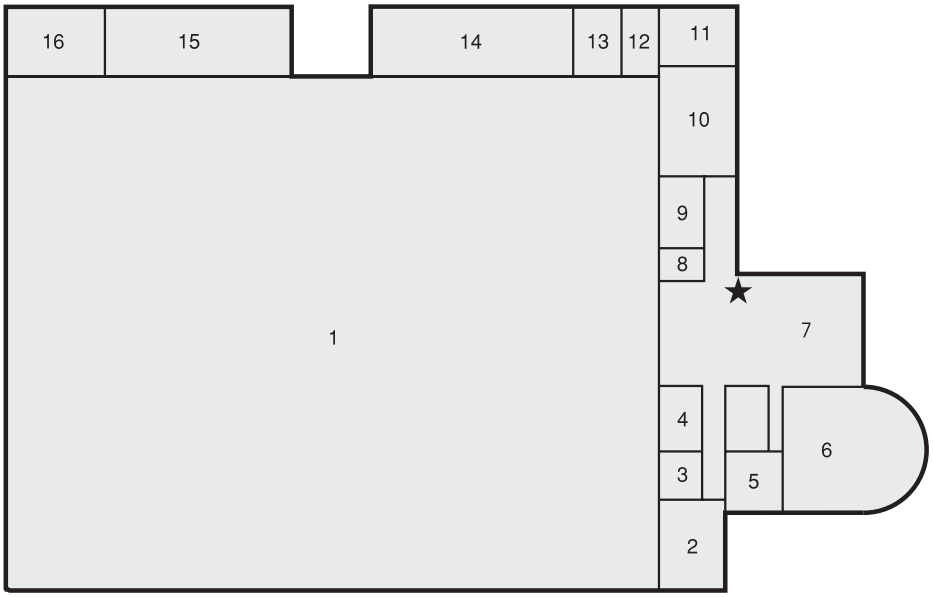


〈２階〉



1　研究室
2　男子トイレ
3　女子トイレ
4　倉庫
5　実習室１
6　電気炉室
7　研究室
8　倉庫
9　事務室
10　実習室２

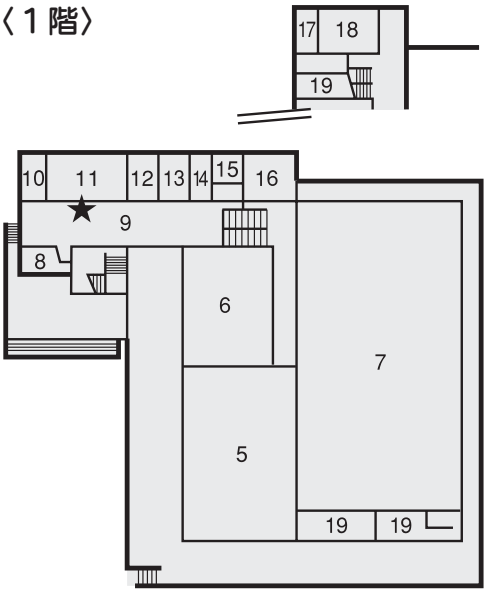
●大学北体育館



1　大フロアー
2　男子ロッカールーム
3　男子シャワールーム
4　男子トイレ
5　救護室
6　管理室
7　玄関・ホール
8　身障者用トイレ
9　女子トイレ
10　女子ロッカールーム
11　女子シャワールーム
12　機械室
13　放送室
14　教材用倉庫
15　厚生用倉庫
16　トレーニング室
★　AED（自動体外式除細動器）設置

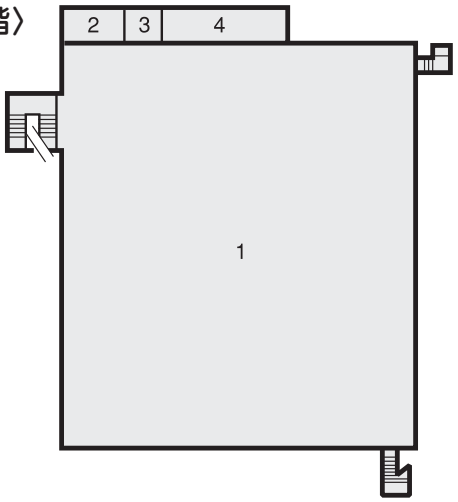
●大学南体育館

〈１階〉



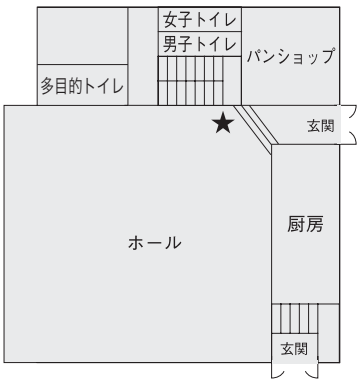
1　２階大フロアー
2　女子更衣室
3　シャワー室・トイレ
4　教材・厚生倉庫
5　卓球室
6　講義室
7　テニスフロアー
8　玄関
9　ホール
10　救護室
11　体育教員室
12　研究室
13　研究室
14　シャワー室
15　男子トイレ
16　女子トイレ
17　シャワー室
18　男子更衣室
19　倉庫
★　AED（自動体外式除細動器）設置

〈２階〉



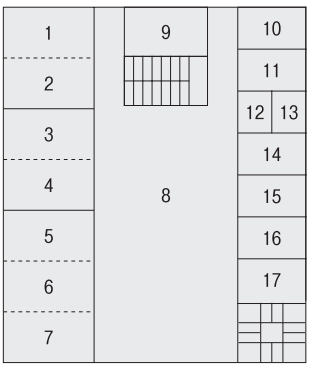
●学生会館

〈1階〉



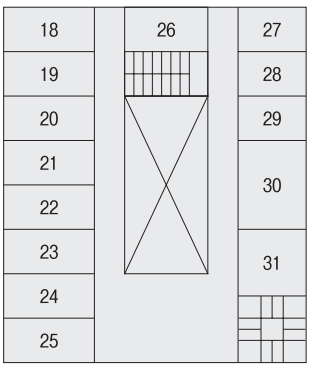
★　AED（自動体外式除細動器）設置

〈2階〉



1　宿泊室（21）
2　〃　（22）
3　〃　（23）
4　〃　（24）
5　〃　（25）
6　〃　（26）
7　〃　（27）
8　吹抜ホール
9　機械室
10　倉庫
11　女子トイレ
12　湯沸室
13　洗濯室
14　洗面所
15　脱衣室
16　シャワー室
17　浴室

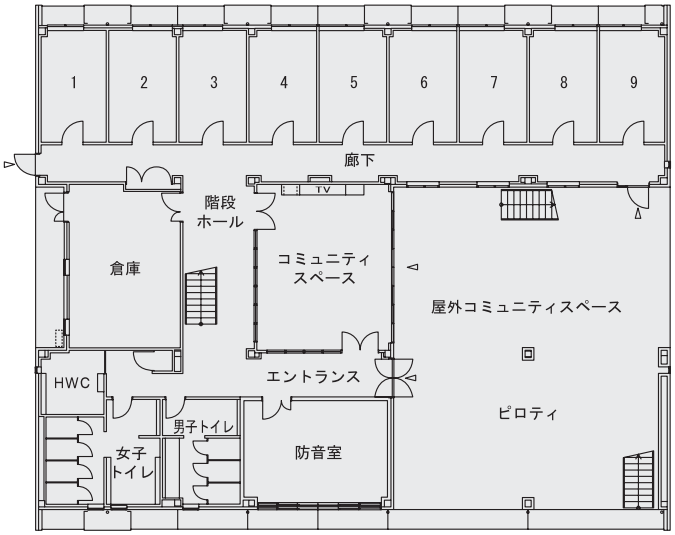
〈3階〉



18　教職員用宿泊室（31）
19　〃　（32）
20　〃　（33）
21　宿泊室（34）
22　〃　（35）
23　〃　（36）
24　〃　（37）
25　〃　（38）
26　倉庫
27　湯沸室
28　洗面所
29　女子トイレ
30　会議室
31　屋上庭園

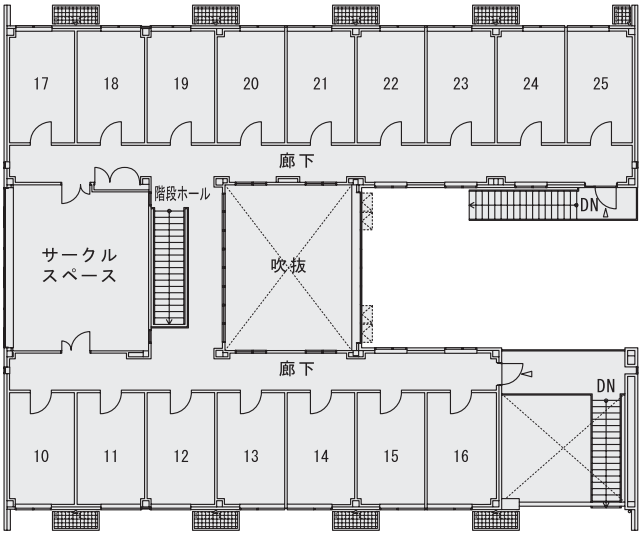
●クラブハウス

〈1階〉



1　バスケットボール部
2　All Sports
3　風まかせの唄
4　茶道部
5　IC メディア編集部
6　極真空手部
7　バドミントン部
8　軟式野球部
9　バレーボール部

〈2階〉



10　美術部
11　エレキテル B.B.F.
12　写真部
13　軽音楽部
14　rongorongo
15　学園祭実行委員会
16　学生自治会
17　吹奏楽団
18　硬式テニス部
19　Futsal 部
20　シネマ研究会
21　児童文化研究会
22　ソフトテニス部
23　華道部
24
25　クラブ連合委員会

<< 台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針 >>

茨城キリスト教大学教務委員会

（1）常磐線が台風・暴風雨等の理由によって大甕駅を含む区間において運行停止となった場合の授業実施については、次の通りとする。
イ）当日6時の段階で運行停止となっている場合、1・2時限の授業を休講とする。
ロ）当日9時の段階で運行停止となっている場合、3時限以降の授業も休講とする。
なお、大甕駅を含む区間が計画運休となった場合には、（1）の指針にかかわらずイ）またはロ）の休講を指示することがある。
（2）茨城県北部（県央地域･県北地域）に「特別警報」「暴風警報」等が発令された場合の授業実施については、次の通りとする。
イ）当日6時の段階で警報が発令中の場合、1・2時限を休講とする。
ロ）当日6時を過ぎ8時40分までの間に警報が発令された場合(発令中を含む)、1・2時限を休講とする。
ハ）当日9時を過ぎても警報が解除されない場合、3時限以降の授業も休講とする。
ニ）授業実施中、茨城県地方に「暴風警報」等が発令された場合は、速やかに全ての授業等（サークル活動等を含む）を終了し帰宅することとする。
（3）定期試験実施日における取扱も上記の通りとする。
（4）上記の措置で休講となった授業･試験については､別途日程を調整のうえ代替の授業･試験を実施する。
（5）その他、緊急の場合には学長の判断による。
（6）上記理由により授業が休講となる場合は、大学ホームページ上でその旨掲示する。ただしネットワーク障害、停電等生じた場合は掲示できないことがある。
（7）上記理由により授業が休講となる可能性が極めて高いと判断される場合は、大学ホームページ上の掲示に注意するよう、喚起することがある。
（8）学外実習等に関しては、別途指示が出される場合がある。

以上

<< 地震発生時の対処法 >>

【地震発生時】
①まず自分自身の身を守ってください。
②冷静に対処しましょう。
③揺れが沈静化するまでその場で待機してください。
④衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
⑤窓際から離れ、机の下などにもぐり、身を守ってください。
⑥ドア付近の学生はドアを開放して、出口を確保してください。
⑦窓ガラスの飛散を防ぐため、カーテン･ブラインドを閉めてください。

【地震沈静後】
①(屋外退避の避難指示放送)の有無→放送なしの場合、授業を再開します。
②放送ありの場合、指示に従って指定避難場所へ移動します。
③余震に十分気をつけましょう。
④出口に殺到しないでください。
(「前半分は前のドアから､後ろ半分は後ろのドアから出てください」等)
⑤障害者や負傷者の避難をサポートしてください。
⑥上下階への移動は階段を使用してください。移動の際は姿勢を低く保ちましょう。エレベータを使用してはいけません。
⑦全員の退出を確認するのでグループから離れないでください。

【避難場所への移動】
①指定の避難場所へ避難しましょう。
②衣類や持ち物で頭を覆い、落下物から身を守ってください。
③窓ガラスや外壁等の落下物に注意してください。
④地面の亀裂や陥没、隆起に注意してください。
⑤避難場所では教職員の指示に従ってください。

<< 原子力災害発生時の対処方法 >>

1　建物（できればコンクリート製）に入り、ドアを閉めてください。
2　窓を閉めてください。
3　エアコン・換気扇を止めてください。
4　カーテンを開けてください。

一般注意事項

(1) 授業時間

月～土曜日

時限	第１時限	第２時限	昼休み	第３時限	第４時限	第５時限	第６時限
時間	８：40～ 10：10	10：20～ 11：50	11：50～ 12：40	12：40～ 14：10	14：20～ 15：50	16：00～ 17：30	17：40～ 19：10

○チャペルは、火曜日、水曜日、木曜日の12：00～12：30に実施。

(2) 休講・補講

授業担当者が公務等で授業ができない場合、そのつど「IC-UNIPA」に掲示する。始業時より30分以上経過しても何らの通知もない場合は学務部に問い合わせること。

また、休講等により授業が実施されなかった場合には補講を実施する。日程が決まり次第「IC-UNIPA」に掲示する。

休講・補講情報は、「IC-UNIPA」から確認できます。

大学公式サイト　　：https://www.icc.ac.jp/

携帯電話用ポータルサイト：http://up.icc.ac.jp/

(3) 事務取扱案内

平　日　午前８時45分～午後４時45分

土曜日　午前８時45分～午前11時50分

ただし、平日の午後０時から午後２時は、職員が交代で業務を取り扱うため、通常の対応ができない場合がある。

（注）日曜日、祝日、その他大学が定める休業日には事務取扱はしない。なお休業期間その他特別な場合については、そのつど掲示により伝達する。

Peace
Truth
LOVE

〒319-1295　茨城県日立市大みか町６-11-１
TEL 0294-52-3215（代表）